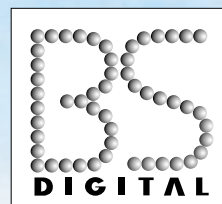
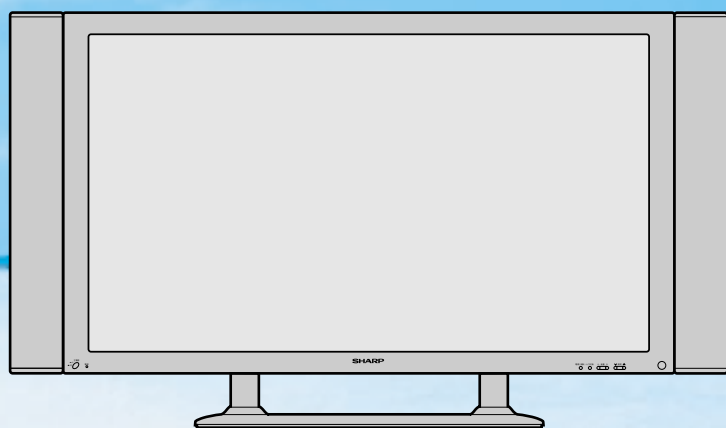
SHARP

取扱説明書

プラズマカラーテレビ

形名 PZ-50BD3（ピーゼット ビーディー）
PZ-43BD3（ピーゼット ビーディー）

はじめに
設置と準備
テレビ放送を楽しむ
BSデジタル放送を楽しむ
他の機器をつないで使う
その他
Quick Start Guide in English

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全にお使いいただくために」（6～12ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

もくじ

はじめに

設置と準備

テレビ放送を楽しむ

テレビ放送を楽しむ(つづき)

BSデジタル放送を楽しむ

もくじ(つづき)

BSデジタル放送を楽しむ(つづき)

他の機器をつないで使う

その他

Quick Start Guide in English

お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

※ 本取扱説明書では、プラズマカラーテレビを「本機」と表現しています。
※ 本取扱説明書に記載している画面表示は説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。

プラズマパネルの保護機能について

- 写真やコンピューター画像など、動きのない映像を長い時間表示すると、画面がやや暗くなります。これはプラズマパネルの保護機能が、動きの少ない映像を検知すると自動的に明るさを調整して画面を保護するためで、故障ではありません。
  この機能は、動きの少ない映像を約 3 分間検知すると働きます。

ご注意

パネルの焼付きと残像

- 静止画像など同じ絵柄の映像を長い時間表示すると、画面が焼き付く恐れがあります。
  焼付きにはつぎの 2 つの原因があります。

1．電気負荷の残留による残像

輝度の非常に高い映像を 1 分以上表示すると、電気負荷の残留により残像ができることがあります。これは動画を表示するとやがて消えます。残像が消えるまでにかかる時間は、もとの映像の輝度と表示時間によって異なります。

2．焼付きによる残像

プラズマディスプレイに同じ絵柄を長時間表示しないでください。同じ絵柄を何時間も続けて表示したり、短時間でも毎日くり返したりすると、蛍光素材の焼付きにより残像ができることがあります。この場合は、動画の映像によって目立たなくなることがありますが、完全に消えることはありません。

- **省エネ機能のセーブモードを「省エネ」に設定すると、焼付きの発生を軽減することができます。（93 ページ参照）**

安全にお使いいただくために

ご使用前に**「安全にお使いいただくために」**を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告　**人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。**

 注意　**人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。**

図記号の意味
（図記号の一例です）

 記号は、気をつける必要があることを表しています。

 記号は、してはいけないことを表しています。

 記号は、しなければならないことを表しています。

警告

異常時の処置

万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

電源プラグを抜く

万一内部に水や異物等が入った場合は、すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態のまま使用しないでください。
火災・感電の原因となります。
すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

電源プラグを抜く

万一、本機を落としたり転倒させることにより、キャビネットあるいはパネルを破損した場合は、すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

⚠警告

設　置

本機は大型で重量があるので、ぐらついた台や傾いたところなどを避け、安定した場所に置いてください。本機には、転倒防止の処置を行ってください。転倒防止を行わないと、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。また、開梱や持ち運びは2人以上で行ってください。

電源コードの上に重いものを乗せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず、重いものを乗せてしまうことがあります。重いものを乗せるとコードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

禁止

使　用　環　境

本機の内部に水が入ったり、濡らさないようご注意ください。屋外や風呂場など、水場では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

表示された電源電圧(交流１００ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

１００V 以外禁止

本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

禁止

使　用　方　法

本機の上に花びん、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

雷が鳴り出したらすぐに使用を中止して、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止

本機のキャビネットをはずしたり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

分解禁止

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

ほこり除去

安全にお使いいただくために(つづき)

⚠ 警告

使用方法

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが痛んだら(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください。

禁止

ディスプレイの前面パネルに、たたくなどして衝撃を加えるとパネルが割れ、火災・けがの原因となります。前面パネルには絶対に衝撃を加えないでください。

禁止

⚠ 注意

設置

濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり、本機を操作しないでください。
感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

本機の上にものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

禁止

放熱を良くするため他の機器・壁等から間隔をとってください(10cm以上)。
また、つぎのような使いかたをしないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
- じゅうたんやふとんの上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。
- 横倒しにする。
- 逆さまにする。

禁止

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

- 送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
- BSデジタル放送受信用アンテナは強風を受けやすいので、しっかりと取り付けてください。

注意

電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

ディスプレイを直射日光が当たる場所に長期間置かないでください。前面保護パネルの光学特性が変化し、変色したり、そりの原因となります。

注意

移動させる場合は主電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部コード、転倒防止具をはずしたことを確認してください。コード類をはずさずに移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

⚠ 注意

設　置

本機を調理台や加湿器、エアコンの吹き出し口のそばなど、高温、多湿になる場所あるいは油煙やほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

禁止

本機のディスプレイは質量が約44.5～52kg(スタンドを含む)あり、奥行きがなくて不安定なため、開梱や持ち運び、および設置は2人以上で行ってください。

注意

お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

電源プラグを抜く

ディスプレイはガラス部品を使用しています。万一部品が割れた場合には、破片でけがなどをしないよう取扱いに注意し、販売店に修理をご依頼ください。

注意

窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。

禁止

例えば、3年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

注意

ディスプレイ背面にある通気孔は、1カ月に1回を目安に掃除機でホコリを吸い取ってください(このとき掃除機は「弱」に設定してください)。
また、通気孔のお手入れは必ず本機の主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。ホコリをためたまま使用すると内部の温度が上昇し、故障や火災の原因となります。

注意

地震などによる転倒を防止するため、丈夫なヒモと付属のフック金具を使用して、壁や柱など強度の高いところにディスプレイを固定してください。

注意

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

確実に差す

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

禁止

オーディオ機器やビデオ機器など、他の機器と組み合わせて使用する場合は、電源を「切」にしてから接続してください。

電源プラグを抜く

安全にお使いいただくために(つづき)

⚠ 注意

使 用 環 境

本機を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

注意

周囲温度は0〜40°Cの範囲内でご使用ください。

注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

使 用 方 法

長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

静止画像等、同じ絵がらを長時間連続で表示しないでください。画像が焼きつき残像として残る場合があります。

注意

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

禁止

指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。

禁止

電池をリモコン内にセットする場合、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災やけがが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。

注意

乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

禁止

電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やけがの原因となることがあります。

禁止

長時間使用しないときは、リモコンから電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。
もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭きとってから新しい電池を入れてください。また万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

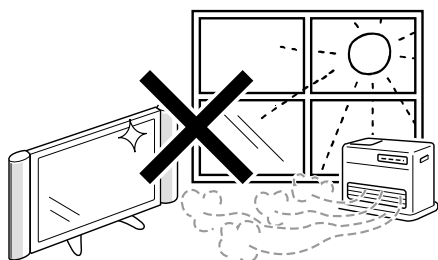
電池を取り出す

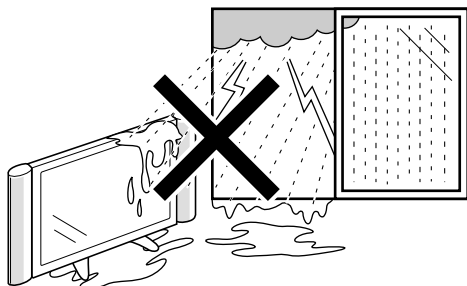
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

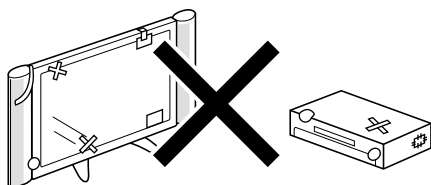
注意

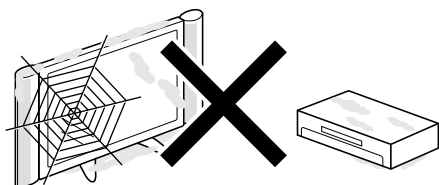
守っていただきたいこと

直射日光・熱気は避けてください

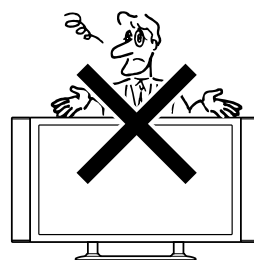
- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

雨天・降雪中でのご使用の場合

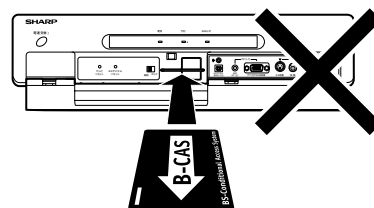
- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機を濡らさないようにご注意ください。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

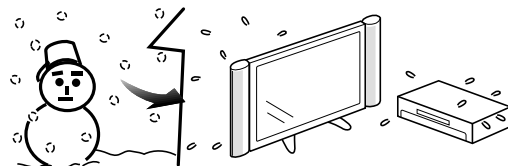
- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

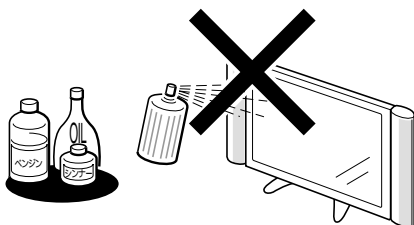
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

ICカードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- ICカードの中にはICが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」とならないよう、方向に注意して行ってください。

結露(つゆつき)について

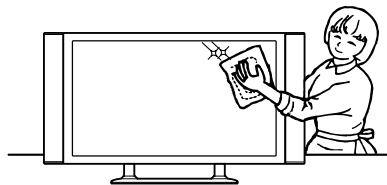
- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。

安全にお使いいただくために(つづき)

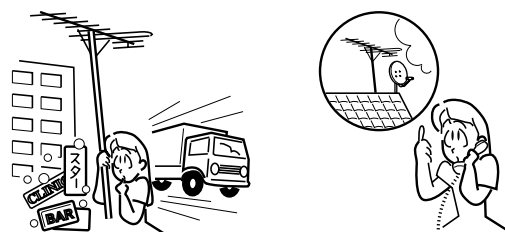
守っていただきたいこと

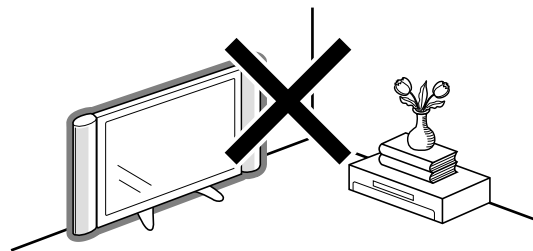
キャビネットのお手入れのしかた

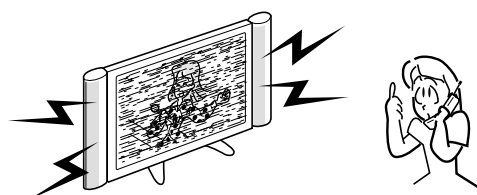
- キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

- 汚れはネルなど柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた布で仕上げてください。

ディスプレイパネルのお手入れのしかた

- 本機のディスプレイパネルの表面は、付属のワイピングクロスまたは他の柔らかい布(綿、ネル等)で軽く乾拭きしてください。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面に傷がつきますのでご注意ください。
- 指紋など油脂類の汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BSデジタル放送用のアンテナ線には、必ず衛星放送用同軸ケーブルを使用してください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

設置について

- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 本機の上にはものを置かないでください。
- 本機の上や後ろのスペースが十分とれる場所に設置してください。

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

本機の特長

1 フルスペック BS デジタルハイビジョンチューナー内蔵

- 高画質＆多チャンネルのBSデジタル放送にフル対応したBSデジタルハイビジョンチューナー内蔵。
- デジタルネットワークを実現する i.LINK※1 端子 2 系統搭載。

2 新開発、高画質を追求したプラズマパネル搭載

- 高精細「HD プログレッシブパネル」採用。
- 「ディープワッフル構造リブ」パネル採用により、高輝度実現。
- 「スムース CLEAR 駆動法」採用により、低輝度領域での豊かな階調表現を実現。

3 デジタル高画質化回路「D.D.H.Q. システム※2」搭載

ディスプレイ部とチューナー部をダイレクトにデジタル接続することで、デジタルディスプレイとしての特性を最大限に生かし、デジタルハイビジョン放送はもとより、従来放送も信号を劣化させることなく処理し、より美しい映像をお楽しみいただけます。

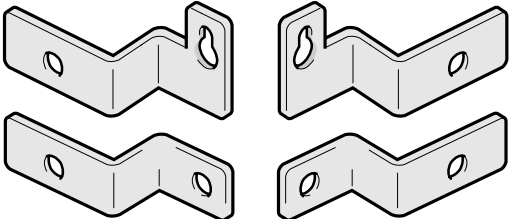
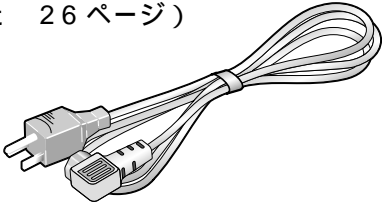
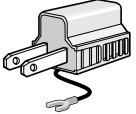
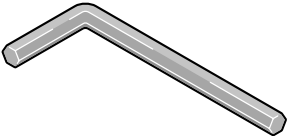
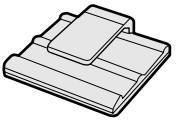
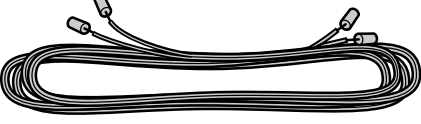
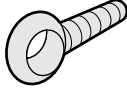
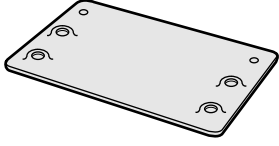
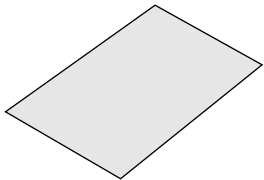
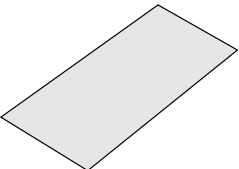
4 大容量 4.5 リッタースピーカーボックス搭載の 2 ウェイ 4 スピーカーシステム（PZ-50BD3）

15×6cm長円コーン型ウーファーに2.5cmドーム型ツィーターを組み合わせることにより、超大画面にふさわしい迫力の低音とバランスのよい高音を再生します。（PZ-43BD3 は 3.9 リッター）

5 迫力の大画面ながら薄型化を実現

50V 型※3 の大画面でありながら、奥行きわずか 10cm※4 の薄型化を実現。

6 D4 映像入力端子をはじめ、パソコンモニターにもなる、ミニ D-sub15 ピン RGB 入力端子など、豊富な入出力端子を装備

- デジタルハイビジョン映像を高画質で伝える D4 映像入力端子 2 系統搭載。
- ミニ D-sub15 ピン RGB 入力対応で、パソコン映像も高画質表示可能。

※1　i.LINK は登録商標です。
※2　D.D.H.Q. システム…Digital Direct High Quality システムの略。
※3　テレビの V 型（50V 型等）とは、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
※4　スピーカー装着時のディスプレイ部（スタンド部を除く）の寸法です。

付属品を確認してください

スピーカー部

スピーカー取付け金具
（使いかた→ 23 ページ）

上部用× 2

下部用× 2

スピーカー取付けネジ類
（使いかた→ 23 ページ）

 × 4　 × 4

取付け工具（六角レンチ）×1
（使いかた→ 23 ページ）

スペーサー×2
（使いかた→ 23 ページ）

スピーカーケーブル× 2
（使いかた→ 27 ページ）

左用（短い方）

右用（長い方）

取付け説明書

ディスプレイ部

電源コード（3m、3ピン）×1
（使いかた→ 26 ページ）

AC 変換プラグ× 1（使いかた→ 26 ページ）
※電源コードに接続されています。

ワイピングクロス（前面パネルを拭く布）×1
（使いかた→ 12 ページ）

システムケーブル用クランプ×1
（使いかた→ 28 ページ）

スピーカーケーブル用クランプ×5
（使いかた→ 28 ページ）

転倒防止用品一式（使いかた→ 24・25 ページ）

ボルト× 2

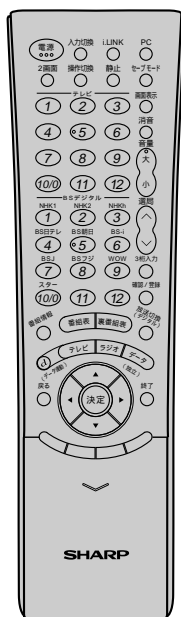
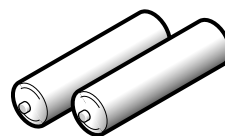
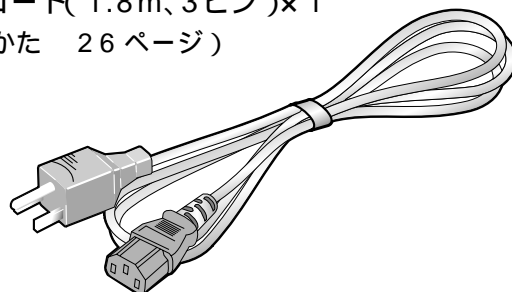
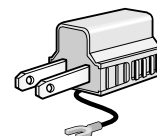
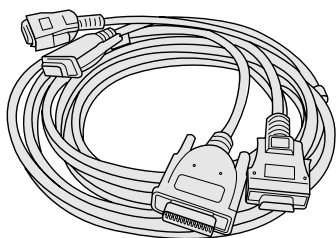
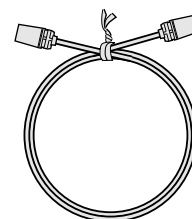
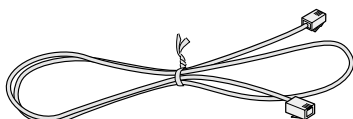
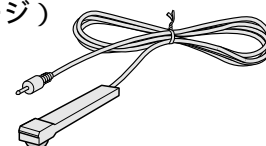
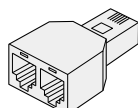
金具× 1

金具取付けビス× 4

保証書

ご注意 ICカード(B-CASカード)は開封すると、添付されている契約約款に同意したとみなされます。
開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

チューナー部

リモコン×1
(使いかた→19・20ページ)

単4形乾電池×2
(使いかた→20ページ)

電源コード(1.8m、3ピン)×1
(使いかた→26ページ)

AC変換プラグ×1
(使いかた→26ページ)

システムケーブル(3m)×1
(使いかた→26ページ)

アンテナケーブル(1.5m)×1
(使いかた→29ページ)

電話線(10m)×1 (使いかた→52ページ)

ビデオコントローラー(1.8m)×1
(使いかた→137ページ)

モジュラー分配器×1 (使いかた→52ページ)

BSデジタル用品一式
- B-CASカード
- ユーザー登録カード
- 加入申込みパンフレット

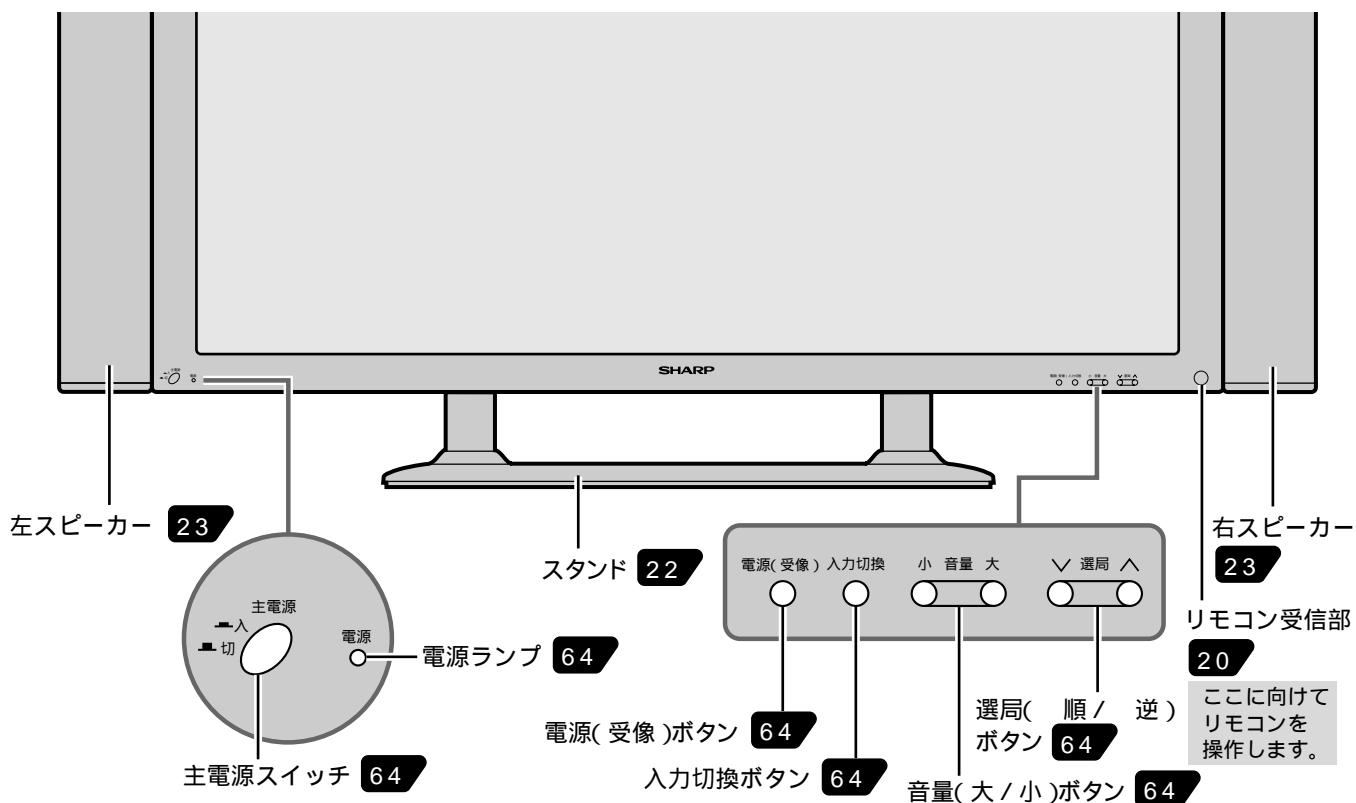
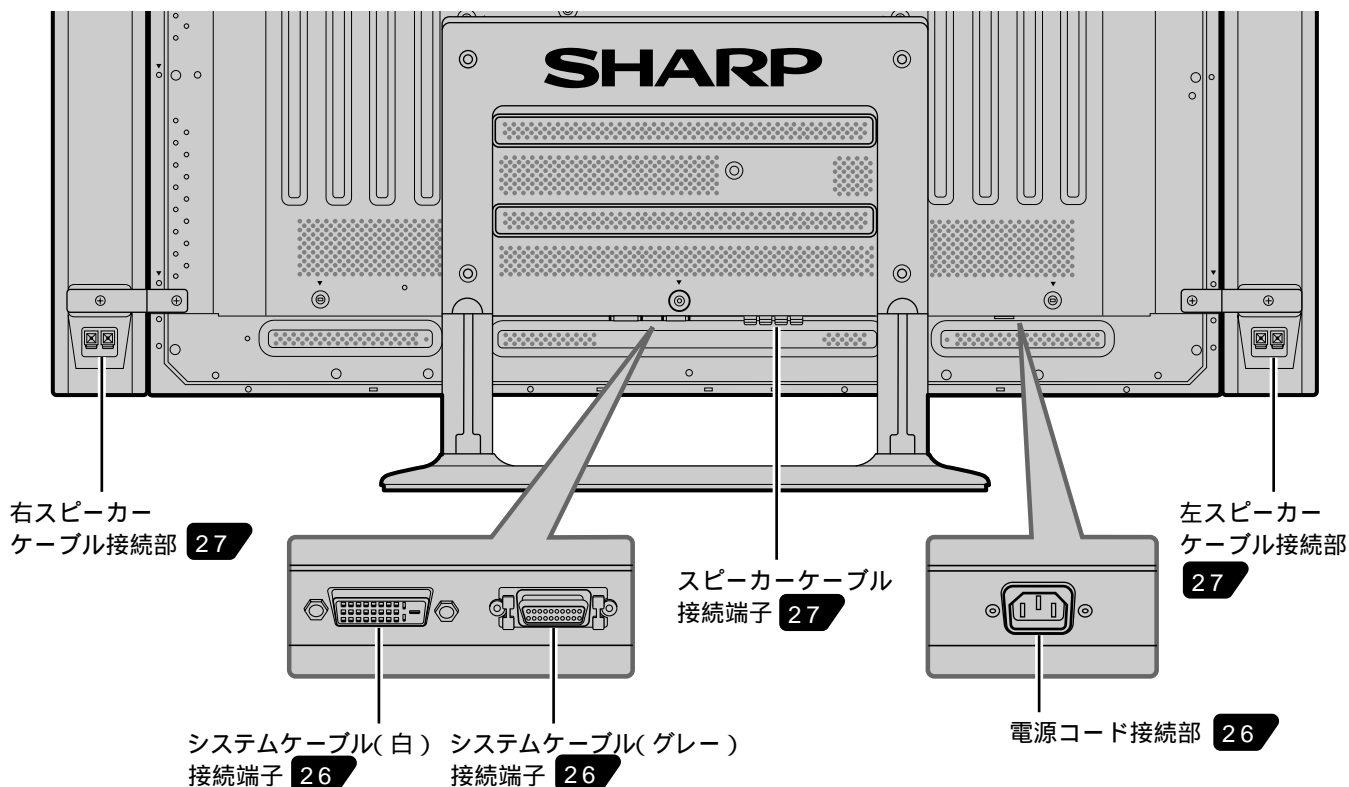
取扱説明書

各部のなまえ

■ 内の数字は、本文で説明しているおもなページです。

ディスプレイ部

● PZ-50BD3とPZ-43BD3とでは、外観は多少異なりますが、機能や操作方法は同じです。

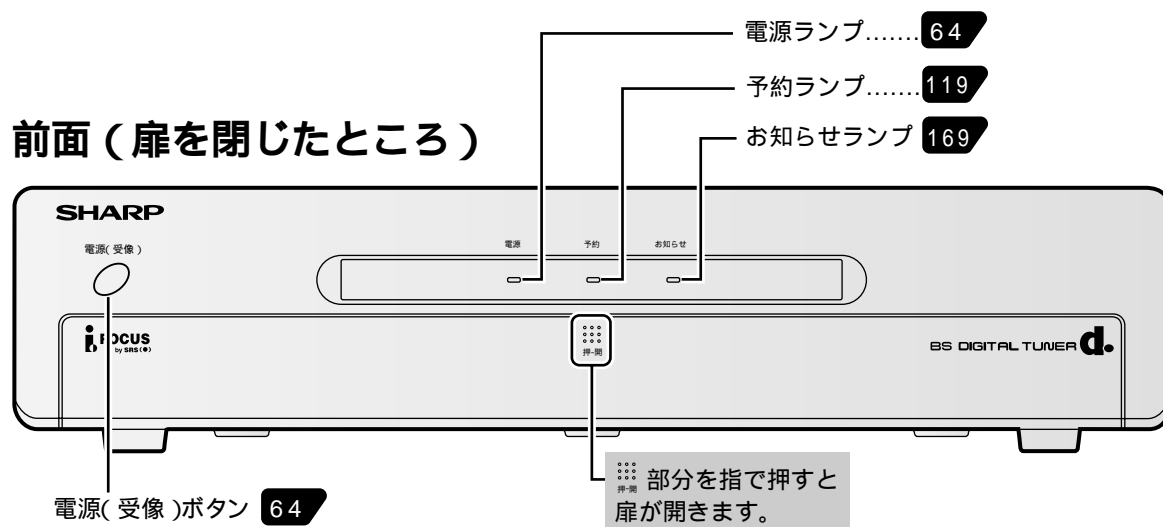
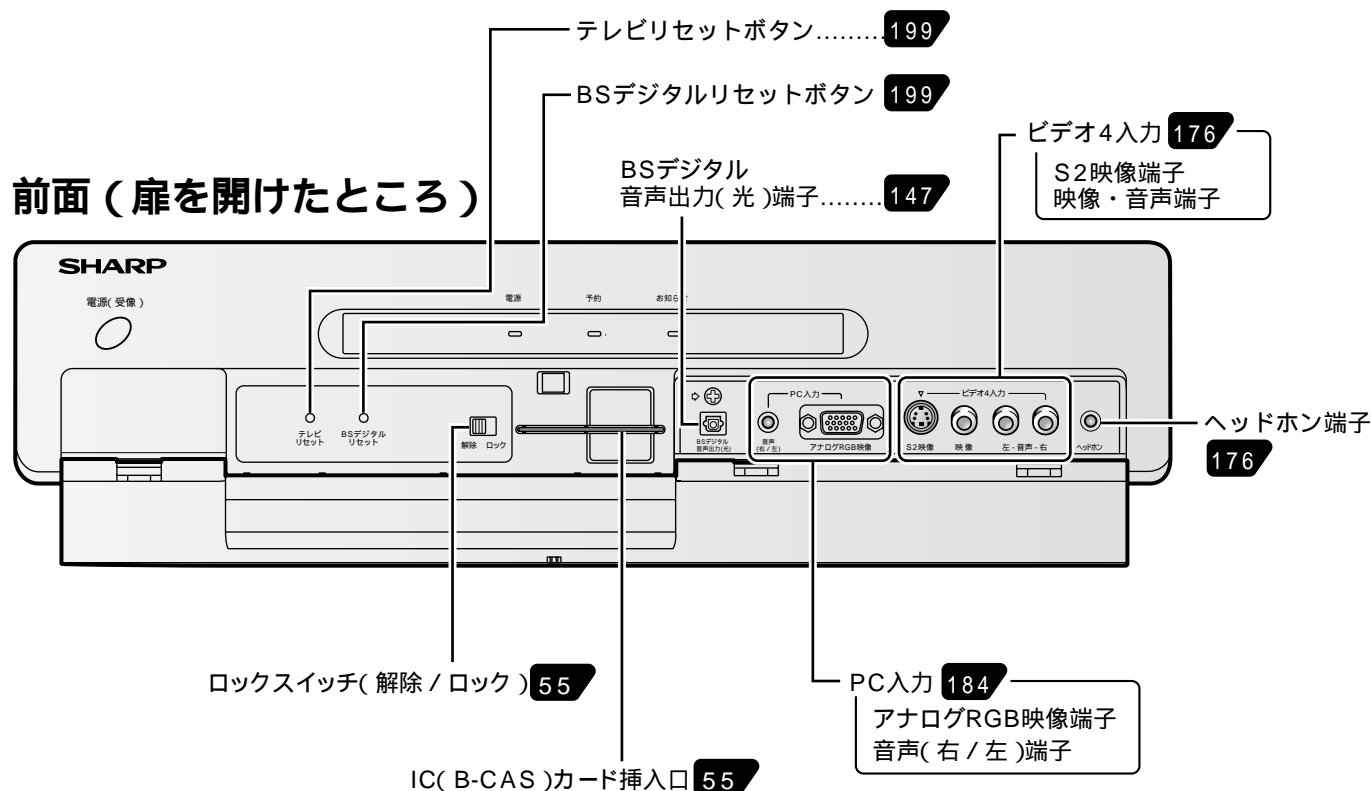
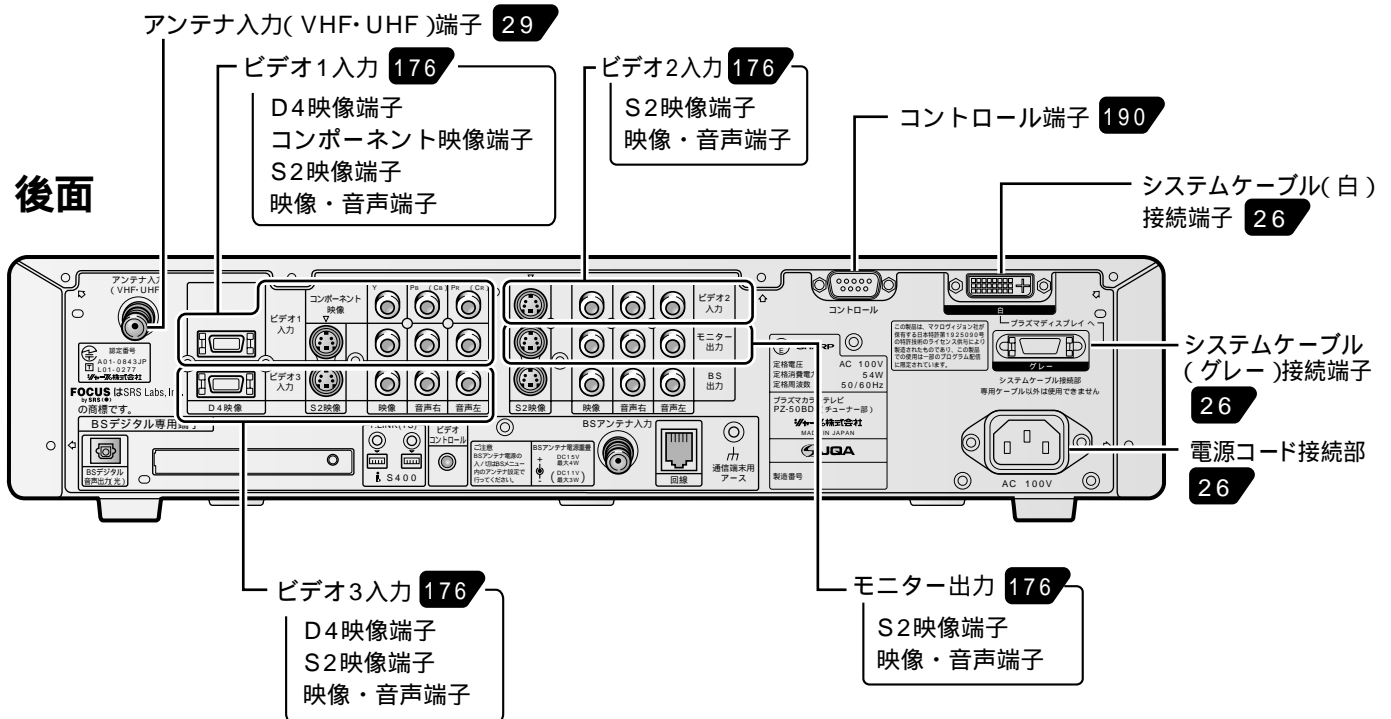
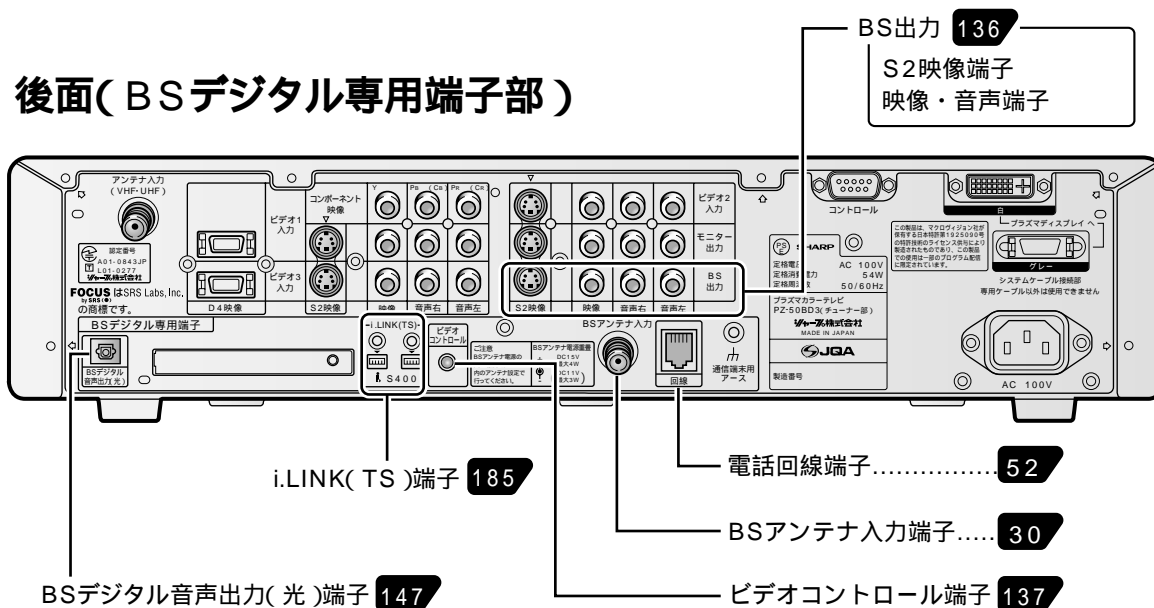
前面

後面

チューナー部

前面（扉を閉じたところ）

前面（扉を開けたところ）

テレビリセットボタン……… 199
BSデジタルリセットボタン 199
BSデジタル音声出力（光）端子……… 147
ビデオ4入力 176
S2映像端子
映像・音声端子
ヘッドホン端子 176
ロックスイッチ（解除／ロック） 55
IC（B-CAS）カード挿入口 55
PC入力 184
アナログRGB映像端子
音声（右／左）端子

各部のなまえ（つづき）

後面

後面（BSデジタル専用端子部）

リモコン

▼扉を閉じたところ

電源…… 64・65
電源を入／スタンバイします。

2画面…… 71
2画面表示を入／切します。

操作切換…… 72
2画面表示のとき、操作できる方の画面を切り換えます。

テレビチャンネル…… 35・65
- 地上放送やCATV放送を選局します。
- チャンネル設定の地域番号入力にも使用します。

BSチャンネル…… 58・103
- BSデジタル放送を選局します。
- 各種設定の数字入力にも使用します。

番組表…… 109
BSデジタル放送の電子番組表(EPG)の表示を入／切します。

番組情報…… 104・114
視聴中のBSデジタル番組の詳細な情報を表示します。

裏番組表…… 115
BSデジタル放送の裏番組表の表示を入／切します。

d(データ連動)…… 104
BSデジタル放送のテレビやラジオ番組に連動したデータ放送を呼び出します。

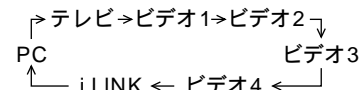
テレビ…… 103
BSデジタル放送のテレビ番組を選びます。

戻る…… 66・102
1つ前の画面に戻ります。
操作を誤ったときや、やりなおしたいときは、決定ボタンを押さず、戻るボタンを押します。

カーソル(上下左右) 66・102
メニューや項目を選びます。

決定…… 66・102
カーソルで選んだメニュー項目や設定内容を決定します。

カラーボタン(青／赤／緑／黄) 109
BSデジタル放送の電子番組表(EPG)やデータ番組の操作に使います。

入力切換…… 178
入力をつぎのように切り換えます。
→テレビ→ビデオ1→ビデオ2→ビデオ3→ビデオ4→i.LINK→PC→
※ビデオ1～4は、信号入力されているときのみ選べます。

i.LINK…… 187
i.LINK入力を選びます。i.LINK操作パネルの表示を入／切します。

PC…… 76
PC入力を選びます。
(PC[パソコン]画面が表示されます。)

静止…… 73
視聴中の番組を2画面にして、静止画と動画で表示します。

セーブモード…… 93
消費電力を抑えられる「省エネモード」と「標準」を切り換えます。

画面表示…… 65
画面表示を入／切します。

消音…… 65
音を一時的に消します。

音量(大／小)…… 65
音量を調整します。

選局(∧順／∨逆)… 65
各種放送を選局します。
※工場出荷時の状態では、CATVチャンネルはスキップ設定されています。

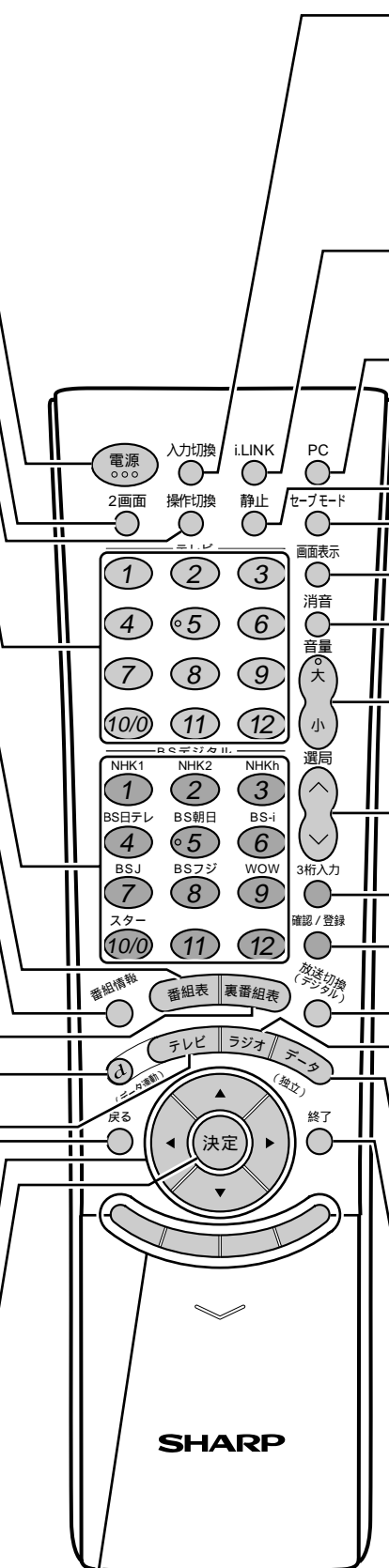
3桁入力…… 103
チャンネル番号を入力してBSデジタル放送を選局するときに使います。

確認／登録…… 108・135
BSチャンネルボタンに設定されているBSチャンネルの確認／登録画面を表示します。

放送切換(デジタル) 116
BSデジタル放送と将来の新しい放送の切換えをします。

ラジオ…… 106
BSデジタル放送のラジオ番組を選びます。

データ(独立)…… 107
BSデジタル放送の独立データ番組を選びます。

終了…… 66・109
2画面、静止画面、番組表やメニュー操作などを終了します。

各部のなまえ(つづき)

▼扉を開けたところ

テレビメニュー 66
通常のメニュー画面の表示を入／切します。

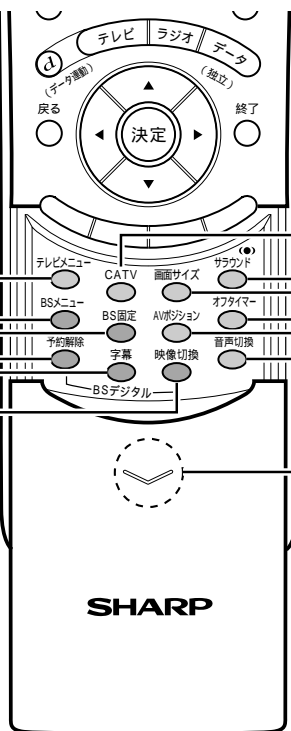
BSデジタル用

BSメニュー……102
BSメニュー画面の表示を入／切します。

BS固定…………156
現在選んでいるBSチャンネルに固定されます。BSデジタル番組を録画しながら、地上放送やCATV放送を見たいときなどに便利です。

予約解除………128
実行中の予約録画が取り消されます。

字幕……………133
BSデジタル放送の字幕表示を入／切します。

映像切換………105
BSデジタル放送の主・副映像を選びます。

CATV…………65
CATV放送のチャンネル番号を入力して選局するときに使います。

サラウンド(●) 90
サラウンド効果を選びます。

画面サイズ………69
お好みの画面サイズを選びます。
→ノーマル →ワイド →シネマ →フル
※テレビ／ビデオ入力時

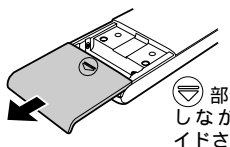
オフタイマー……92
オフタイマーの時間を設定します。

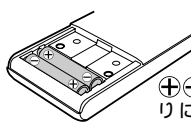
AVポジション…83
番組やソフトの内容に合わせ、最適な画質、音質の設定を選びます。

音声切換……88･105
音声モードを切り換えます。

扉の開けかた
- **この部分を軽く押しながら、手前にスライドさせます。**

乾電池の入れかた

1 カバーを開ける

部分を軽く押しながら、スライドさせます。

2 付属の単4形乾電池を入れ、カバーを閉める

⊕⊖の表示どおりに入れてください。

リモコン使用上のご注意

- リモコン送信機には衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり温度の高いところには置かないでください。
- リモコン受信部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
  照明の向きを変えてください。

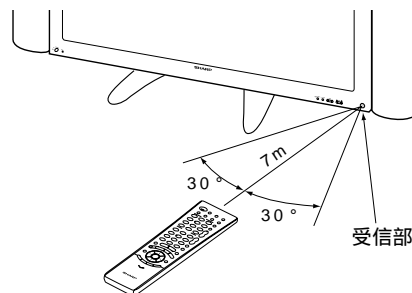
乾電池使用上のご注意

注意

乾電池は誤った使いかたをすると液もれや破裂することがありますので、つぎのことをお守りください。
- 種類の違うものや新旧を混ぜて使わない。
- 乾電池を充電したり、分解しない。
- ± 極と ⊖ 極を正しく入れる。
- ショートさせない。

おしらせ
- 付属の乾電池は保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- 新しい乾電池に交換してもリモコンが動作しないときは、電池を取り出し、電池の向きを確かめて、入れなおしてください。

リモコンで操作できる範囲

リモコンは、ディスプレイ前面右下の受信部に向けて操作してください。操作できる範囲は受信部から7m、上下左右に30度以内です。

リモコンで動作しにくいとき

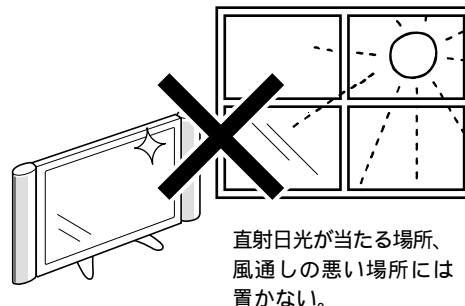
- リモコンとディスプレイの受信部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 電池が消耗した場合は、操作できる距離が徐々に短くなりますので、早めに新しい電池に交換してください。
- 本機は画面から微弱な赤外線を放出しています。近くにビデオ等の赤外線リモコンによって操作する機器を設置すると、その機器がリモコン操作を受けつけにくくなったり、受けつけなくなることがあります。そのような場合は、本機から離して設置してください。
- 設置環境によっては、プラズマディスプレイから放出される赤外線の影響によって、本機がリモコン操作を受けつけにくくなったり、リモコンで操作できる距離が短くなることがあります。(画面から放出される赤外線の強さは、表示される絵がらによって変わります。)

設置と準備

設置のしかた

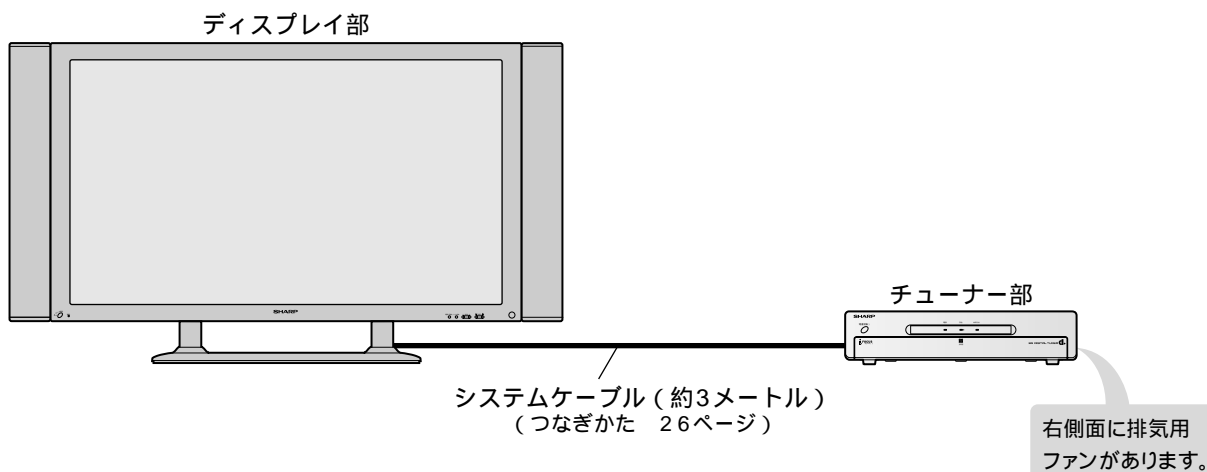
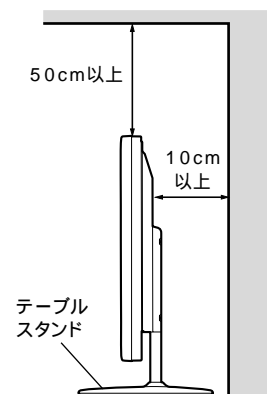
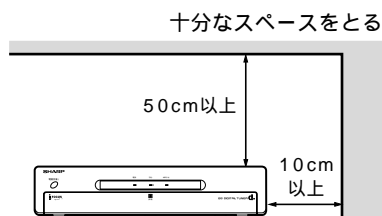
設置の手順

1 置く場所を決める

- 直射日光が当たらない、風通しの良い場所を選んでください。
- ディスプレイ部とチューナー部を結ぶシステムケーブルの長さは、約3メートルです。

2 製品を配置する

●ディスプレイ部を設置する

ご注意
- **ディスプレイ部は重いので(約44.5～52kg)、移動するときは、必ず2人以上で行ってください。**
- **ディスプレイ部のスタンドは、外さないでください。**
- **移動するときは、ディスプレイ部を持って移動してください。**

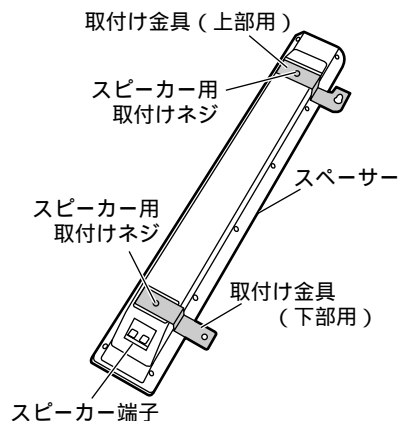
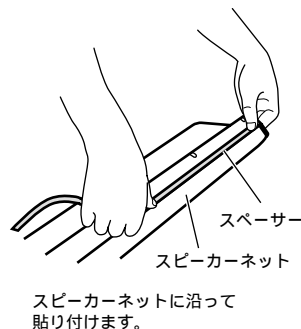
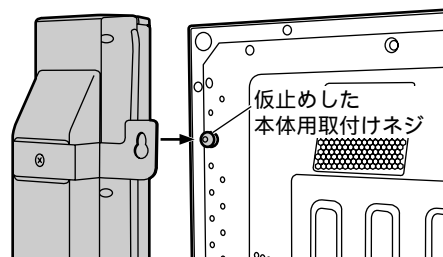
●チューナー部を設置する

- チューナー部の上には、ビデオデッキ等を乗せないでください。
- ディスプレイ部の背面部・天面部、チューナー部の天面部・側面部は、十分なスペースをとって設置してください。
- チューナー部および側面ファンの通風孔はふさがないでください。

3 スピーカーを取り付ける

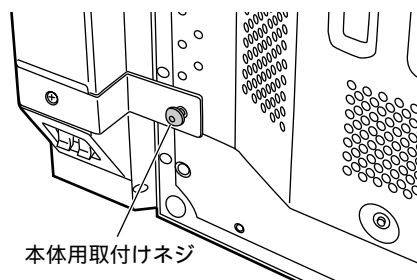
⊕（プラス）ドライバーが必要です

〈右側スピーカーの取付け例〉

**1. ⊕ドライバーを使い、スピーカー用取付けネジで、取付け金具（上部用／下部用）をスピーカー部にしっかりと取り付けます。
スピーカー端子のある方が下側です。**

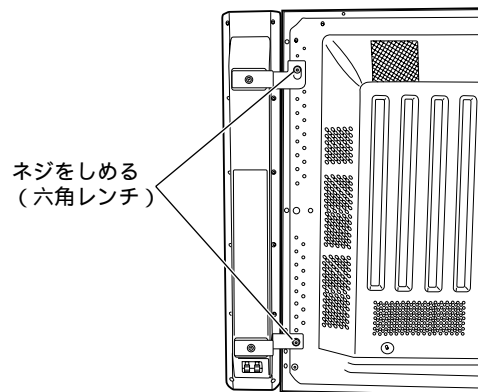
お知らせ

- スピーカー部とディスプレイ部のすき間は、付属のスペーサーで隠すことができます。スピーカー側面（ディスプレイ側）に貼り付けてから、スピーカーをディスプレイ部に取り付けてください。

2. 本体（ディスプレイ部）用取付けネジを、付属の取付け工具（六角レンチ）で本体の裏面上部に仮止めし、取付け金具を取り付けたスピーカー部をひっかけます。

〈右側スピーカーの取付け例〉

3. 本体用取付けネジを使い、スピーカー部の取付け金具（下部用）を本体の裏面下部に仮止めします。

〈右側スピーカーの取付け例〉

次ページへ ☞

設置のしかた（つづき）

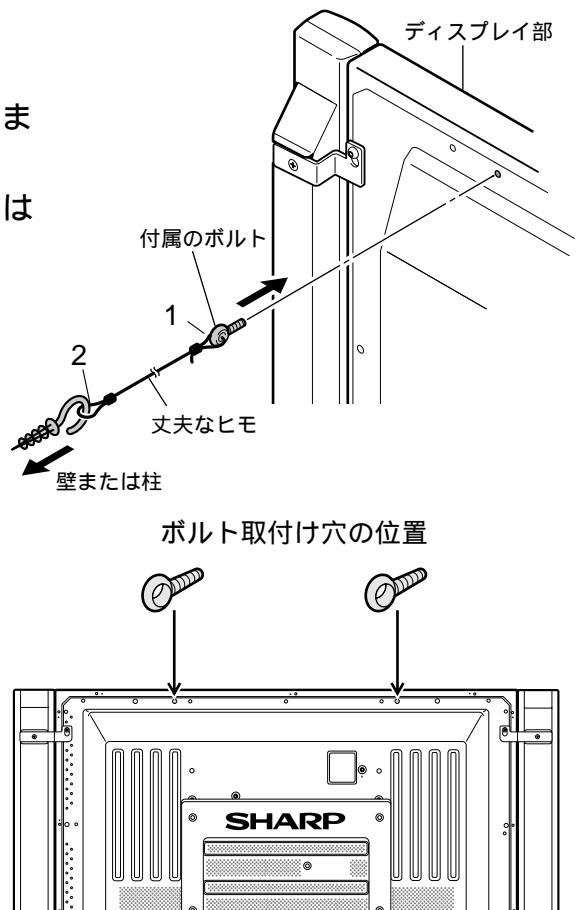
4. スピーカー部とディスプレイ部とのすき間が均一になるように位置を調整し、仮止めしてあった本体側の上下2つのネジをしっかりとしめます。

〈右側スピーカーの取付け例〉

■ **左側スピーカーも同様に1〜4の手順で取り付けてください。**

- スピーカー前面のグリルネットに力を加えたり、指などを差し込んだりしないでください。
- スピーカーを取り付ける際に、付属以外のネジを使用するとスピーカーの脱落や故障の原因となりますので、必ず、付属のネジを使用してください。
- スピーカーを取り付けた後で、ディスプレイ部を動かす場合は、スピーカー部分を持たないでください。ディスプレイ部の下部を持って移動するようにしてください。

4 転倒防止策を実施する

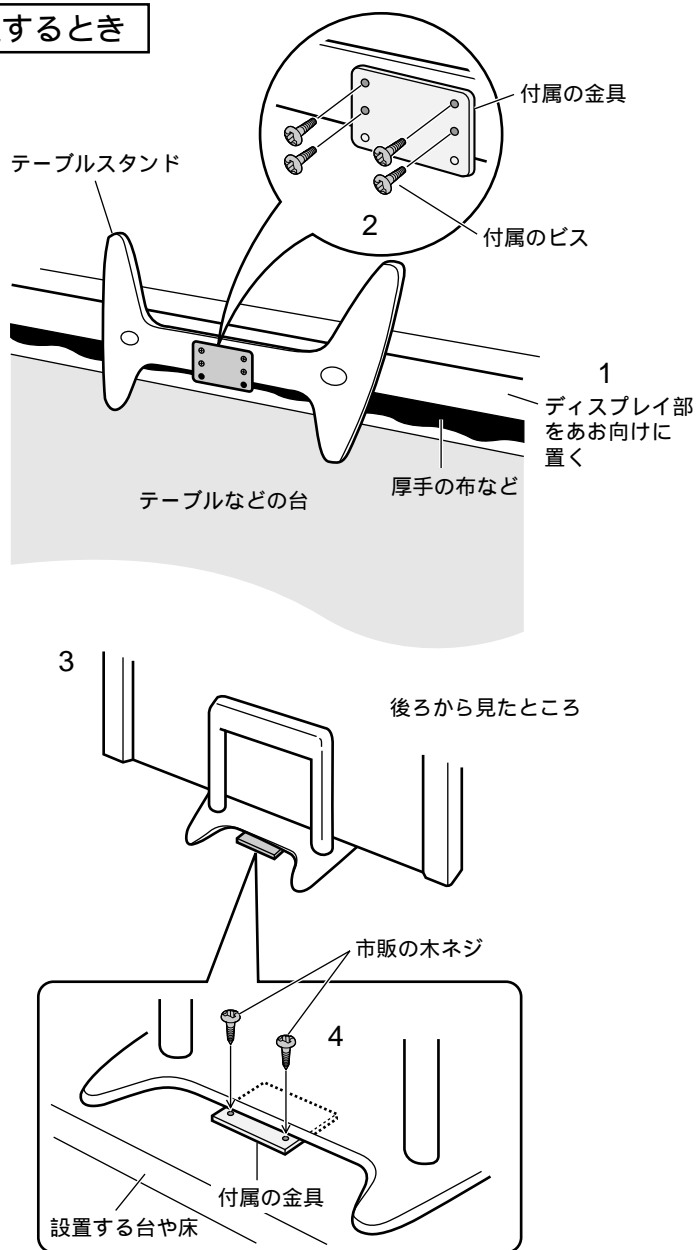
1. 付属の転倒防止用のボルトを取り付けます。
2. 市販の丈夫なヒモと金具を使い、壁または柱に固定します。
3. 反対側も同様に固定します。

ボルト取付け穴の位置

テーブルスタンドを台や床の上に固定するとき

1. 作業する台の上に厚手の柔かい布などを敷き、その上にディスプレイ部を、画面を上にしてあお向けに置きます。

2. 付属の4本のビスを使い、テーブルスタンド底面の中央部に、付属の金具を固定します。

3. ディスプレイ部を起こし、固定する台や床の上に置き、位置決めをします。

4. 市販の木ネジなどを使い、金具を台や床に固定します。

● ディスプレイ部はかなりの重量(PZ-50BD3…52kg、PZ-43BD3…44.5kg)がありますので、台に設置する場合は、この重量に耐え得る堅固なもので、かつ十分な幅と奥行きのある、転倒しにくいものを使用してください。

システムの接続のしかた

チューナー部とディスプレイ部を接続する

ご注意　**接続が終了するまでは、電源を入れないでください。**

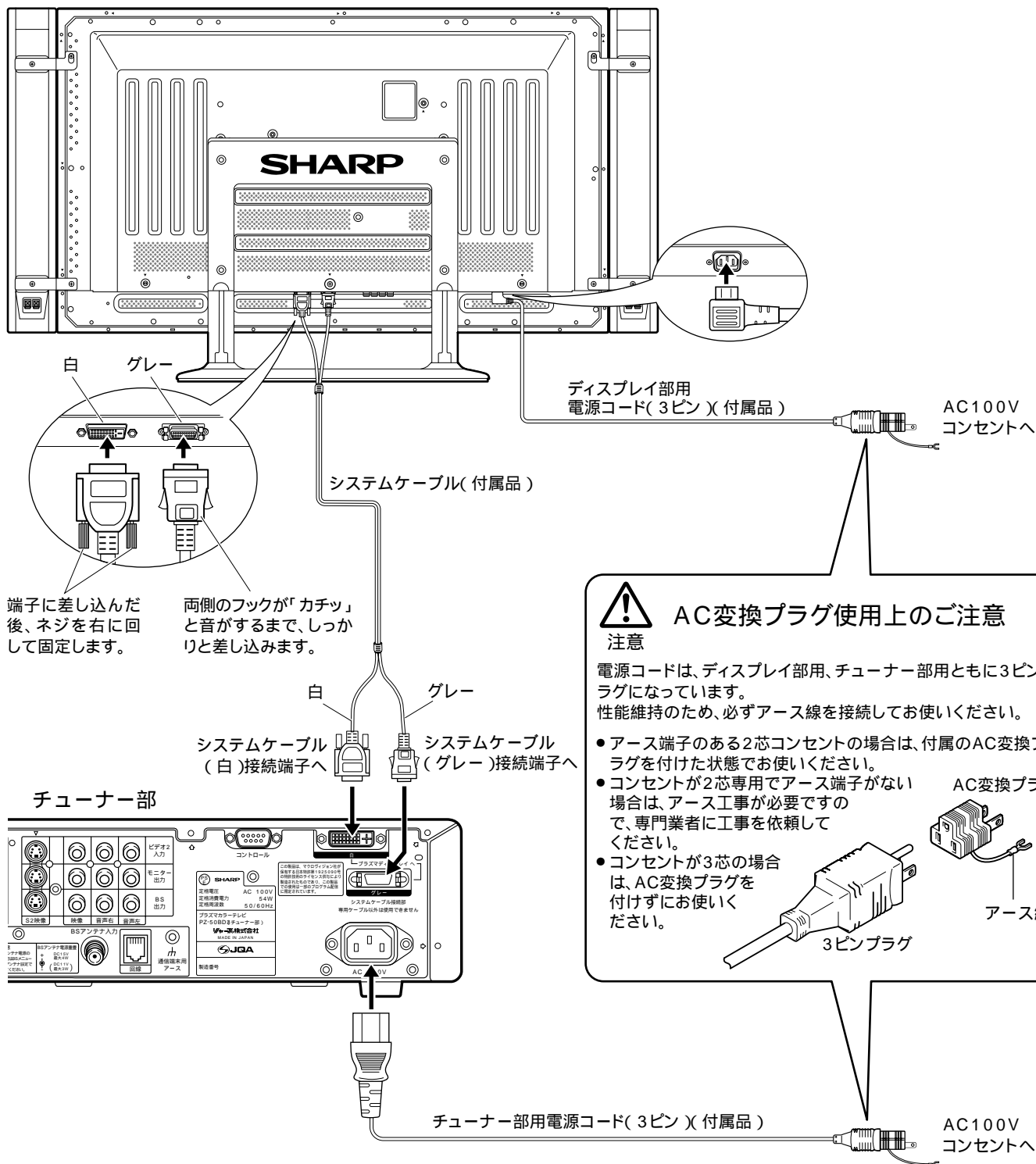
▼ディスプレイ部後面

▼チューナー部

⚠ AC変換プラグ使用上のご注意

注意

電源コードは、ディスプレイ部用、チューナー部用ともに3ピンプラグになっています。
性能維持のため、必ずアース線を接続してお使いください。

- アース端子のある2芯コンセントの場合は、付属のAC変換プラグを付けた状態でお使いください。
- コンセントが2芯専用でアース端子がない場合は、アース工事が必要ですので、専門業者に工事を依頼してください。
- コンセントが3芯の場合は、AC変換プラグを付けずにお使いください。

- ディスプレイ部に同梱されている電源コードはディスプレイ部に、チューナー部に同梱されている電源コードはチューナー部に使用してください。

スピーカーケーブルを接続する

ご注意　**接続が終了するまでは、電源を入れないでください。**

▼ディスプレイ部後面

右スピーカーケーブル接続部
※長い方のケーブルをつなぎます。

左スピーカーケーブル接続部
※短い方のケーブルをつなぎます。

黒 ⊖　赤 ⊕

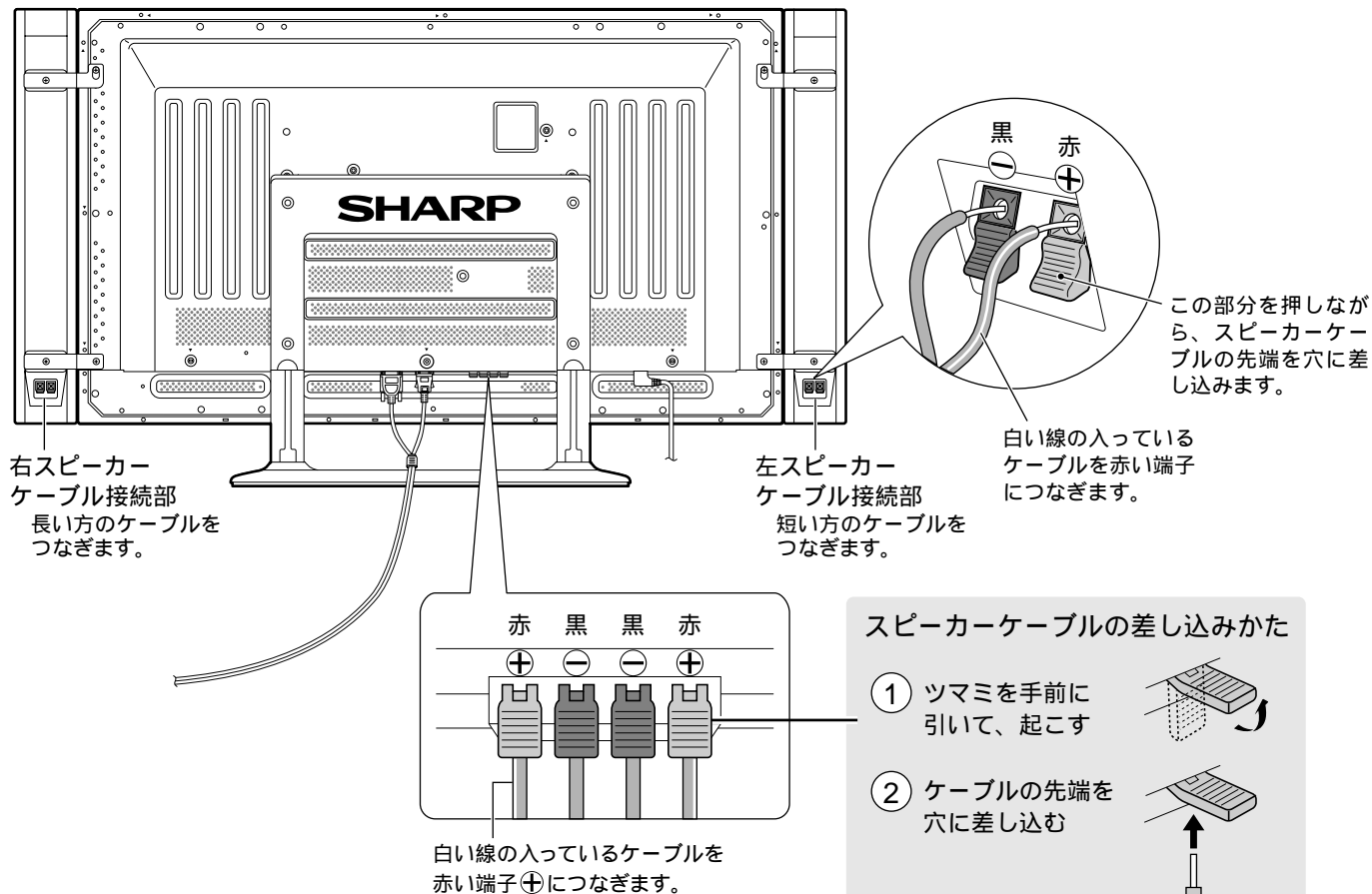
この部分を押しながら、スピーカーケーブルの先端を穴に差し込みます。

白い線の入っているケーブルを赤い端子につなぎます。

赤 黒 黒 赤
⊕ ⊖ ⊖ ⊕

白い線の入っているケーブルを赤い端子⊕につなぎます。

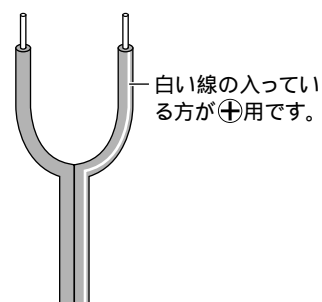
スピーカーケーブルの差し込みかた

1. **ツマミを手前に引いて、起こす**
2. **ケーブルの先端を穴に差し込む**
3. **ツマミをもとの位置に倒す**

スピーカー端子とケーブルの極性（⊕、⊖）にご注意ください

■ スピーカー端子には⊕（プラス）と⊖（マイナス）の極性があります。⊕端子は赤、⊖端子は黒になっています。

■ ケーブルも⊕（プラス）用と⊖（マイナス）用に分かれています。白い線の入っている方を⊕端子に、入っていない方を⊖端子につないでください。

■ 左右のスピーカーケーブルを接続する際は、それぞれ、⊕端子どうし、⊖端子どうしを正しいケーブルでつないでください。

スピーカーケーブルの極性

システムの接続のしかた(つづき)

ケーブル処理のしかた

■ディスプレイ部後面の端子に接続したシステムケーブルとスピーカーケーブルは、付属のクランプを使って下図のように束ねると、すっきりとうまくまとめることができます。

▼ディスプレイ部後面

SHARP

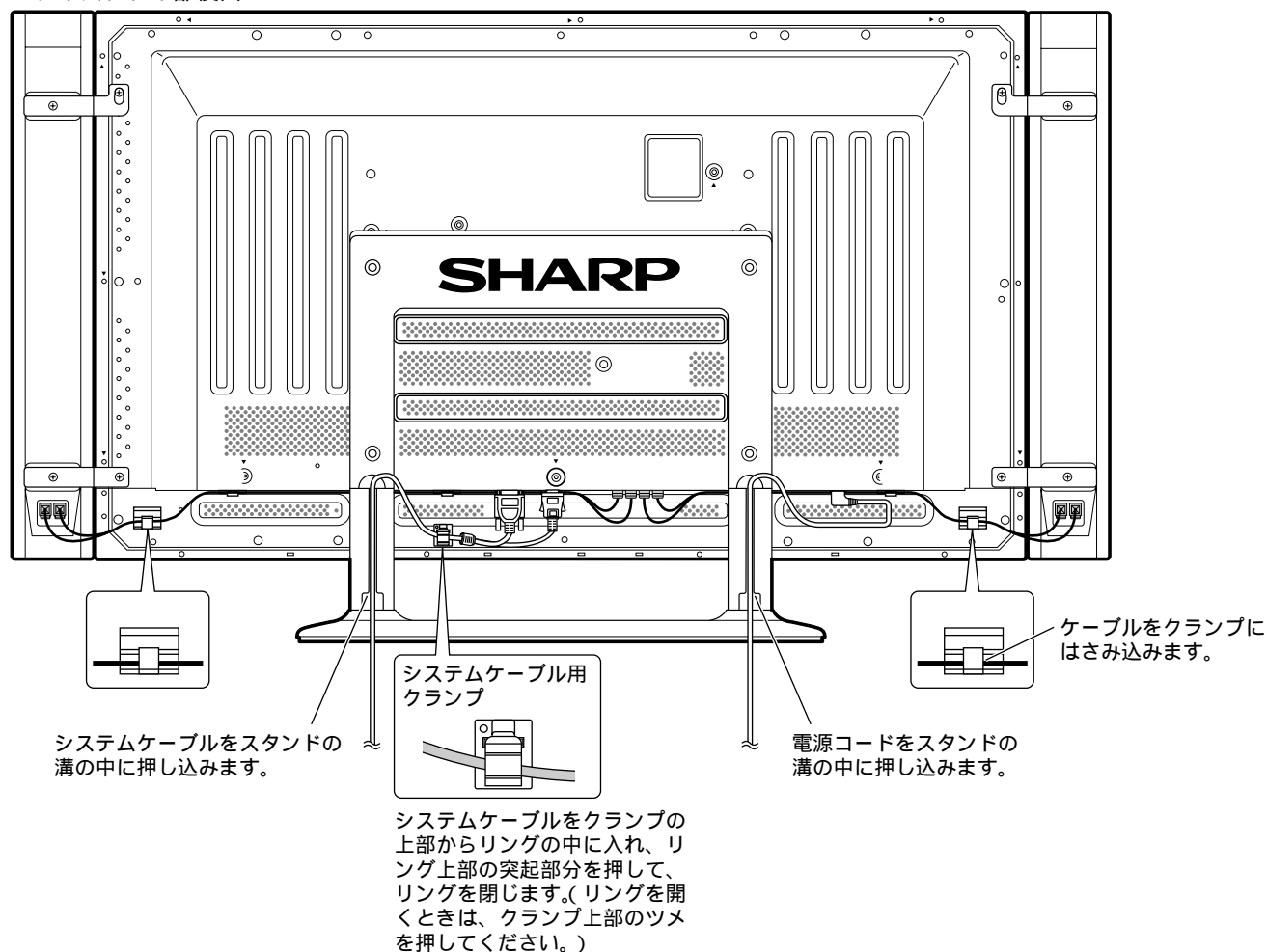
① ② ③ ④ ⑤

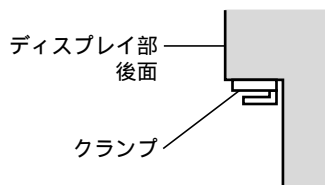
ケーブルをクランプにはさみ込みます。

システムケーブル用クランプ

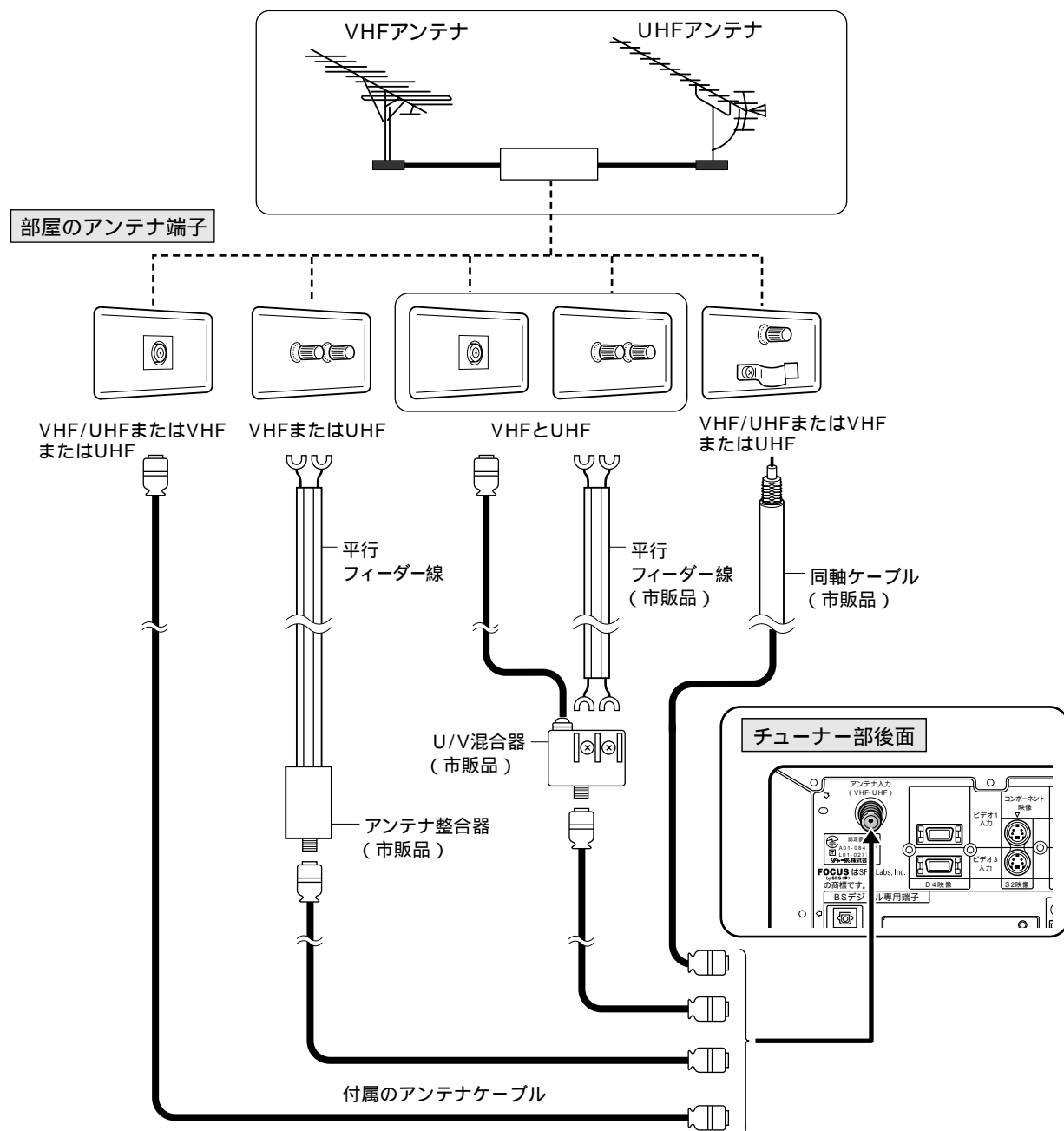
システムケーブルをスタンドの溝の中に押し込みます。

電源コードをスタンドの溝の中に押し込みます。

システムケーブルをクランプの上部からリングの中に入れ、リング上部の突起部分を押して、リングを閉じます。(リングを開くときは、クランプ上部のツメを押してください。)

スピーカーケーブル用クランプの使いかた

- スピーカーケーブル用クランプ(5個)は、上図①〜⑤の位置に貼り付け、スピーカーケーブルをはさみ込みます。
- ②、③、④のクランプは、右図のように貼り付けます。

アンテナの接続のしかた

VHF/UHFアンテナの接続

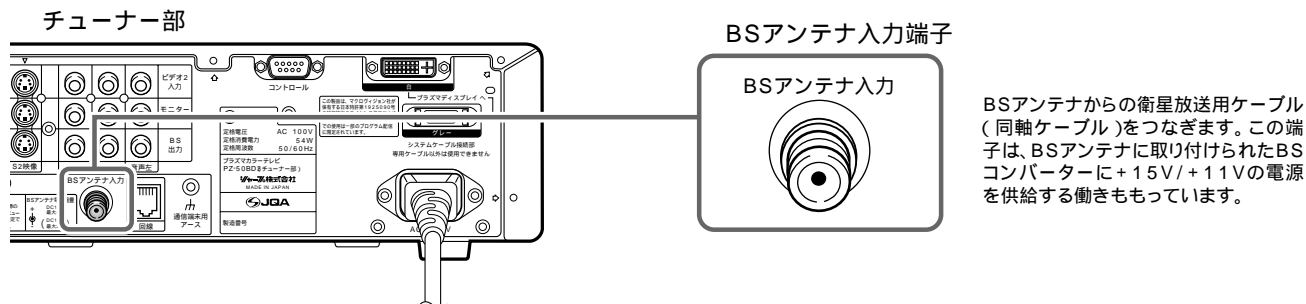
■付属のアンテナケーブル、市販のアンテナ整合器等を、使用するアンテナ線に応じて接続し、チューナー部後面のアンテナ入力(VHF・UHF)端子に接続してください。

おしらせ

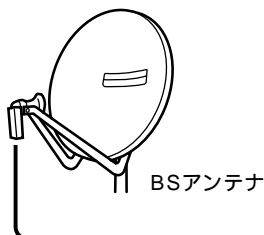
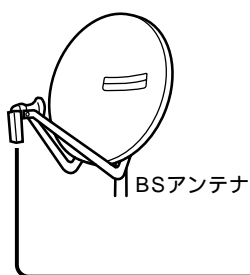
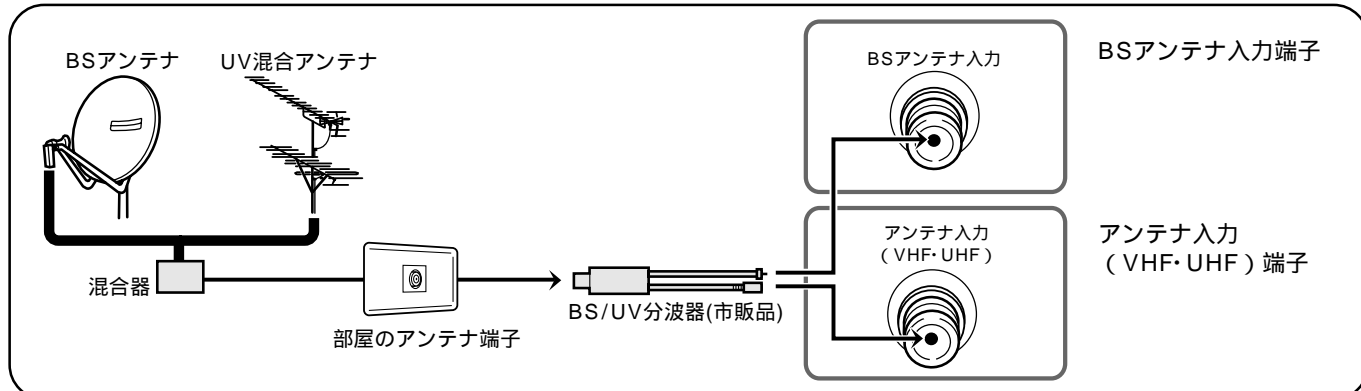
● VHF/UHFの屋内アンテナ端子が分かれている場合など、混合器の取付けが必要なときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
● 付属のアンテナケーブルは、「BSアンテナの接続」(**30**ページ)には使用しないでください。

アンテナの接続のしかた（つづき）

BSアンテナの接続

■BSアンテナは、BSデジタル放送対応のものをご使用ください。
■BS放送用のアンテナケーブルは、専用のものをご使用ください。
■BSアンテナの接続のしかたなど、詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

■BSアンテナからの衛星放送用ケーブル（同軸ケーブル）をつなぎます。この端子は、BSアンテナに取り付けられたBSコンバーターに＋15V/＋11Vの電源を供給する働きももっています。

BSアンテナ入力端子にアンテナケーブルをつなぐときは、必ずBSアンテナ電源を「切」にしておいてください。（**160・161**ページ参照）

BSアンテナを単独で接続するとき

本機とBS内蔵ビデオなどを接続するとき

BSとVHF・UHFが混合されているとき（マンションなど、共聴システムの場合）

BSアンテナの接続が終わったら ☞ 160ページの「BSアンテナの設定」を行ってください。

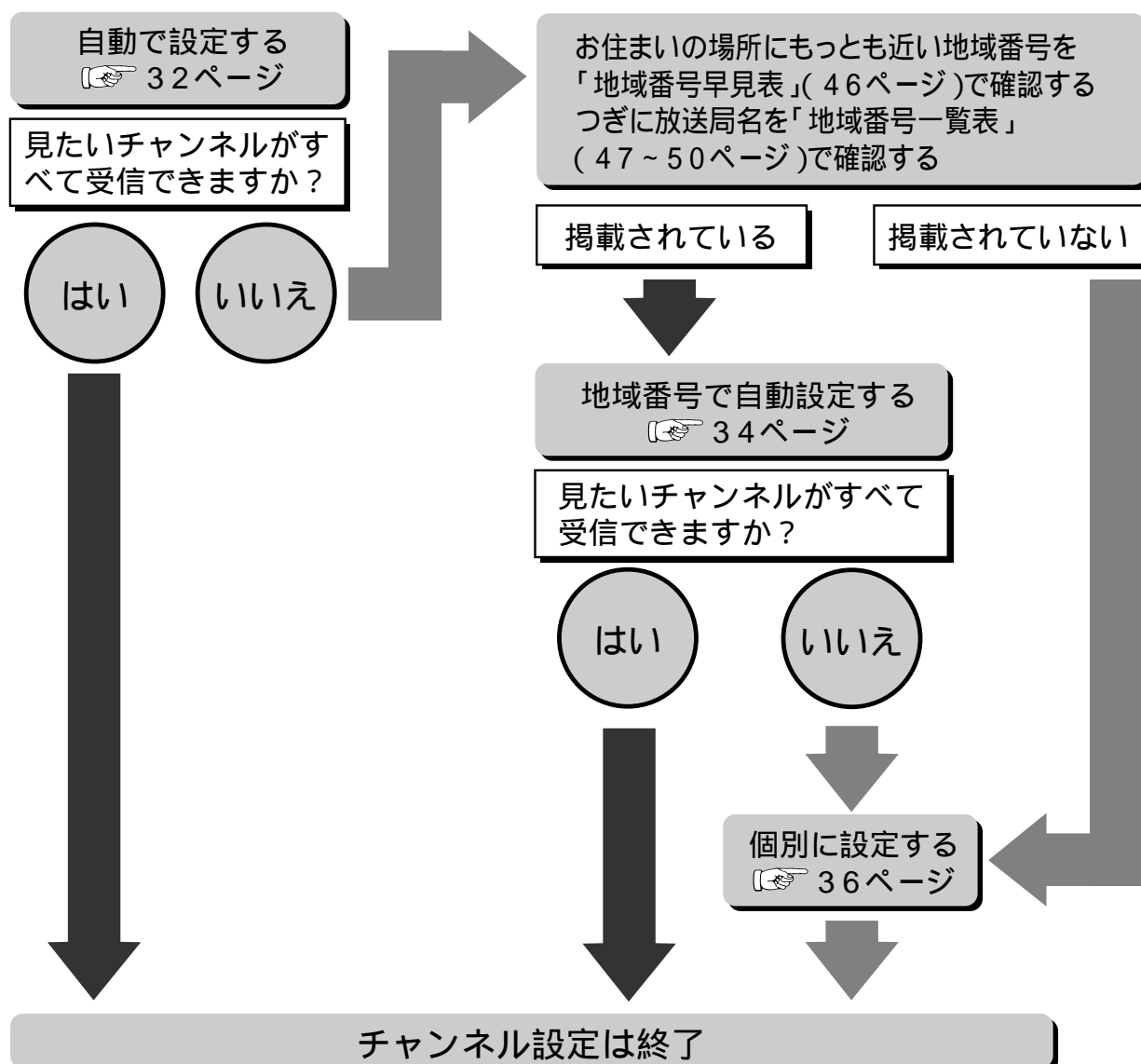
テレビのチャンネルを設定する

■地上放送（VHF/UHF）やCATV放送の受信チャンネル設定です。
（工場出荷時は、VHF1〜12チャンネルが設定されています。）
■チャンネル設定には「自動」と「地域番号」と「個別」の3つの方法があります。

自動 ……**ご使用になる場所の、現在の電波状態で受信できるVHFとUHFの放送チャンネルを自動的にキャッチし、記憶させる方法です。**

地域番号 ……**ご使用になる場所にもっとも近い都市（受信している電波を送信している都市）を46〜50ページの地域番号早見表・地域番号一覧表から選び「地域番号」を入力する方法です。**

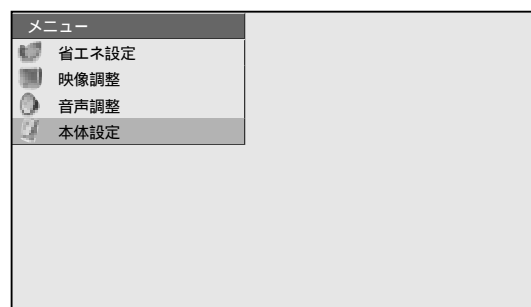
- その地域ごとに、あらかじめ見られる放送局の受信チャンネルを定めた設定方法です。
- 地域番号一覧表（**47〜50**ページ）には放送局名を記載しています。
- 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり設定しても受信できない場合があります。このときは、個別設定をしてください。

個別 ……**地域番号一覧表に当てはまらない地域や、チャンネル設定後ほかのチャンネルを追加したり削除するとき、チャンネルを1局ずつ設定する方法です。**

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

自動設定

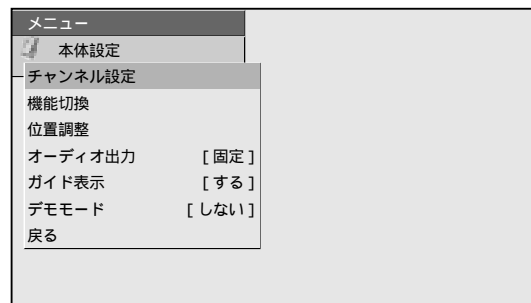
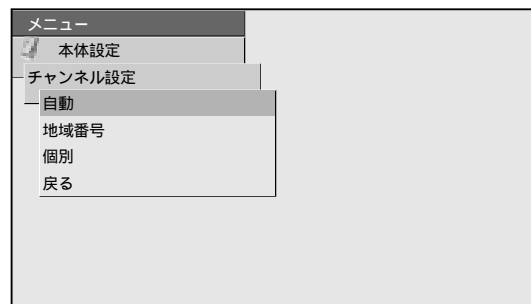
■受信可能な地上放送(VHF、UHF)のチャンネルを自動的にキャッチし、記憶させる方法です。

扉を開けたところ

1 ① 入力切換 でテレビにする
② テレビメニュー を押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「本体設定」を選び、決定を押す

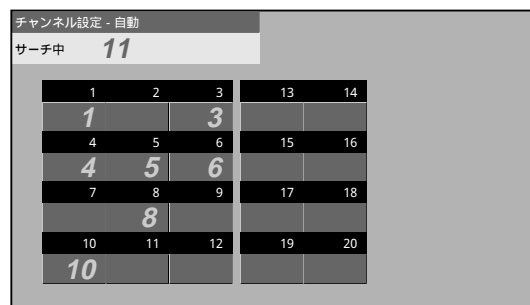
3 ▲ ▼ で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

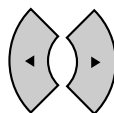
4 ▲ ▼ で「自動」を選び、決定を押す

おしらせ

メニュー画面について

● メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

5

- 自動チャンネル設定が始まり、画面左上に「サーチ中」が表示されます。

- 選局が終了すると、自動設定されたチャンネル番号が表示されます。
- まったく受信できなかった場合は、「放送局が見つかりませんでした」と表示され、サーチ開始前に設定されていたチャンネルが表示されます。

6

で「設定する」を選び、決定を押す

- 自動設定されたチャンネルが記憶されました。

7

テレビメニューを押し、通常画面に戻す

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

地域番号設定

■「地域番号早見表」(46ページ)、「地域番号一覧表」(47～50ページ)で都市名・放送局名・受信チャンネルを確認したうえで、お住まいの地域にもっとも近い地域番号を入力してください。

扉を開けたところ

<例> 東京都八王子市にお住まいの場合
(地域番号「31」を設定する)

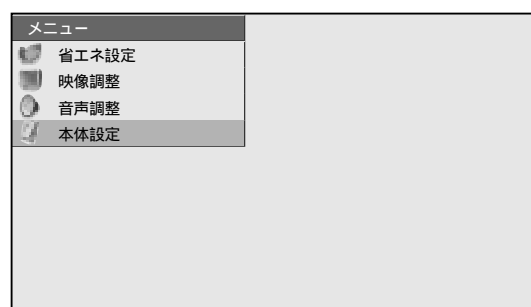
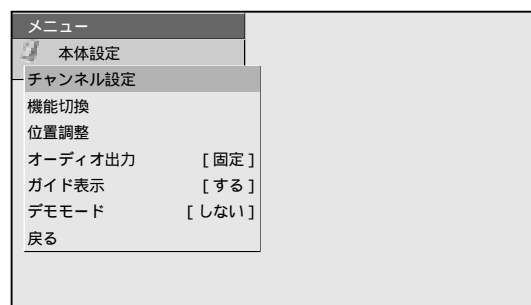
1

① 入力切換 でテレビにする

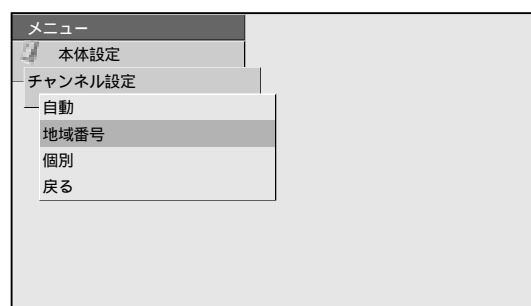
② テレビメニュー を押し、メニュー画面を表示する

2

▲ ▼ で「本体設定」を選び、決定を押す

3

▲ ▼ で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

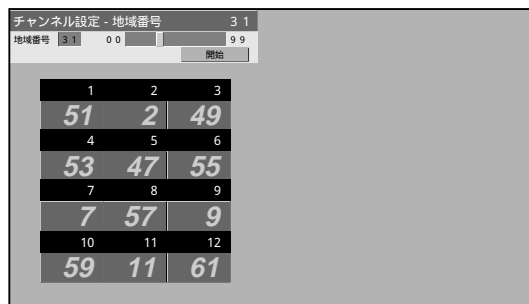
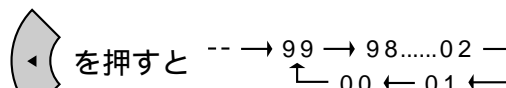
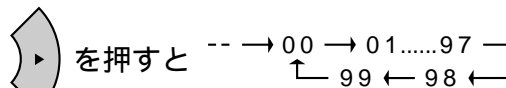
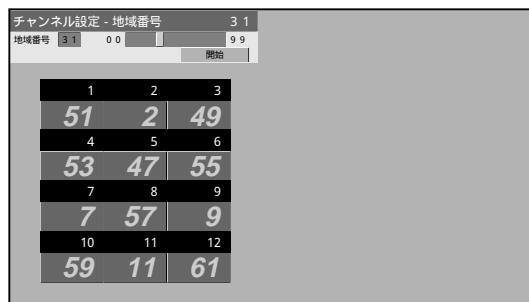
4

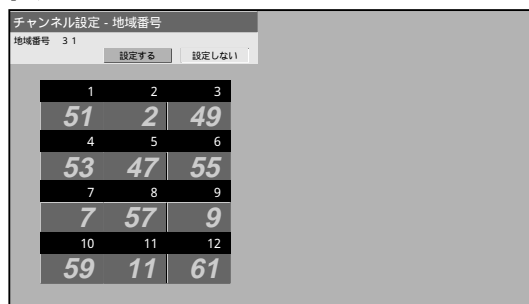
▲ ▼ で「地域番号」を選び、決定を押す

扉を開けたところ

5 テレビチャンネルボタン①～⑩/0で、地域番号「31」を入力する

- 左右カーソルボタンでも入力できます。

▶を押すと -- → 00 → 01……97 → 99 ← 98 ←

◀を押すと -- → 99 → 98……02 → 00 ← 01 ←

6 「開始」で(決定)を押す

- チャンネル設定が始まり、リモコン番号1～12に受信チャンネルが設定されます。

7 ◀▶で「設定する」を選び、(決定)を押す

- 設定されたチャンネルが記憶されました。

8 (テレビメニュー)を押し、通常画面に戻す

おしらせ

- 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。このときは、個別設定をしてください。

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

個別設定

■お客さまがお住まいの地域で受信できる放送を、リモコンのテレビチャンネルボタン(1～12)に、お好みの順で設定することができます。

扉を開けたところ

<例>テレビチャンネルボタン5(リモコン番号「5」)に「42」チャンネルを設定する

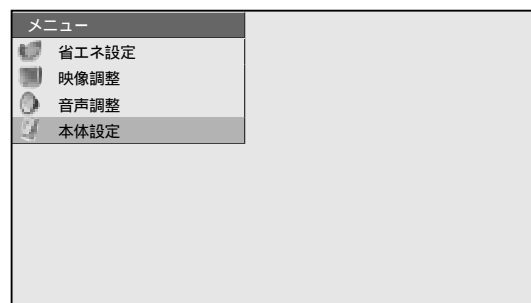
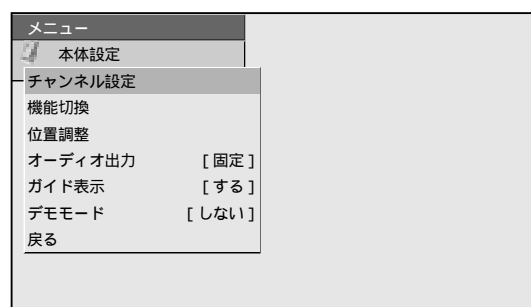
1

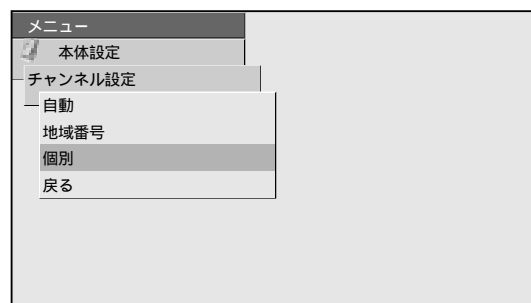
① 入力切換 でテレビにする

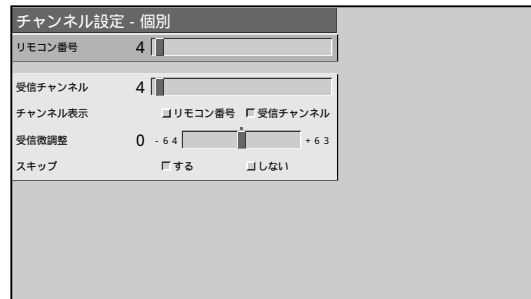
② テレビメニュー を押し、メニュー画面を表示する

2

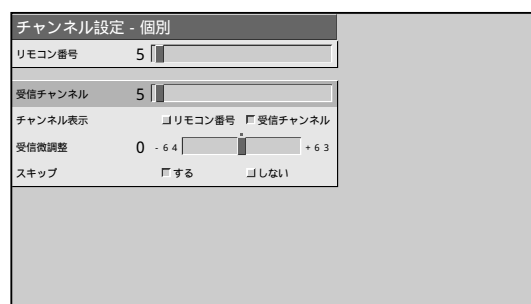
▲ ▼ で「本体設定」を選び、決定を押す

3

▲ ▼ で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

4

▲ ▼ で「個別」を選び、決定を押す

扉を開けたところ

5 ▲ ▼ で「リモコン番号」を選ぶ

6 ◀ ▶ でリモコン番号「5」を選ぶ

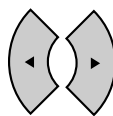
▶ を押すと 1 → 2……19 → 20 → C13 → C63 → C62……C14 →（1へ戻る）

◀ を押すと C63 → C62……C14 → C13 → 1 → 2……19 → 20 →（C63へ戻る）

7 ▲ ▼ で「受信チャンネル」を選ぶ

- 手順6でリモコン番号C13〜C63を選んだ場合は、「受信チャンネル」を選べません。

次ページへ

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

扉を開けたところ

8 ◀ ▶ で受信チャンネル「42」を選ぶ

 を押すと
→ 1 → 2……61 → 62 → C13 → C14……C62 ← C63 ←(ループ)
C63 ← C62……C14 ←

◀ を押すと
→ C63 → C62……C14 → C13
1 ← 2……61 ← 62 ←

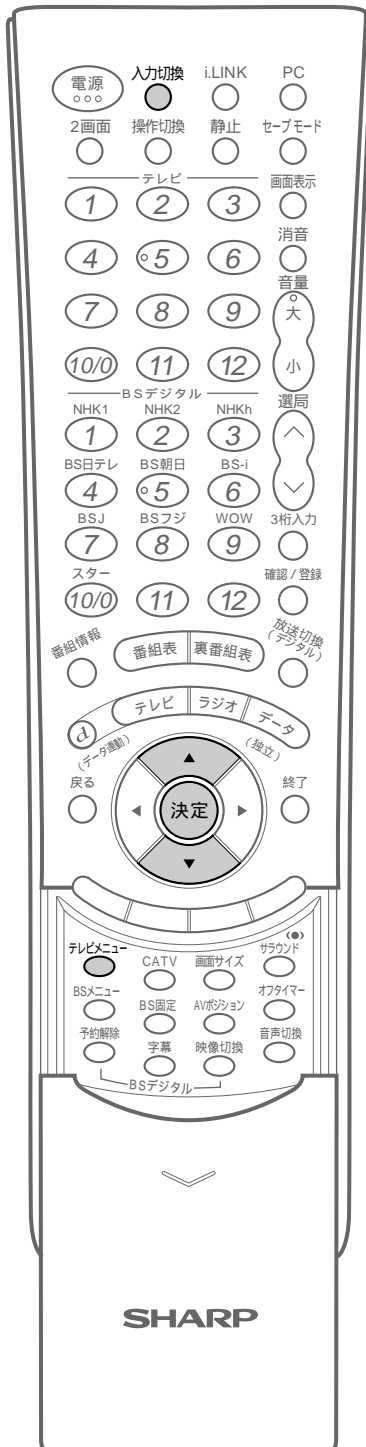
- **左または右カーソルボタンをしばらく押し続けると、受信できるチャンネルを自動的に探します。受信できないチャンネルは飛ばし、受信できるチャンネルが見つかると、そのチャンネルの映像が映り、停止します。**
- **チャンネルを飛ばしている途中で再度カーソルボタンを押すと、その時点で停止します。**

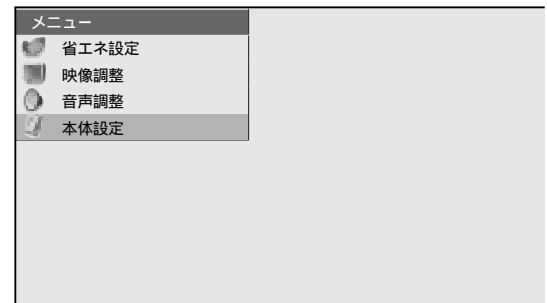
- **続けて他のチャンネルも設定したいときは、手順5〜8の操作をくり返します。**

9 テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

受信状態を微調整する

■受信状態によっては、調整を少しずらしたほうが見やすくなる場合があります。

扉を開けたところ

<例>テレビチャンネルボタン⑤（リモコン番号「5」）を微調整する

1

① 入力切換 でテレビにする

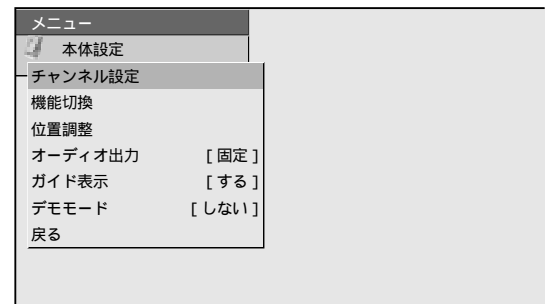
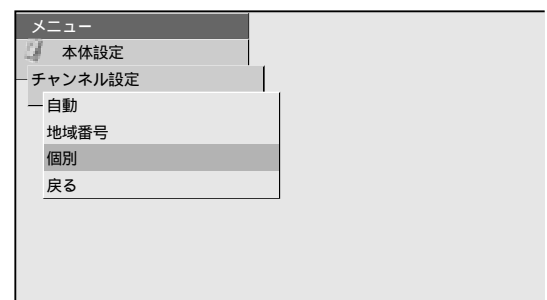
② テレビメニュー を押し、メニュー画面を表示する

2

▲ ▼ で「本体設定」を選び、決定を押す

3

▲ ▼ で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

4

▲ ▼ で「個別」を選び、決定を押す

次ページへ

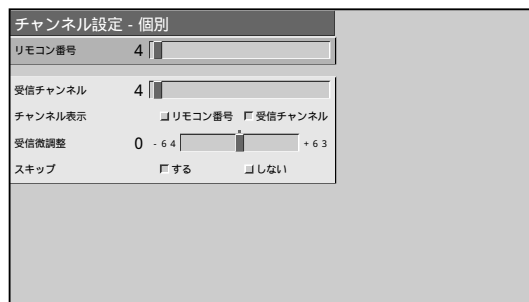
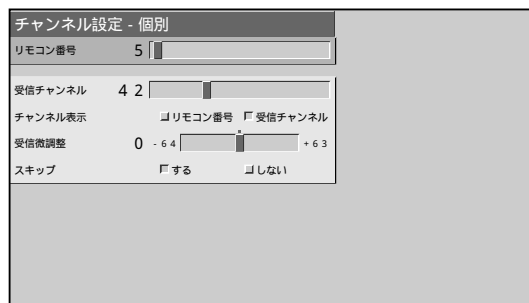
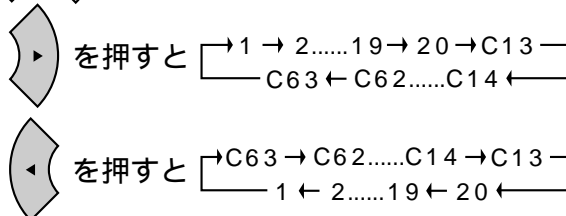
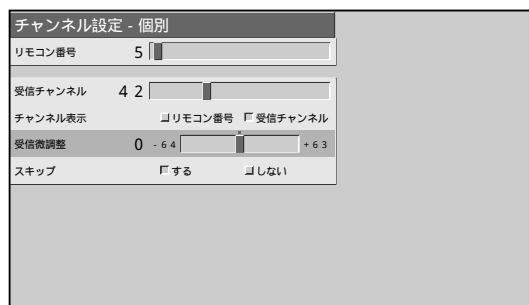
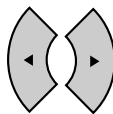
テレビのチャンネルを設定する(つづき)

扉を開けたところ

5 ▲ ▼ で「リモコン番号」を選ぶ

6 ◀ ▶ でリモコン番号「5」を選ぶ

▶ を押すと →1 → 2……19→ 20→C13→C63← C62……C14←

◀ を押すと →C63 → C62……C14 →C13→1 ← 2……19← 20←

7 ▲ ▼ で「受信微調整」を選ぶ

扉を開けたところ

8 ◀ ▶ で受信状態を微調整する

- －64～－1、0、＋1～＋63の範囲で調整できます。
- 背景となっている受信中の映像がもっともよく見える位置に調整してください。

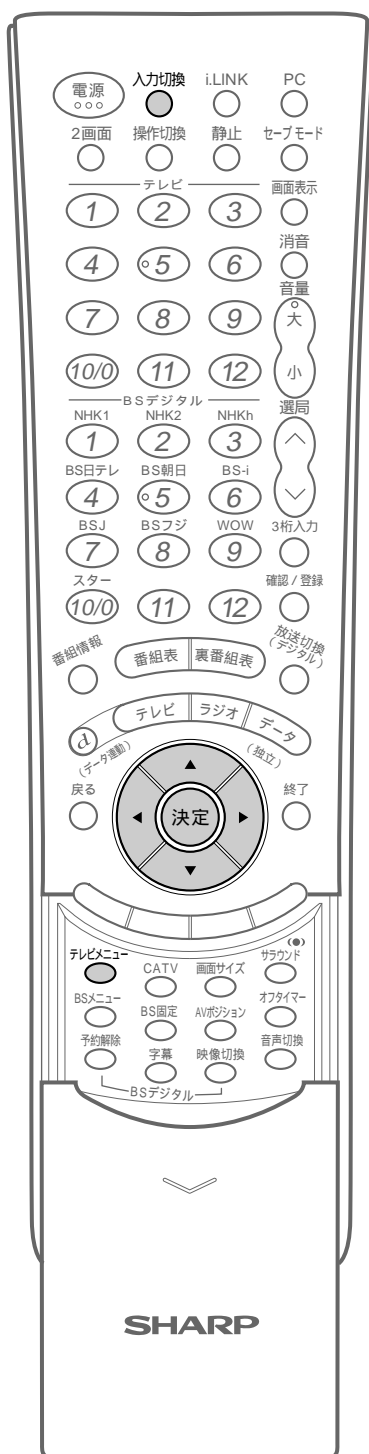
- 続けて他のチャンネルの受信微調整を行うときは、手順5～8の操作をくり返します。

9 テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

テレビのチャンネルを設定する（つづき）

画面のチャンネル表示を切り換える

■画面に表示されるチャンネル番号をリモコン番号にするか、受信チャンネル番号にするかの選択ができます。

扉を開けたところ

＜例＞テレビチャンネルボタン 5（リモコン番号「5」）のチャンネル表示「42」をリモコン番号「5」に切り換える

1

① 入力切換 でテレビにする

② テレビメニュー を押し、メニュー画面を表示する

2

▲ ▼ で「本体設定」を選び、決定 を押す

3

▲ ▼ で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す

4

▲ ▼ で「個別」を選び、決定 を押す

5 （▲）（▼）で「リモコン番号」を選ぶ

6

（▶）を押すと →1 → 2……19 → 20 → C13 → C14……C62 → C63 →（1に戻る）

（◀）を押すと →C63 → C62……C14 → C13 → 20 → 19……2 → 1 →（C63に戻る）

チャンネル設定ー個別
リモコン番号 5
受信チャンネル 42
チャンネル表示 リモコン番号 受信チャンネル
受信微調整 0 −64 +63
スキップ する しない

7 （▲）（▼）で「チャンネル表示」を選ぶ

8 （◀）（▶）で「リモコン番号」を選ぶ

チャンネル設定ー個別
リモコン番号 5
受信チャンネル 42
チャンネル表示 リモコン番号 受信チャンネル
受信微調整 0 −64 +63
スキップ する しない

- 続けて他のチャンネルボタンのチャンネル表示を変えたいときは、手順5〜8の操作をくり返します。

9 （テレビメニュー）を押し、通常画面に戻す

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

チャンネルスキップを設定する

■あらかじめチャンネルスキップを設定しておくと、選局ボタンで選局するとき、空きチャンネルを飛ばして選局することができます。

扉を開けたところ

<例>テレビチャンネル「2」をスキップ設定する

1

① (入力切換)でテレビにする

② (テレビメニュー)を押し、メニュー画面を表示する

2

(▲)(▼)で「本体設定」を選び、(決定)を押す

3

(▲)(▼)で「チャンネル設定」を選び、(決定)を押す

4

(▲)(▼)で「個別」を選び、(決定)を押す

5 ▲ ▼ で「リモコン番号」を選ぶ

6 ◀ ▶ でリモコン番号「2」を選ぶ

▶ を押すと →1 → 2……19 → 20 → C13 → C63 ← C62……C14 ←

◀ を押すと →C63 → C62……C14 → C13 → 1 ← 2……19 ← 20 ←

チャンネル設定ー個別
リモコン番号 2
受信チャンネル C38
チャンネル表示 リモコン番号 受信チャンネル
受信微調整 0 −64 +63
スキップ する しない

7 ▲ ▼ で「スキップ」を選ぶ

8 ◀ ▶ で「する」を選ぶ

- **続けて他のチャンネルをスキップ設定したいときは、手順5～8の操作をくり返します。**

9 テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

おしらせ

CATVチャンネルについて

- 工場出荷時の状態では、ＣＡＴＶチャンネル（C13～C63）はスキップ設定されています。
- CATV会社と受信契約し、CATV放送を視聴する場合は、必要なチャンネルのスキップ設定を「しない」にしてください。

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

地域番号早見表に該当する都市にお住まいの場合は、その都市の地域番号を入力してください。
該当する都市にお住まいでない場合は、もっとも近い都市の地域番号を入力してください。

地域番号早見表

五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号
あ	会津若松市	21	か	橿原市	65	せ	仙台市	13	ひ	東久留米市	30
	青森市	10		柏市	29	そ	草加市	27		東村山市	30
	明石市	63		春日井市	54	た	大東市	61		彦根市	59
	昭島市	30		春日部市	27		高岡市	40		日立市	23
	秋田市	15		勝田市	22		高崎市	25		日野市	30
	阿久根市	95		門真市	61		高槻市	61		姫路市	62
	上尾市	27		金沢市	41		高松市	78		枚方市	61
	朝霞市	27		鎌倉市	33		宝塚市	61		平塚市	34
	旭川市	02		刈谷市	54		立川市	30		弘前市	10
	足利市	27		川口市	27		多摩市	32		広島市	71
	厚木市	33		川越市	27	ち	茅ケ崎市	34	ふ	福井市	42
	網走市	01		川崎市	33		千葉市	29		福岡市	83
	我孫子市	29		河内長野市	61		調布市	30		福島市	19
	尼崎市	61		川西市	64	つ	津市	57		福山市	72
	安城市	54	き	木更津市	29		つくば市	29		藤枝市	53
い	飯田市	45		岸和田市	61		土浦市	29		藤沢市	33
	池田市	61		北九州市	84		鶴岡市	18		富士市	51
	生駒市	61		北見市	09	と	東京23区	30		富士宮市	51
	石巻市	14		岐阜市	47		徳島市	97		府中市(東京)	30
	和泉市	61		京都市1	60		徳山市	74		船橋市	29
	伊勢崎市	25		京都市2	98		所沢市	27	へ	別府市	91
	伊丹市	61		桐生市	26		鳥取市	67	ほ	防府市	74
	市川市	29	く	釧路市	04		苫小牧市	06	ま	前橋市	25
	一宮市	54		熊谷市	28		富山市	39		町田市	33
	市原市	29		熊本市	90		豊川市	55		松江市	68
	茨木市	61		倉敷市	70		豊田市	56		松阪市	57
	今治市	81		久留米市	85		豊中市	61		松戸市	29
	入間市	27		呉市	73		豊橋市	55		松原市	61
	いわき市	20	こ	高知市	82		富田林市	61		松本市	46
	岩国市	77		甲府市	43	な	長岡市	37		松山市	79
	岩槻市	27		神戸市	61		長崎市	88	み	三郷市	27
う	宇治市	60		郡山市	19		長野市	44		三島市	52
	宇都宮市	24		小金井市	30		流山市	29		三鷹市	30
	宇部市	76		越谷市	27		名古屋市	54		水戸市	22
	浦安市	29		小平市	30		那覇市	96		都城市	92
え	海老名市	33		小牧市	54		奈良市	65		宮崎市	92
	江別市	01		小松市	41		習志野市	29	む	武蔵野市	30
お	青梅市	30	さ	さいたま市	27	に	新潟市	37		室蘭市	08
	大分市	91		堺市	61		新座市	27	も	盛岡市	12
	大垣市	47		佐賀市	87		新居浜市	80		守口市	61
	大阪市	61		酒田市	18		西宮市	61	や	矢板市	31
	大館市	16		相模原市	33	ぬ	沼津市	52		焼津市	49
	大津市	58		佐倉市	29	ね	寝屋川市	61		八尾市	61
	大牟田市	86		佐世保市	89	の	野田市	29		八千代市	29
	岡崎市	54		札幌市	01		延岡市	93		八代市	90
	岡山市	70		座間市	33	は	函館市	03		山形市	17
	沖縄市	96		狭山市	27		秦野市	36		山口市	74
	小樽市	07	し	静岡市	49		八王子市	31		大和市	33
	小田原市	35		清水市	49		八戸市	11	よ	横須賀市	33
	帯広市	05		下関市	75		羽曳野市	61		横浜市	33
	小山市	27		上越市	38		浜田市	69		四日市市	57
か	各務原市	48	す	吹田市	61		浜松市	50		米子市	68
	加古川市	63		鈴鹿市	57		半田市	54	わ	和歌山市1	66
	鹿児島市	94	せ	瀬戸市	54	ひ	東大阪市	61		和歌山市2	99

おしらせ

- 工場出荷時は、地域番号「00」に設定されています。
- 地域番号を設定したときに、地域番号一覧表(**47〜50**ページ)に放送局名が記載されていない部分は、自動的にチャンネルスキップされます(地域番号「00」は除く)。
- 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。このときは、個別設定をしてください。

地域番号一覧表

■地域番号一覧表に記載されている空欄と(　)の付いている放送局は、スキップ「する」に設定されています。

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		リモコン番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			受信チャンネル											
			放送局名											
工場出荷設定		00	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌	01	1	2	3	17	5	6	27	8	35	10	11	12
			北海道放送		NHK総合	テレビ北海道	札幌テレビ		北海道文化放送		北海道テレビ			NHK教育
	旭川	02	1	2	33	37	39	6	7	8	9	10	11	12
				NHK教育	テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ		札幌テレビ		NHK総合		北海道放送	
	函館	03	21	27	35	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ	NHK総合		北海道放送				NHK教育		札幌テレビ
	釧路	04	1	2	39	41	5	6	7	8	9	10	11	12
				NHK教育	北海道テレビ	北海道文化放送			札幌テレビ		NHK総合		北海道放送	
	帯広	05	32	2	34	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			北海道文化放送		北海道テレビ	NHK総合		北海道放送				札幌テレビ		NHK教育
	苫小牧	06	47	49	51	53	55	57	61	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	NHK教育	NHK総合	北海道文化放送	北海道放送	札幌テレビ	北海道テレビ					
	小樽	07	24	2	26	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	NHK教育	北海道文化放送	北海道テレビ			札幌テレビ		北海道放送		NHK総合	
	室蘭	08	1	2	29	37	39	6	7	8	9	10	11	12
				NHK教育	テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ		札幌テレビ		NHK総合		北海道放送	
	北見	09	1	2	3	4	59	61	7	8	9	10	53	12
				NHK教育			北海道文化放送	北海道テレビ	札幌テレビ		NHK総合		北海道放送	
青森	青森	10	1	2	3	4	5	6	38	8	34	10	11	12
			青森放送テレビ		NHK総合		NHK教育		青森テレビ		青森朝日放送			
	八戸	11	1	2	33	4	31	6	7	8	9	10	11	12
					青森テレビ		青森朝日放送		NHK教育		NHK総合		青森放送テレビ	
岩手	盛岡	12	1	2	3	4	5	6	7	8	31	35	11	33
						NHK総合		IBCテレビ		NHK教育	岩手朝日テレビ	テレビ岩手		めんこいテレビ
宮城	仙台	13	1	2	3	4	5	6	32	8	34	10	11	12
			東北放送		NHK総合		NHK教育		東日本放送		宮城テレビ			仙台放送
	石巻	14	59	2	51	4	49	6	61	8	55	10	11	57
			東北放送		NHK総合		NHK教育		東日本放送		宮城テレビ			仙台放送
秋田	秋田	15	1	2	3	4	5	6	7	8	9	31	11	37
				NHK教育							NHK総合	秋田朝日放送	秋田放送テレビ	秋田テレビ
	大館	16	1	2	3	4	5	6	7	8	9	59	11	57
				(NHK教育)		(NHK総合)		(秋田放送テレビ)		NHK教育	NHK総合	秋田朝日放送	秋田放送テレビ	秋田テレビ
山形	山形	17	1	2	3	4	5	36	30	8	9	10	11	38
						NHK教育		テレビュー山形	さくらんぼテレビ	NHK総合		山形放送		山形テレビ
	鶴岡	18	1	2	3	4	5	6	7	39	9	22	11	24
			山形放送		NHK総合			NHK教育		山形テレビ		テレビュー山形		さくらんぼテレビ
福島	福島	19	1	2	31	4	33	6	35	8	9	10	11	12
				NHK教育	テレビュー福島		福島中央テレビ		福島放送		NHK総合		福島テレビ	
	いわき	20	1	62	3	4	5	58	7	8	9	10	11	60
				テレビュー福島		NHK総合		福島中央テレビ		福島テレビ		NHK教育		福島放送
	会津若松	21	1	2	3	4	5	6	7	47	9	37	11	41
			NHK総合		NHK教育			福島テレビ		テレビュー福島		福島中央テレビ		福島放送
茨城	水戸	22	44	2	46	42	5	40	7	38	9	36	11	32
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ		TBSテレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
	日立	23	52	2	50	54	5	56	7	58	9	60	11	62
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ		TBSテレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
栃木	宇都宮	24	29	2	27	25	5	23	7	21	31	19	11	17
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ		TBSテレビ		フジテレビ	とちぎテレビ	テレビ朝日		テレビ東京

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名											
群馬	前橋	25	52	2	50	54	40	56	7	58	9	60	48	62
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ	放送大学	TBSテレビ		フジテレビ		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
	桐生	26	43	2	45	39	40	37	7	35	9	33	41	31
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ	放送大学	TBSテレビ		フジテレビ		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
埼玉	さいたま	27	1	2	3	4	16	6	7	8	38	10	11	12
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ	放送大学	TBSテレビ		フジテレビ	テレビ埼玉	テレビ朝日		テレビ東京
	熊谷	28	33	2	35	25	5	23	16	21	28	19	11	17
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ		TBSテレビ	放送大学	フジテレビ	テレビ埼玉	テレビ朝日		テレビ東京
千葉	千葉	29	1	2	3	4	16	6	7	8	42	10	46	12
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ	放送大学	TBSテレビ		フジテレビ	テレビ神奈川	テレビ朝日	千葉テレビ	テレビ東京
東京	23区	30	1	2	3	4	14	6	38	8	42	10	46	12
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ	東京メトロポリタン	TBSテレビ	テレビ埼玉	フジテレビ	テレビ神奈川	テレビ朝日	千葉テレビ	テレビ東京
	八王子	31	51	2	49	53	47	55	7	57	9	59	11	61
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ	東京メトロポリタン	TBSテレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
	多摩	32	30	2	32	26	28	24	7	22	9	20	11	18
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ	東京メトロポリタン	TBSテレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
神奈川	横浜	33	1	2	3	4	16	6	7	8	42	10	11	12
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ	放送大学	TBSテレビ		フジテレビ	テレビ神奈川	テレビ朝日		テレビ東京
	茅ヶ崎	34	33	2	29	35	5	37	7	39	31	41	11	43
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ		TBSテレビ		フジテレビ	テレビ神奈川	テレビ朝日		テレビ東京
	小田原	35	52	2	50	54	5	56	7	58	46	60	11	62
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ		TBSテレビ		フジテレビ	テレビ神奈川	テレビ朝日		テレビ東京
	秦野	36	47	2	49	51	5	53	7	55	61	57	11	59
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ		TBSテレビ		フジテレビ	テレビ神奈川	テレビ朝日		テレビ東京
新潟	新潟	37	21	2	29	4	5	6	7	8	9	35	11	12
			新潟テレビ21		テレビ新潟		新潟放送			NHK総合		新潟総合テレビ		NHK教育
	上越	38	1	2	3	4	5	37	7	27	9	10	11	33
			NHK教育		NHK総合			新潟テレビ21		テレビ新潟		新潟放送		新潟総合テレビ
富山	富山	39	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	32	34
			北日本テレビ		NHK総合							NHK教育	チューリップ	富山テレビ
	高岡	40	50	2	48	4	5	6	7	8	9	46	42	44
			北日本テレビ		NHK総合							NHK教育	チューリップ	富山テレビ
石川	金沢	41	1	2	3	4	5	6	25	8	9	33	11	37
						NHK総合		MROテレビ	北陸朝日放送	NHK教育		テレビ金沢		石川テレビ
福井	福井	42	39	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			福井テレビ		NHK教育			MROテレビ			NHK総合		FBCテレビ	
山梨	甲府	43	1	2	3	4	5	6	37	8	9	10	11	12
			NHK総合		NHK教育		山梨放送		テレビ山梨					
長野	長野	44	1	44	50	4	40	6	42	8	46	10	48	12
				NHK総合	長野朝日放送		テレビ信州		長野放送		NHK教育		信越放送	
	飯田	45	44	2	3	4	5	6	7	42	9	40	11	12
			長野朝日放送		NHK教育	NHK総合		信越放送		テレビ信州		長野放送		
	松本	46	1	44	50	4	48	6	42	8	46	10	40	12
				NHK総合	長野朝日放送		テレビ信州		長野放送		NHK教育		信越放送	
岐阜	岐阜	47	1	2	3	4	5	6	35	8	9	10	11	37
			東海テレビ		NHK総合		CBCテレビ		中京テレビ		NHK教育		名古屋テレビ	岐阜放送
	各務原	48	1	2	3	4	5	6	35	8	9	10	11	28
			東海テレビ		NHK総合		CBCテレビ		中京テレビ		NHK教育		名古屋テレビ	岐阜放送
静岡	静岡	49	1	2	31	4	33	6	35	8	9	10	11	12
				NHK教育	静岡第1テレビ		静岡朝日テレビ		テレビ静岡		NHK総合		静岡放送	
	浜松	50	1	30	3	4	5	6	7	8	9	28	11	34
				静岡第1テレビ		NHK総合		静岡放送		NHK教育		静岡朝日テレビ		テレビ静岡
	富士	51	1	54	27	4	29	6	39	8	52	10	41	12
				NHK教育	静岡第1テレビ		静岡朝日テレビ		テレビ静岡		NHK総合		静岡放送	

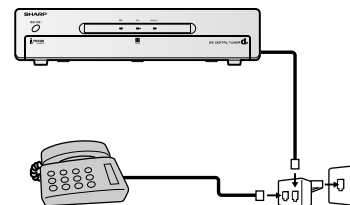
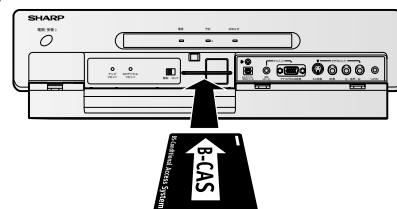
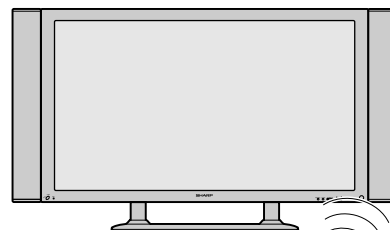
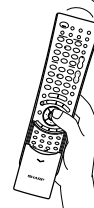
	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名											
静岡	沼津	52	1	51 NHK教育	61 静岡第1テレビ	4	57 静岡朝日テレビ	6	59 テレビ静岡	8	53 NHK総合	10	55 静岡放送	12
	藤枝	53	1	44 NHK教育	24 静岡第1テレビ	4	26 静岡朝日テレビ	6	38 テレビ静岡	8	42 NHK総合	10	40 静岡放送	12
愛知	名古屋	54	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	10	11 名古屋テレビ	25 テレビ愛知
	豊橋	55	56 東海テレビ	2	54 NHK総合	4	62 CBCテレビ	6	58 中京テレビ	8	50 NHK教育	10	60 名古屋テレビ	52 テレビ愛知
	豊田	56	57 東海テレビ	2	53 NHK総合	4	55 CBCテレビ	6	59 中京テレビ	8	51 NHK教育	10	61 名古屋テレビ	49 テレビ愛知
三重	津	57	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	33 三重テレビ	11 名古屋テレビ	25 テレビ愛知
滋賀	大津	58	1	28 NHK総合	3	36 毎日テレビ	5	38 ABCテレビ	7	40 関西テレビ	9	42 読売テレビ	30 びわ湖放送	46 NHK教育
	彦根	59	1	52 NHK総合	3	54 毎日テレビ	56 びわ湖放送	58 ABCテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	50 NHK教育
京都	京都1	60	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	26 奈良テレビ	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
	京都2	98	32 NHK京都	2 NHK総合	34 京都テレビ	4 毎日テレビ	21 テレビ大阪	6 ABCテレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
大阪	大阪	61	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 NHK教育
兵庫	神戸	61	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 NHK教育
	姫路	62	1	50 NHK総合	56 サンテレビ	54 毎日テレビ	5	58 ABCテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	52 NHK教育
	明石	63	1	51 NHK総合	55 サンテレビ	53 毎日テレビ	19 テレビ大阪	57 ABCテレビ	7	59 関西テレビ	9	61 読売テレビ	30 テレビ和歌山	49 NHK教育
	川西	64	1	29 NHK総合	33 サンテレビ	35 毎日テレビ	5	37 ABCテレビ	7	39 関西テレビ	9	41 読売テレビ	11	31 NHK教育
奈良	奈良	65	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	62 奈良テレビ	8 関西テレビ	55 (奈良テレビ)	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
和歌山	和歌山1	66	1	32 NHK総合	3	42 毎日テレビ	5	44 ABCテレビ	7	46 関西テレビ	9	48 読売テレビ	30 テレビ和歌山	26 NHK教育
	和歌山2	99	1	50 NHK総合	3	54 毎日テレビ	5	58 ABCテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	56 テレビ和歌山	52 NHK教育
鳥取	鳥取	67	1 日本海テレビ	2	3 NHK総合	4 NHK教育	5	6	7	24 山陰中央テレビ	9	22 BSSテレビ	11	12
島根	松江	68	30 日本海テレビ	2	34 山陰中央テレビ	4	5	6 NHK総合	7	8	9	10 BSSテレビ	11	12 NHK教育
	浜田	69	1	2 NHK総合	54 日本海テレビ	4	5 BSSテレビ	6	7	58 山陰中央テレビ	9 NHK教育	10	11	12
岡山	岡山	70	23 テレビせとうち	2	3 NHK教育	4	5 NHK総合	25 瀬戸内海テレビ	35 OHKテレビ	8	9 西日本放送	10	11 山陽放送	12
広島	広島	71	31 テレビ新広島	2	3 NHK総合	4 RCCテレビ	5	6	7 NHK教育	8	9	35 広島ホームテレビ	11	12 広島テレビ
	福山	72	1 NHK総合	2	24 広島ホームテレビ	4	26 テレビ新広島	6	7 NHK教育	8	9	10 RCCテレビ	11	12 広島テレビ
	呉	73	1 NHK教育	2	24 広島ホームテレビ	4	5 広島テレビ	6	26 テレビ新広島	8	9 RCCテレビ	10	11 NHK総合	12
山口	山口	74	1 NHK教育	2	3	4	52 山口朝日放送	6	38 テレビ山口	8	9 NHK総合	10	11 山口テレビ	12
	下関	75	41 NHK教育	2 九州朝日放送	23 TXN九州	4 山口テレビ	21 山口朝日放送	6 (NHK総合)	33 テレビ山口	8 RKB毎日放送	39 NHK総合	10 テレビ西日本	35 福岡放送	12 (NHK総合)

テレビのチャンネルを設定する（つづき）

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名											
山口	宇部	76	14	2	3	4	31	6	20	8	16	10	18	12
			NHK教育	九州朝日放送			山口朝日放送	(NHK総合)	テレビ山口	RKB毎日放送	NHK総合	テレビ西日本	山口テレビ	
	岩国	77	1	2	3	4	22	6	28	8	9	10	11	12
			NHK教育			RCCテレビ	テレビ山口		山口朝日放送		NHK総合	南海テレビ	山口テレビ	広島テレビ
徳島	徳島	97	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			四国テレビ		NHK総合	毎日テレビ		ABCテレビ		関西テレビ		読売テレビ		NHK教育
香川	高松	78	33	2	39	4	37	6	31	8	41	10	29	19
			瀬戸内海テレビ		NHK教育		NHK総合		OHKテレビ		西日本放送		山陽放送	テレビせとうち
愛媛	松山	79	1	2	3	29	25	6	7	37	9	10	11	35
				NHK教育		あいテレビ	愛媛朝日テレビ	NHK総合		テレビ愛媛		南海テレビ		広島ホームテレビ
	新居浜	80	1	2	3	4	14	6	7	36	9	10	27	12
				NHK総合		NHK教育	愛媛朝日テレビ	南海テレビ		テレビ愛媛			あいテレビ	
	今治	81	1	30	3	27	14	32	7	36	9	34	11	38
				NHK教育		あいテレビ	愛媛朝日テレビ	NHK総合		テレビ愛媛		南海テレビ		広島ホームテレビ
高知	高知	82	1	2	3	4	5	6	7	8	9	38	11	40
						NHK総合		NHK教育		高知放送		テレビ高知		高知さんさんテレビ
福岡	福岡	83	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	19	37
			九州朝日放送		NHK総合	RKB毎日放送		NHK教育			テレビ西日本		TXN九州	福岡放送
	北九州	84	1	2	23	35	5	6	7	8	9	10	11	12
				九州朝日放送	TXN九州	福岡放送		NHK総合		RKB毎日放送		テレビ西日本		NHK教育
	久留米	85	57	2	46	48	5	54	7	8	60	10	14	52
			九州朝日放送		NHK総合	RKB毎日放送		NHK教育			テレビ西日本		TXN九州	福岡放送
	大牟田	86	58	19	53	61	5	50	7	8	55	10	43	12
			九州朝日放送	TXN九州	NHK総合	RKB毎日放送		NHK教育			テレビ西日本		福岡放送	
佐賀	佐賀	87	19	36	40	38	48	52	57	60	9	10	11	12
			TXN九州	サガテレビ	NHK教育	NHK総合	RKB毎日放送	福岡放送	九州朝日放送	テレビ西日本	(NHK総合)		熊本放送	
長崎	長崎	88	1	2	3	4	5	6	37	8	27	10	25	12
			NHK教育		NHK総合		長崎放送		テレビ長崎		長崎文化放送		長崎国際テレビ	
	佐世保	89	1	2	3	17	5	31	7	8	9	10	11	35
				NHK教育		長崎国際テレビ		長崎文化放送		NHK総合		長崎放送		テレビ長崎
熊本	熊本	90	1	2	16	4	22	6	34	8	9	10	11	12
				NHK教育	熊本朝日放送		熊本県民テレビ		テレビ熊本		NHK総合		熊本放送	
大分	大分	91	1	2	3	34	5	6	36	32	24	10	11	12
			(NHK教育)		NHK総合	あいテレビ	大分テレビ	(NHK総合)	テレビ大分	テレビ愛媛	大分朝日放送	南海テレビ		NHK教育
宮崎	宮崎	92	1	2	3	4	5	35	7	8	9	10	11	12
								テレビ宮崎		NHK総合		宮崎放送		NHK教育
	延岡	93	1	2	3	4	5	6	7	39	9	10	11	12
				NHK教育		NHK総合		宮崎放送		テレビ宮崎				
鹿児島	鹿児島	94	1	2	3	4	5	6	32	8	38	10	30	12
			南日本放送		NHK総合		NHK教育		鹿児島放送		鹿児島テレビ		鹿児島読売テレビ	
	阿久根	95	1	30	3	23	5	35	7	8	9	10	11	12
				鹿児島読売テレビ		鹿児島放送		鹿児島テレビ		NHK総合		南日本放送		NHK教育
沖縄	那覇	96	1	2	3	4	5	6	7	8	28	10	11	12
				NHK総合						沖縄テレビ	琉球朝日放送	琉球放送テレビ		NHK教育

- 地域番号別に設定された受信チャンネルと放送局名は、当社の調査によるものです（2001年10月現在）。

BSデジタル放送を視聴するための準備

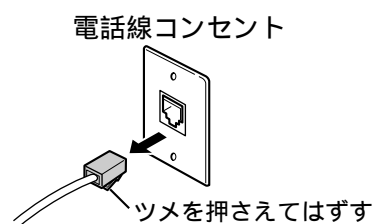
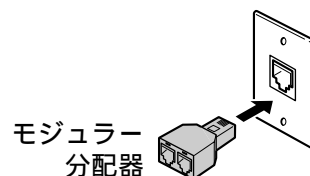
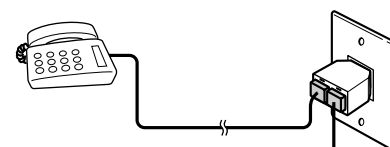
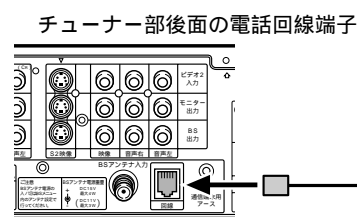
設置と初期設定の大まかな手順はつぎのとおりです。

1 電話回線に接続する ………52ページ
2 ICカードを入れる ………55ページ
3 受信契約をする ………56ページ
4 電話回線を設定する ………57ページ
5 地域と郵便番号を設定する ………61ページ

以上で設置と準備は終わりです。

BSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

電話回線に接続する（54ページも併せてご覧ください。）

■本機のチューナー部は、視聴記録データの自動送信など放送局との通信のため、モデムを内蔵しています。ご使用の前に必ず電話回線に接続してください。

1 **本機と電話機の電源を切る**

2 **電話機の接続線（モジュラー線）を電話線コンセントからはずす**

3 **付属のモジュラー分配器を電話線コンセントに差し込む**

4 **電話機の接続線（モジュラー線）をモジュラー分配器の一方に差し込む**

5 **付属の電話線でモジュラー分配器のもう一方とチューナー部後面の電話回線端子を接続する**

接続上のご注意

- 電話線のプラグは奥まで完全に差し込んでください。
- 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため、電源を切ってください。
- 電話線のプラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。

つぎの電話回線では注意が必要です。

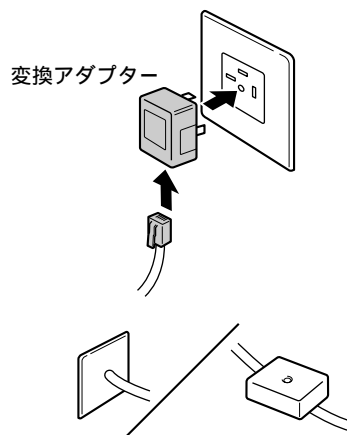
■電話回線がモジュラージャックでない場合の接続

・**3ピンプラグの場合**

市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。

・**直結配線方式の場合**

簡単な工事が必要です。

詳細はお近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。

■構内電話(ビジネスホン/ホームテレホン)では

そのままでご利用になれないこともあります。その場合は単独の回線でのご利用をおすすめします。

詳細は電話設置会社にご相談ください。

■キャッチホンでは

通信の途中でキャッチホンが入ると通信が切断されます。これを防ぐため、キャッチホンⅡへのご加入をおすすめします。

詳細はNTT営業窓口へお問い合わせください。

■視聴記録データの自動送信中は電話機を使用しないでください。

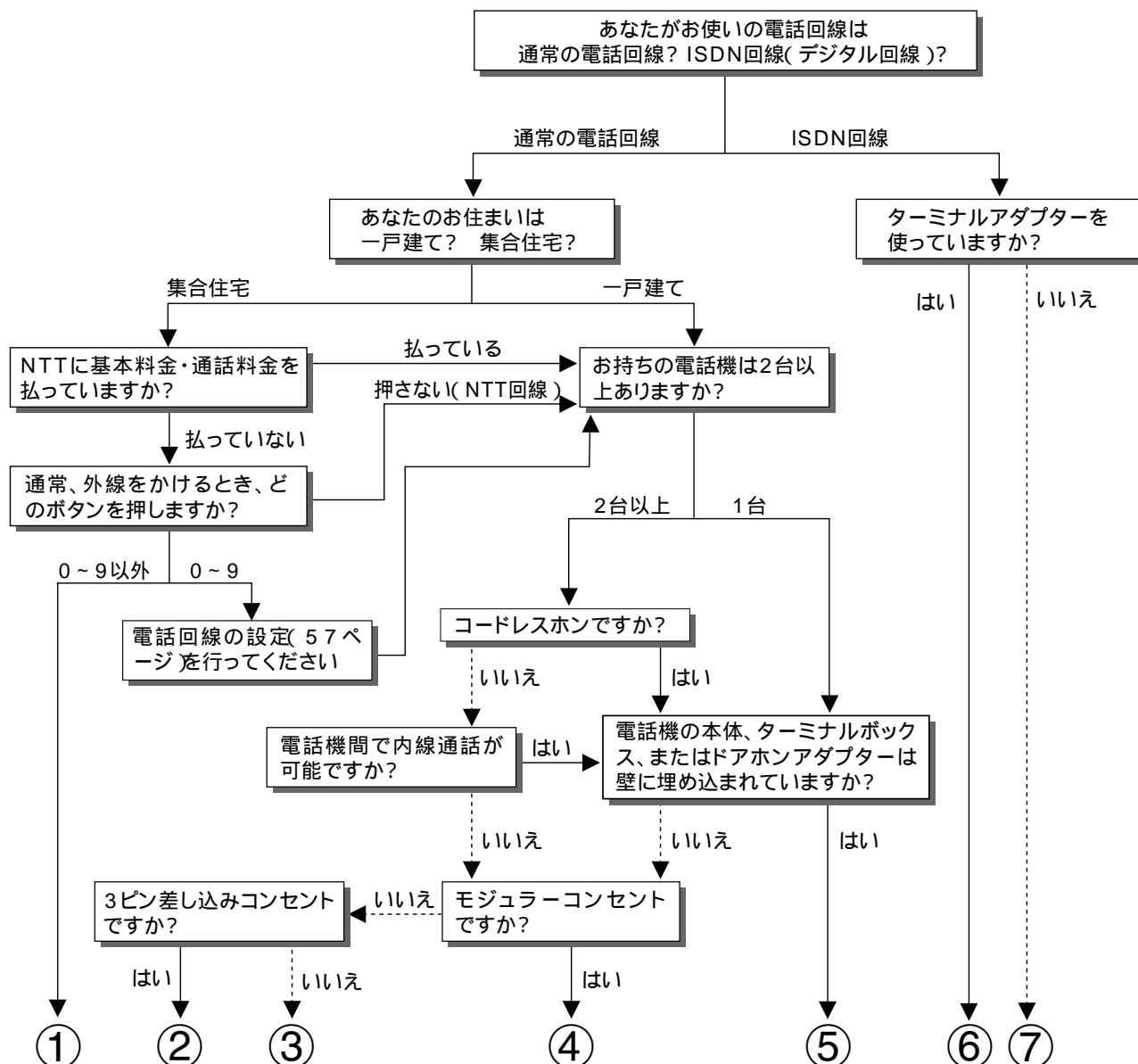
視聴記録データの自動送信中に電話をかけると、通信が切断されることがあります。通信中はデータ通信音(ピーヒョロヒョロ....)が聞こえます。その間は電話をしないでください。

■直接デジタル回線に接続することはできません。

会社やホテルなどでご使用になる場合は、電話回線が一般回線(アナログ)であることをご確認のうえご利用ください。ISDNなどのデジタル回線に接続する場合は、ターミナルアダプター(TA)等の端末器を介して接続してください。

●本機が放送局と通信しているとき、接続している電話機やファクシミリが鳴る場合がありますが、異常ではありません。

BSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

下のチャートで電話回線の状態を確認した後、接続してください。
また、詳細はNTTへお問い合わせください。

①マンション交換機（PBX）を使用している可能性が大きいので、交換機を通さない電話回線につないでください。
②市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。
③専門業者によるモジュラーコンセントへの変換工事が必要です。
④付属の電話線とモジュラー分配器のみで接続可能です。（**52**ページ参照）
⑤専門業者による分岐工事が必要です。
⑥本機をターミナルアダプターに直接つないでください。
⑦ターミナルアダプター（市販品）を使用し、本機をターミナルアダプターに直接つないでください。詳しくは、お使いのターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。

※ ③、⑤についての詳細は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください

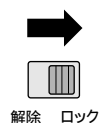
BSデジタル放送では、ICカード(B-CASカード)を利用した限定受信システム(=CAS)(**56**ページ)を採用しています。
付属のICカード番号登録用はがきを送り、ICカードの番号を登録することで受信者登録が行われます。また、WOWOWなどの有料サービスを受けるには、個別の受信契約が必要となります。
ICカード(B-CASカード)は、必ず登録してください。(登録は無料です。)

ICカード(B-CASカード)を入れる

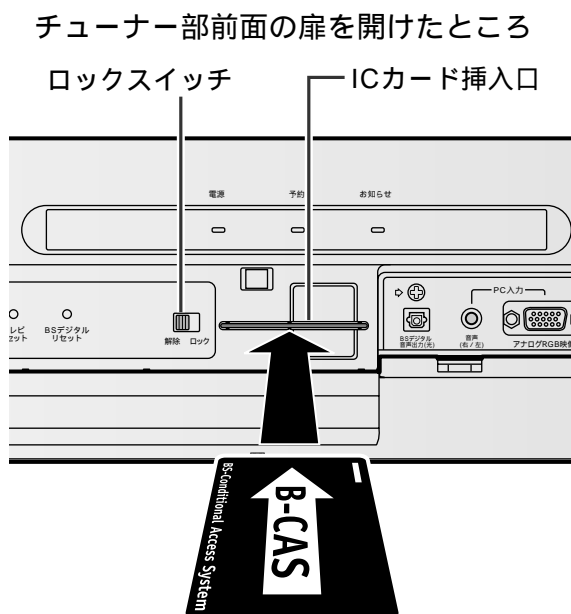
IC カードの入れかた

本機に付属のB-CASカードは、本機を電源コンセントに接続しない状態で、つぎの手順にしたがって挿入してください。

① ICカードを表面の矢印の方向に差し込む。(奥まで確実に挿入してください。)

② ロックスイッチを右にスライドさせ、「ロック」位置に合わせる。

カード挿入後、必ずロックしてください。
ロックしないとICカードは働きません。

③ 前面扉を閉める。

▼チューナー部前面の扉を開けたところ

ICカードについて

- ICカードには視聴情報などが記憶されますので、チューナー部に入れたままご使用ください。
- ICカードを入れていないと有料番組がご覧になれません。
- ICカードは大切に保管してください。仮に他人があなたのICカードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。
- 破損等によりICカードの再発行を依頼される場合は費用が必要となります。(2001年10月現在)
  詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターまでご連絡ください。
  (カスタマーセンターの連絡先は、ICカード[B-CASカード]に記載されています。)

ご注意

ICカード(B-CASカード)取扱い上のご注意

- ICカードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
- ICカードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- ICカードの金属部(集積回路)には手を触れないでください。
- ICカードを分解、加工しないでください。
- ICカードは上記の手順どおり、チューナー部前面扉内のICカード挿入口に正しく差し込んでください。
- ICカード挿入口には、本機に付属しているICカード以外のものを挿入しないでください。
- 本機ご使用中は、ICカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。万一、ICカードを抜く必要がある場合は、本機の電源を一度切り、本機を電源コンセントに接続しない状態で、ロックスイッチを左にスライドさせてロックを解除した後、ゆっくりと抜いてください。
  ICカードにはIC(集積回路)が組み込まれているため、画面にICカード(B-CASカード)に関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差ししないでください。

BSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

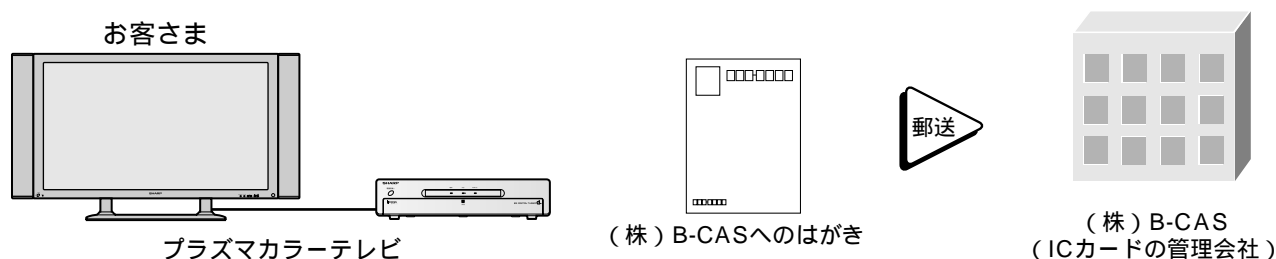
CAS(限定受信システム)について

■有料放送を視聴するには、有料放送を行う放送局(放送事業者)と契約をしたお客さまのみ(限定して)番組の視聴ができる手続きが必要になります。
このような手続きを行うしくみを「CAS(限定受信システム)」と呼びます。

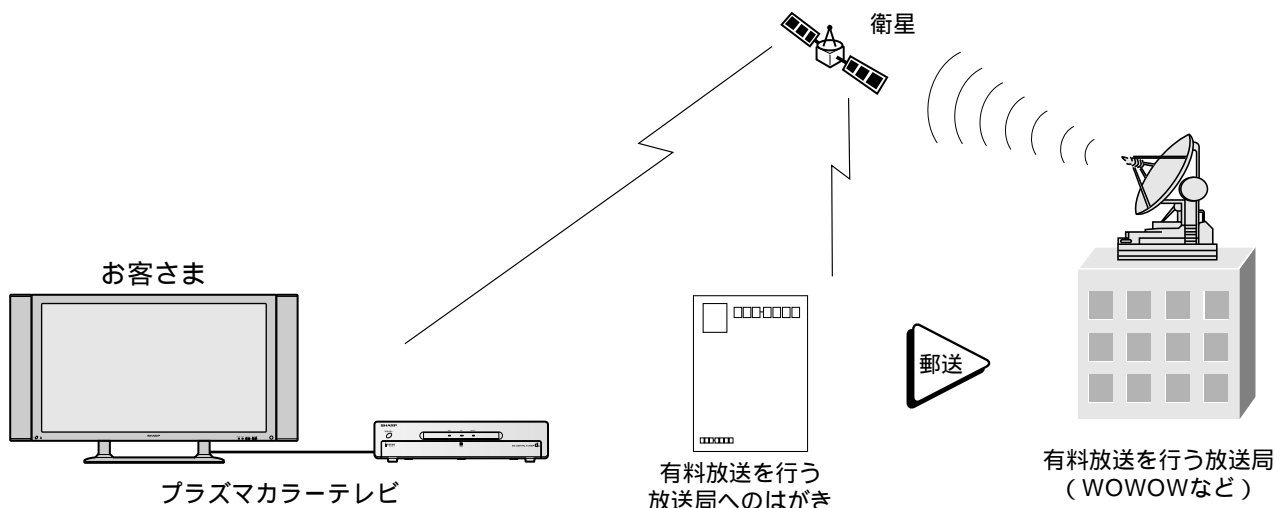
有料放送を視聴するための手続き

■有料放送を視聴するには、つぎの2つの手続きを行うことが必要です。

①(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにICカードの登録をする

((株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して(株)B-CASと呼びます。)
ICカードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入の上、投函してください。
詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。

②視聴したい放送局に申し込む

お客さまが視聴したい番組を放送している放送局の契約申込書に必要事項をご記入の上、投函してください。
詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

おしらせ

● 本機は、契約データの受信のために、電源スタンバイ状態のときでも動作することがあります。

電話回線を設定する（通信設定）

扉を開けたところ

1

① BSデジタル放送を受信する

② BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

③ で「システム設定」を選ぶ

④ で「通信設定」を選び、決定を押す

2

電話回線が接続されていることを確認する

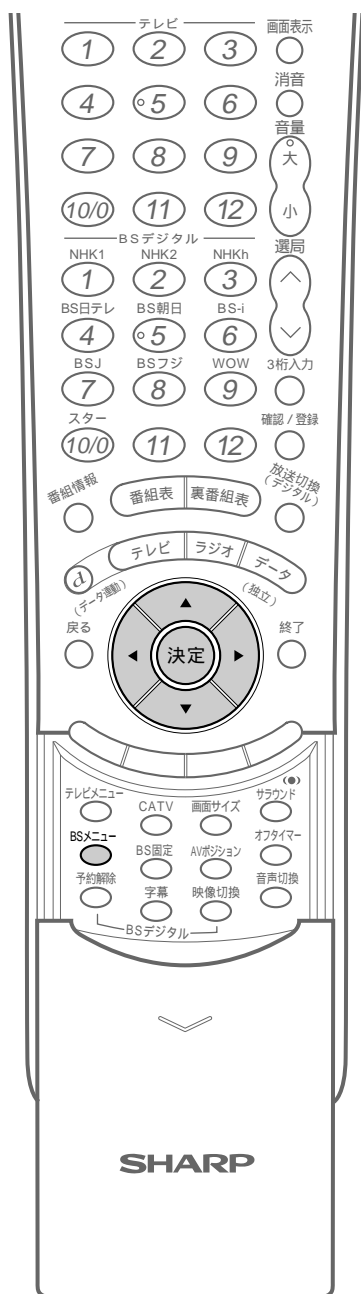
3

①「電話回線設定・自動」で決定を押す

②「テスト実行」で決定を押す

- 「テスト実行中」が表示されます。

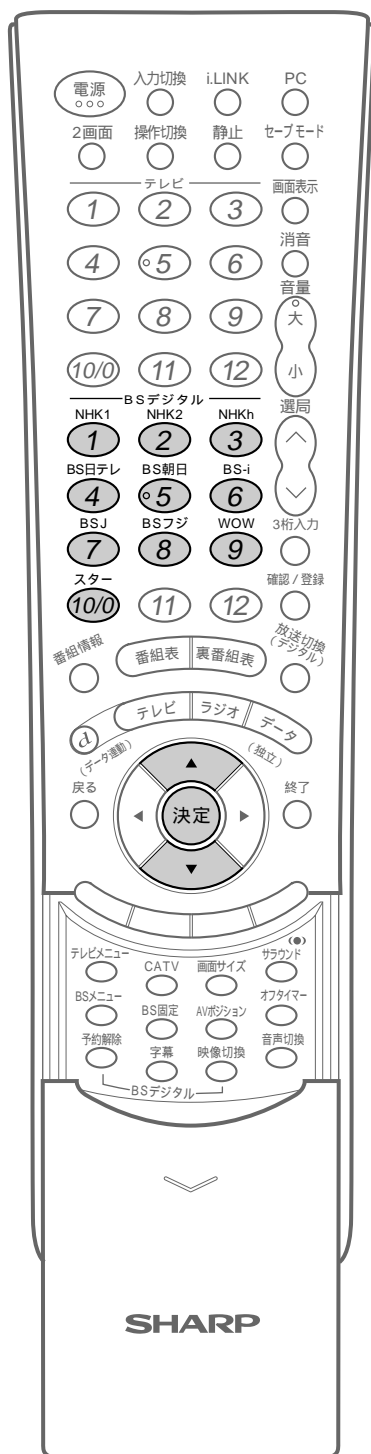
- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 2回以上連続して電話回線の設定確認ができなかった場合は、自動的に外線発信番号の設定画面に切り換わります。☞ 58ページ

おしらせ

- 電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。

BSメニュー画面について

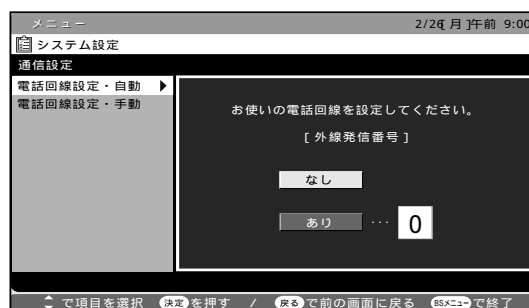
- BSメニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

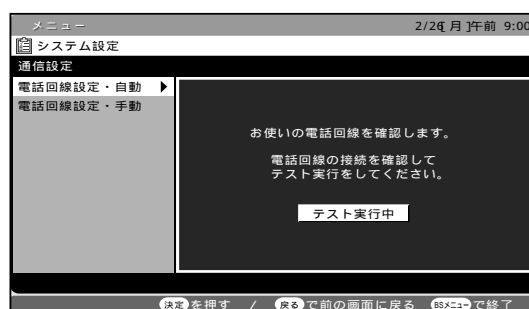
BSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

電話回線の自動判定が2回以上連続してできなかった場合は、下の画面が表示されますので、再設定してください。

扉を開けたところ

外線発信番号の設定

1 ▲ ▼ で外線発信番号「なし」または「あり」を選び、決定を押す

「なし」……外線交換機を使用しない場合
(通常の一般家庭)
「あり」……電話交換機などをご使用の場合

- **「あり」を選んだ場合は、外線発信番号(0～9)を右のボックスにBSチャンネルボタンで入力してから決定ボタンを押します。**

2 「テスト実行」で決定を押す

- **「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。**
- **電話回線の設定確認ができなかった場合は、手順1に戻ります。**

どうしても自動で電話回線の設定ができない場合は、59ページ「手動による電話回線設定」の手順にしたがってください。

- 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

どうしても自動で電話回線設定ができない場合は、つぎの手順により、手動で設定することができます。

扉を開けたところ

手動による電話回線設定

1

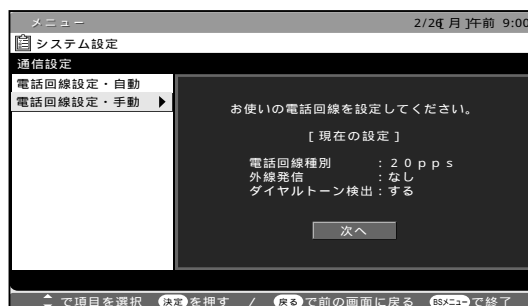
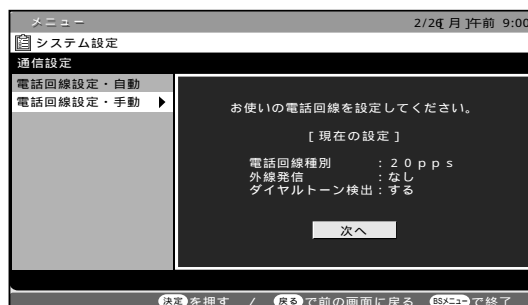
① 57ページ手順1を行う

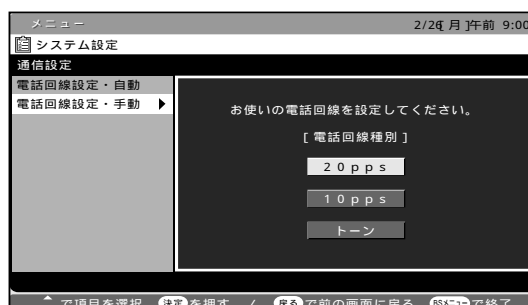
② ▼で「電話回線設定・手動」を選び、決定を押す

2

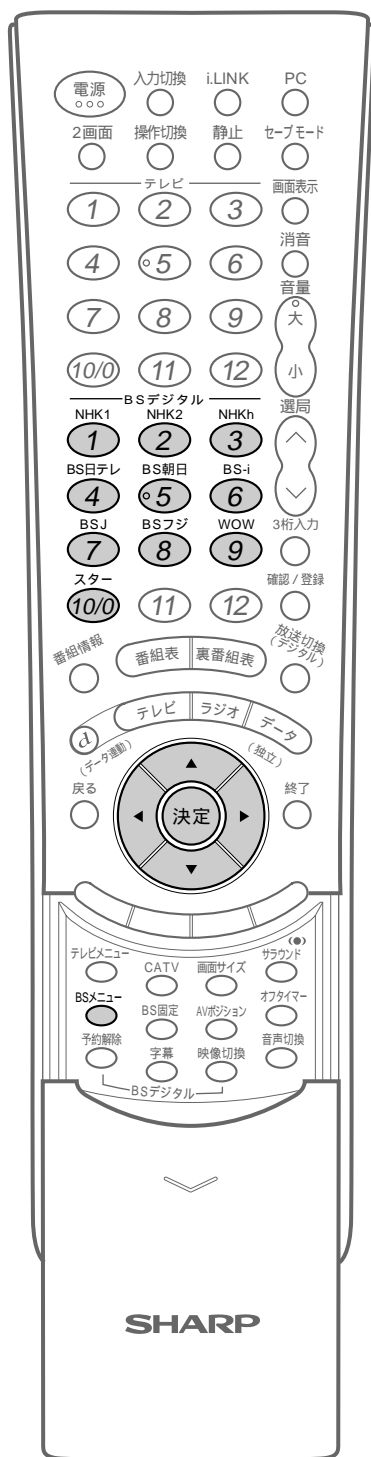
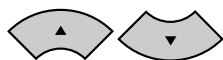
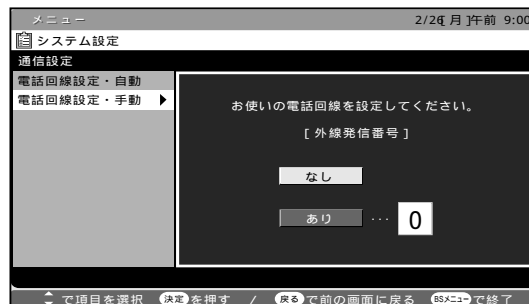
①「現在の設定」を確認する

②「次へ」で決定を押す

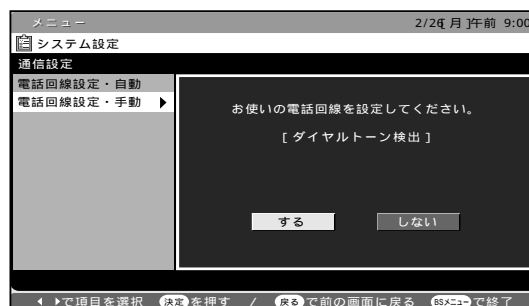
3

ご契約の電話回線種別を▲▼で選び、決定を押す

- **契約している電話回線種別（ダイヤル方式）が分からない場合は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。**

次ページへ

BSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

扉を開けたところ

4 ▲ ▼ で外線発信番号「なし」または「あり」を選ぶ

- 「あり」を選んだ場合は、BSチャンネルボタンで外線発信番号を入力してください。

5 決定 を押す

6 ダイヤルトーン検出「する」または「しない」を ◀ ▶ で選び、決定 を押す

7 BSメニュー を押し、通常画面に戻す

- 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

地域と郵便番号を設定する（地域設定）

■緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送は、地域によって放送される内容が異なることがあります。お客さまがお住まいの地域に向けた情報を受信するために、必ず地域設定を行ってください。

扉を開けたところ

地域設定

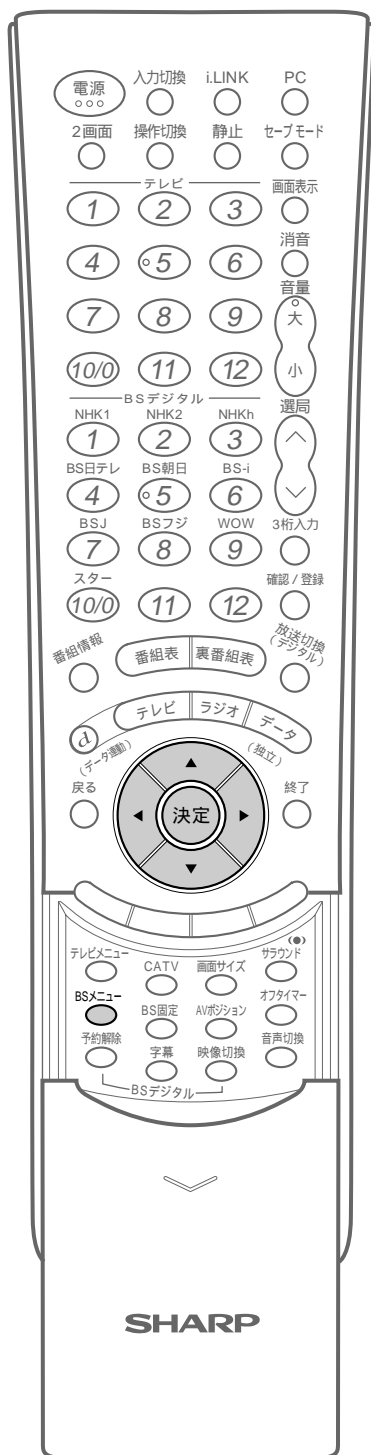
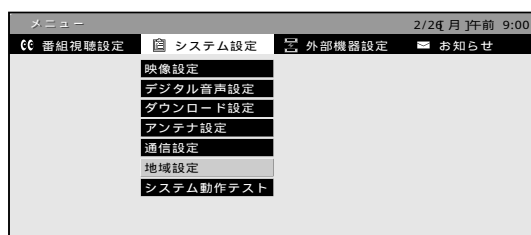
1

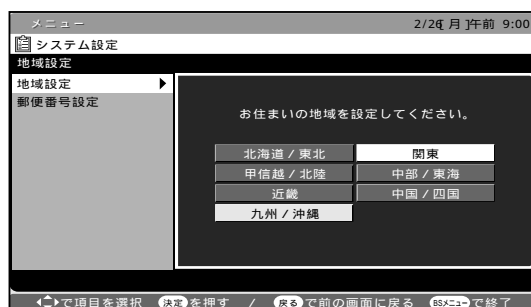
① BSデジタル放送を受信する

② BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

③ ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

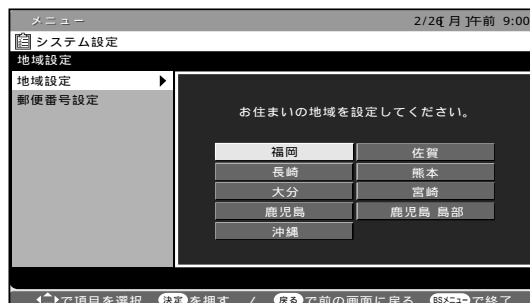
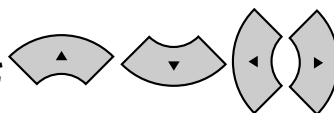
④ ▲ ▼ で「地域設定」を選び、決定を押す

2

① 決定を押す

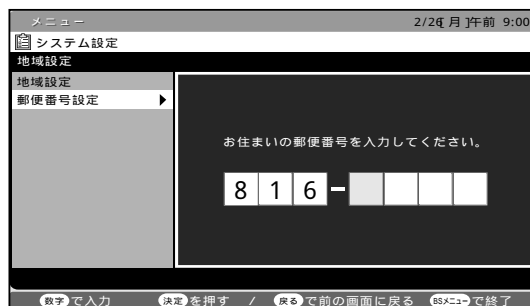
② お住まいの地域を ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、決定を押す

次ページへ

BSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

扉を開けたところ

3 お住まいの都道府県を ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、決定を押す

郵便番号設定

4 ① ▼ で「郵便番号設定」を選び、決定を押す

② ＢＳチャンネルボタンで郵便番号を入力し、決定を押す

- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、BSチャンネルボタンで入力しなおします。

5 BSメニューを押し、通常画面に戻す

テレビ放送を楽しむ

ふだんの使いかた

テレビ放送（VHF/UHF、CATV）を視聴するための基本操作手順を説明します。

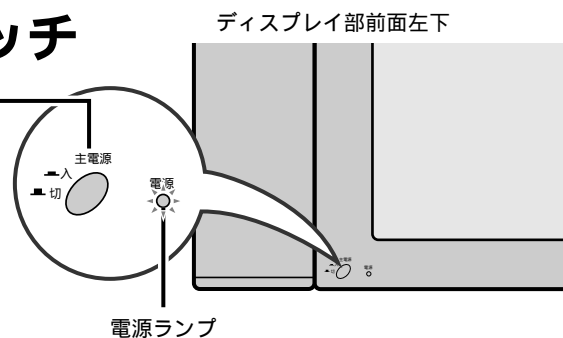
電源の入れかた

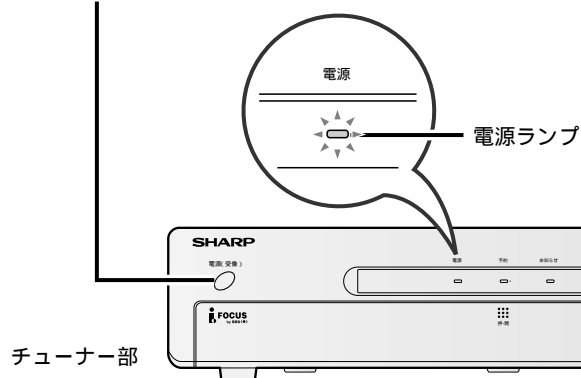
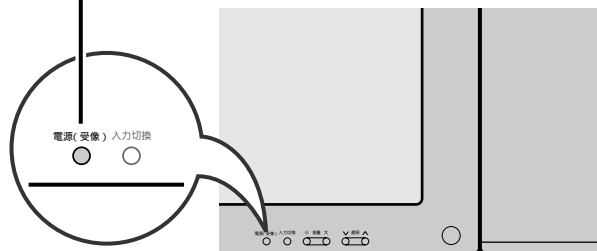
❶ディスプレイ部の主電源スイッチを押し、電源「入」にする

- スタンバイ状態（電源ランプ赤色点灯）または動作状態（電源ランプ緑色点灯）になります。

スタンバイ状態のとき ⇨ 手順 ❷ に進みます。
動作状態のとき ⇨ 手順 ❸ に進みます。

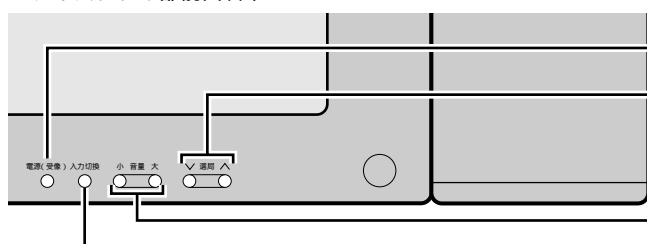
▼ディスプレイ部前面左下

主電源
入
切
電源
電源ランプ

❷つぎのいずれかの方法で動作状態（電源ランプ緑色点灯）にする

① リモコンの電源ボタンを押す
② ディスプレイ部の電源(受像)ボタンを押す
③ チューナー部の電源(受像)ボタンを押す

▼リモコン

電源
入力切換
i.LINK
PC
2画面
操作切換
静止
セーブ モード
テレビ
画面表示
消音

電源
電源ランプ
SHARP
電源（受像）
チューナー部▶

▼ディスプレイ部前面右下

電源（受像）
入力切換

電源プラグの接続について

- **本機は電源スタンバイ状態のときでも、BSデジタル放送局と通信を行います。**
- **通常は電源プラグをコンセントに差し込んだままご使用ください。**
- **電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」や「PPV番組の購入履歴」などが消去されます。この場合、再度設定を行ってください。**

選局・音量調整など

扉を開けたところ

電源を入／スタンバイする

電源「入」…………電源ランプ緑色点灯（動作状態）

電源スタンバイ……電源ランプ赤色点灯（リモコン待機状態）

入力を切り換える

テレビ → ビデオ1 → ビデオ2 → ビデオ3 → ビデオ4 → i.LINK → PC

※ビデオ1〜4は、信号入力されているときのみ選択できます。

❸チャンネルを選ぶ

テレビチャンネル（地上放送／CATV放送）

BSチャンネル（BSデジタル放送）

BSデジタル放送の視聴のしかたについては、98〜174ページをご覧ください。

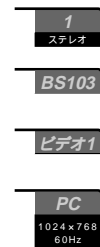
画面表示を入／切する

<画面表示例>

地上放送受信時

BSデジタル放送受信時

ビデオ入力時

PC入力時

音を一時的に消す

もう一度押すと、もとの音量に戻ります。

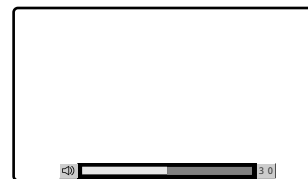
操作を終了する

2画面、静止画面、メニュー操作などを終了します。

❹音量を調整する

数字（最大60）とバーで表示

CATV放送を選ぶ

CATVチャンネルを選局するときは、まずCATVボタンを押し、つぎにテレビチャンネルボタンでチャンネル番号を入力します。

選局（∧順／∨逆）

おしらせ

受信チャンネルについて

- 工場出荷時は、VHF1〜12チャンネルとBSデジタルチャンネルが受信できるようにセットされています。UHF放送を受信するときや、受信チャンネルを合わせなおす場合は、**31**〜**50**ページをご覧ください。

ケーブルテレビ（CATV）について

- CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。
- CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらにスクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル（アダプター）が必要になります。詳しくはCATV会社にご相談ください。
- 本機のCATVチャンネルは、C13〜C63チャンネルの範囲で選局できます。

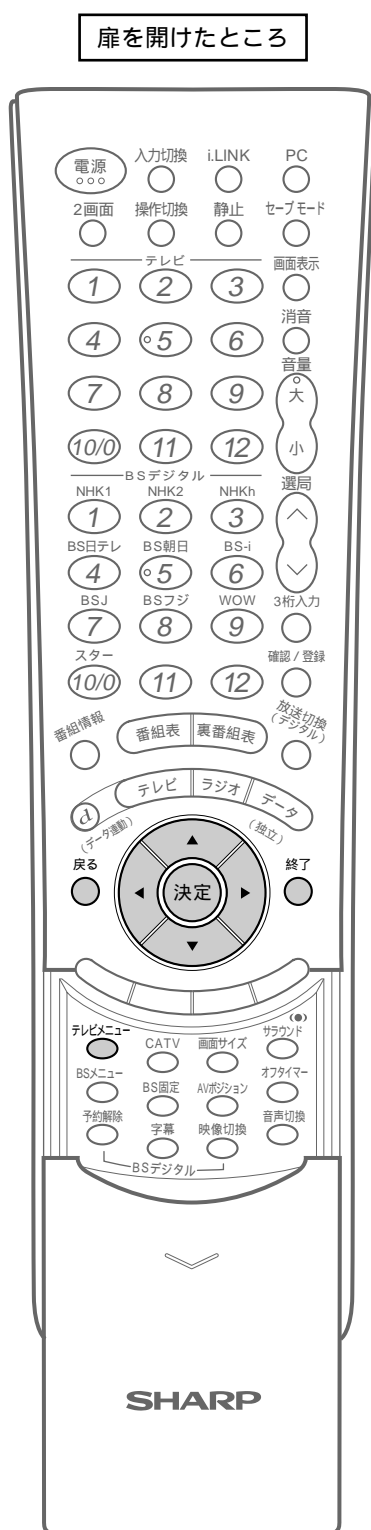
放送が終了すると

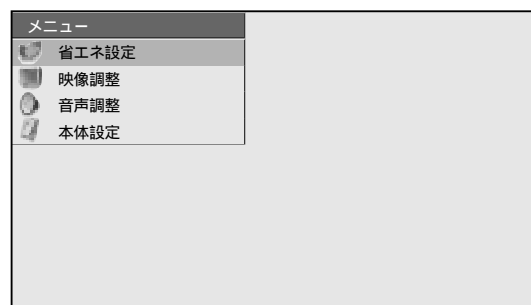
- 約15分後にテレビの電源が切れ、スタンバイ状態になります。電源ランプが赤色に点灯……無信号オフ機能（**93**ページ）
  （放送が終わっても、他局の放送やその他の電波が混入するときは正しく動作しない場合があります。）
- ビデオ入力画面のときも、無信号状態になると電源が切れ、スタンバイ状態になります。
  電源ランプが赤色に点灯……無信号オフ機能（**93**ページ）

メニュー画面について

■画面を見ながら、リモコンで映像や音声などの調整や機能の設定ができます。
　ここでは、メニューの項目を選択する方法について説明します。
　詳しくは、それぞれのページをご覧ください。
■BSデジタル放送を視聴するための調整や設定（BSメニュー）については、**102**ページをご覧ください。

メニュー操作の基本

扉を開けたところ

＜例＞映像調整を選ぶ

1 テレビメニューを押し、メニュー画面を表示する

- **メニュー表示中につぎの操作を行います。**

2 ▲▼で「映像調整」を選ぶ

- **選んだ設定項目が黄色で表示されます。**
- **選んだ項目のガイド表示（機能説明）が、画面左下に表示されます。**

3 決定を押す

- **つぎの画面に進みます。**

●操作を誤ったときや
操作をやりなおしたいとき…戻るを押します

●調整バーを操作するとき…◀▶を使います

＜例＞映像調整の「明るさ」

明るさ　[0]　－30　　+30

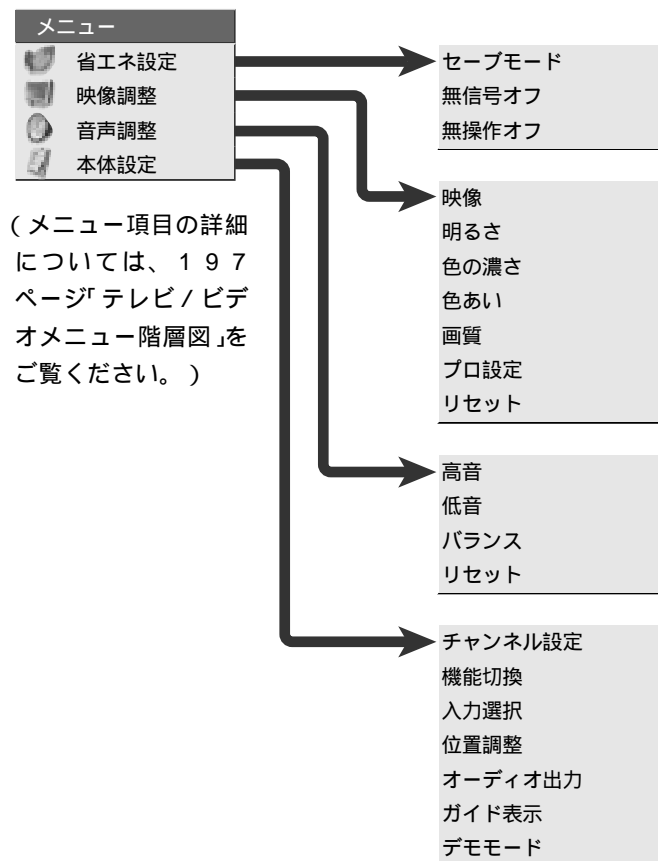
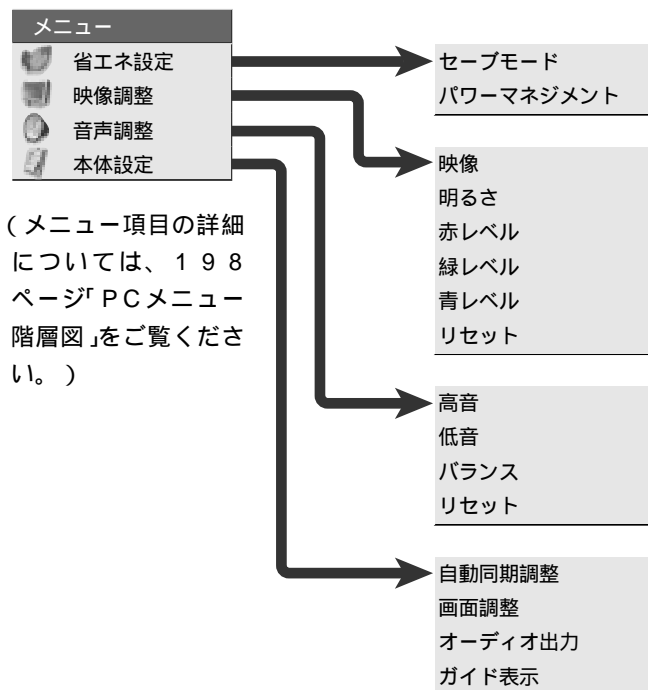
●メニュー操作を終了するとき…テレビメニュー または 終了を押します

テレビ／ビデオメニューとPCメニュー（入力切換を「PC」にしているとき）では、設定できる項目が異なります。

テレビ／ビデオメニューで設定できる項目

（メニュー項目の詳細については、**１９７**ページ「テレビ／ビデオメニュー階層図」をご覧ください。）

PCメニューで設定できる項目

（メニュー項目の詳細については、**１９８**ページ「ＰＣメニュー階層図」をご覧ください。）

- 画面に灰色の文字で表示されている項目は、選択できないことを表しています。
- 本書に掲載している画面表示は、説明用のものであり、一部省略したり、強調表現してありますので、実際の画面表示とは多少異なります。

ガイド表示について

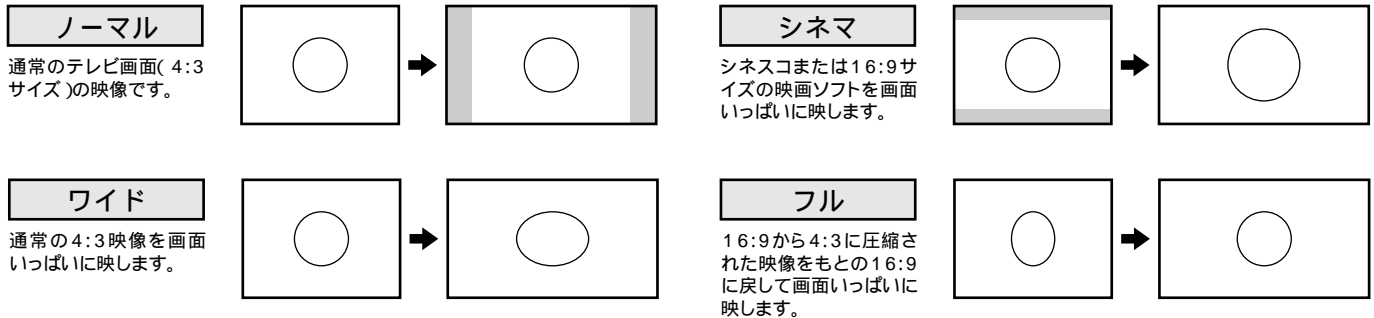
- ガイド表示を画面に出したくない場合には、つぎの手順で表示を「しない」に設定してください。
  ①メニュー画面の「本体設定」を選び、決定ボタンを押す。
  ②「ガイド表示」を選び、決定ボタンを押す。
  ③「しない」を選び、決定ボタンを押す。
  ④メニューボタンで画面表示を消す。

デモモードについて

- 店頭デモ用の機能です。デモ機能を解除するときは、つぎの手順で行ってください。
  ①メニュー画面の「本体設定」を選び、決定ボタンを押す。
  ②「デモモード」を選び、決定ボタンを押す。
  ③「しない」を選び、決定ボタンを押す。
  ④メニューボタンで画面表示を消す。

テレビ／ビデオ入力の画面サイズの種類

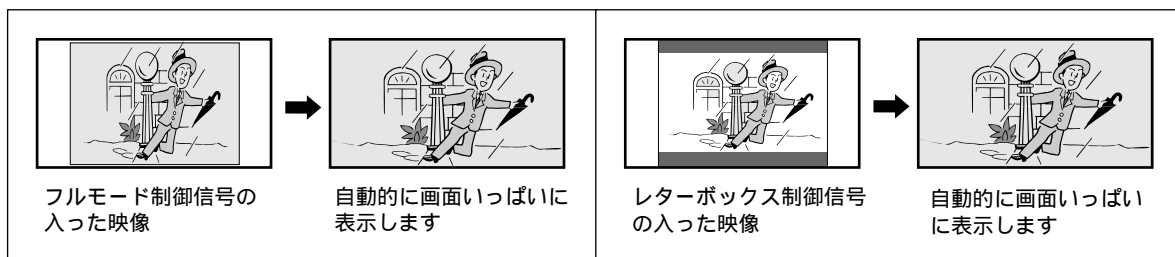
放送やソフトの内容に合わせて画面サイズを切り換えるなど、お好みの画面サイズを選ぶことができます。

■つぎの4つの画面サイズから選択できます。

■選択できる画面サイズは、通常のテレビ／ビデオ映像とハイビジョン映像とで異なります。

テレビ／ビデオ映像	→ノーマル→ワイド→シネマ→フル
ハイビジョン映像	→フル1（1080i）→フル2（1035i）

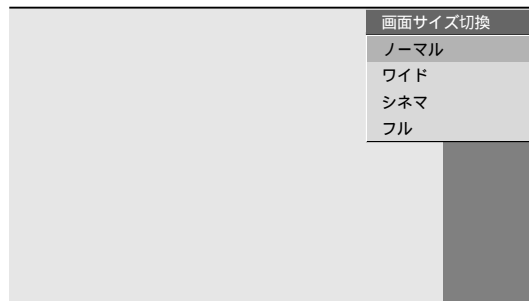
画面サイズ制御信号の入った映像の表示について

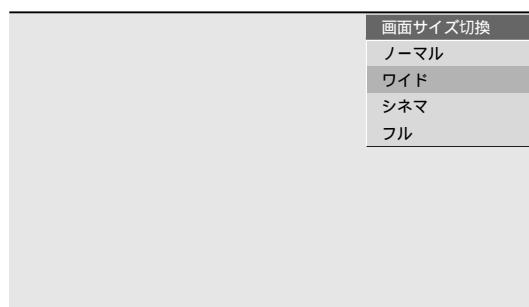
- **本機は、ワイドクリアビジョン放送やビデオ入力端子から入力された映像信号に含まれる画面サイズ制御信号を識別して、ディスプレイに表示される画面サイズを自動設定する機能を備えています。メニュー操作で機能の入／切を選択できます。（79～82ページ参照）**
  EDTVII対応機能…… ワイドクリアビジョン放送の画面サイズ制御信号を識別して、自動的に最適なサイズで表示します。（水平高画質化機能はありません。）
  S2対応機能…… DVDプレーヤーなどをS端子ケーブルで接続したとき、フルモード制御信号やレターボックス制御信号※の含まれた映像が入力されると、自動的に最適なサイズで表示します。
  ※ レターボックス制御信号……横縦比16：9の映像であることを示す信号のこと。

〈フルモード制御信号の入った映像〉 〈自動的に画面いっぱいに表示します〉 〈レターボックス制御信号の入った映像〉 〈自動的に画面いっぱいに表示します〉

テレビ／ビデオ入力の画面サイズ切換

画面サイズを選ぶ

扉を開けたところ

1 画面サイズ を押し、画面サイズ切換メニューを表示する

- **メニュー表示中につぎの操作を行います。**

2 画面サイズ または ▲ ▼ で、「ノーマル」「ワイド」「シネマ」「フル」のうちから、お好みの画面サイズを選ぶ

おしらせ

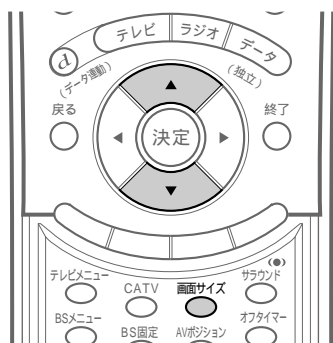
- 本機の画面サイズ切換え機能を使うとき、テレビ番組やビデオソフトなど、オリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズを選択されますと、本来の映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面サイズ切換え機能等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- ワイド映像でない通常（4：3）の映像を、ワイド機能を利用して画面いっぱいに表示してご覧になると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「ノーマル」にしてください。
- 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切換え機能で最適なサイズに切り換え、位置調整（**74**ページ）で垂直位置を調整してください。このとき、ソフトによっては画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- 映像のサイズ（シネスコサイズなど）によっては、上下に黒い帯が残る場合があります。

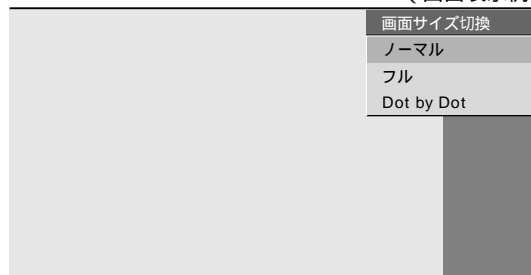
PC入力の画面サイズの種類と切換

画面サイズを選ぶ

Dot by Dot(ドット・バイ・ドット)とは
- **接続したコンピューター(PC)の入力信号の解像度を判別して、これに一致したパネル画素数で表示する機能です。(184ページ「コンピューター入力対応表」参照)**
- **XGA(1024×768)信号入力時のDot by Dot表示は「4:3」を、ワイドXGA(1280×768)信号入力時のDot by Dot表示は「フル2」を選ぶことにより可能です。(PZ-50BD3の場合)**

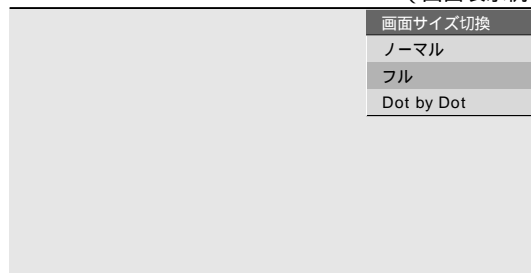
扉を開けたところ

1 画面サイズ を押し、画面サイズ切換メニューを表示する

(画面表示例)

画面サイズ切換
ノーマル
フル
Dot by Dot

- **メニュー表示中につぎの操作を行います。**

2 画面サイズ または ▲ ▼ で、お好みの画面サイズを選ぶ

(画面表示例)

画面サイズ切換
ノーマル
フル
Dot by Dot

■つぎの画面サイズから選択できます。

入力信号	ノーマル	フル	Dot by Dot
640×400 720×400 640×480 800×600 832×624	入力信号の横縦比をくずさずに、画面いっぱいに映します。	16:9画面いっぱいに映します。	入力信号と画面の画素を一致させ、画面に映します。

入力信号	ノーマル	フル1	フル2
1024×768 1280×768	<例>1024×768入力時 入力信号と画面の画素を一致させ、画面に映します。	<例>1024×768入力時 16:9画面いっぱいに映します。	<例>1024×768入力時 ワイド信号表示用のモードです。1280×768の表示時にお使いください。

(ノーマル・フル1:1024×768の表示に最適です。)

おしらせ
- 入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。
- 上記のイラストは、PZ-50BD3の場合です。
- PZ-43BD3は横長画素のため、信号処理や実際の見えかたが異なる場合があります。

2画面で見る

2画面機能を使う

■本機は2つの異なる映像を同時に表示して見ることができます。

■2画面のとき、♪マークのある画面(操作画面)のチャンネルや入力を切り換えたり、音量を調整することができます。

2画面で見られる映像の組合せ

	地上放送	BS放送	外部入力	PC入力
地上放送	×	○	○	×
BS放送	○	×	○ ※1	×
外部入力	○	○ ※1	○ ※2	×
PC入力	×	×	×	×

※1　BS放送とi.LINK入力の2画面表示はできません。
※2　同じ外部入力どうしの2画面表示はできません。

＜例＞地上放送とBS放送を2画面で見る

1 2画面 ○ を押す

- **操作画面のチャンネル表示には、♪マークが付いています。**

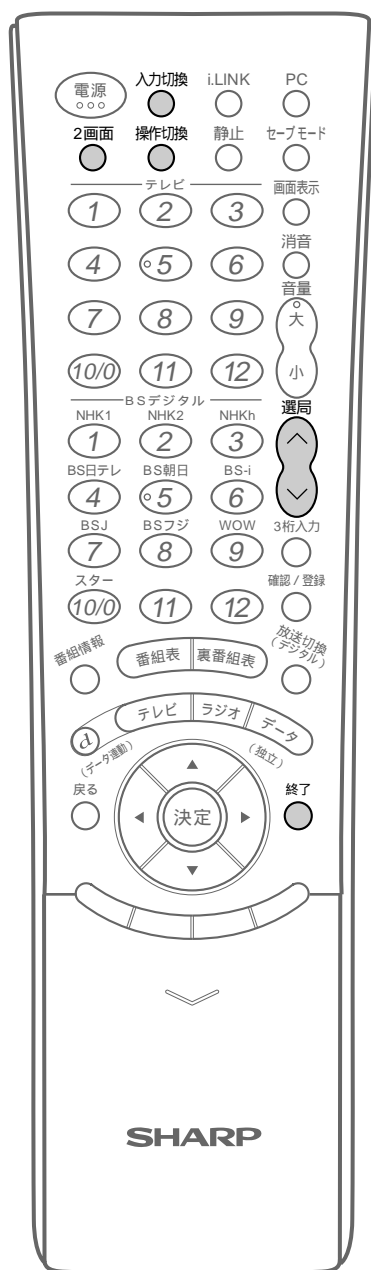
2画面時の音声と音量調整について

- **♪マークのある操作画面の音声が聞けます。**
- **音量(大／小)ボタンで、操作画面の音量を調整できます。**

おしらせ

- BSデジタル放送を2画面で表示したときは、地上放送と同じ画質(525i)になります。
- 外部入力信号が525i以外のときは2画面表示できません。
- BS固定中および予約録画実行中は、BSデジタル放送の2画面表示ができません。
- 2画面でBSデジタル放送を見ているときは、BSデジタル出力の映像の横縦比が4：3になります。
- 2画面表示中に予約録画が実行された場合、BS固定を行った場合は、2画面表示が解除されます。
- 2画面機能を入／切すると、画面やBSデジタル出力の映像が一瞬途切れた状態になりますが、異常ではありません。
- 2画面のとき、左を非操作画面、右を操作画面にして映像調整をすると、「明るさ」「画質」および「プロ設定」の調整ができません。

2画面で見る(つづき)

● 左を非操作画面、右を操作画面にしているときに映像調整(**84**ページ)をすると、「明るさ」「画質」および「プロ設定」の調整ができません。

操作画面(♪のある画面)のチャンネルや入力を切り換えるには

● **選局(∧順／∨逆)ボタンを押すたびに、操作画面のチャンネルが選局されます。**

● **入力切換ボタンを押すたびに、操作画面の入力が切り換わります。**

● 非操作画面がBSデジタル放送のとき、操作画面は地上放送の中でのみ選局できます。

● 非操作画面が地上放送のとき、操作画面はBSデジタル放送の中でのみ選局できます。

● 非操作画面がBSデジタル放送のとき、操作画面の外部入力のi.LINKは選べません。

操作画面を切り換えるには

1

● **♪マークが移動します。**

1画面に戻すには

1

2画面 をもう一度押すか、終了 を押す

静止画面で見る

番組の内容をメモする

■いま見ている放送や映像を静止することができます。料理番組などのメモをとったりするとき便利です。

1 **映像を静止させたいところで、静止を押す**

- **2画面表示となり、左側が動画、右側が静止画になります。**

- **静止画表示中に決定ボタンを押すと、静止画が更新されます。**

1画面に戻すには

1 **静止をもう一度押すか、終了を押す**

おしらせ

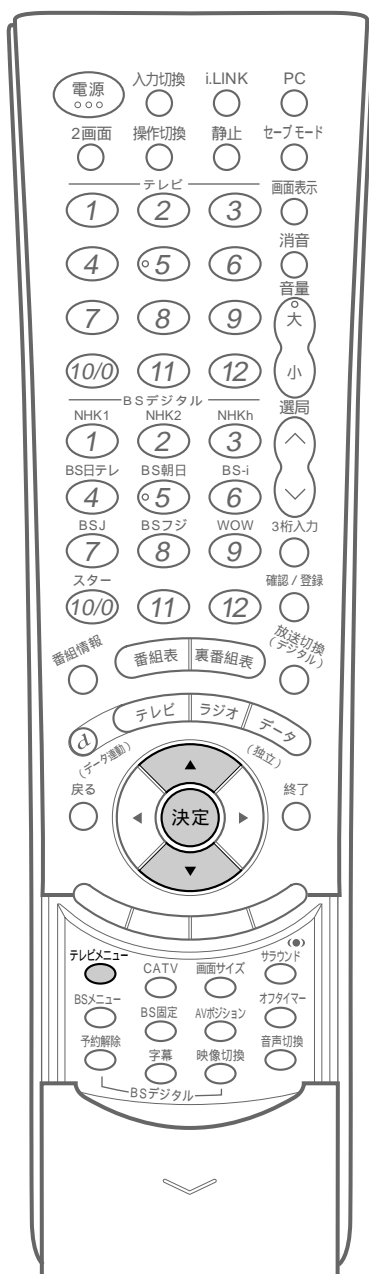
- 静止ボタンを押し、静止画表示になってから8分経過すると、自動的に1画面に戻ります。
- 静止画表示中に選局すると、1画面に戻ります。
- 静止画表示中の画面サイズ切換えはできません。
- BSデジタル放送を静止画で表示したときは、地上放送と同じ画質（525i）になります。
- 静止画表示中は、BSデジタル放送のデータ放送の操作、BSメニューや電子番組表などの操作ができません。
- 外部入力信号が525i以外のときは、静止画表示できません。
- BS固定中、およびビデオ連動予約の予約録画実行中は、静止画表示できません。
- 静止画でBSデジタル放送を見ているときは、BSデジタル出力の映像の横縦比が4：3になります。
- 静止画表示中に予約録画が実行された場合、静止画表示が解除されます。
- 静止画機能を入／切すると、画面やBSデジタル出力の映像が一瞬途切れた状態になりますが、異常ではありません。
- 映像の種類によっては、静止画面が表示されるまでに数秒かかる場合がありますが、異常ではありません。
- 静止画表示中は、i.LINKの操作ができません。

画面の位置を調整する

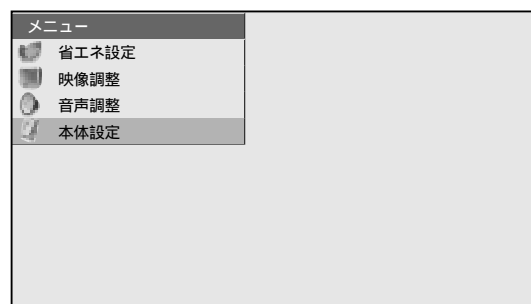
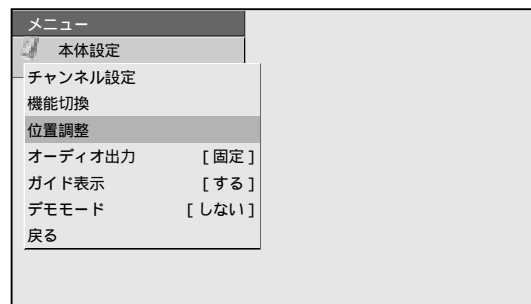
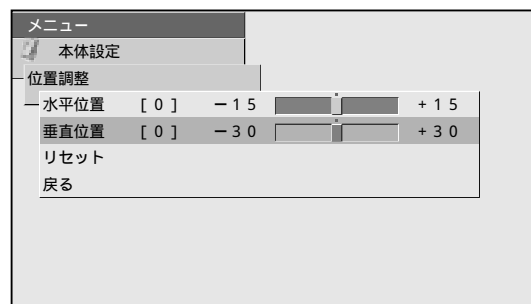
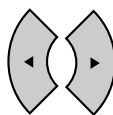
画面位置の調整のしかた

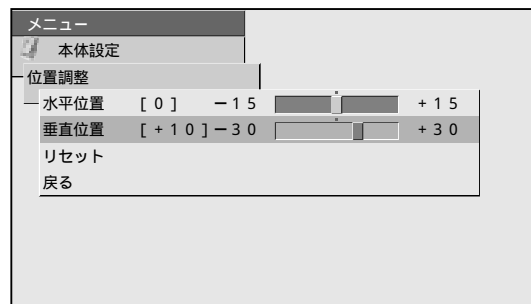
画面位置の調整について

- **画面の位置を調整することができます。**
  「水平位置」…… 画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。
  「垂直位置」…… 画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。

扉を開けたところ

＜例＞画面の垂直位置を調整する

1 テレビメニュー を押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「本体設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「位置調整」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で「垂直位置」を選ぶ

扉を開けたところ

5 で適切な位置に調整する

- **水平位置は、−15〜+15の範囲で調整できます。**
- **垂直位置は、−30〜+30の範囲で調整できます。**

6 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ

工場出荷時の設定に戻したいとき

① 手順**4**で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

② 上下カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。

- 「初期設定に戻しました。」と表示されます。

ＰＣ入力の画面位置などの調整

自動同期調整で最適な画面にする

「自動同期調整」とは

- **最適なコンピューター画面表示を得るための調整機能です。自動的に画面の位置などが調整されます。**

扉を開けたところ

1

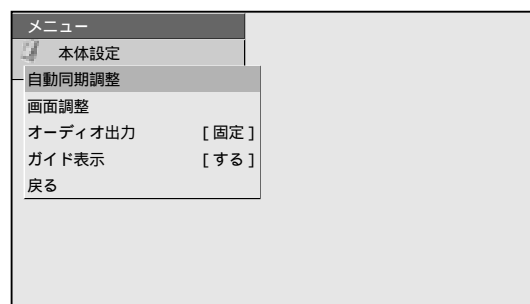
① PC を押し、ＰＣ入力にする

② テレビメニュー を押し、メニュー画面を表示する

2

▲ ▼ で「本体設定」を選び、決定 を押す

3

▲ ▼ で「自動同期調整」を選び、決定 を押す

- **「自動同期調整中」が表示され、自動同期調整が実行されます。**
- **自動調整が終了すると、「映像の調整をしました。」と表示されます。**
  正常に終了しないと、何も表示されずメニューに戻ります。

4

テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

おしらせ

- つぎのような映像信号では自動調整により最適な画面にならないことがあります。
  －動きのある映像
  －画面全体が1色になっているなど、起伏の少ない映像
- 映像信号、PCによっては自動調整だけでは最適な画面にならないことがあります。その場合は、手動で調整してください。（**77**ページ参照）

手動で最適な画面に調整する

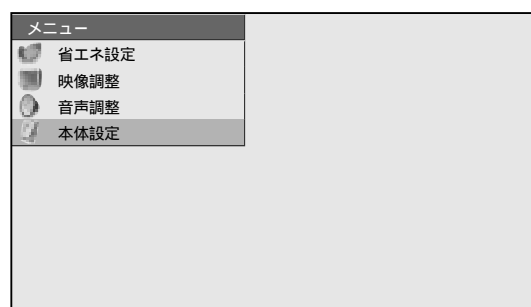
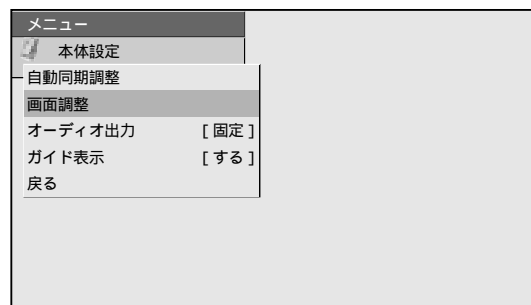
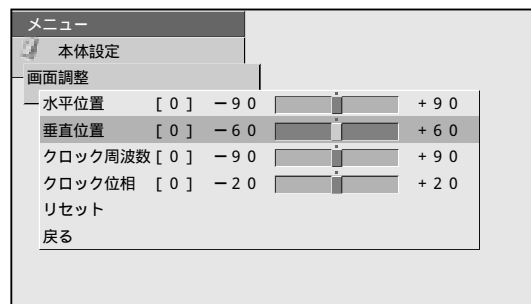
「画面調整」とは

- コンピューター画面の表示位置や映り具合を最適化するための機能で、つぎの調整項目があります。
  - 「水平位置」……画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。
  - 「垂直位置」……画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。
  - 「クロック周波数」…縦じま状のチラツキがあるときに調整します。
  - 「クロック位相」…文字などを表示したときに、映像のチラツキが出たり、コントラストがつかないときに調整します。

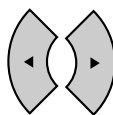
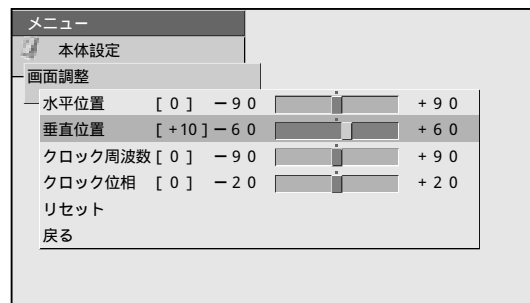
扉を開けたところ

＜例＞画面の垂直位置を調整する

1 ① PC を押し、ＰＣ入力にする
② テレビメニュー を押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「本体設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「画面調整」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で「垂直位置」を選ぶ

次ページへ

PC入力の画面位置などの調整(つづき)

扉を開けたところ

5 で適切な位置に調整する

各項目の調整範囲

水平位置	−90 〜 +90
垂直位置	−60 〜 +60
クロック周波数	−90 〜 +90
クロック位相	−20 〜 +20

6 を押し、通常画面に戻す

おしらせ

工場出荷時の設定に戻したいとき

① 手順**4**で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

② 上下カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。

- 「初期設定に戻しました。」と表示されます。

画面サイズの自動最適化（機能切換）

画面サイズが自動的に最適化されるよう設定する

■つぎの3つの画面サイズ自動設定機能の入／切をメニューで設定できます。

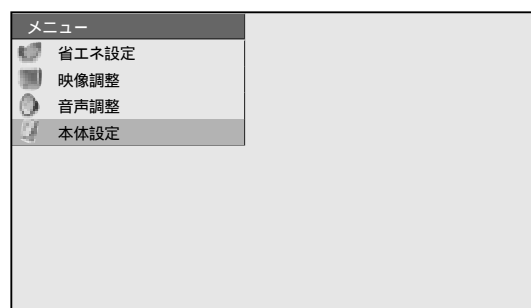
「S2対応」…… S2入力端子からの映像に画面サイズ制御信号が含まれている場合、自動的に最適なサイズで表示する機能です。

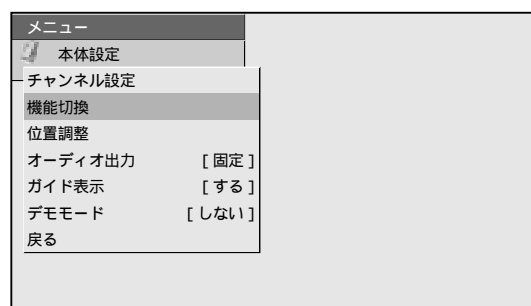
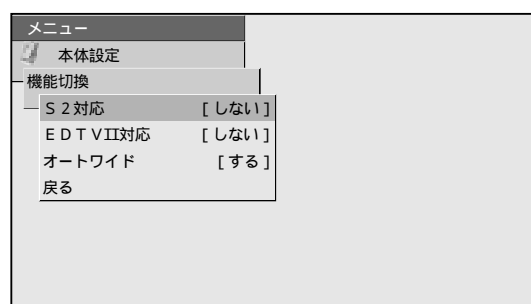
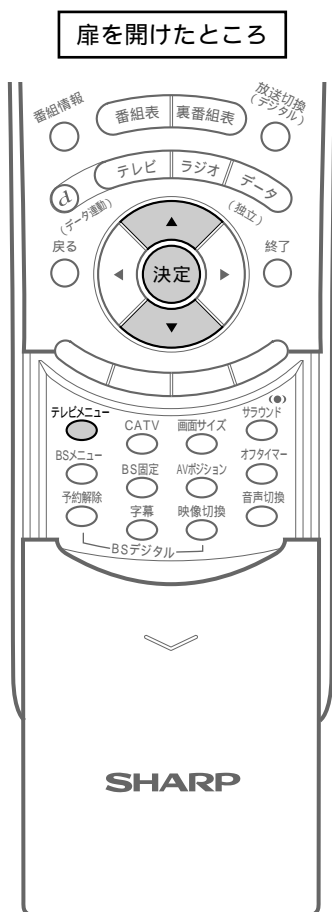
「EDTVII対応」… ワイドクリアビジョン放送の画面サイズ制御信号を識別して、自動的に最適な画面サイズで表示する機能です。（水平高画質化機能はありません。）

「オートワイド」… 受信している放送や外部入力されたソフトの映像を自動的に画面いっぱいに映します。

扉を開けたところ

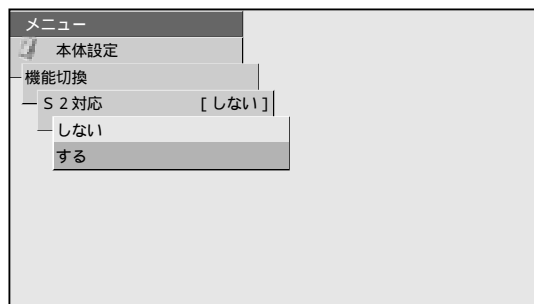
＜例＞S2映像入力端子からの映像に画面サイズ制御信号が含まれている場合、自動的に最適なサイズで表示する

1 テレビメニュー を押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「本体設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「機能切換」を選び、決定 を押す

4 ▲ ▼ で「S2対応」を選び、決定 を押す

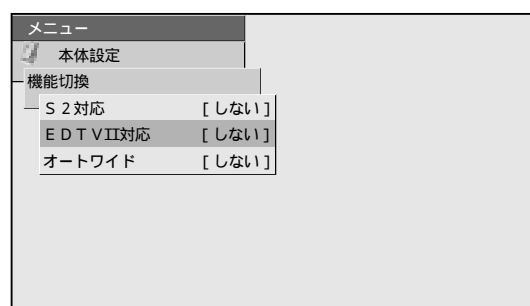
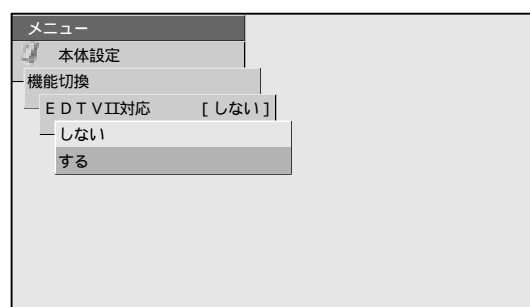
次ページへ

画面サイズの自動最適化（機能切換）（つづき）

5 ▲▼で「する」を選び、決定を押す

6 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

EDTVII対応の設定のしかた

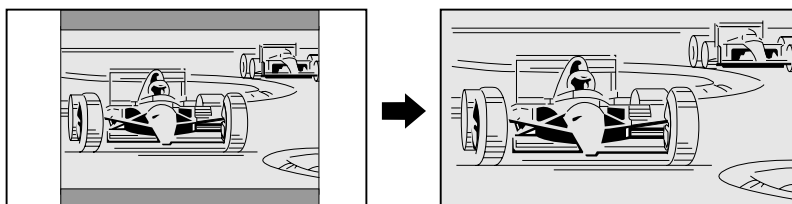
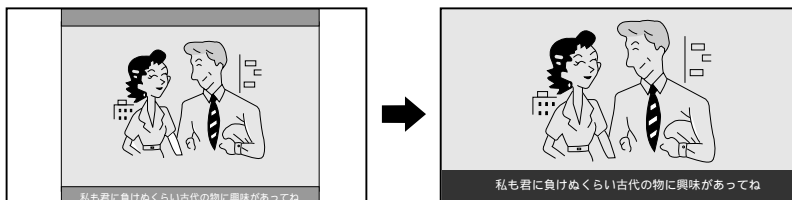
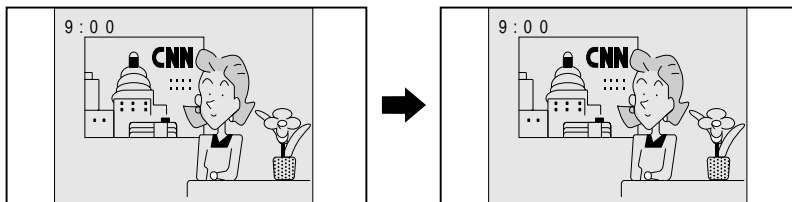
1 ７９ページの手順1〜3を行う

2 ▲▼で「ＥＤＴＶII対応」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「する」または「しない」を選び、決定を押す

4 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

オートワイドについて（設定のしかた☞82ページ）

■メニューでオートワイドを「する」に設定すると、受信している放送や外部入力されたソフトの映像が自動的に最適な画面サイズに切り換わります。
オートワイド機能を働かせたくない場合は、オートワイドを「しない」に設定します。

オートワイドを「する」に設定したときの画面表示例

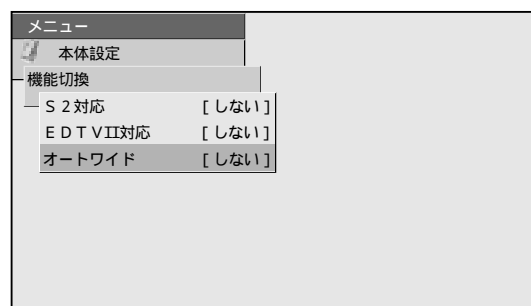
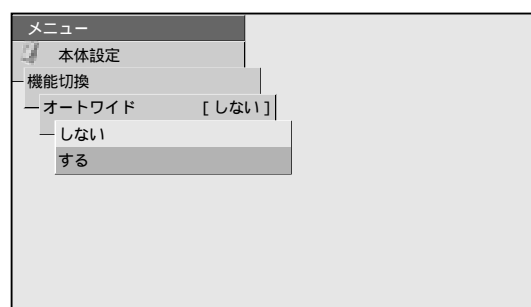
上下に帯の入った映像

下に文字の入った映像

通常のテレビ映像

- オートワイドで視聴しているとき、画面が大きくなったり小さくなったりすることがあります。これは、受信した映像に応じてオートワイド機能が最適な画面サイズに自動切換えをしているために起こる現象で、故障ではありません。気になる場合は、画面サイズボタンで最適な画面サイズに切り換えてください。（ご覧になる映像によっては、切り換わる時間に差があります。）
- 放送内容やビデオソフトによっては、オートワイドが正しく動作しないことがあります。この場合は、メニューでオートワイドを「しない」に設定した後、画面サイズボタンで最適な画面サイズに切り換えてください。
- ビデオ機器で特殊再生（ビデオサーチやスロー再生など）をしている間は、オートワイド機能が働かなくなることがあります。
- 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、メニューでオートワイドを「しない」に設定した後、画面サイズボタンで最適なサイズに切り換え、位置調整（**74**ページ）で垂直位置を調整してください。このとき、ソフトによっては画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- 映像のサイズ（シネスコサイズなど）によっては、上下に黒い帯が残る場合があります。
- オートワイド機能を使うと、テレビ番組やビデオソフトなど、オリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズになり、本来の映像とは見えかたに差が出る場合があります。この点にご留意の上、オートワイド機能をお使いください。
- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面サイズ切換え機能（オートワイド機能）等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

画面サイズの自動最適化（機能切換）（つづき）

扉を開けたところ

オートワイドの設定のしかた

1 ７９ページの手順1～3を行う

2 ▲ ▼ で「オートワイド」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

4 テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

お好みの映像・音声で楽しむ

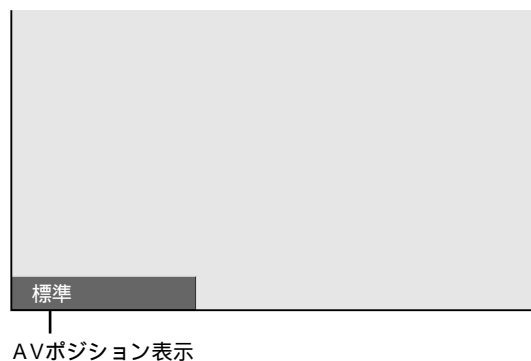
最適な映像・音声設定を選ぶ（AVポジション）

AVポジションとは

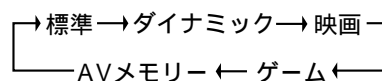
- 部屋の明るさや再生ソフトの内容に合わせて、記憶されたお好みの映像・音声調整に設定する機能です。
  - 「標準」……………画質・音質の設定がすべてセンター値になります。
  - 「ダイナミック」…くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組を迫力にあふれたものにします。
  - 「映画」……………コントラスト感を抑え、暗い映像を見やすくします。
  - 「ゲーム」…………テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。
  - 「AVメモリー」……各入力ごとにお好みの調整内容を記憶させることができます。

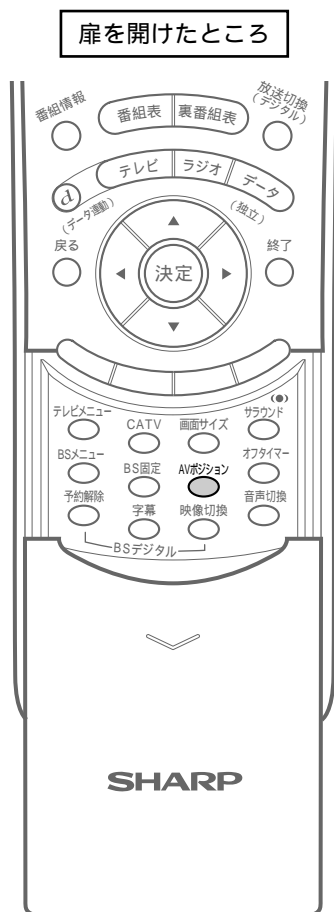
扉を開けたところ

1 AVポジション を押す

- 画面左下に現在のAVポジションが表示されます。

2 再び AVポジション を押し、お好みの設定を選ぶ

- ボタンを押すたびに、AVポジションがつぎのように切り換わります。

→標準→ダイナミック→映画→AVメモリー→ゲーム→（標準に戻る）

おしらせ

- PC入力時は「標準」と「AVメモリー」のみ選択できます。
- AVポジションを「標準」に設定しているときは、映像調整、音声調整ができません。

お好み の映像・音声で楽しむ（つづき）

映像調整について

■「映像調整」とは、映像の濃淡や明るさなどを、お好みの状態に調整する機能です。
テレビ／ビデオ入力とPC入力は、別の調整項目になっています。
テレビ／ビデオ入力には、より細かい項目まで調整できる「プロ設定」があります。

■調整したいAVポジションを選んでから、映像調整の操作を行います。（８３ページ参照）

■ＡＶポジションを「標準」に設定しているときは調整できません。**AVポジションボタンで「標準」以外に設定してから**調整を行ってください。

テレビ／ビデオ入力での調整項目

項　目	内　容	設　定
色温度	色温度を調整します。	高/高-中/中/中-低/低
フィルムモード	フィルム収録のＤＶＤ映像などを高画質に再生します。	しない/する
黒伸長	映像の暗い部分の強調度合いを調整し、奥行き感を変化させます。	しない/強/弱
3次元設定	映像素材に応じた設定にすると、画質が改善されます。	標準/動画より/静止画より
モノクロ	白黒映像にします。	しない/する
I／P設定	インターレース（静止画やグラフィック等の画像を、チラツキのないきれいな映像で楽しむモード）とプログレッシブ（通常のテレビ放送やビデオ等をきめ細かい映像で楽しむモード）を切り換えます。	インターレース／プログレッシブ

※ プロ設定については、８７ページをご覧ください。

ＰＣ入力での調整項目

<項目>	<設定値>	<調整バー>	
映像（コントラスト）	［+３０］	０	+４０
		弱くなる⟷強くなる	
明るさ	［０］	−３０	+３０
		暗くなる⟷明るくなる	
赤レベル	［０］	−３０	+３０
		赤が弱くなる⟷赤が強くなる	
緑レベル	［０］	−３０	+３０
		緑が弱くなる⟷緑が強くなる	
青レベル	［０］	−３０	+３０
		青が弱くなる⟷青が強くなる	

● 2画面のとき、左を非操作画面、右を操作画面にしている場合、「明るさ」「画質」および「プロ設定」の調整はできません。

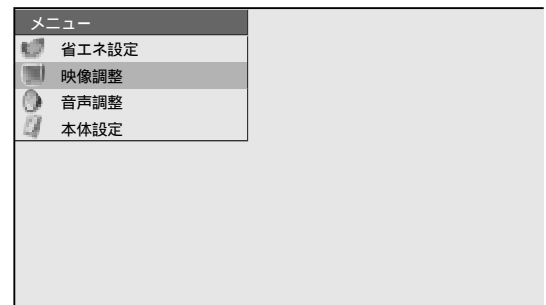
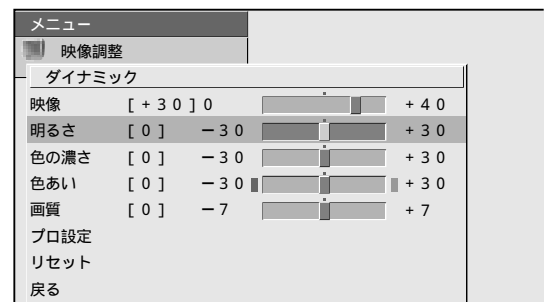
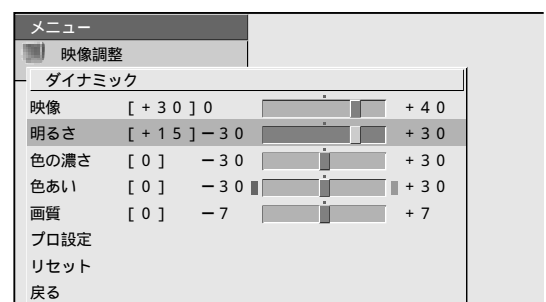
お好みの映像に調整する

- AVポジションを「標準」に設定しているときは調整できません。AVポジションボタンで「標準」以外に設定してから調整を行ってください。（**83** ページ）

扉を開けたところ

＜例＞AVポジションを「ダイナミック」に設定しているときに、「明るさ」を調整する

1 テレビメニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「映像調整」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「明るさ」を選ぶ

4 ◀ ▶ で、お好みの明るさに調整し、決定を押す

- **続けて他の項目を調整したいときは、手順3〜4をくり返します。**

次ページへ

お好みの映像・音声で楽しむ(つづき)

扉を開けたところ

5 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ

工場出荷時の設定に戻したいとき

① 手順**3**で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。
② 上下カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。
　● 「初期設定に戻しました。」と表示されます。

この場合、プロ設定もすべて工場出荷時の設定に戻ります。

● 2画面のとき、左を非操作画面、右を操作画面にしている場合、「明るさ」と「画質」の調整はできません。

プロ設定の調整

■映像の状態をお好みに応じてさらにきめ細かく調整できる機能です。
調整できる項目については、８４ページを参照してください。

扉を開けたところ

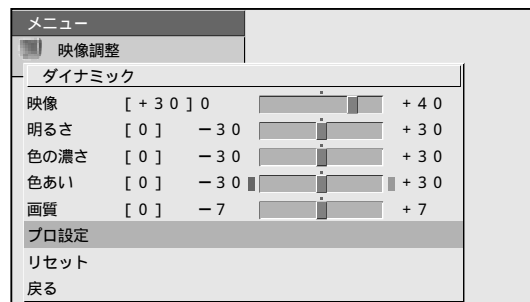
●　2画面のとき、左を非操作画面、右を操作画面にしている場合、「プロ設定」の調整はできません。

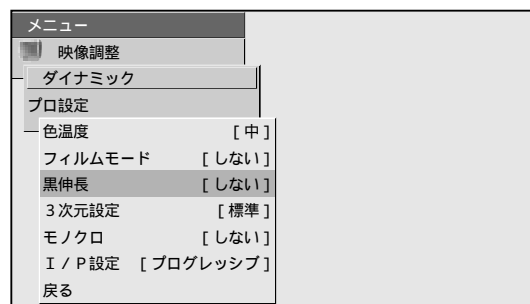
おしらせ

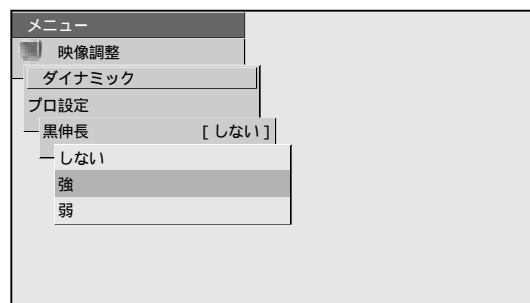
＜例＞黒伸長を「強」に設定する

1

① ８５ページの手順1と2を行う

② ▲ ▼で「プロ設定」を選び、決定を押す

2

▲ ▼で「黒伸長」を選び、決定を押す

3

▲ ▼で「強」を選び、決定を押す

● **続けて他の項目を調整したいときは、手順2〜3をくり返します。**

4

テレビメニューを押し、通常画面に戻す

お好みの映像・音声で楽しむ(つづき)

二重音声放送やステレオ放送を楽しむ

■二重音声放送やステレオ放送のとき、音声切換ボタンで音声モードを切り換えることができます。

チャンネル表示の色について

- **二重音声放送やステレオ放送、モノラル放送は、チャンネル表示の色で区別することができます。**

▼画面表示

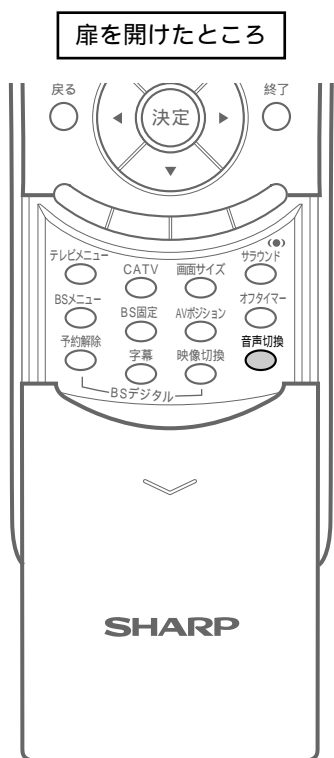
二重音声放送のとき

ステレオ放送のとき

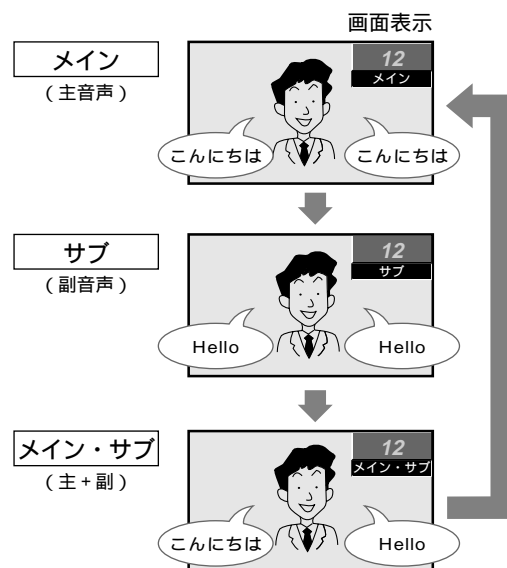
モノラル放送のとき

メイン(主音声)とサブ(副音声)について

- **ニュースや洋画などの二カ国語放送で、吹き替えの日本語(メイン)と英語などの外国語(サブ)の2種類の音声が楽しめます。**

扉を開けたところ

二重音声放送の音声切換

1 **音声切換 で、お好みの音声を選ぶ**

- **ボタンを押すごとに、つぎのように切り換わります。**

ステレオ放送の音声切換

■ステレオ放送のときは、自動的に「ステレオ」になります。

1 **雑音が多いときは、 で「モノラル」にする**

- **画面右上のチャンネル表示の下に「モノラル」と表示されます。**
- **「モノラル」にすると聞きやすくなることがあります。**

おしらせ

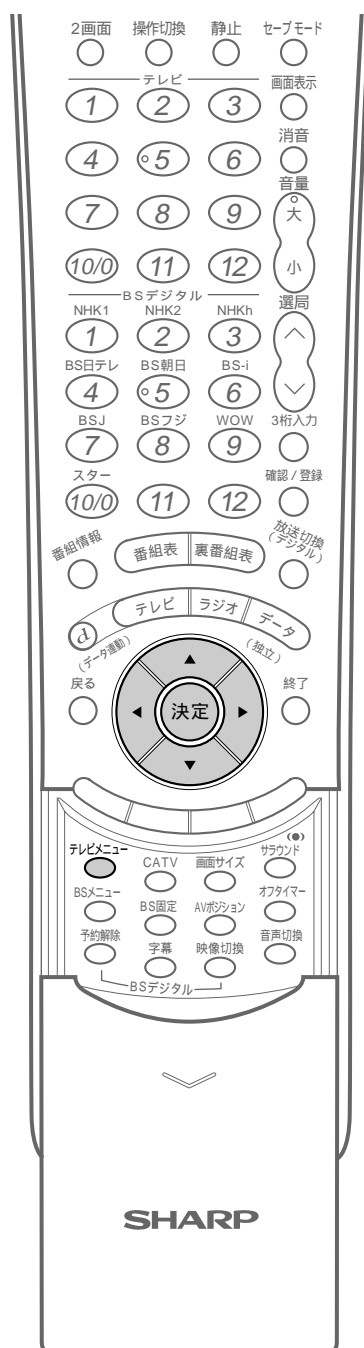
- 音声切換ボタンを押して「モノラル」にすると、ステレオ放送を受信してもモノラル音声になります。
  ステレオ音声で聞くときは、再度ボタンを押して「ステレオ」に切り換えてください。
- BSデジタル放送は「モノラル」への切換えができません。

お好みの音声に調整する

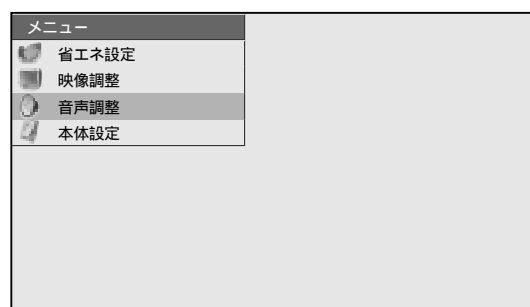
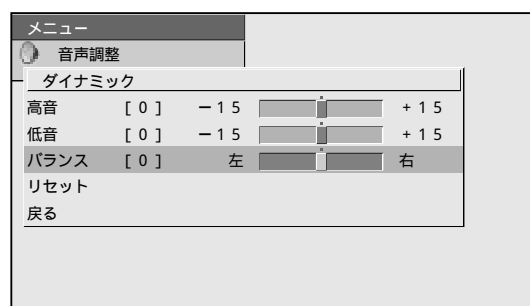
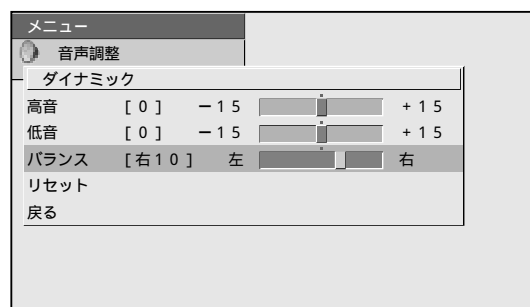
音声調整について

- **「高音」「低音」「バランス」の3つの項目をお好みに合わせて調整できます。**
  調整したいAVポジションを選んでから、音声調整の操作を行います。（８３ページ参照）

- ＡＶポジションを「標準」に設定しているときは、調整できません。ＡＶポジションボタンで「標準」以外に設定してから調整を行ってください。

扉を開けたところ

＜例＞ＡＶポジションを「ダイナミック」に設定しているときに、「バランス」を調整する

1 テレビメニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「音声調整」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「バランス」を選ぶ

4 ◀ ▶ で、お好みの位置に調整する

- **続けて他の項目を調整したいときは、手順3〜4をくり返し、最後にテレビメニューボタンを押して通常画面に戻します。**

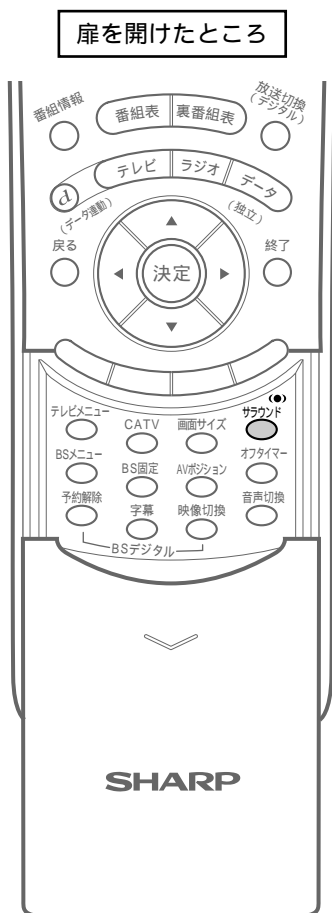
お好みの映像・音声で楽しむ(つづき)

サラウンド音声で聞く

■3つのサラウンドモードから選んで、お好みのサラウンド効果をお楽しみいただけます。
「オフ」を選ぶと通常の音声になります。

「SRS」	**効果の大きな立体サウンドが再現できます。**
「FOCUS」	**音が聞こえてくる垂直方向(音像定位)を変えることができます。**
「FOCUS+SRS」	**2つの方式を併用することにより、立体サウンドの効果がアップします。**

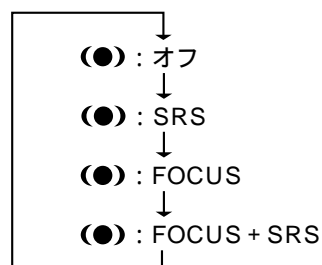
※FOCUS by SRS(●) はSRS Labs, Inc.の商標です。

扉を開けたところ

1 **(サラウンド)を押す**

● **画面左下に現在のサラウンドモードが表示されます。**

サラウンドモード表示

2 **再び(サラウンド)を押し、お好みのモードを選ぶ**

● **ボタンを押すたびに、サラウンドモードがつぎのように切り換わります。**

オーディオ出力を設定する

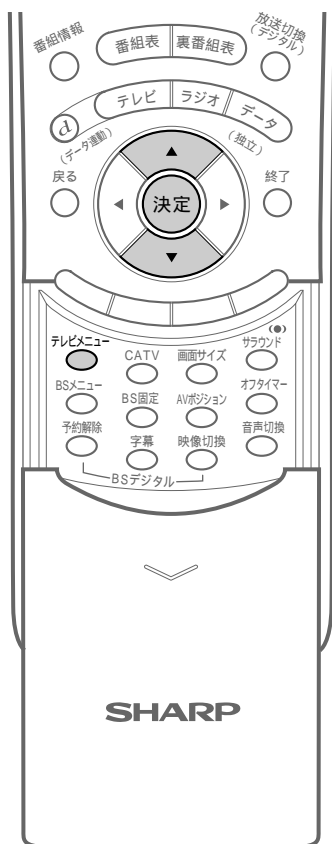
■モニター出力からの音声出力を「固定」または「可変」に設定する機能です。

「固定」……モニター出力からの音声出力が一定の音量で出力されます。

画面の音量表示

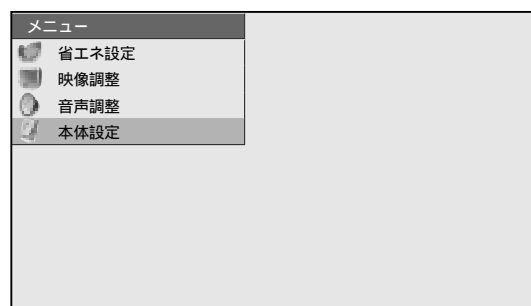
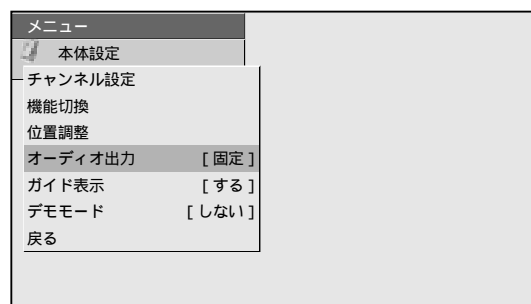
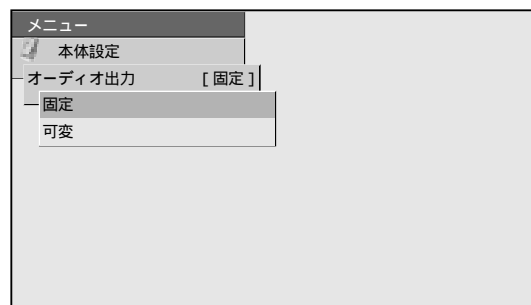
「可変」……モニター出力からの音声出力を調整することができます。スピーカーからの音声は消音状態となります。

画面の音量表示

扉を開けたところ

おしらせ

- 「可変」に設定し、モニター出力レベルを調整する場合は、スピーカーの音量を変えるときと同じように、音量(大／小)ボタンで調整します。
- 「可変」「固定」の設定にかかわらず、ヘッドホン端子からの音声出力は可能です。

1 テレビメニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼で「本体設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼で「オーディオ出力」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼で「固定」または「可変」を選び、決定を押す

5 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

指定した時間後に本機の電源を切る（オフタイマー）

オフタイマーを使う

■「オフタイマー」を使うと、指定した時間後に本機の電源を切ることができます。テレビを見ながら就寝するときなどに便利です。

扉を開けたところ

1 オフタイマー を押す

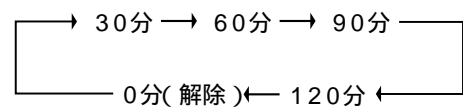
- オフタイマーの設定時間が表示されます。

オフタイマー：　３０分

- オフタイマーがすでに設定されている場合は、残り時間が表示されます。

2 再び オフタイマー を押し、電源が切れるまでの時間を選ぶ

- ボタンを押すたびに、設定時間がつぎのように切り換わります。

→ 30分 → 60分 → 90分 → 120分 → 0分（解除） →

オフタイマーの残り時間を見るには

1 オフタイマー を押す

- 残り時間が表示されます。

オフタイマー 残り　１５分

いろいろな省エネ機能

省エネ機能の設定のしかた

■省エネ機能は節電に役立つ機能です。
　つぎの5種類の項目を設定できます。

「セーブモード」…	**消費電力を抑えられる「省エネ」モードがあります。**
「無信号オフ」…… （テレビ／ビデオ入力）	**無信号になったとき、約１５分後に自動的に電源が切れる機能です。**
「無操作オフ」…… （テレビ／ビデオ入力）	**操作しない時間が3時間経過すると、自動的に電源が切れる機能です。**
「パワーマネジメント」… （PC入力）	**ＰＣ入力のとき、映像信号がなくなってからしばらくすると自動的に電源が切れる機能です。（９６ページ参照）**

扉を開けたところ

セーブモードの設定のしかた

1 **セーブモードを押す**

- **画面左下に現在の設定が表示されます。**

セーブモード表示

2 **再び セーブモード を押し、「省エネ」に切り換える**

- **ボタンを押すたびに「標準」⇄「省エネ」と切り換わります。**

メニューで設定するとき

① テレビメニューボタンを押し、メニュー画面を表示する。
② 上下カーソルボタンで「省エネ設定」を選び、決定ボタンを押す。
③ 上下カーソルボタンで「セーブモード」を選び、決定ボタンを押す。
④ 上下カーソルボタンで「省エネ」または「標準」を選び、決定ボタンを押す。
⑤ テレビメニューボタンを押し、通常画面に戻す。

おしらせ

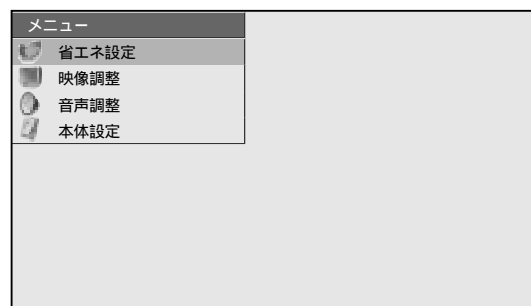
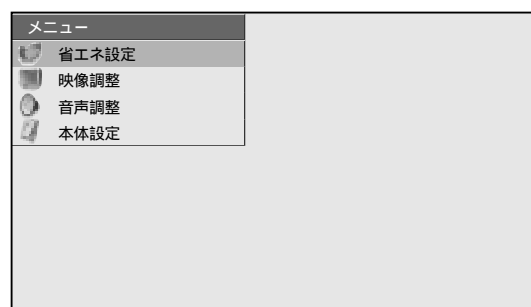
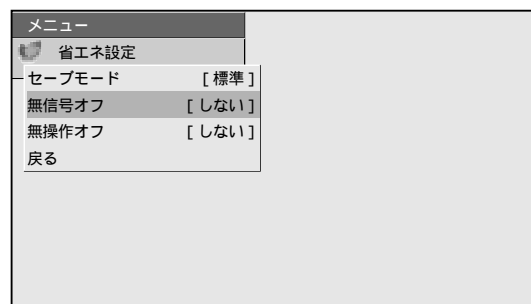
- セーブモードを「省エネ」に設定すると、入力された映像信号に応じて、制御するレベルを変えることにより、消費電力を抑える機能が働きます。しかし、映像の種類によっては、その効果が判別できない場合があります。

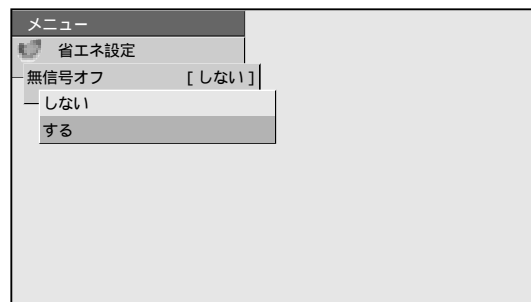
いろいろな省エネ機能(つづき)

メニューで省エネ機能を設定する

<例>テレビ／ビデオ入力で無信号オフを「する」に設定する

1 テレビメニュー を押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「省エネ設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「無信号オフ」を選び、決定を押す

扉を開けたところ

4 で「する」を選び、を押す

- **他の省エネ機能を設定したいときは、手順3〜4をくり返します。**

5 を押し、通常画面に戻す

おしらせ

無信号オフ機能について

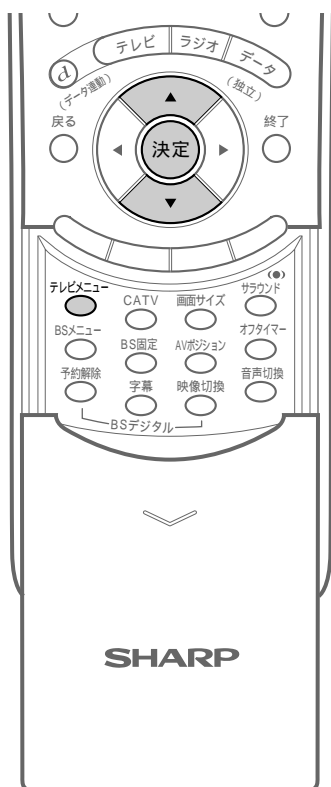
- 放送が終了しても他局の放送や電波が混入すると、正しく動作しない場合があります。
- 受信状態が弱くなり電源が切れてしまうときは、設定を「しない」にしてください。
- 電源が切れる5分前から画面にメッセージが表示されます。

いろいろな省エネ機能(つづき)

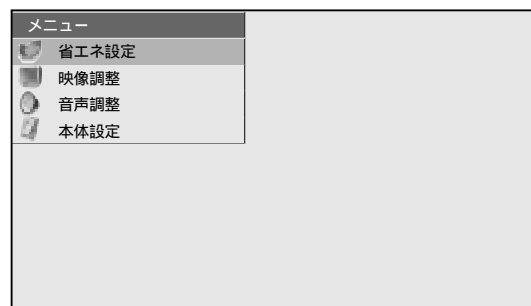
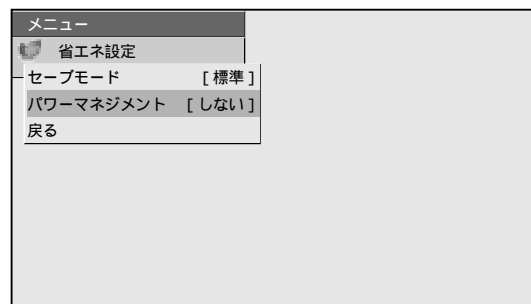
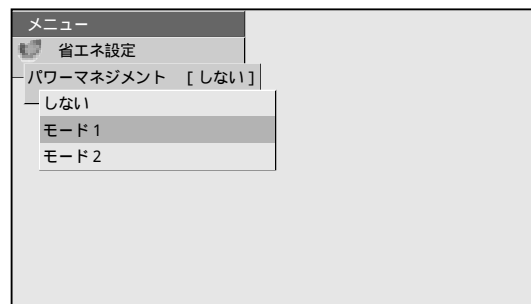
ＰＣ入力の省エネ機能の設定

■ＰＣ入力のとき、映像信号がなくなってからしばらくすると自動的に電源が切れるように設定することができます。（パワーマネジメント）

「しない」………	**パワーマネジメントを行いません。**
「モード1」……	**無信号になったとき、約8分後に自動的に電源が切れる機能です。 電源が切れる5分前から、画面にメッセージが表示され、電源が切れるまでの残り時間が分かります。** 無信号オフ 残り　5分
「モード2」……	**無信号の状態が8秒間続くと、自動的に電源が切れる機能です。再び信号を受けると電源が入ります。**

扉を開けたところ

<例> パワーマネジメントを「モード1」に設定する

1 テレビメニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲▼で「省エネ設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「パワーマネジメント」を選び、決定を押す

4 ▲▼で「モード１」を選び、決定を押す

5 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

BSデジタル放送を楽しむ

ＢＳデジタル放送について

BSデジタル放送の特長

情報を圧縮して多くのデータを送ることができるため、限られた電波の範囲でつぎのようなたくさんの放送やサービスが可能です。

多チャンネルのデジタルハイビジョン放送

いままでのＢＳ（アナログ）放送では、ハイビジョン放送が１チャンネルだけでしたが、ＢＳデジタル放送ではデジタルハイビジョン放送が７チャンネルに増えました。（２００１年１０月現在）

データ放送

静止画像や文字によって必要な情報をいつでも取り出せる新しい放送です。テレビ放送等と連動したデータ放送と、独立したデータ放送の２種類のデータ放送があります。

- 本機ではデータ放送番組を表示する際、データ放送事業者が提供する番組の表示画面と一部異なる場合があります。

ラジオ放送

ＣＤ並みの高音質の音楽を含むラジオ放送です。

電子番組表（EPG）

ＢＳデジタル放送では、送られてくるデータの中に番組の情報が含まれています。その番組情報をもとにテレビ画面に番組表を表示したものが電子番組表（ＥＰＧ）です。
この電子番組表を使って、番組を探したり、番組の内容を確認したり、番組を予約したりすることができます。

新しい放送サービス

ＢＳデジタル放送では、マルチビューサービスや臨時編成サービス（**１０１**ページ参照）など、従来のテレビ放送になかった、新しい便利な放送サービスも可能となりました。

- マルチビューサービス、臨時編成サービスは、放送局側でサービスを行っているときのみ視聴可能です。

BSデジタル放送のチャンネル番号表

BSデジタル放送では、チャンネル番号が3桁になっています。

100番台～200番台のチャンネル番号 ・・・・・・・・・テレビ放送のチャンネル番号
300番台～500番台のチャンネル番号 ・・・・・・・・・ラジオ放送のチャンネル番号
600番台～900番台のチャンネル番号 ・・・・・・・・・独立データ放送のチャンネル番号

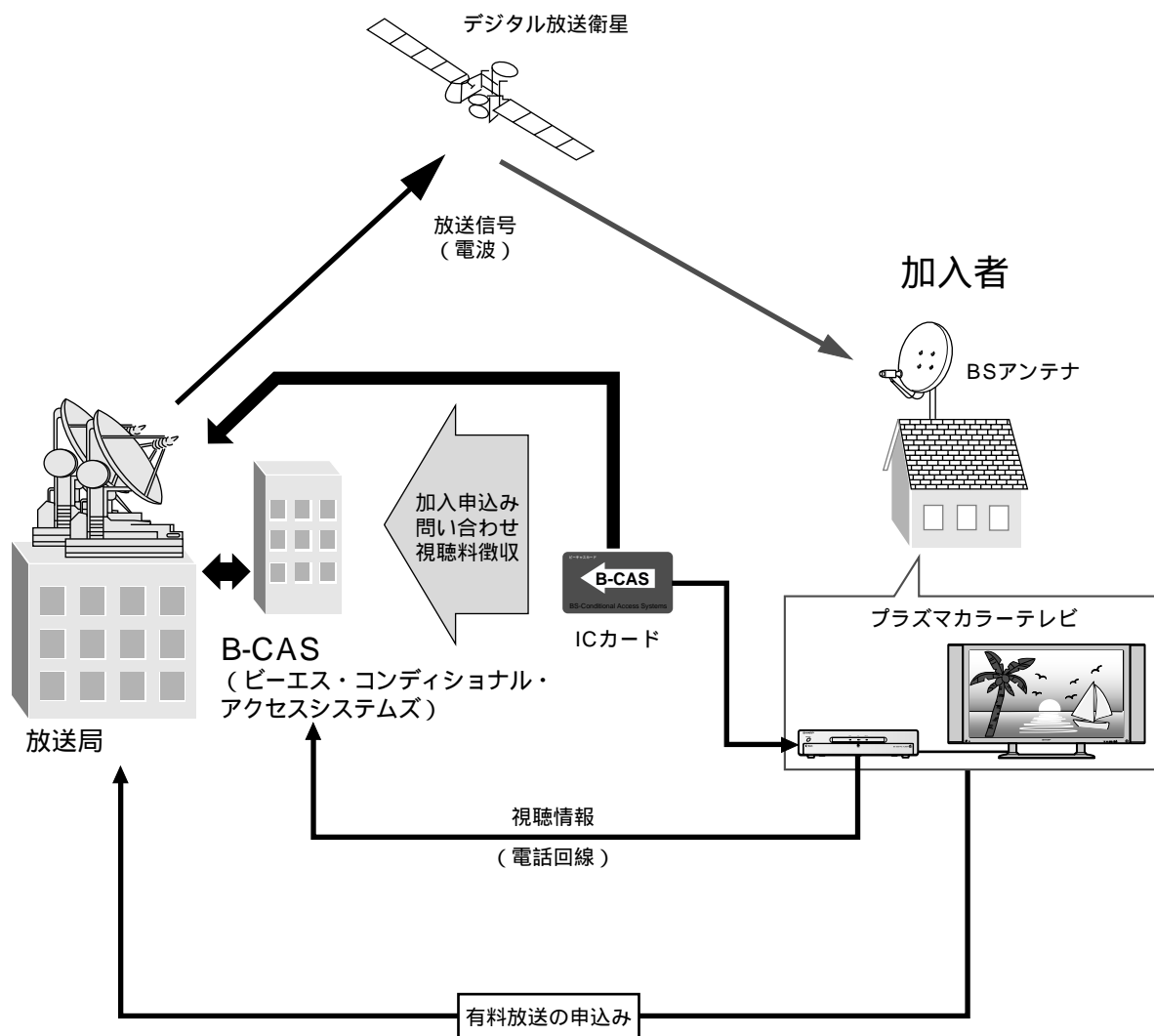
BSデジタル放送のチャンネル番号一覧表

	委託放送事業者	チャンネル番号		
		テレビ放送	ラジオ放送	独立データ放送
統合(テレビ／ラジオ／データ)	NHK BS1	101	なし	700～709
	NHK BS2	102	なし	700～709
	NHK ハイビジョン	103 (臨時編成サービス時：104、105)	なし	700～709
	BS日テレ	140～143、145～149 (臨時編成サービス時：144)	440～449	740～749
	BS朝日	150～157 (臨時編成サービス時：158、159)	450～459	750～759
	BS-i	160～168 (臨時編成サービス時：169)	460～469	760～769
	BSジャパン	170～179 (臨時編成サービス時：未定)	470～479	770～779
	BSフジ	180～187 (臨時編成サービス時：188、189)	488、489	780～789
	WOWOW	191、192、193 (臨時編成サービス時：198、199)	491、492	790～799
	スターチャンネル	200～209	なし	800～809
ラジオ／データ	BSC	なし	300、301	なし
	ミュージックバード	なし	310～319	610～619
	JFNサテライト	なし	320～329	620～629
	セント・ギガ	なし	330～339	630～639
データのみ	メガポート放送	なし	なし	900～909
	ウェザーニューズ	なし	なし	910～919
	DCI	なし	なし	930～939
	日本データ放送	なし	なし	940～949
	メディアサーブ	なし	なし	950～959
	日本メディアーク	なし	なし	960～969
	日本ビーエス放送	なし	なし	990～999

(2001年10月現在)

(臨時編成サービス：**101**ページをご覧ください。)

BSデジタル放送について（つづき）

放送サービスのイメージ

その他の特長

ＢＳデジタル放送では、チャンネル編成のしかたが新しく決められたため、つぎのような今までになかった便利なサービスが可能です。

臨時編成サービス

野球中継などが延長になった場合、野球中継は継続しながら、別のチャンネルで予定の番組を放送する場合があります。このようなサービスを「臨時編成サービス」といいます。

マルチビューサービス

１つの番組の中で、カメラアングルを変えて3つの場面に分けて放送されるサービスなどを「マルチビューサービス」といいます。
例えば、野球中継で、レフト側観客席から見た映像、ライト側観客席から見た映像、バックネット裏から見た映像の3つの映像を1つのチャンネルで放送することができます。

降雨対応放送

ＢＳデジタル放送では衛星から送られてくる電波が、激しい降雨によって弱められ、放送を受けられなくなることがあります。これを避けるため、送るデータを少なくすることで映像・音声の内容を途切れなく視聴できるサービスが「降雨対応放送」です。
図ー1の表示が出たときに、画面を小さくして番組を見ることができます。

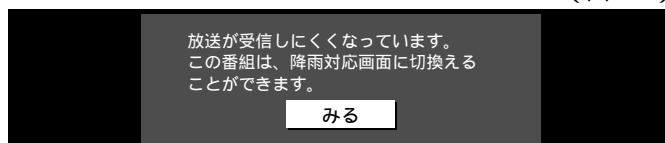
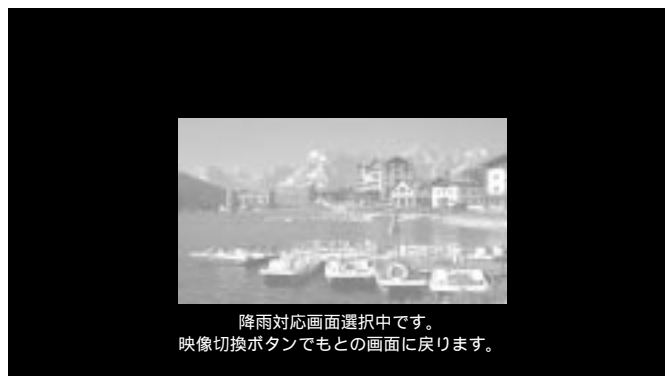
おしらせ

- 臨時編成サービス、マルチビューサービス、降雨対応放送は、放送局側でサービスを行っているときのみ視聴可能です。

降雨対応放送への切換え方法

降雨等によって受信しにくくなったとき、降雨対応の番組が放送されている場合、その旨を画面に表示してお知らせします。（図ー1）
リモコンの決定ボタンを押すと、降雨対応の画面に切り換わりますので、途切れることなく番組を視聴できます。（図ー2）

（図ー1）

放送が受信しにくくなっています。
この番組は、降雨対応画面に切換える
ことができます。
みる

降雨対応放送の画像イメージ （図ー2）

- 降雨対応画面から通常画面に戻すには、リモコン扉内の映像切換ボタンを押してください。

BSメニュー画面について

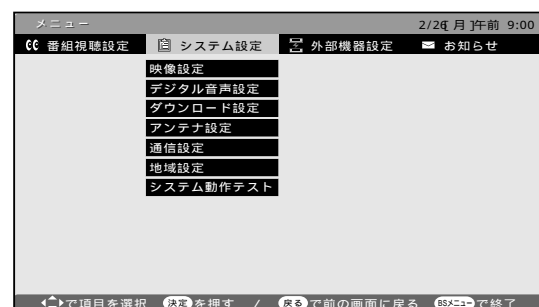
本機は、暗証番号の設定や予約録画の設定など、各種設定の変更や確認、また受信した各種データの表示などをBSメニューから選択して行います。操作手順の詳細については、それぞれのページをご覧ください。

基本操作
(リモコン扉内のボタン)

BSメニューを表示する／終了する.... BSメニュー
前に戻る.. 戻る
カーソルで選ぶ..........
決定する...................... 決定

メニューの構成

番組視聴設定

BS固定設定............................ 156ページ
字幕表示設定.......................... 133ページ
チャンネル表示設定 132ページ
チャンネルスキップ設定......... 134ページ
暗証番号設定.......................... 149ページ
視聴年齢制限設定 151ページ
PPV設定................................ 152ページ

システム設定

映像設定.................................. 155ページ
デジタル音声設定 148ページ
ダウンロード設定 157ページ
アンテナ設定.......................... 160ページ
通信設定.................................. 163ページ
地域設定.................................. 167ページ
システム動作テスト 173ページ

外部機器設定

ビデオ連動録画設定............ 138ページ
i. LINK設定............................ 141ページ

お知らせ

受信メッセージ一覧 169ページ
受信機レポート 170ページ
ICカード番号表示 171ページ
PPV購入履歴...................... 172ページ

設定画面の表示

白で表示されている項目…………現在選択されている項目です。
黄色で表示されている項目………現在カーソルがある項目です。

テレビ番組を選ぶ

BSデジタル放送には、無料放送と有料放送があります。有料放送を見るには、放送局との契約(**56**ページ)が必要になります。ここでは基本的なチャンネル選局の操作方法を説明します。

BSチャンネルボタンで選ぶ

■リモコンのBSチャンネルボタンには、各放送局のチャンネルが登録(設定)されており、ワンタッチ選局できます。
また、確認/登録ボタンを押すと、BSチャンネルボタンに登録されている放送局の一覧が画面に表示されます。(**108**ページ参照)

1

① テレビ を押し、テレビ放送を選ぶ

- **すでにテレビ放送を受信している場合は必要ありません。**
- **最後に視聴していたテレビチャンネルが選局されます。**

② BSチャンネルボタンで選局する

<例> NHK BS1を選ぶとき

NHK1 1 を押す

3桁入力で選ぶ

■お好みのチャンネル番号(3桁)を入力して選局できます。チャンネル番号表(**99**ページ)を参照してください。

1

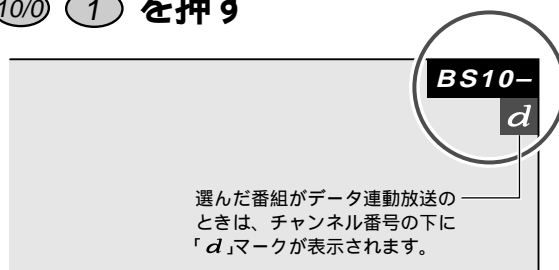
3桁入力 を押す

2

BSチャンネルボタンでチャンネル番号を入力する

<例>101チャンネルを選ぶとき

NHK1 1 スター 10/0 NHK1 1 を押す

選んだ番組がデータ連動放送のときは、チャンネル番号の下に「d」マークが表示されます。

- **間違った番号を入力した場合は、再度3桁入力ボタンを押すと、前に入力した番号がクリアされます。**

テレビ番組を選ぶ(つづき)

選局(∧順／∨逆)ボタンで選ぶ

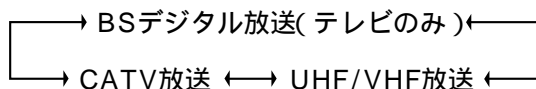
1

① テレビ を押し、テレビ放送を選ぶ

- **すでにテレビ放送を受信している場合は必要ありません。**
- **最後に視聴していたテレビチャンネルが選局されます。**

② 選局 を押す

- **選局(∧順／∨逆)ボタンを押すごとに、つぎのようにチャンネルが切り換わります。**

→ BSデジタル放送(テレビのみ) ←
→ CATV放送 ⟷ UHF/VHF放送 ←

おしらせ

- あらかじめチャンネルスキップを設定しているチャンネルは飛びこして選局します。
- 工場出荷時の状態では、CATVチャンネルはスキップ設定されています。
- ラジオ放送やデータ放送を視聴しているとき、テレビボタンを押すと、テレビ放送に戻ります。

テレビ放送に連動したデータ放送を視聴する

■テレビ放送に連動したデータ放送がある場合は、番組情報ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「*d*」が表示されています。

1

d (データ連動) を押す

(連動データ放送のイメージ図)

おしらせ

- 電源を入れた直後やチャンネル切換えをした直後は、*d*(データ連動)ボタンを押してもデータ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、テレビ放送受信後しばらく(約20秒)待ってから操作してください。(表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。)

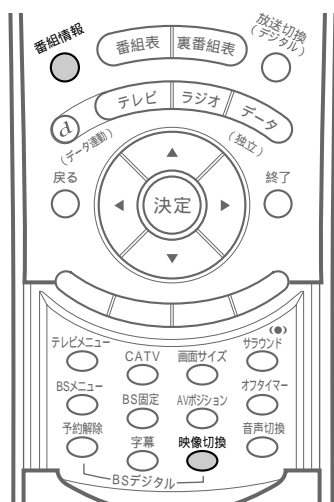
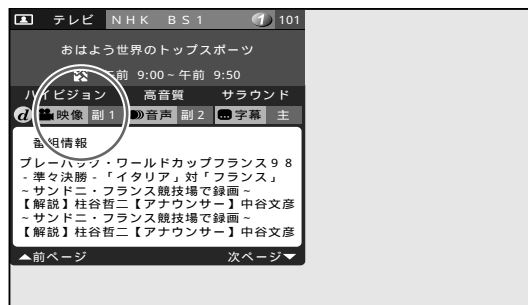
映像・音声の切り換えかた

主映像と副映像(最大3つ)、また主音声と副音声(最大7つ)がある番組をご覧のとき、主・副の映像および音声を切り換えて楽しむことができます。

主・副映像を楽しむ

■主・副映像のある番組をご覧のとき、番組情報ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「**映像**」が表示されています。

扉を開けたところ

1

映像切換 を押し、映像を切り換える

- **ボタンを押すたびに、つぎのように映像が切り換わります。**

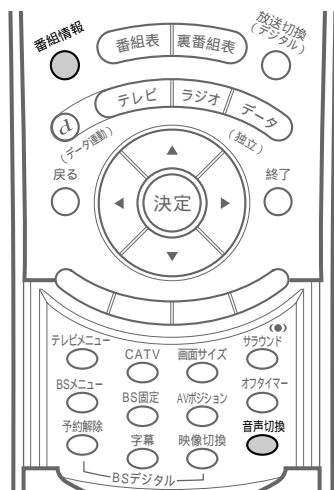
→主映像 → 副映像1～3※ →

※番組によって副映像の数は異なります。

主・副音声を楽しむ

■主・副音声のある番組をご覧のとき、番組情報ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「**音声**」が表示されています。

扉を開けたところ

1

音声切換 を押し、音声を切り換える

- **ボタンを押すたびに、つぎのように音声が切り換わります。**

マルチ音声番組のとき　→主音声 → 副音声1～7※ →

※番組によって副音声の数は異なります。

二重音声番組のとき　→主音声 →副音声 →主/副音声 →

おしらせ
- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、主音声が選択されます。

ラジオ番組を選ぶ

BSチャンネルボタンで選ぶ

1

① ［ラジオ］ を押し、ラジオ放送を選ぶ

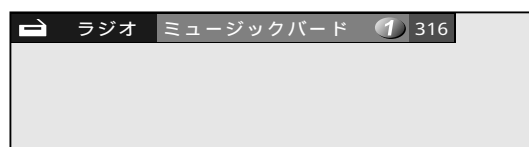
- **すでにラジオ放送を受信している場合は必要ありません。**
- **最後に視聴していたラジオチャンネルが選局されます。**

② BSチャンネルボタンで選局する

ラジオ　ミュージックバード　1　316

- **リモコンのBSチャンネルボタンに登録されている放送局は、確認／登録ボタンを押すと確認できます。（工場出荷時の設定チャンネルについては、108ページをご覧ください。）**

3桁入力で選ぶ

1

① 3桁入力 ◯ を押す

② BSチャンネルボタンでチャンネル番号を入力する

<例>300チャンネルを選ぶとき

NHKh 3　スター 10/0　スター 10/0 を押す

- **ラジオ放送のチャンネルについては、99ページのチャンネル番号表をご覧ください。**

選局(∧順／∨逆)ボタンで選ぶ

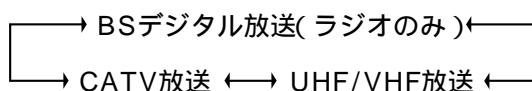
1

① ［ラジオ］ を押し、ラジオ放送を選ぶ

- **すでにラジオ放送を受信している場合は必要ありません。**
- **最後に視聴していたラジオチャンネルが選局されます。**

② **を押す**

- **選局(∧順／∨逆)ボタンを押すごとに、つぎのようにチャンネルが切り換わります。**

→ BSデジタル放送（ラジオのみ） ←
→ CATV放送 ⟷ UHF/VHF放送 ←

おしらせ

- ラジオ放送を受信しているとき、ディスプレイの選局(∧順／∨逆)ボタンではテレビ番組のみ選局できます。
- ラジオ番組は、BSデジタル放送を視聴しているとき以外は選局できません。

データ番組を選ぶ

BSチャンネルボタンで選ぶ

1

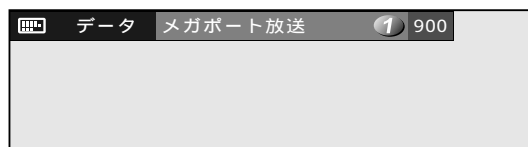
① データ(独立) を押し、独立データ放送を選ぶ
- **すでにデータ放送を受信している場合は必要ありません。**
- **最後に視聴していたデータチャンネルが選局されます。**

② BSチャンネルボタンで選局する

- **リモコンのBSチャンネルボタンに登録されている放送局は、確認／登録ボタンを押すと確認できます。**
(工場出荷時の設定チャンネルについては、108ページをご覧ください。)

3桁入力で選ぶ

1

① 3桁入力 を押す

② BSチャンネルボタンでチャンネル番号を入力する

<例>910チャンネルを選ぶとき

WOW 9 NHK1 1 スター 10/0 を押す

BS91–

- **独立データ放送のチャンネルについては、99ページのチャンネル番号表をご覧ください。**

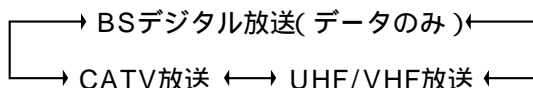
選局(∧順／∨逆)ボタンで選ぶ

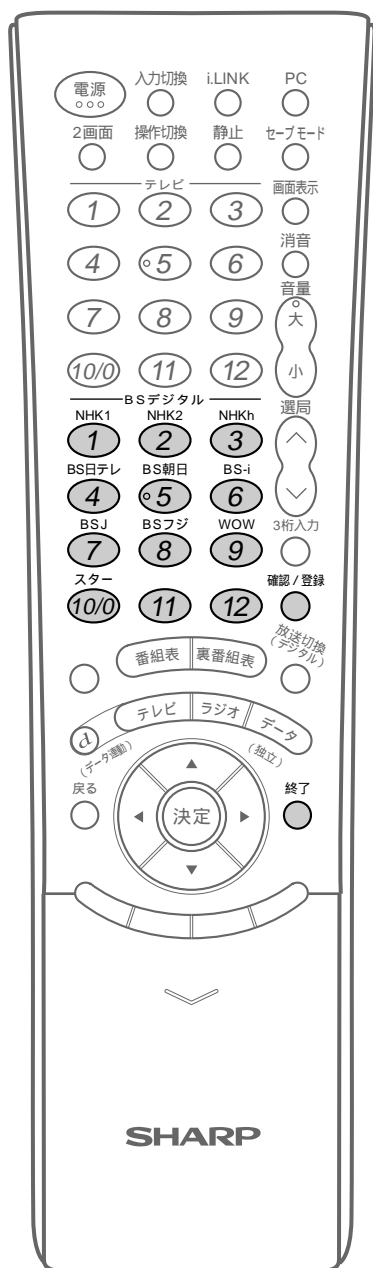
1

① データ(独立) を押し、独立データ放送を選ぶ
- **すでにデータ放送を受信している場合は必要ありません。**
- **最後に視聴していたデータチャンネルが選局されます。**

② 選局 を押す

- **選局ボタンを押すごとに、つぎのようにチャンネルが切り換わります。**

→ BSデジタル放送(データのみ) ← ← UHF/VHF放送 ←→ CATV放送 ← (循環)

- 独立データ放送の使いかたは、各放送局の番組の作りかたによって異なります。基本的にはカーソルボタン、決定ボタン、カラーボタンなどで操作します。(ゲームモードでは、左カーソルの動きが鈍い場合があります。)
- 独立データ放送を受信しているとき、ディスプレイの選局(∧順／∨逆)ボタンではテレビ番組のみ選局できます。
- 本機は、データ放送番組内のテレビ画面の縮小表示に完全には対応していません。(縮小されたテレビ画面の周辺部が表示されない場合があります。)
- 本機は、データ放送画面、字幕、文字スーパー画面の半透過表示に対応していません。(字幕、文字スーパーなどで、半透過色で番組が制作されている場合でも非透過色の表示となります。)
- データ番組は、BSデジタル放送を視聴しているとき以外は選局できません。

BSチャンネルボタンに登録されているチャンネルを確認する

1 確認／登録 ◯ を押す

- **確認後、画面表示を消すには確認／登録ボタンか終了ボタンを押します。**

工場出荷時に設定されているチャンネル一覧

BSチャンネルボタン	テレビボタンを押したとき		ラジオボタンを押したとき		データ独立ボタンを押したとき	
	放送局	チャンネル番号	放送局	チャンネル番号	放送局	チャンネル番号
NHK1 1	NHK BS1	101	BSC	300	メガポート放送	900
NHK2 2	NHK BS2	102	ミュージックバード	316	ウェザーニューズ	910
NHKh 3	NHK ハイビジョン	103	JFN衛星放送	320	デジキャス933	933
BS日テレ 4	BS 日テレ	141	セントギガ	333	日本データ放送	940
BS朝日 5	BS 朝日	151	BS 日テレラジオ	444	BS955	955
BS-i 6	BS-i	161	BSAラジオ	455	日本メディアーク	963
BSJ 7	BS ジャパン	171	BS-iラジオ	461	日本ビーエス放送	999
BSフジ 8	BS フジ	181	BS ジャパンラジオ	471	－	－
WOW 9	WOWOW	191	LFX488	488	－	－
スター 10/0	スターチャンネル	200	BSQR489	489	－	－
11	－	－	WOWOW WAVE1	491	－	－
12	－	－	－	－	－	－

（2001年10月現在）

- BSデジタル放送を視聴しているとき以外は、確認／登録ボタンを押しても、BSチャンネル確認／登録画面は表示されません。

電子番組表（EPG）の使いかた

BSデジタル放送では、電子番組表（EPG）の情報が送信されており、見たい番組を探したり、番組情報を見たり、番組を予約したりするのに、この電子番組表を使います。

1 BSデジタル放送を視聴中に を押す

電子番組表（EPG）画面が表示されます。

2 ▲ ▼ ◀ ▶ で番組を選び、決定を押す

放送中の番組を選んだとき ⇨ 選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき ⇨ 予約選択画面になります。（118ページ参照）

電子番組表（EPG）画面を消すときは
番組表 または 終了 を押します。

基本
- **現在カーソルのあるところが黄色で表示されます。**
- **縦方向にカーソルを動かすときは上下カーソルボタンを使います。**
- **横方向にカーソルを動かすときは左右カーソルボタンを使います。**

おしらせ
- 受信状態によっては、番組情報を取得できないことがあります。
- 電子番組表（EPG）に表示されるのは、BSデジタル放送の番組だけです。

カラーボタンについて
- カラーボタンの機能は、表示されている画面によって変わります。画面の表示内容を見てボタンを使い分けてください。
- 画面上に機能表示がなく、色のついていないカラーボタンは、押しても働きません。

カラーボタンの機能について

青（番組情報をみる）
番組情報が表示されます。

赤（ジャンル検索）
ニュース・報道、映画、音楽、バラエティーなど、番組をジャンル別に探すことができます。

緑（日時検索）
日時を指定して番組表が表示できるので、番組を早く探すことができます。

黄（予約リスト）
予約した番組を一覧表示することができます。
予約リストは予約の取消しや変更に使います。

アイコン一覧

BSデジタル放送の電子番組表(EPG)や予約リストなどには、いろいろなアイコン(絵記号)が使われています。
各アイコンの意味はつぎのとおりです。

放送の種類を示すアイコン

アイコン	放送の種類
	テレビ放送
	ラジオ放送
	独立データ放送

番組情報を示すアイコン

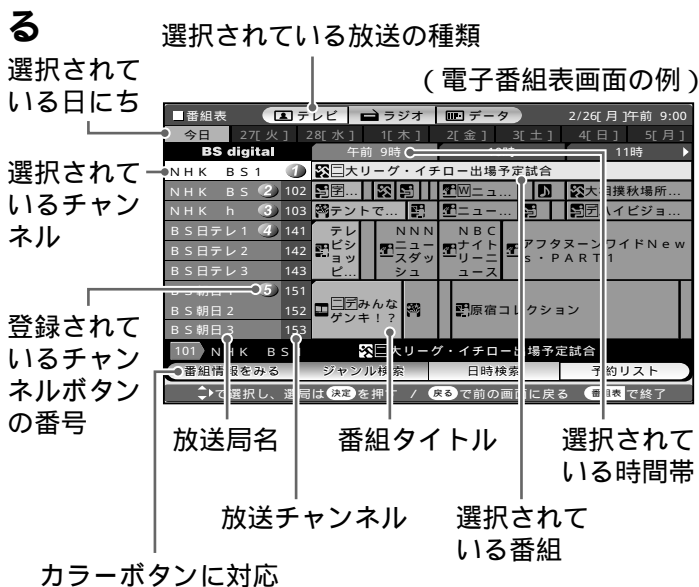
アイコン	内　容
	視聴予約している番組
	録画予約(ビデオ連動予約)している番組
	録画予約(i.LINK予約)している番組
	有料放送、またはPPV(ペイパービュー)番組
	i.LINKによるデジタルコピーが1回のみ可能、または禁止の番組

ジャンルを示すアイコン

アイコン	ジャンル
	ニュース・報道
	スポーツ
	情報・ワイドショー
	ドラマ
	音楽
	バラエティー
	映画
	アニメ・特撮
	教養・ドキュメンタリー
	劇場・講演
	趣味・教育
	福祉

電子番組表（EPG）で選ぶ

見たい番組を探す

1 番組表 を押し、電子番組表（EPG）を表示する

2 見たい番組を ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、決定 を押す

放送中の番組を選んだとき
⇨選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき
⇨予約選択画面になります。（118ページ参照）

電子番組表の表示内容

- テレビ放送……8日分
- ラジオ放送……3日分
- データ放送……最低1日分

※ 電源を入れてからすぐに番組を選んだときは、表示されるまでに時間のかかる場合があります。

電子番組表（ＥＰＧ）で選ぶ（つづき）

ジャンルで番組を探す

■番組をジャンル別に表示させて、見たい番組を選ぶ方法です。

1

① 番組表 を押し、電子番組表を表示する

② 赤 （ジャンル検索）を押す

2

見たいジャンルを ◀ ▶ で選ぶ

3

見たい番組を ▲ ▼ で選び、 決定 を押す

放送中の番組を選んだとき
　⇨選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき
　⇨予約選択画面になります。（１１８ページ参照）

日時を指定して番組を探す

■日付と時間を指定して電子番組表を表示させることができます。

1 ① 番組表 を押し、電子番組表を表示する
② 緑 （日時検索）を押す

2 ◀▶ で日にちを選び、黄 （時間を選ぶ）を押す

3 ◀▶ で時間を選び、決定 を押す

● 指定された日時の電子番組表が表示されます。

BSデジタル放送を楽しむ

電子番組表（EPG）で選ぶ（つづき）

電子番組表（EPG）で選ぶ（つづき）

番組の内容を確認する

■未放送の番組の内容を知りたいとき、電子番組表で、番組の詳しい情報を見ることができます。

1 番組表 を押し、電子番組表を表示する

2 内容を確認したい番組を ▲ ▼ ◀ ▶ で選ぶ

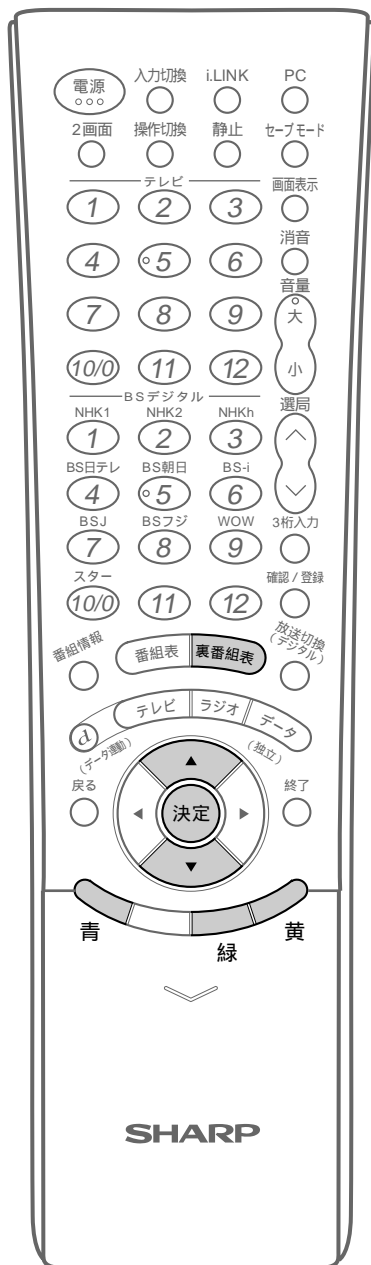
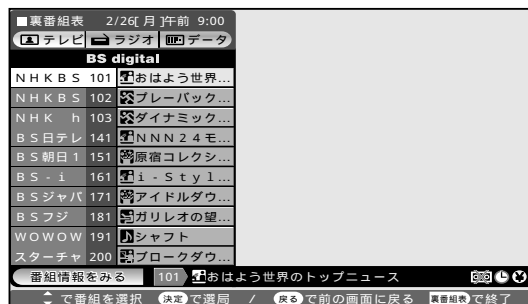
3 青（番組情報をみる）を押す

● 番組情報が表示されます。

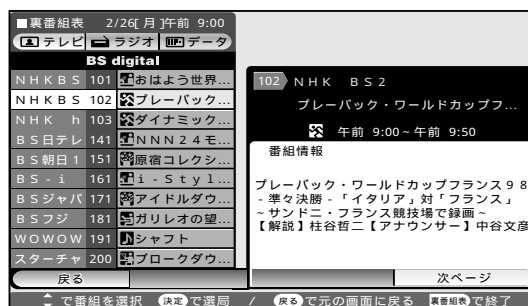
● 黄ボタンを押すと、つぎのページを見ることができます。前のページに戻るときは、緑ボタンを押します。

視聴中の番組の内容を見るには

● 番組情報ボタンを押してください。
（電子番組表を表示する必要はありません。）

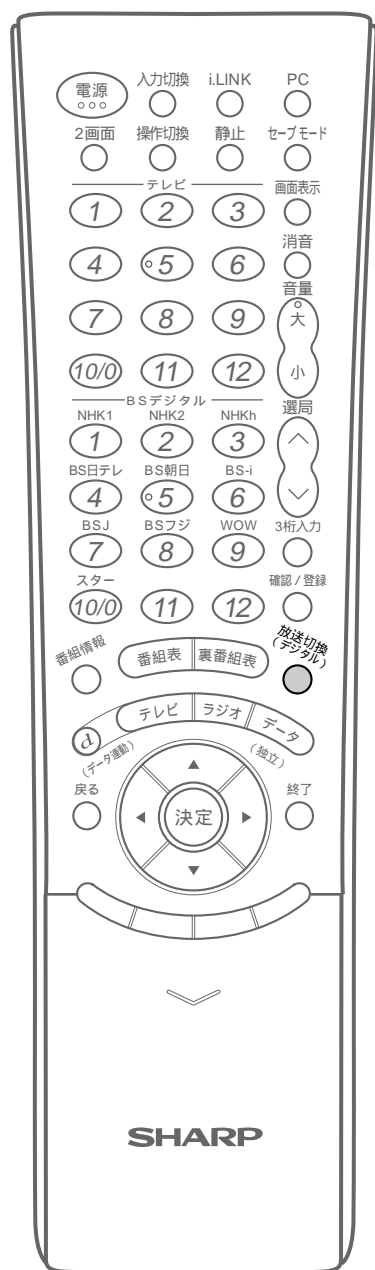
放送中の他の番組を知りたいとき

1 裏番組表 を押し、裏番組表を表示する

2 ▲ ▼ で番組を選ぶ

3 青（番組情報をみる）を押す

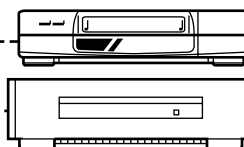
● **選んだ番組の情報が表示されます。**

● **黄ボタンを押すと、つぎのページを見ることができます。前のページに戻るときは、緑ボタンを押します。**

● 選んだ番組を視聴したいときは、決定ボタンを押すと選局できます。
● テレビ、ラジオ、データのいずれの放送についても、同じように裏番組表を表示することができます。

放送を切り換える

放送切換(デジタル)は、将来新しい放送やサービスが始まったときの拡張用機能です。
現在(2001年10月)は、操作できません。

- 本機はARIB(電波産業会)規格に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。

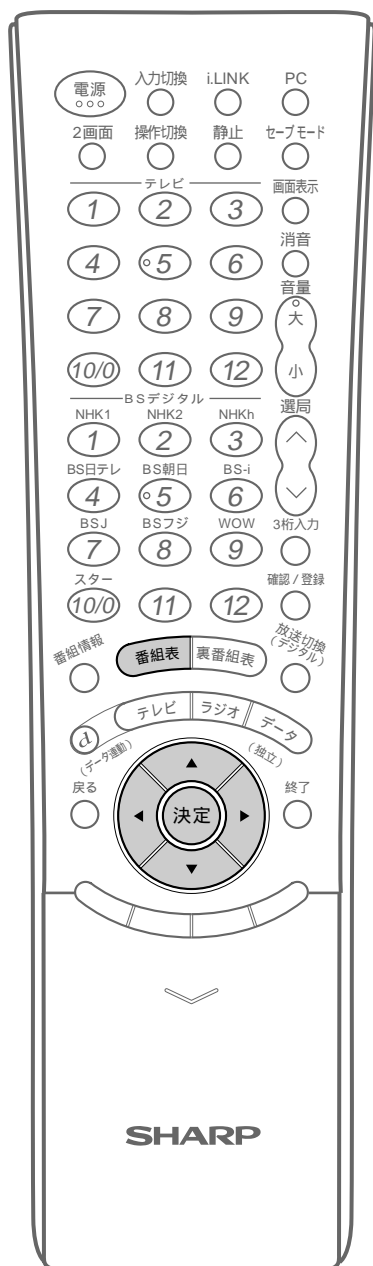
電子番組表(EPG)から番組を予約する

■本機は、BSデジタル放送の番組を電子番組表(EPG)から予約することができます。
■予約には**「視聴予約」**と**「録画予約」**の2種類があります。

おしらせ

- データ番組はビデオ連動予約ができません。
- 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行う放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。
- 番組が開始する2分前までに予約を完了してください。開始2分前になると、予約ができません。
- 録画予約を選択した場合、録画開始2分前になると、BSデジタルに関するリモコン操作を受けつけなくなります。また、予約録画の実行中もリモコン操作を受けつけません。操作を行う場合は、リモコン扉内の予約解除ボタンで予約を解除してから操作してください。
- 契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組等は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

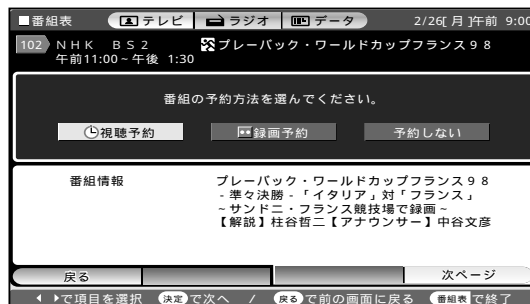
視聴予約か録画予約かを選ぶ

■電子番組表から、放送予定の番組の視聴予約、録画予約およびPPV（ペイパービュー）番組の録画予約ができます。

1 番組表 を押し、電子番組表を表示する

● 翌日以降の番組を予約したいときは、日時指定（113ページ）で番組表を表示させると便利です。

2 予約したい番組を ▲ ▼ ◀ ▶ で選ぶ

3 決定 を押す

● 予約選択画面になります。

「視聴予約」……視聴のみの予約となります。
視聴予約の手順（119ページ）に進みます。

「録画予約」……録画する機器の選択ができます。
録画予約の手順（120ページ）に進みます。

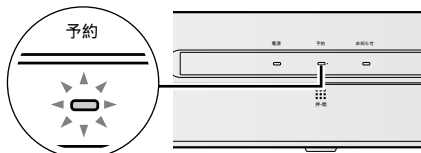
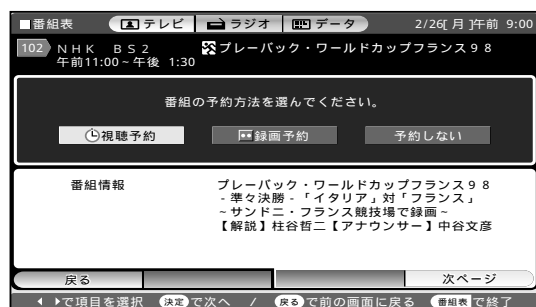
「予約しない」…予約をしないで番組表に戻ります。

視聴予約

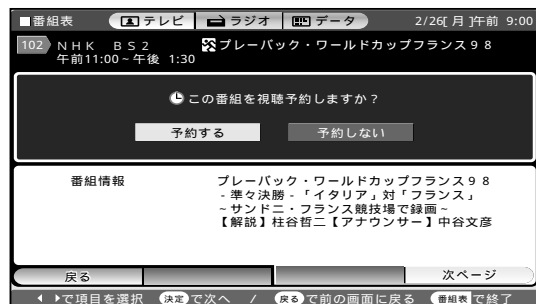
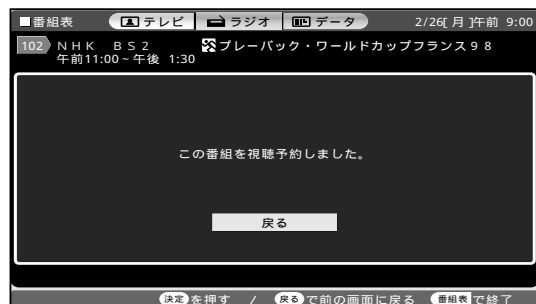
- 有料放送を予約する場合は、有料放送の放送局とあらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 前に入れた予約と日時が重なっている場合は、前の予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 最大16番組まで予約できます。すでに16番組を予約していて、新たな予約をしたい場合は、予約の取消し（**130**ページ）が必要です。

おしらせ

予約ランプについて

- 番組を予約すると、チューナー部前面の予約ランプが点灯します。

1 ◀で「視聴予約」を選び、決定を押す

2 ◀で「予約する」を選び、決定を押す

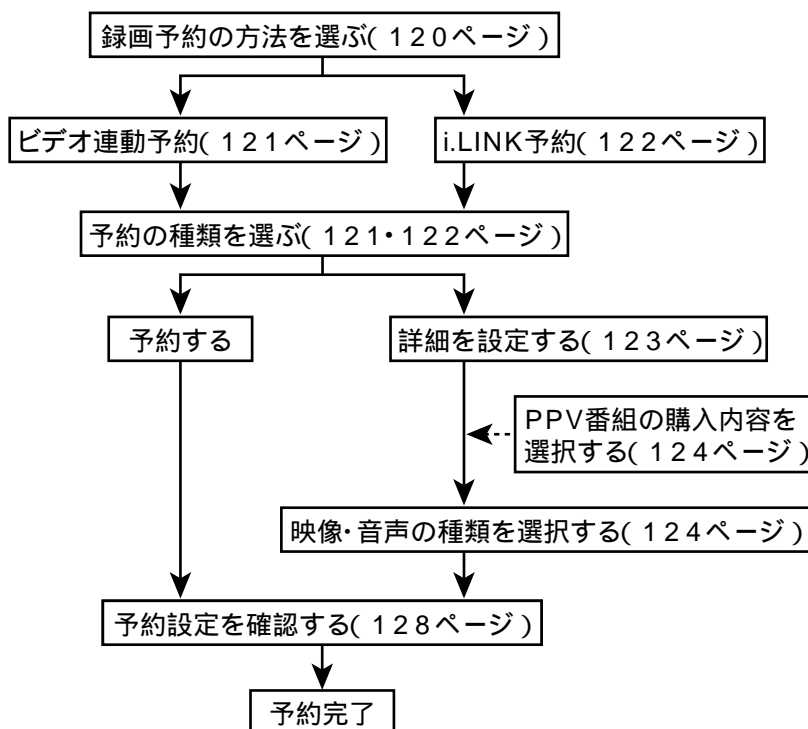
「予約する」………… 無料放送や契約している有料放送が予約できます。

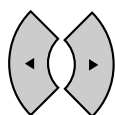
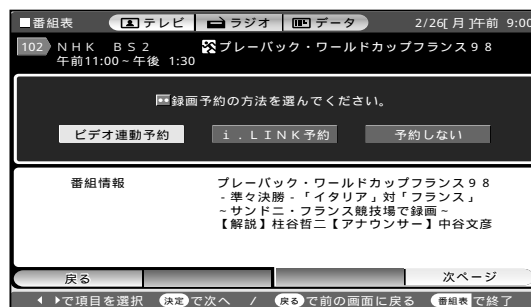
「予約しない」……… 予約をしないで番組表に戻ります。

3 「戻る」で決定を押す

- **視聴予約が設定されました。**

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

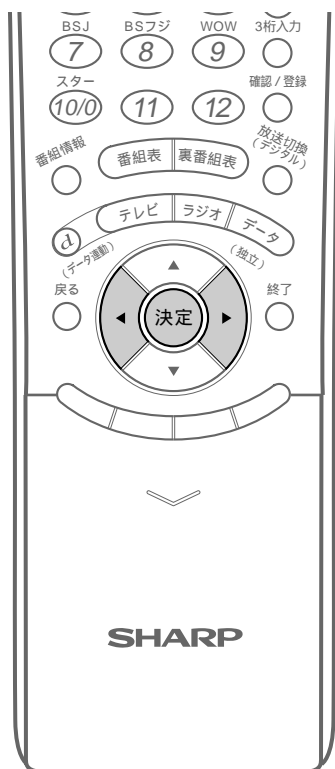
録画予約

- 有料放送を予約する場合は、有料放送の放送局とあらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 前に入れた予約と日時が重なっている場合は、前の予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 最大16番組まで予約できます。すでに16番組を予約していて、新たな予約をしたい場合は、予約の取消し(**130**ページ)が必要です。
- データ放送はビデオ連動予約ができません。
- BSデジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「BS固定」または「ビデオ連動予約」で録画することをおすすめします。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録画予約の操作手順

※ 上記の操作手順は一例です。選んだ番組によっては、必要のない手順もあります。

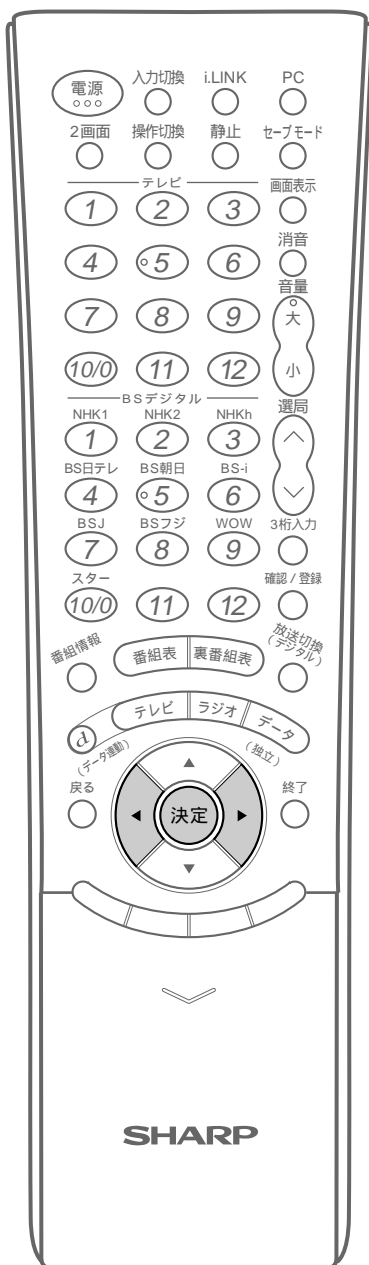
録画予約の方法を選ぶ

1 ◀▶で録画予約の方法を選び、決定を押す

「ビデオ連動予約」… ビデオコントローラーを使ってのビデオ連動予約(121ページ)に進みます。

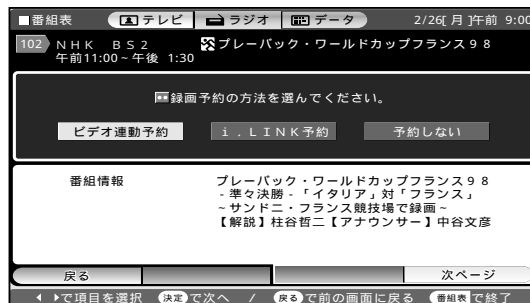
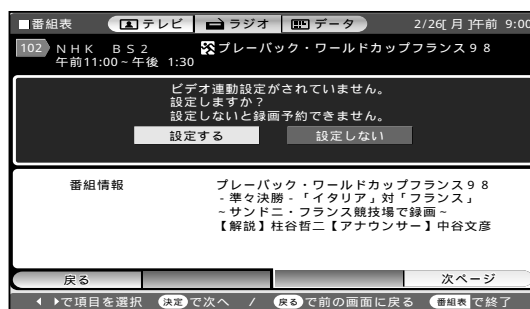
「i.LINK予約」……… i.LINK連動予約(122ページ)に進みます。

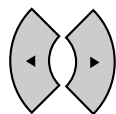
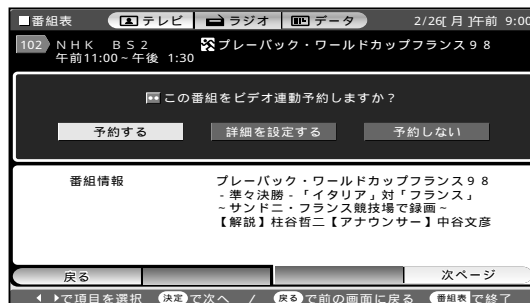
「予約しない」……… 予約をしないで番組表に戻ります。

■ビデオ連動予約とは、付属のビデオコントローラーを使い、予約時間に合わせてビデオデッキの録画を開始・終了する予約録画方法です。

ご注意

● ビデオ連動予約を初めて行う場合は、あらかじめ、ビデオデッキ・ビデオコントローラーの接続（**137**ページ）、およびビデオ連動録画設定（**138**～**140**ページ）を済ませておいてください。

● ビデオ連動録画設定は、一度行えば、設定内容が記憶されますので、次回からは必要ありません。

ビデオ連動予約するとき

1 ◀で「ビデオ連動予約」を選び、決定を押す

- **ビデオ連動録画設定が済んでいるときは、手順2の画面になります。**
- **ビデオ連動録画設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。**

- **「設定する」を選んで決定ボタンを押すと、ビデオ連動録画設定画面になります。設定を行ってください。（１３８ページ参照）**

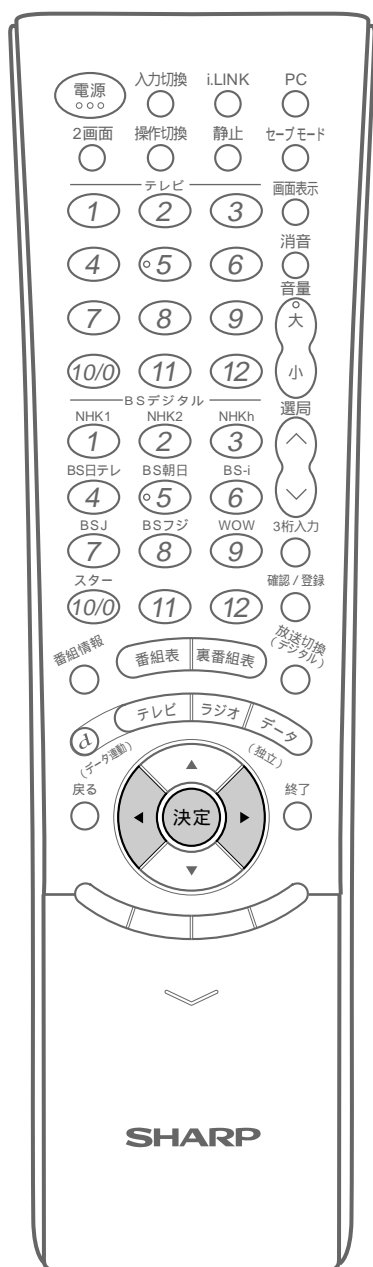
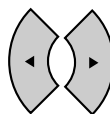
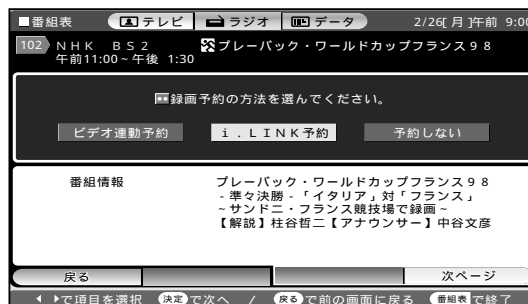
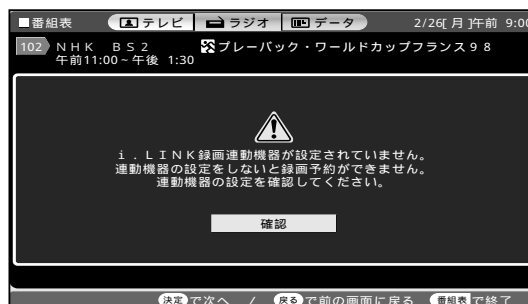
2 ◀▶で予約の種類を選び、決定を押す

「予約する」…………無料放送や契約している有料放送が予約できます。

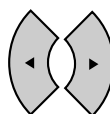
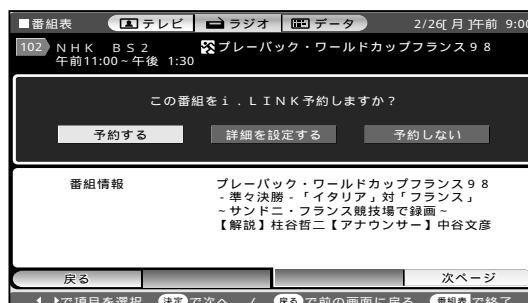
「詳細を設定する」…映像・音声の詳細の予約設定ができます。視聴制限や購入金額制限の設定が必要な項目では、設定のための画面が表示されます。

「予約しない」………予約をしないで番組表に戻ります。

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

■i.LINK予約とは、チューナー部のi.LINK端子に接続したD-VHSビデオデッキを予約時間に合わせて録画開始・終了させ、予約した番組を録画する方法です。

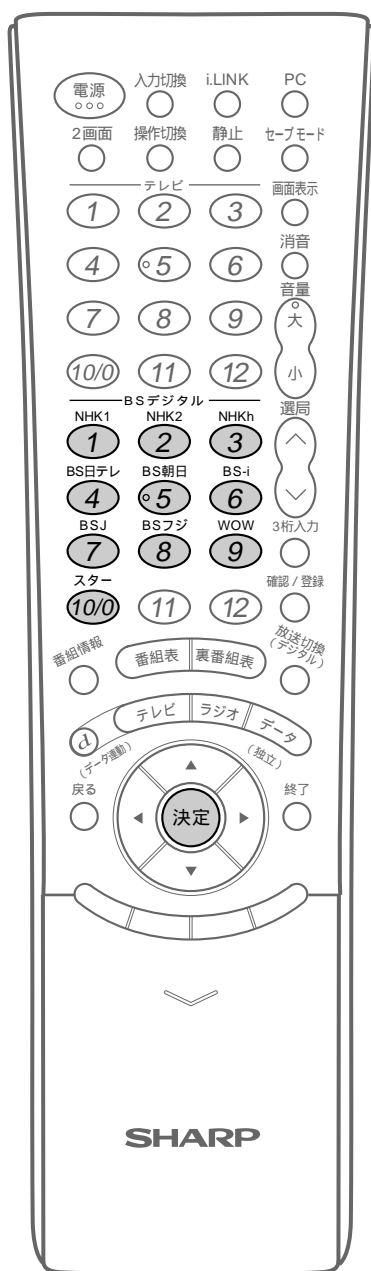
- i.LINK予約するときは、あらかじめ、D-VHSビデオデッキの接続(**185**ページ)とi.LINK設定(**141**～**143**ページ)を済ませておいてください。

i.LINK予約するとき

1 ◀▶で「i.LINK予約」を選び、決定を押す

- **i.LINK設定が済んでいるときは、手順2の画面になります。**
- **i.LINK設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。**

- **「確認」で決定ボタンを押すと、i.LINK設定画面になります。設定を行ってください。(141ページ参照)**

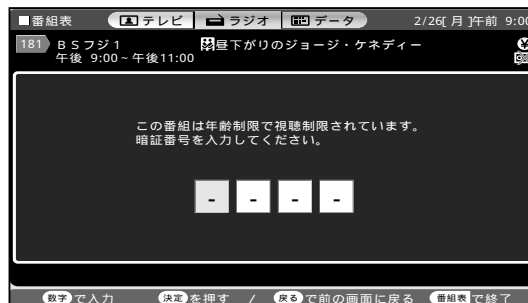
2 ◀▶で予約の種類を選び、決定を押す

「予約する」…………無料放送や契約している有料放送が予約できます。

「詳細を設定する」…映像・音声の詳細の予約設定ができます。視聴制限や購入金額制限の設定が必要な項目では、設定のための画面が表示されます。

「予約しない」………予約をしないで番組表に戻ります。

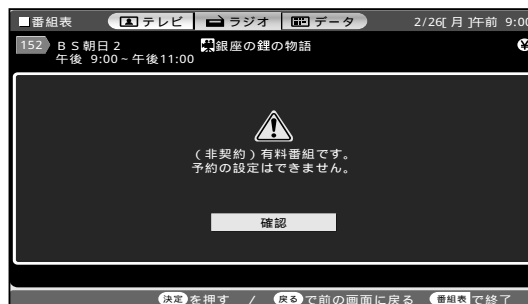
詳細設定

■視聴年齢制限、カード未挿入、有料番組の契約状況が自動判定され、メッセージが表示されます。設定を済ませてから、PPV番組の購入予約ができます。

視聴年齢制限のある番組を予約したとき

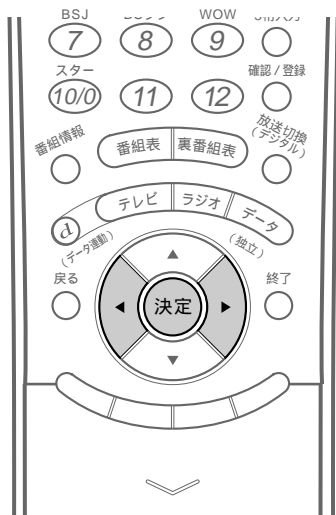
- **暗証番号入力画面が表示されます。**

- **ＢＳチャンネルボタンで暗証番号を入力してください。（１４９ページ参照）**

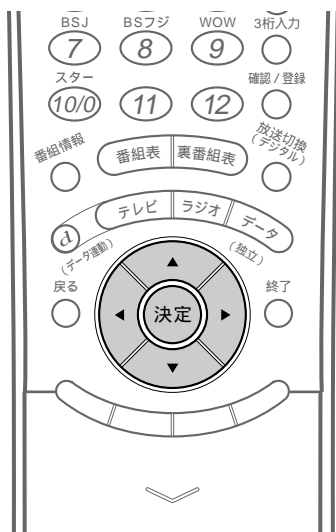
カード未挿入で非契約番組を予約したとき

- **「カード挿入を確認してください。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。カードを挿入し、「確認」で決定ボタンを押してください。**

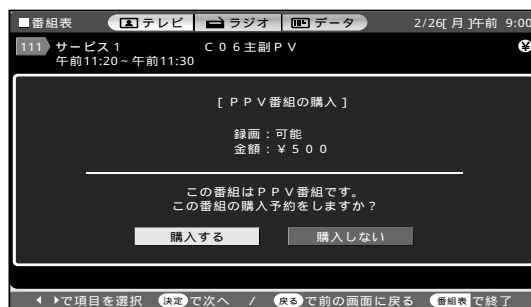
非契約の有料番組を予約したとき

- **「（非契約）有料番組です。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。「確認」で決定ボタンを押してください。**

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

ビデオ連動予約の場合

■映像・音声の種類はつぎのとおりです。それぞれ、表示のあるときのみ選択できます。

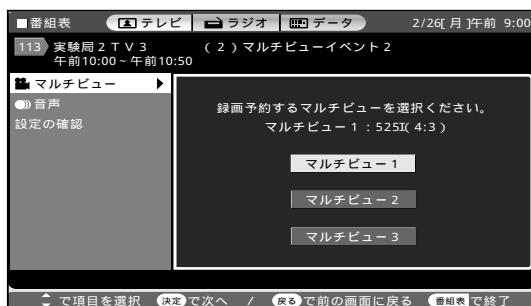
「マルチビュー」…	**いろいろな角度から見た映像**
「映像」………	**主映像と副映像(最大3つ)**
「音声」………	**主音声と副音声(最大7つ)**
「二重音声」…	**主音声と副音声**

PPV番組の購入(する／しない)を選択する

● **PPV番組を選んでいるときのみ必要な手順です。**

1 **◀▶で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す**

● **「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。**

映像・音声の種類を選択する

1 **<マルチビュー番組を選んでいるとき>**

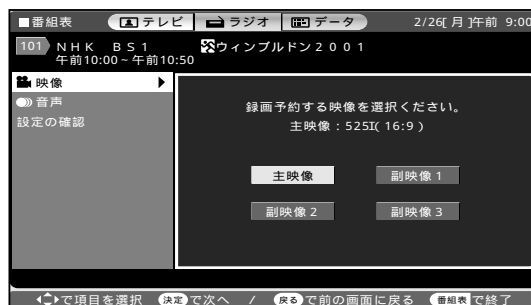
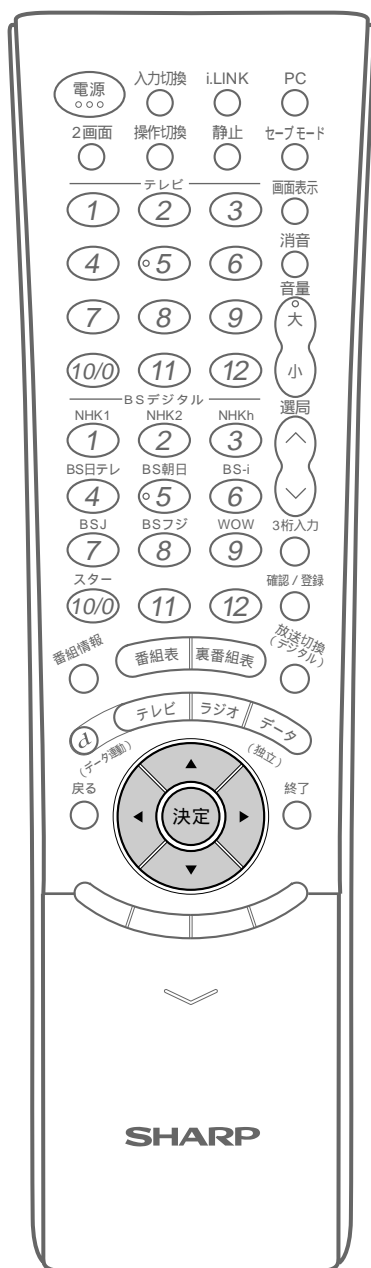
決定を押してから、でマルチビューの種類を選び、決定を押す

<副映像のある番組を選んでいるとき>

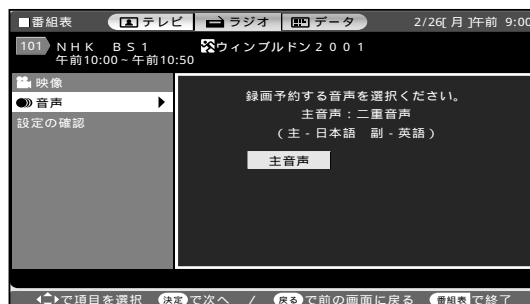
① ▼で「映像」を選び、決定を押す

② ▲▼◀▶で映像を選び、決定を押す

おしらせ

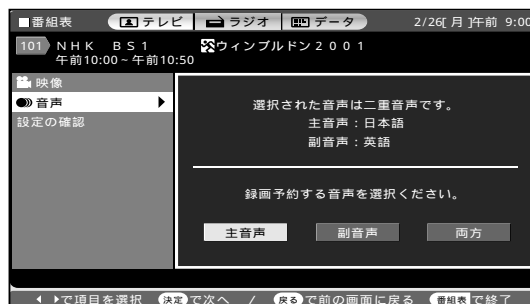
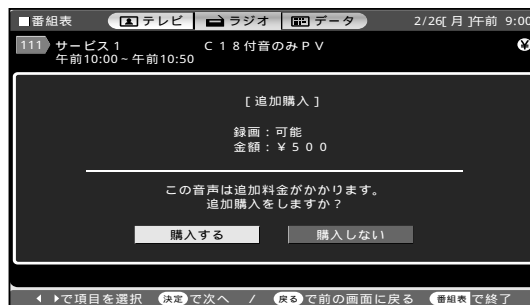
● 副映像の数は、番組によって異なります。

2

① ▼で「音声」を選び、決定を押す

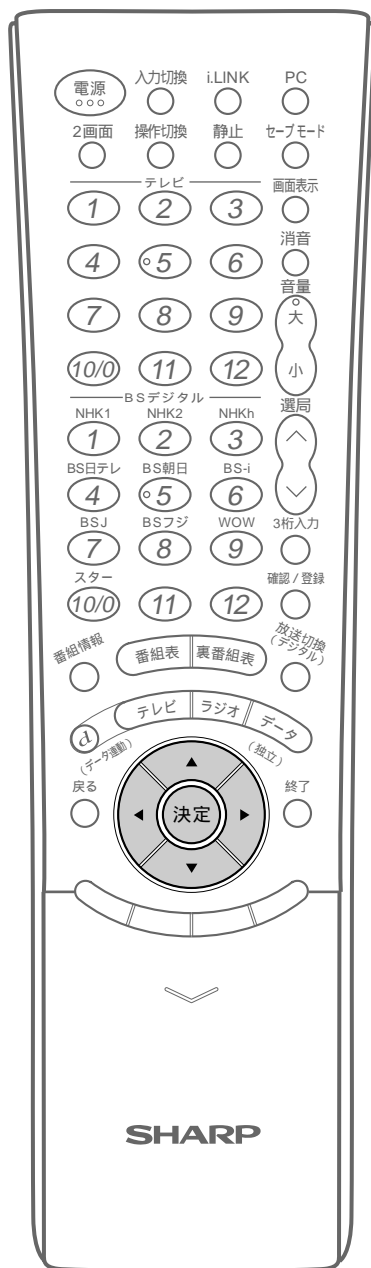
② ▲▼◀▶で音声を選び、決定を押す

- 副音声の数は、番組によって異なります。

3

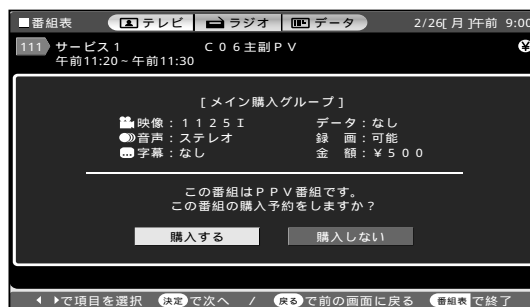
◀▶で二重音声の種類（言語）を選び、を押す

- この操作は、手順2で選んだ音声が二重音声のときのみ必要です。

- 映像・音声の購入に追加料金が必要なときは、追加購入のための画面が表示されます。

- 「購入する」または「購入しない」を選び、決定ボタンを押します。

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

i.LINK予約の場合

PPV番組の購入(する／しない)を選択する

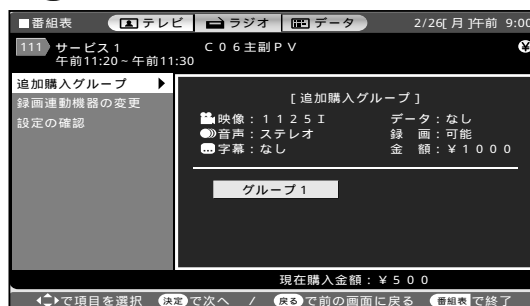
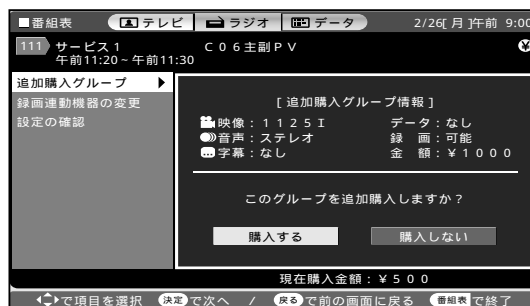
● PPV番組を選んでいるときのみ必要な手順です。

1 ◀▶で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す

●「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

購入グループを選択する

● 追加購入する映像・音声の組み合わせが複数あるときのみ必要な手順です。

1 ①「追加購入グループ」で決定を押す

② ▲▼◀▶で購入グループを選び、決定を押す

2 ◀▶で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す

i.LINK予約の場合（つづき）

使用するi.LINK機器を選択する

● 使用するi.LINK機器を変えたいときのみ必要な手順です。

1 ▲▼で「録画連動機器の変更」を選び、決定を押す

2 ▲▼で、使用するi.LINK機器を選び、決定を押す

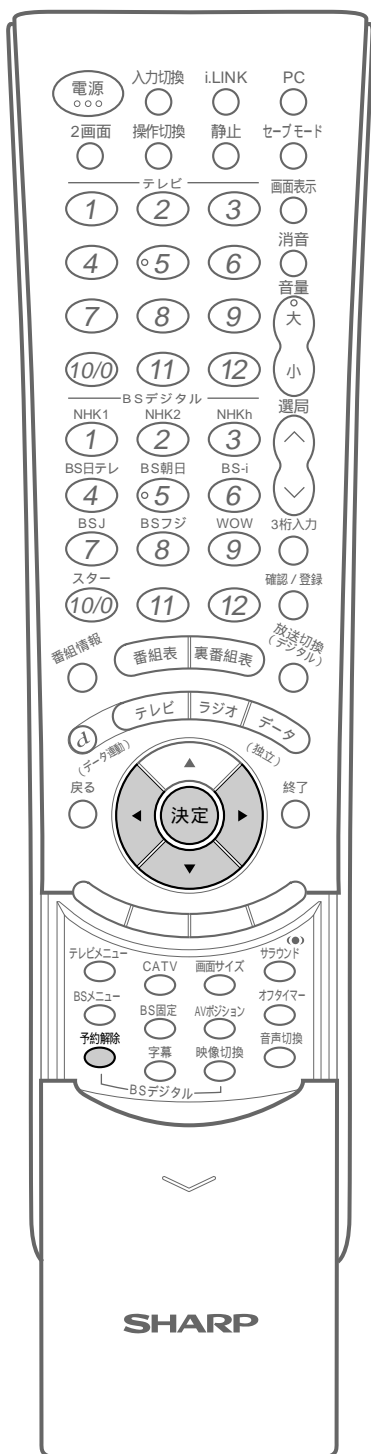
BSデジタル放送を楽しむ

電子番組表（EPG）から番組を予約する（つづき）

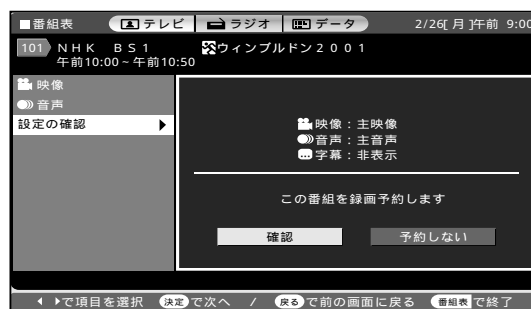
電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

扉を開けたところ

予約設定を確認する

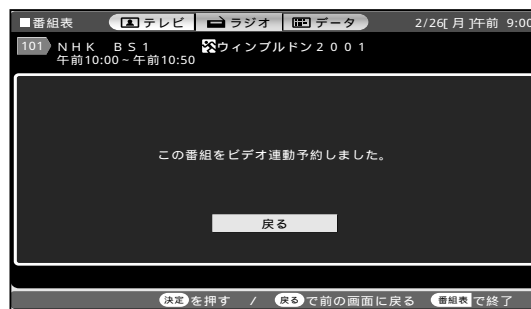
1

① (▼)で「設定の確認」を選び、(決定)を押す

② 画面に表示された設定内容を確認する

③「確認」で(決定)を押す

(ビデオ連動予約の場合の表示例)

- **「予約しない」を選んで決定ボタンを押すと、予約を中止して番組表に戻ります。**

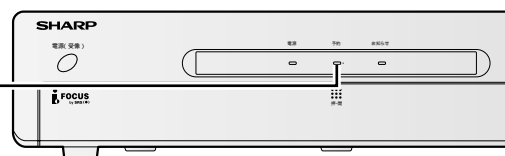
2

「戻る」で(決定)を押す

(ビデオ連動予約の場合の表示例)

- **録画予約が設定されました。**

おしらせ

予約ランプについて

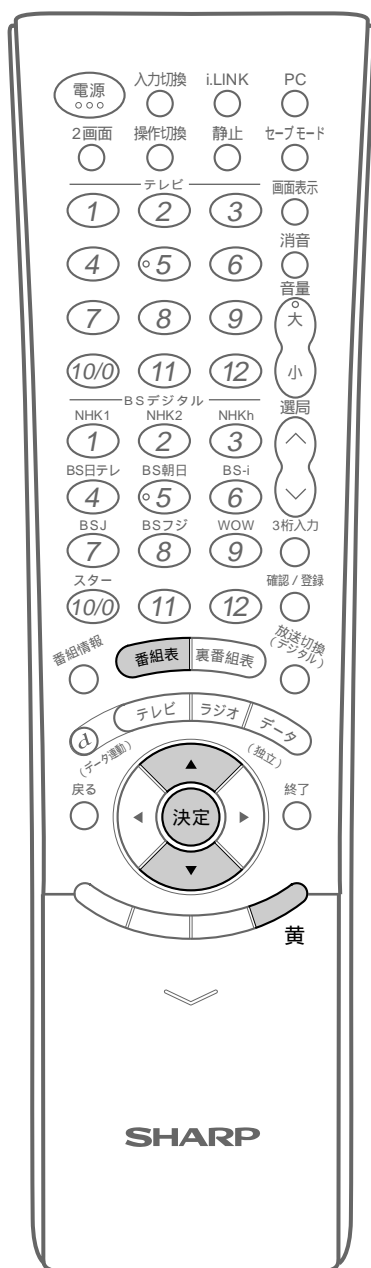
- 番組を予約すると、チューナー部前面の予約ランプが点灯します。

実行中の予約録画を解除するには

- 予約解除ボタンを押します。

おしらせ

- i.LINK予約で録画した放送の内容によっては、再生時にビデオサーチ(早送り、巻戻し)した際、画面がモザイクになる場合があります。

予約の確認・取消し・変更

■番組表から予約リストを表示させ、予約の確認、取消しや変更をすることができます。

予約を確認したいとき

1 ① 番組表 を押し、電子番組表を表示する

② 黄 （予約リスト）を押し、予約リストを表示する

▼予約リストの例

放送の種類　放送日時、チャンネル、番組名

■番組表　テレビ　ラジオ　データ　2/26［月］午前 9:00

■予約リスト　予約内容の確認・変更・取消ができます。

		放送日時	[CH]	番組名
視聴		2/26［月］午前 9:30～午前 9:50	[102]	おはよう世界のトップニ…
録画		2/26［月］午前10:00～午前10:30	[103]	ＢＳニュース５０
視聴		2/26［月］午前11:00～午前11:30	[141]	ＢＳニュース５０
視聴		2/26［月］午前11:30～午前11:50	[142]	ＮＮＮニュースダッシュ
録画		2/26［月］午後12:10～午後12:50	[143]	ニュース
録画		2/26［月］午後 1:00～午後 1:15	[101]	午後のニュース
録画		2/26［月］午後 2:00～午後 2:15	[152]	ニュース
視聴		2/26［月］午後 3:00～午後 3:45	[153]	ニュース

▲前へ　次へ▼

戻る

で番組を選択　決定 で次へ　／　戻る で前の画面に戻る　番組表 で終了

視聴のみの予約

録画予約

上カーソルボタン

下カーソルボタン

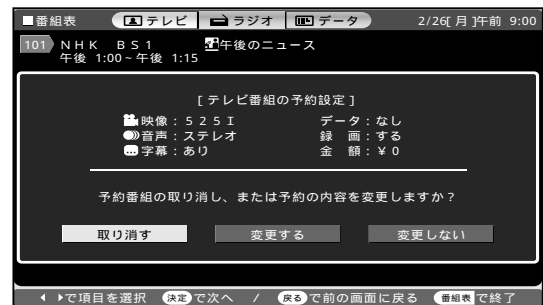
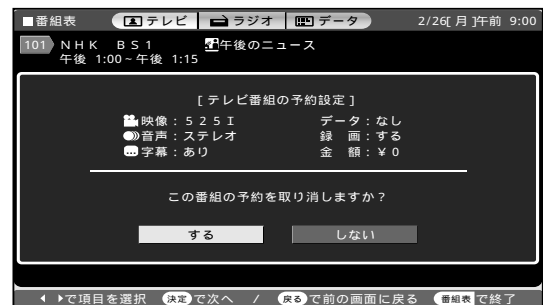
- **予約リストで現在の予約内容を確認します。**
- **リストを上下にスクロールしたいときは、上下カーソルボタンを使います。**
- **予約した番組の設定内容を確認したいときは、上下カーソルボタンで番組を選び、決定ボタンを押します。つぎのような画面が表示されます。**

予約を取り消したいとき

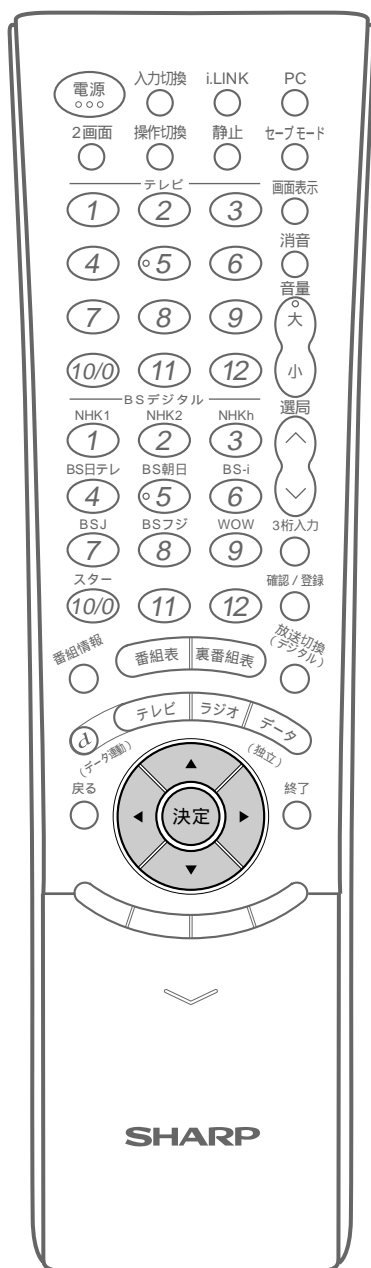
扉を開けたところ

1 予約を取り消したい番組を ▲ ▼ で選び、決定を押す

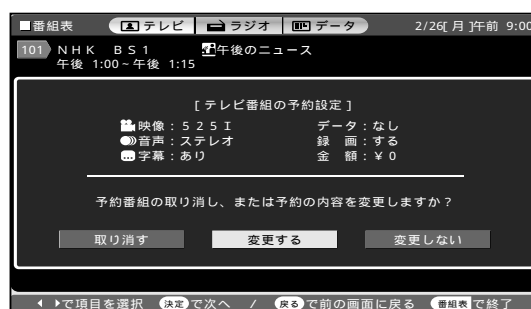
2 ◀ で「取り消す」を選び、決定を押す

3 ◀ で「する」を選び、決定を押す

おしらせ

実行中の予約録画を解除するには

- 予約解除ボタンを押します。

予約を変更したいとき

1 予約を変更したい番組を ▲ ▼ で選び、(決定)を押す

2 ◀ ▶ で「変更する」を選び、(決定)を押す

3 １１９〜１２８ページの予約の手順にしたがって、再度、予約操作を行う

選局後の操作

チャンネル表示のしかたを選ぶ

■番組を選んで画面を切り換えたときに、チャンネル番号や番組タイトルなどが表示されます。

扉を開けたところ

1

① BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

② ◀▶で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲▼で「チャンネル表示設定」を選び、決定を押す

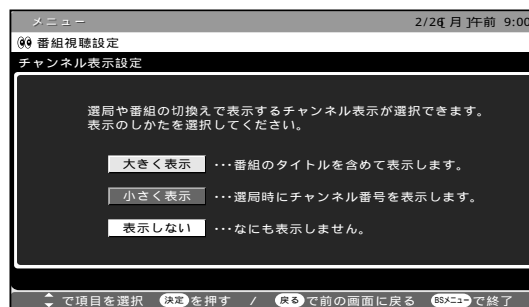
2

▲▼で表示のしかたを選び、決定を押す

「大きく表示」……番組タイトル、チャンネル番号、放送時間などを表示します。

「小さく表示」……選局時にチャンネル番号だけを表示します。

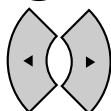
「表示しない」……何も表示しません。（ビデオ連動予約時にチャンネル表示を録画したくない場合などに選びます。）

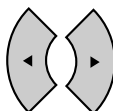
3

BSメニューを押し、通常画面に戻す

字幕を表示する

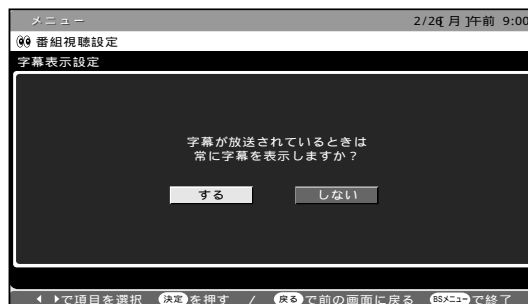
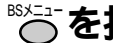
■字幕のある番組で、字幕を表示するかしないかを選択できます。
■工場出荷時の状態では、「しない」に設定されています。

扉を開けたところ

1

① を押し、BSメニュー画面を表示する
② で「番組視聴設定」を選ぶ
③ で「字幕表示設定」を選び、決定を押す

2

で「する」または「しない」を選び、決定を押す

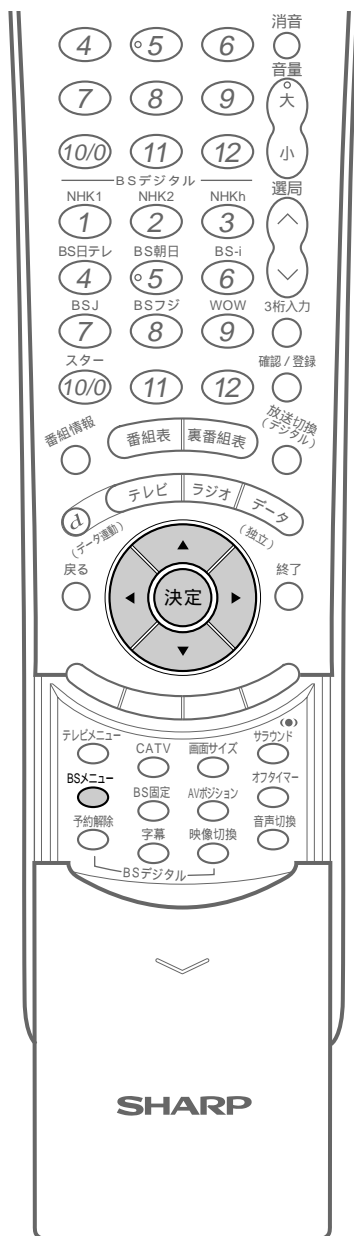
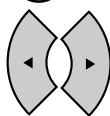
「する」………字幕のある番組では、つねに字幕を表示します。
「しない」……リモコンの字幕ボタンで、字幕表示の入／切を選択できます。

3

BSメニューを押し、通常画面に戻す

選局後の操作(つづき)

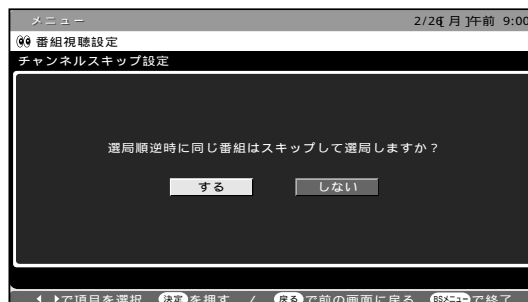
チャンネルスキップを設定する

■選局(∧順／∨逆)ボタンでBSチャンネルを選局するとき、同じ番組※をとばして選局するように設定することができます。

※ 時間帯により、同じ1つの放送局の複数のチャンネルで同じ番組が放送されることがあります。

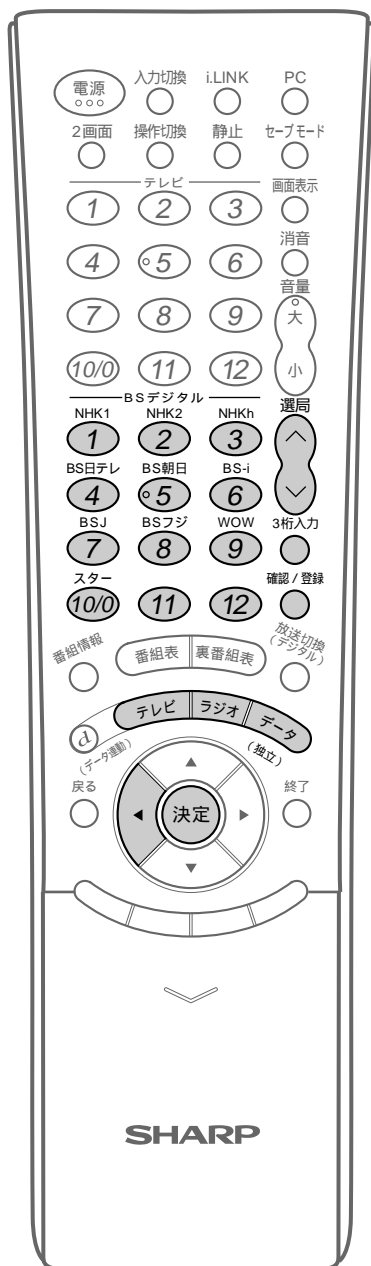
扉を開けたところ

1 ① BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

② ◀▶で「番組視聴設定」を選ぶ

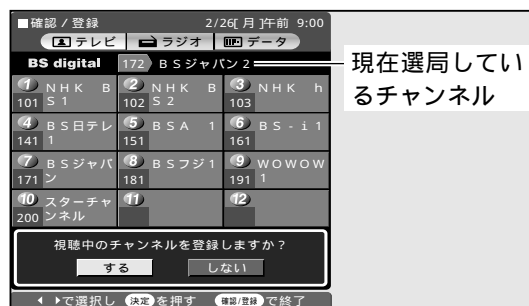
③ ▲▼で「チャンネルスキップ設定」を選び、決定を押す

2 ◀で「する」を選び、決定を押す

3 BSメニューを押し、通常画面に戻す

お好みのチャンネルを登録する

■テレビ放送、ラジオ放送、独立データ放送のそれぞれにつき、お好みのチャンネルを12局まで登録できます。

1

① 登録したいBSデジタル放送のチャンネルを選局する

② 確認／登録 ○ を押す

③ ◀ で「する」を選び、決定を押す

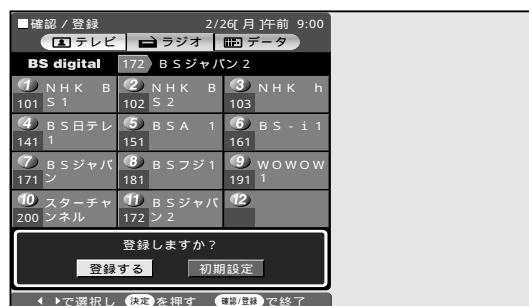
2

登録したいBSチャンネルボタンを押し、決定を押す

<例>「BSジャパン2」(172チャンネル)を 11 に登録する場合は、BSチャンネルボタンの 11 を押します。

- 登録確認画面が表示されます。

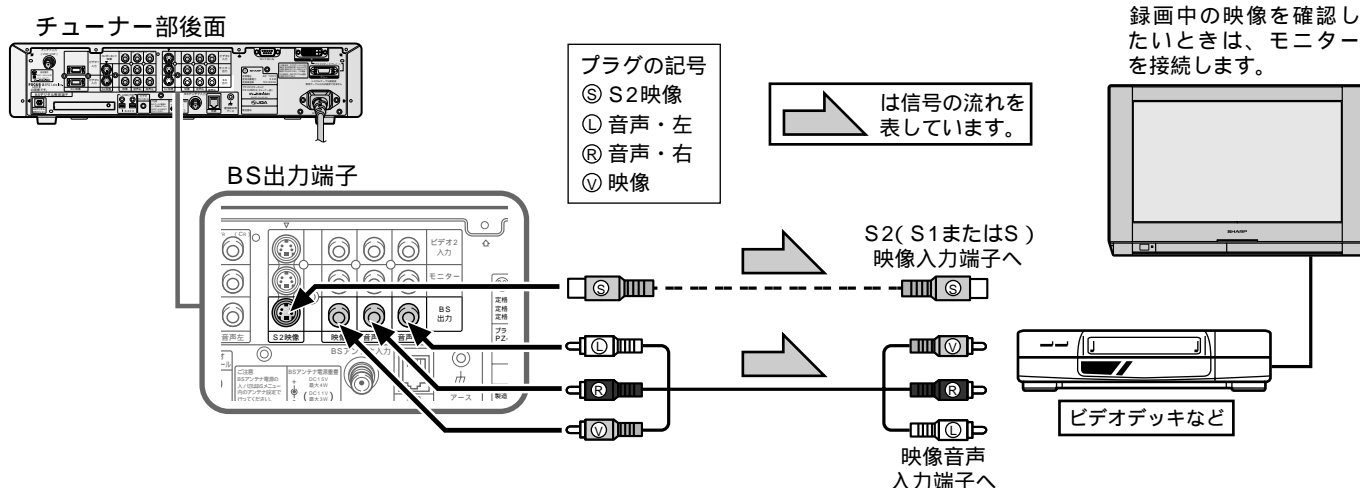
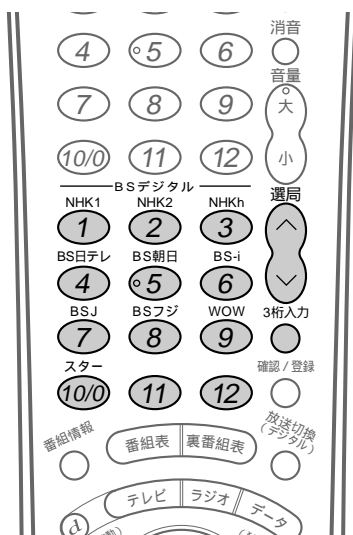
3

◀ で「登録する」を選び、決定を押す

- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「初期設定」を選んで決定ボタンを押します。

外部機器に録画する

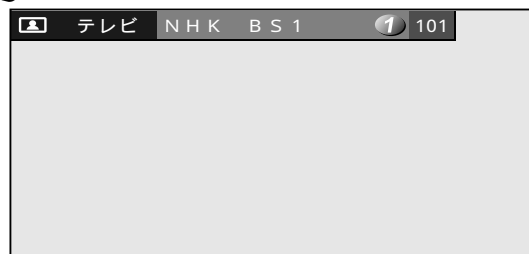
視聴中のBSデジタル放送をビデオデッキに録画する

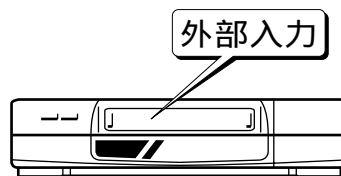
ビデオデッキとの接続のしかた

チューナー部後面のBSデジタル出力端子にビデオデッキなどの録画機器を接続して、BSデジタル放送を録画することができます。

- BSデジタル出力端子からは、BSデジタル放送のハイビジョン画質（走査線1125本）の映像を標準画質（走査線525本）に変換して出力します。したがって、**接続されたビデオデッキでは標準画質で録画されます。**
- ハイビジョン画質で録画するときは、D-VHSビデオデッキをi.LINK接続して、i.LINK設定を行ってください。（**141・185**ページ参照）
- 番組により、録画・録音が制限されている場合があります。
- 2画面機能を入／切すると、BSデジタル出力の映像が一瞬途切れた状態になりますが、異常ではありません。
- BSデジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「BS固定」または「ビデオ連動予約」で録画することをおすすめします。

BSデジタル放送を録画する

<例> NHK BS1の番組を録画するとき

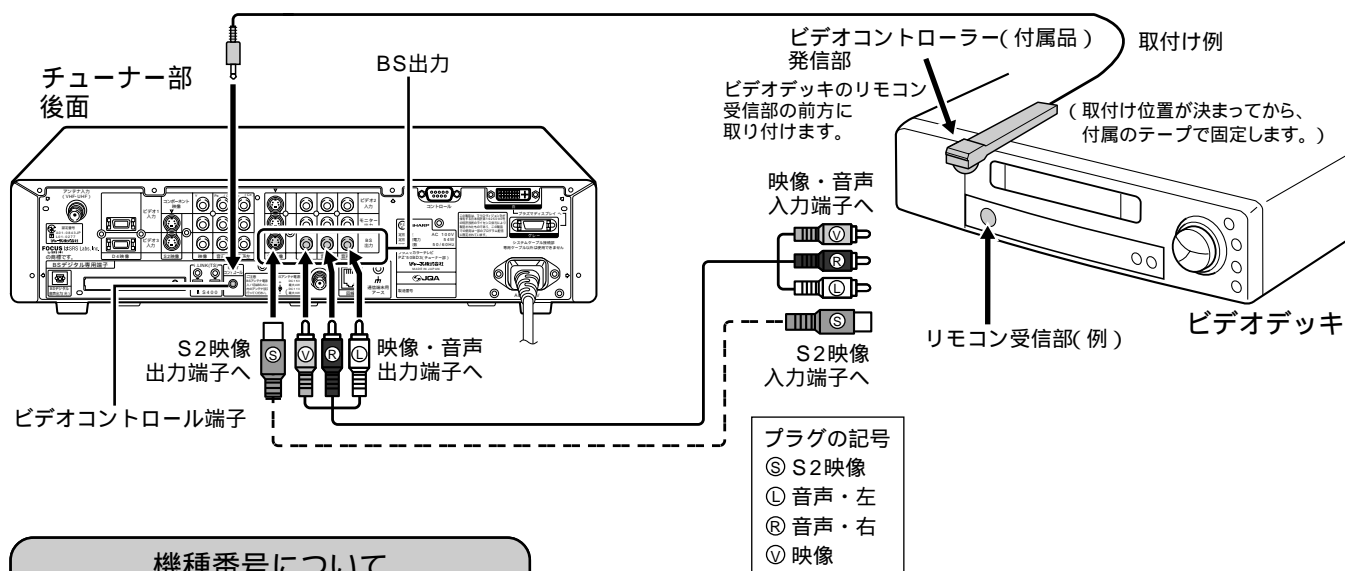
1 **チャンネルボタン(1)を押し、録画する番組を選ぶ**

2 **ビデオデッキを外部入力に切り換え、録画状態にする**

おしらせ

- BSデジタル放送を録画しながら、地上放送などの裏番組を見るときなどは、BS固定を「入」に設定します。（**156**ページ参照）
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ビデオコントローラーを使って予約する（ビデオ連動録画）

ビデオコントローラーを使うと、予約した時刻にビデオコントローラーからリモコン信号が送信され、ビデオデッキの電源の入／切や録画の開始／停止を行い、本機の予約機能と連動して録画（ビデオ連動録画）することができます。この場合、ビデオデッキの予約設定は必要ありません。

■ビデオデッキの機種によっては、リモコン信号が異なるため動作しない場合があります。そのときは、ビデオコントローラーは使用できません。また、ビデオデッキ内蔵型テレビにも録画できません。

接続のしかた（ビデオコントローラーと映像・音声ケーブルをつなぎます）

機種番号について

■ **メーカーにより複数のリモコン信号を採用しているため、つぎの機種番号で区分されます。**

メーカー	機種番号
シャープ	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
アイワ	1, 2, 3, 4
NEC	1, 2, 3, 4
サンヨー	1, 2, 3, 4
ソニー	1, 2, 3, 4, 5, 6
東芝	1, 2, 3, 4, 5, 6
ビクター	1, 2, 3, 4
日立	1, 2, 3
フナイ	1
松下	1, 2, 3, 4, 5, 6
三菱	1, 2, 3, 4
パイオニア	1, 2, 3

工場出荷時の設定：シャープ 1

ビデオコントローラー取付けの際のご注意

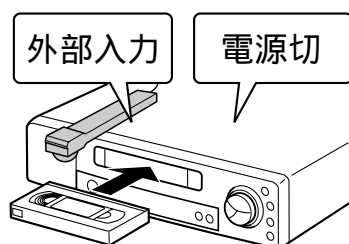
- リモコン受信部の位置は、ビデオデッキやメーカーによって異なります。一般的には、液晶表示部に隣接して丸いものがうすく見えます。
- ビデオコントローラーの発信部がビデオデッキのリモコン受信部に確実に向いていることをご確認ください。
- ビデオコントローラーを取り付けるときは、はじめから任意の位置に固定しないで、**138～140**ページ「ビデオ連動録画の設定」のテストでビデオデッキの電源が「入」になる位置を探し、その位置に固定してください。

外部機器に録画する（つづき）

ビデオ連動録画の設定

扉を開けたところ

1 ビデオデッキの準備をする

①本機につなぐ。（137ページ参照）
②ビデオコントローラーを取り付ける。（137ページ参照）
③外部入力に切り換える。
④録画用ビデオテープを入れる。
⑤電源を「切」にする。

2 ① BSメニュー を押し、BSメニュー画面を表示する

3 ▲ ▼ で「ビデオ連動録画設定」を選び、決定を押す

●「ビデオ連動録画設定」の確認画面が表示されます。

おしらせ

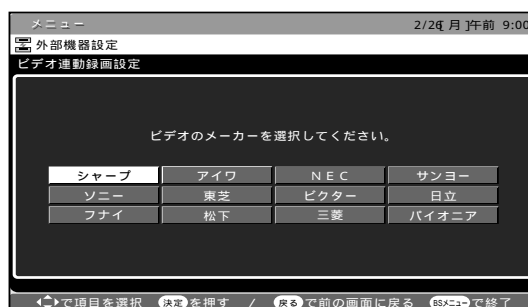
● ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみで、つぎに予約するときは必要ありません。

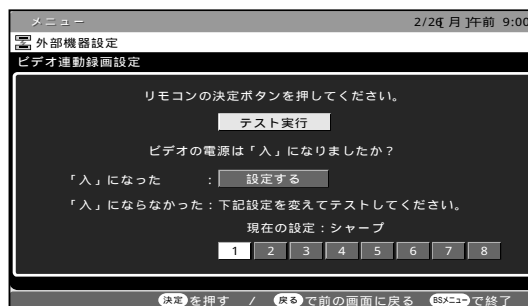
扉を開けたところ

4

① ビデオコントローラーの接続を確認する
②「次へ」で(決定)を押す

5

お使いのビデオデッキのメーカーを ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、(決定)を押す

6

「テスト実行」で(決定)を押し、テストを開始する

テストの結果

- **ビデオデッキの電源が「入」になった（正常）**
  ⇨ 手順9に進みます。
- **ビデオデッキの電源が「入」にならなかったとき**
  ⇨ ビデオデッキの接続、ビデオコントローラーの取付け、メーカーを確認し、手順7に進みます。

次ページへ

おしらせ

- ビデオコントローラーの取付け位置が適切でないためにビデオデッキの電源が「入」にならないことがあります。その場合は、手順6、7、8でテストをくり返しながらビデオデッキの電源が「入」になる位置を見つけ、その位置にビデオコントローラーを固定してください。

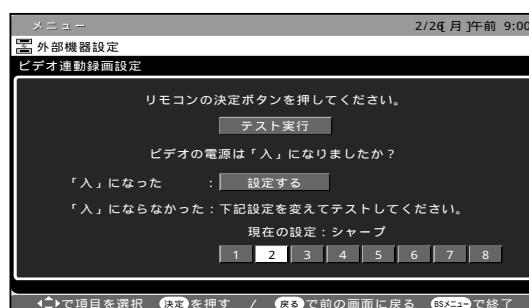
外部機器に録画する（つづき）

扉を開けたところ

7

① ▼でカーソルを機種番号の欄に移動する

② ◀▶でメーカーの機種番号を選び、決定を押す

- 137ページ「機種番号について」の表を参考に機種番号を選んでください。機種番号が複数あるメーカーの場合は、お使いのビデオデッキが操作できるようになるまで手順7、8をくり返してください。

8

決定を押し、テストを実行する

9

ビデオデッキの電源が「入」になったことを確認し、▲▼で「設定する」を選び、決定を押す

- ビデオ連動録画が設定され、メニュー画面に戻ります。

設定が終了したら、再度ビデオデッキの電源を「切」にします。

- 予約した時刻になると、ビデオデッキの電源が入り、録画が開始されます。
- 録画予約のしかたについては、117～131ページをご覧ください。

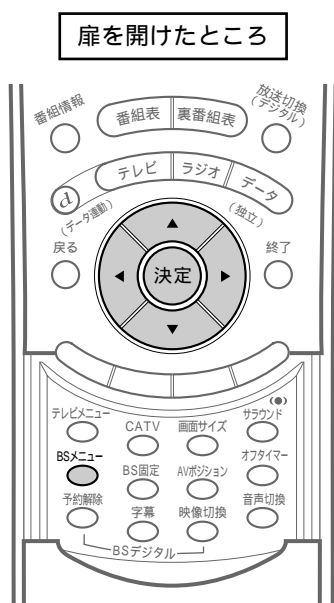
- ビデオコントローラーのテストで、どの機種番号を選んでもビデオデッキの電源が「入」にならない場合は、ビデオコントローラーの発信部がビデオデッキのリモコン受信部に確実に向いているか、再度ご確認ください。
- ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみで、つぎに予約するときは必要ありません。

i.LINK端子からD-VHSビデオデッキに録画する

■i.LINKに関する説明、i.LINK端子へのD-VHSビデオデッキの接続方法、i.LINK操作パネルの見かたと使いかたについては、**185～188**ページをご覧ください。

■ここでは、i.LINK接続したD-VHSビデオデッキを使用するための設定および録画操作について説明します。

扉を開けたところ

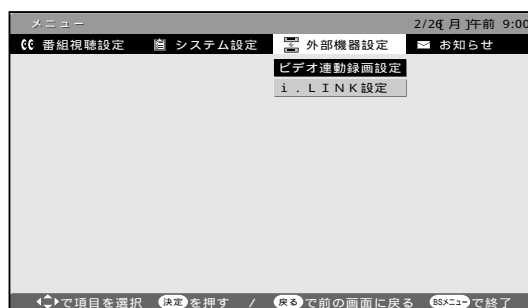
- 現在発売されているD-VHSビデオデッキのほとんどは、記録している映像・音声の伝送レートを自動認識し録画モードを制御するため、**本機の「録画モード設定」は通常「しない」に設定してください。**
- D-VHSビデオデッキの種類や、D-VHSビデオデッキで記録しようとしている放送の内容によっては、本機から録画モードを正常に制御できない場合があります。この場合は、本機の「録画モード設定」を「しない」に設定してください。

録画モードの設定

- **本機には、録画時にD-VHSビデオデッキの録画モードを自動的に制御する機能があり、その機能を「入」にするかしないかを選ぶことができます。**

1

① BSメニュー を押し、BSメニュー画面を表示する

② ◀▶ で「外部機器設定」を選ぶ

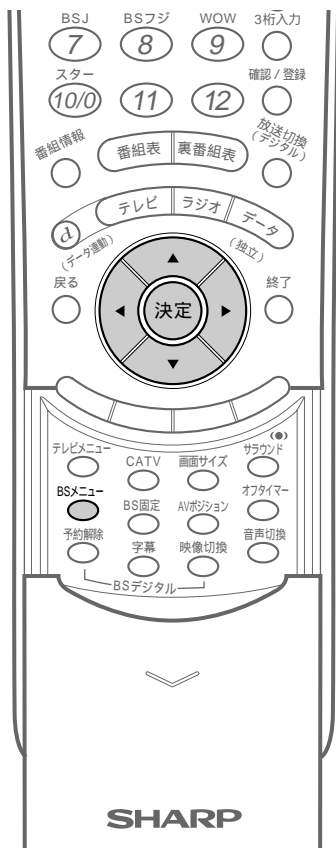
③ ▲▼ で「i.LINK設定」を選び、決定を押す

2

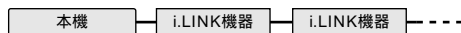
「録画モード設定」で決定を押す

3

で「する」または「しない」を選び、決定を押す

外部機器に録画する（つづき）

扉を開けたところ

お願い

- 複数のi.LINK機器をi.LINKケーブルで接続した場合、本機の「電源待機設定」を「しない」に設定して電源スタンバイ状態（電源ランプ赤色点灯）にすると、本機を中継して接続されているi.LINK機器間のデータのやりとりができなくなります。本機をi.LINK機器の中間に接続している場合は、本機の「電源待機設定」を「する」に設定するか、下図のように本機をi.LINK機器の末端に接続してください。

おしらせ

- 本機が電源スタンバイ状態（電源ランプ赤色点灯）のときは、外部機器からのi.LINK制御コマンドを受けつけることができません。これは「電源待機設定」を「する」に設定しても同じです。外部機器から本機をi.LINK制御する場合は、本機の電源を「入」（電源ランプ緑色点灯）にしてから行ってください。

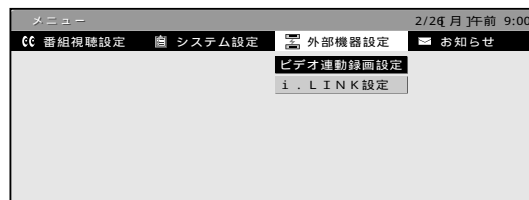
i.LINK電源待機の設定

- **本機では、i.LINK電源待機の設定により電源スタンバイ時の消費電力を少なくすることができます。**
- **i.LINK機器を接続していない場合は、消費電力が小さくなる「しない」を選択してください。**

1

① BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「外部機器設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「i.LINK設定」を選び、決定を押す

2

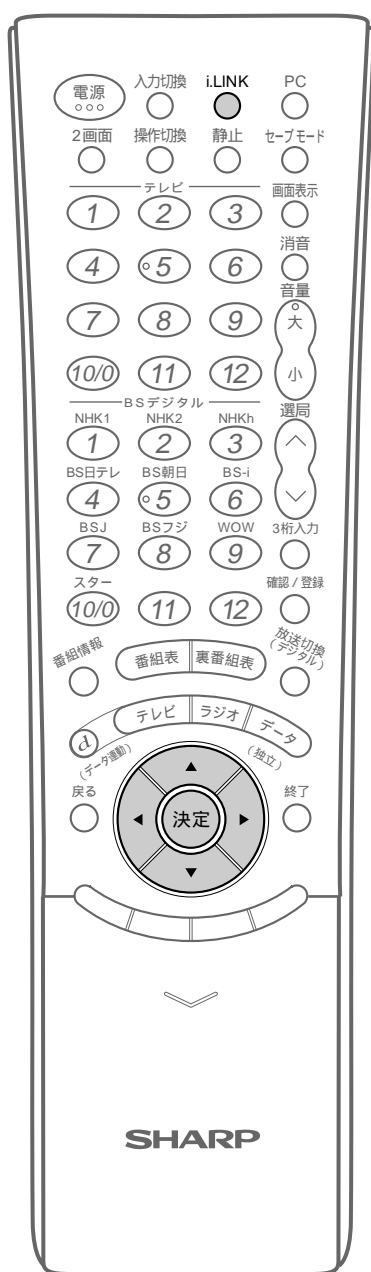
▼ で「電源待機設定」を選び、決定を押す

3

で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……電源スタンバイ時にもi.LINK回路を通電し、データの中継ができるようにします。

「しない」…電源スタンバイ時の消費電力を少なくします。ただし、データの中継はできません。

- 本機からi.LINK機器を操作するためには、使用するi.LINK機器を選択する必要があります。
- 最大16台のi.LINK機器から、使用する1台を選択できます。
- 最初に接続した1台は、自動的に選択されます。
- 接続されたi.LINK機器は、自動的に機器選択画面のリストに登録されます。

i.LINK機器の選択

1 i.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する

- i.LINK機器が1台も接続されていないときは、「操作できるi.LINK機器がありません。」のメッセージが表示されます。機器を接続してください。（185ページ参照）
- i.LINK機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順3に進んでください。

2 ▲▼◀▶で「機器選択」を選び、決定を押して、機器選択画面を表示する

3 操作したい機器を▲▼で選び、決定を押す

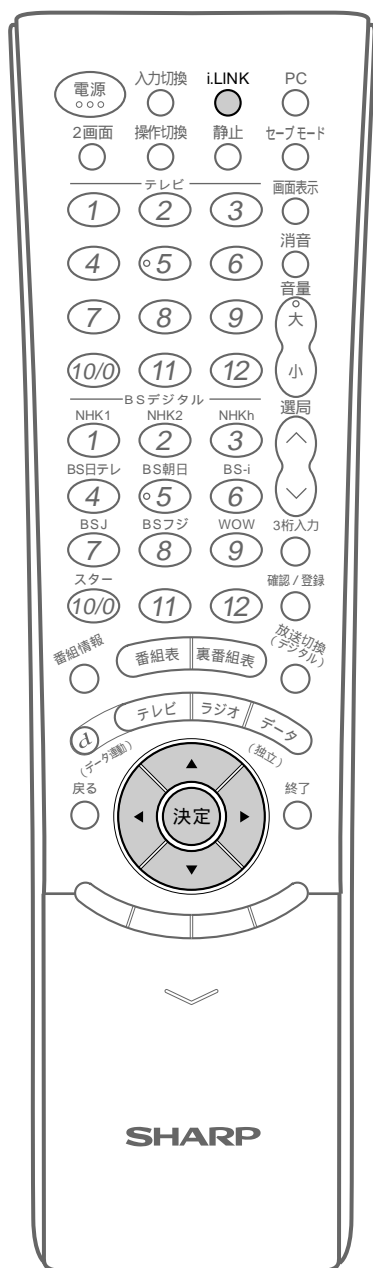
- 選んだi.LINK機器の操作パネルが表示されます。

おしらせ

- 本機で使用することができない機器は、機器選択画面のリストに表示されません。
- 機器選択画面のリスト項目が暗くなっているi.LINK機器は、接続されていないなど、本機が認識できない状態を示しています。このような機器は使用する機器として選択することができません。

外部機器に録画する（つづき）

i.LINK機器の使用解除

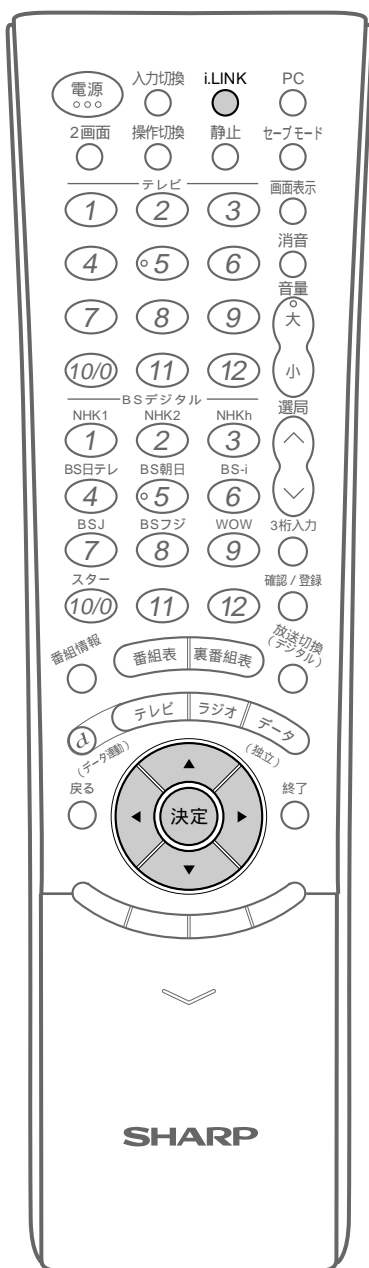
- 登録されたi.LINK機器の使用を解除できます。
- i.LINK機器の使用を解除することにより、その機器を別のi.LINK機器から使用できるようになります。

1 i.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する

- i.LINK機器が1台も接続されていないときは、「操作できるi.LINK機器がありません。」のメッセージが表示されます。機器を接続してください。（185ページ参照）
- i.LINK機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順3に進んでください。

2 ▲▼◀▶で「機器選択」を選び、決定を押して、機器選択画面を表示する

3 ▼で、リストの一番下にある「機器使用解除」を選び、決定を押す

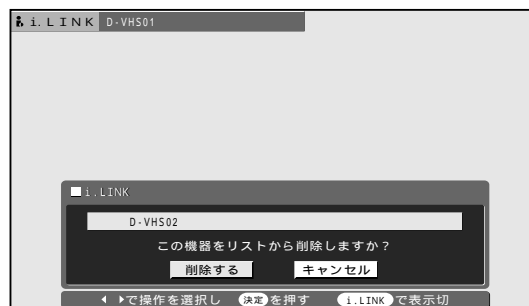
- i.LINK機器の使用が解除されます。

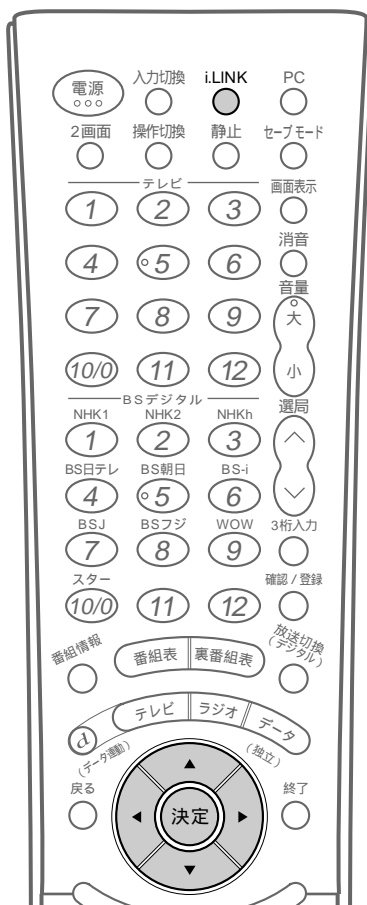
- 本機で使用しているi.LINK機器を他のi.LINK機器で使用するためには、本機の機器選択画面から「機器使用解除」を行ってください。

i.LINK機器の登録削除

- 機器選択画面に登録されているi.LINK機器をリストから削除できます。
- 接続されているi.LINK機器は、削除できません。

1 144ページの手順1、2を行い、機器選択画面を表示する

2 削除したいi.LINK機器を▲▼で選び、決定を押す

3 ◀で「削除する」を選び、決定を押す

- 選んだi.LINK機器がリストから削除されます。
- 削除しないときは「キャンセル」を選んで決定ボタンを押します。

外部機器に録画する（つづき）

おしらせ

- D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINKコントロール画面（操作パネル）にある操作ボタンで操作できないことがあります。
- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキのタイマー録画予約中は、i.LINK操作パネルでの操作ができません。
- i.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているBSデジタル放送の映像・音声がD-VHSビデオデッキに記録されます。
- 本機で受信しているBSデジタル放送の映像・音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープや S-VHSテープでは記録することができません。
- 予約録画実行中は、i.LINK操作パネルを表示できません。
- i.LINK操作パネルと、番組表やメニューなどを同時に（重ねて）表示することはできません。
- 録画した放送の内容によっては、再生時にビデオサーチ（早送り、巻戻し）した際、画面がモザイクになる場合があります。

i.LINK機器でBSデジタル放送を録画する

- **i.LINKに対応したD-VHSビデオデッキの操作が画面上でできます。**
- **以下の操作をする前に、１４１～１４３ページの設定を済ませておいてください。**
- **本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。**

1 **録画したいＢＳデジタル放送の番組を選局する**

2 **i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを表示する**

3 **① ▲ ▼ ◀ ▶ で （録画ボタン）を選び、決定を押す**

- **録画が開始されます。**

② i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを消す

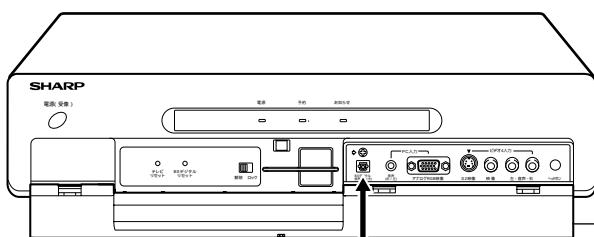
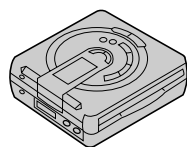
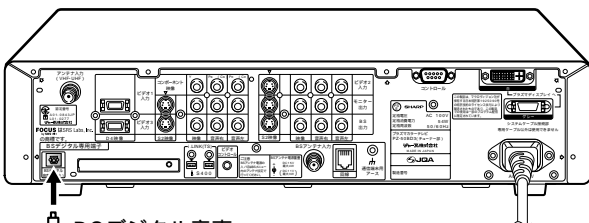
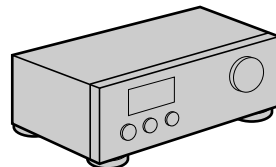
- **録画を止めるときは、再度操作パネルを表示し、■（停止ボタン）を選んで決定ボタンを押します。**

ご注意

- 録画中にi.LINK操作パネルを表示したままにしておくと、録画出力端子の映像といっしょに録画されます。

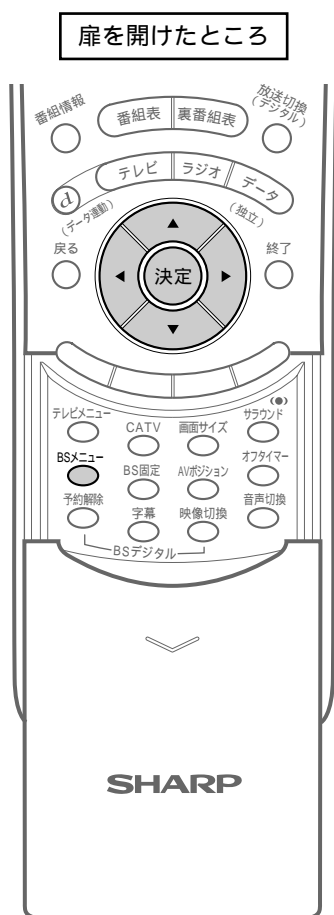
BSデジタル音声出力(光)端子から録音する

■デジタル音声ケーブルを使って、「デジタル入力(光)端子」のある音響機器と接続すると、BSデジタル放送の音声を高音質で録音できます。

接続のしかた

■また、本機のBSデジタル音声出力(光)端子は、MPEG2 AAC音声フォーマットを出力することができます。AAC対応の音響機器を接続すると、サラウンド放送の番組を迫力ある音声でお楽しみいただけます。

接続のしかた

- 詳しくは、接続する音響機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する前に本機と音響機器の電源を切ってください。
- 字幕放送やデータ放送の一部の音声は、本機のBSデジタル音声出力(光)端子から出力されません。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 番組により録音・録画が制限されている場合があります。
- 一部のラジオ放送は、デジタル録音することができません。

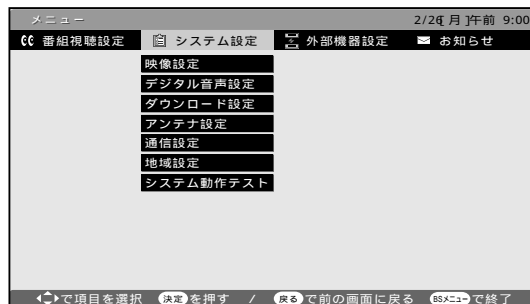
外部機器に録画する（つづき）

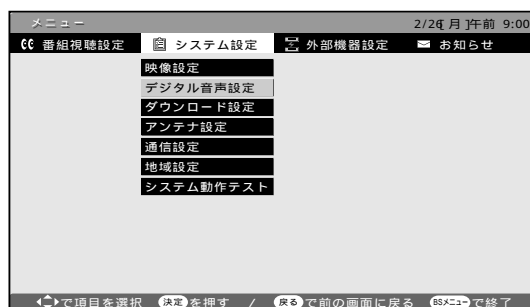
■チューナー部前面扉内および後面のBSデジタル音声出力（光）端子を、接続する音響機器に合わせて設定します。

扉を開けたところ

BSデジタル音声出力（光）端子の設定

1

① BSメニュー を押し、BSメニュー画面を表示する

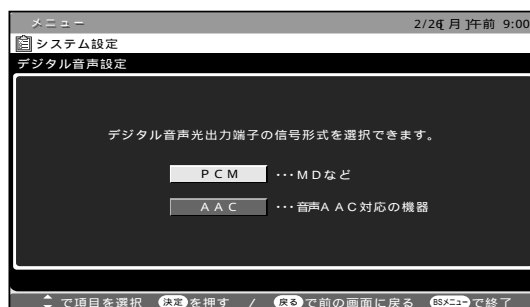
② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

2

▲ ▼ で「デジタル音声設定」を選び、決定を押す

3

接続する機器に合わせて「ＰＣＭ」または「ＡＡＣ」を ▲ ▼ で選び、決定を押す

「PCM」……AACに対応していない音響機器（例．MDプレーヤー、MDコンポなど）に接続するとき

「AAC」……AAC対応のAVアンプなどに接続するとき

■メニュー　2/26[月] 午前 9:00
システム設定
デジタル音声設定
デジタル音声光出力端子の信号形式を選択できます。
ＰＣＭ　…ＭＤなど
ＡＡＣ　…音声ＡＡＣ対応の機器
で項目を選択　決定を押す　／　戻るで前の画面に戻る　BSメニューで終了

おしらせ

- 接続する機器がAAC／PCMの自動切換えに対応していない場合は、機器側の設定を手動で切り換えてください。
- 地上放送（VHF、UHF）やCATV放送の音声、ビデオ入力の音声は、BSデジタル音声出力（光）端子から出力されません。
- 「AAC」に設定した場合、字幕放送やデータ放送の音声が出力されません。
- 「PCM」に設定した場合、字幕放送やデータ放送の一部の音声が出力されません。

安心して使うための設定

暗証番号について

本機は、視聴する人の年齢制限や視聴料金の制限など、各種の制限を設けることができます。
これらの制限を通過するときやPPV番組などを購入するときに暗証番号を使います。

暗証番号を設定する

■暗証番号の設定および変更の手順を説明します。
暗証番号は、必ず**4桁の数字**を入力します。

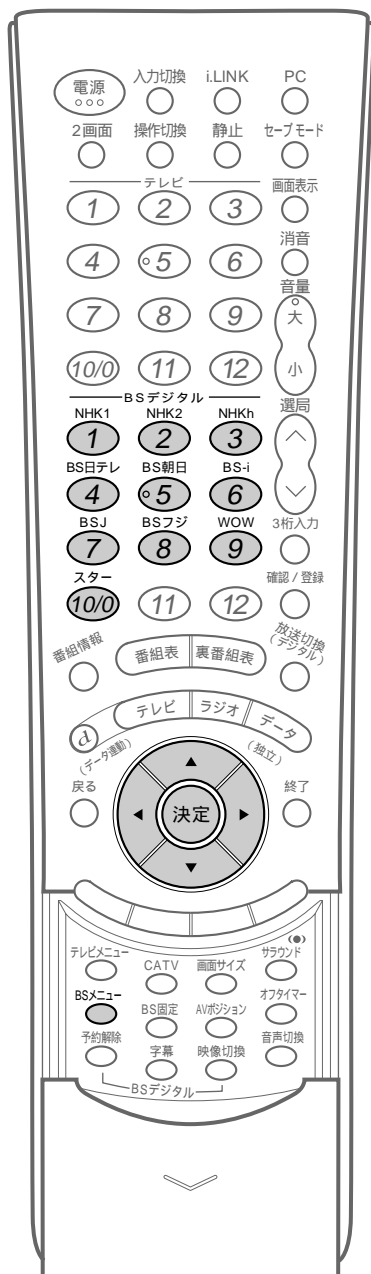
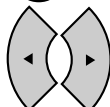
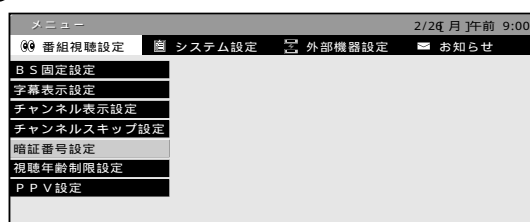
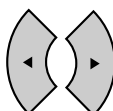
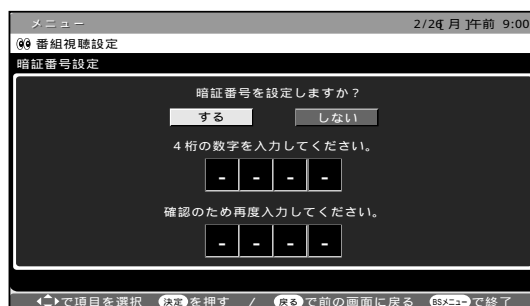
扉を開けたところ

1

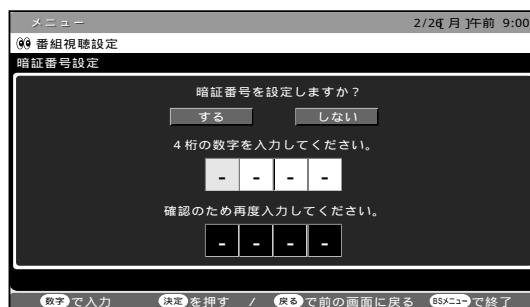
① BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

② ◀▶で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲▼で「暗証番号設定」を選び、決定を押す

2

◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……新しい暗証番号の設定（手順3）に進みます。
「しない」…暗証番号の設定や変更をせず、メニュー画面に戻ります。

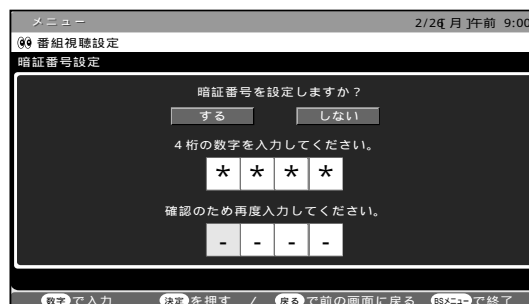
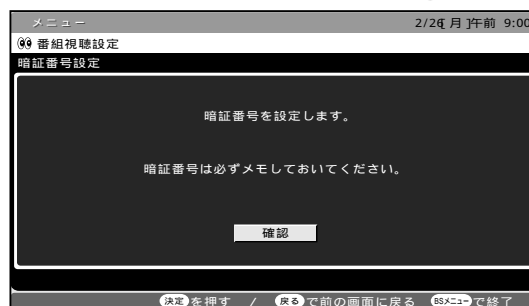
3

ＢＳチャンネルボタンで、新しい暗証番号を入力する

● **左カーソルボタンを押すと、入力した数字を1桁削除できます。**

次ページへ

安心して使うための設定（つづき）

4 確認のため、再度同じ番号をＢＳチャンネルボタンで入力する

- **番号の入力を間違えると、手順3からやりなおしになります。**

5 暗証番号をメモし、「確認」で（決定）を押す

- **新しく入力した暗証番号の設定が完了し、メニュー画面に戻ります。**

おしらせ

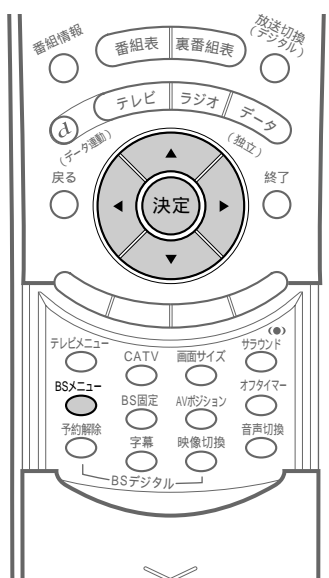
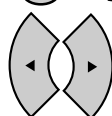
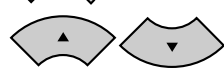
- **暗証番号は必ずメモしてください。**

暗証番号を忘れたときは

- 受信契約されている放送局までご連絡ください。放送局で前の暗証番号を消去します。
  暗証番号の消去には手数料がかかります。（2001年10月現在）

暗証番号を変更するとき

扉を開けたところ

1

① （BSメニュー）を押し、ＢＳメニュー画面を表示する

② （◀ ▶）で「番組視聴設定」を選ぶ

③ （▲ ▼）で「暗証番号設定」を選び、（決定）を押す

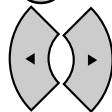
- **暗証番号を入力すると「暗証番号を設定する」の手順2（１４９ページ）の画面になります。暗証番号を設定するときと同様の手順で設定しなおしてください。**

視聴年齢制限を設定する

■年齢制限のある番組の視聴を制限することができます。
なお、年齢制限は4〜20歳の範囲で設定できます。

扉を開けたところ

1

① BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「視聴年齢制限設定」を選び、決定を押す

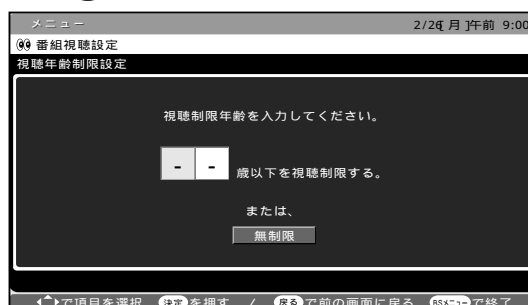
2

BSチャンネルボタンで暗証番号を入力する

- 視聴年齢制限設定画面が表示されます。

3

① ▲ で年齢の入力欄を選ぶ

② 制限する年齢をBSチャンネルボタンで入力し、決定を押す

- 年齢制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

安心して使うための設定(つづき)

PPV制限を設定する

■暗証番号を入力しないと、PPV番組を購入できないように設定できます。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(**149**ページ)をしておくことが必要です。

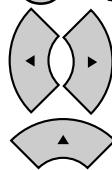
扉を開けたところ

1

① BSメニュー を押し、BSメニュー画面を表示する

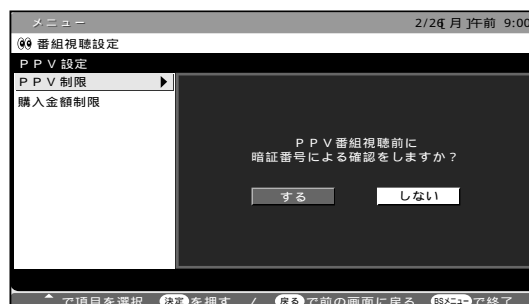
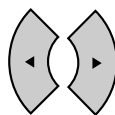
② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「PPV設定」を選び、決定 を押す

2

BSチャンネルボタンで暗証番号を入力する

- **PPV設定画面が表示されます。**

3

「PPV制限」で 決定 を押す

4 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

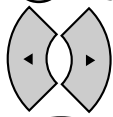
「する」……… PPV番組の購入前に暗証番号の入力が必要になります。

「しない」…… PPV番組の購入前に暗証番号の入力は必要ありません。

購入金額制限を設定する

■PPV番組の購入金額を制限し、設定した以上の金額の番組を購入するときは、暗証番号の入力が必要になります。

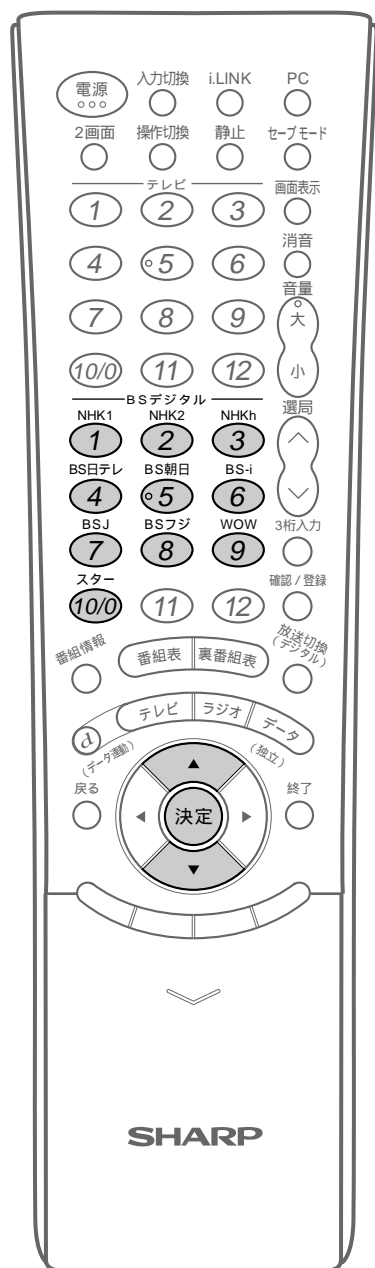
扉を開けたところ

1 ① BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

② ◀▶で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲▼で「PPV設定」を選び、決定を押す

2 BSチャンネルボタンで暗証番号を入力する

次ページへ

安心して使うための設定（つづき）

3

で「購入金額制限」を選び、決定を押す

4

① で購入金額の入力欄を選ぶ

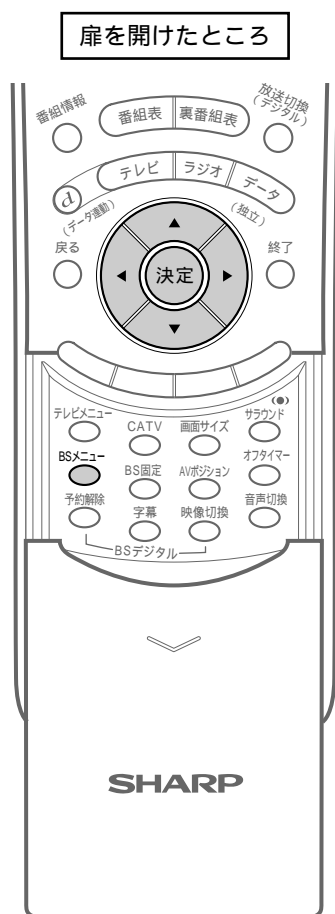
② 購入金額の上限をＢＳチャンネルボタンで入力し、決定を押す

＜例＞1,000円のとき

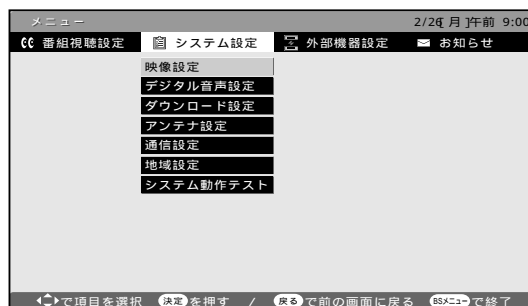
- 購入金額の制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

BSデジタル放送受信のいろいろな設定

映像の設定

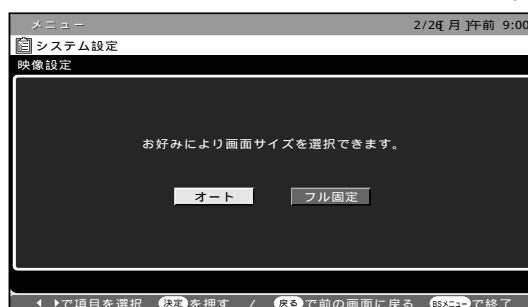
扉を開けたところ

1 を押し、BSメニュー画面を表示する

2 ① で「システム設定」を選ぶ

② で「映像設定」を選び、 を押す

3 で「オート」または「フル固定」を選び、を押す

「オート」……… 525i放送以外の放送を1125i変換してディスプレイに表示・再生します。
525i放送のとき、お好みの画面サイズに切り換えて表示・再生することができます。
通常はこの位置でお使いください。

「フル固定」……すべての放送を1125iに変換してディスプレイに表示・再生します。

おしらせ

2種類の映像の設定について

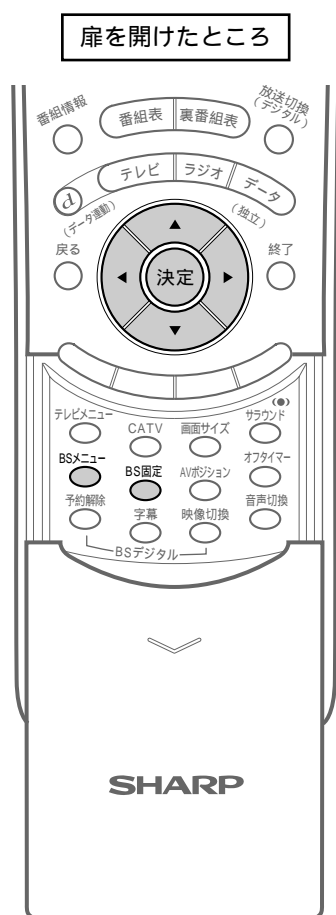
- **「オート」**…番組表やデータ放送を表示すると、画面の一部が欠落することがあります。また、受信チャンネルの切換えに時間がかかったり、画面にノイズが出ることがあります。
- **「フル固定」**…すべての放送を1125iに変換して表示・再生するため、画面いっぱいに広がらないなど、お好みの画面サイズで表示できないことがあります。

BSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

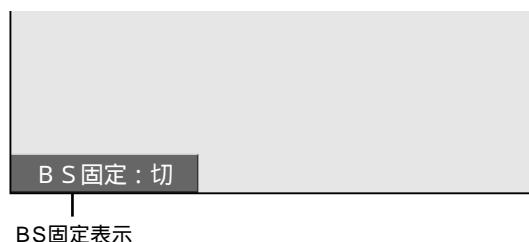
BS固定の設定

■「BS固定」とは、現在受信しているBSデジタル放送のチャンネルに固定する機能です。
BSデジタル番組を録画しているとき、誤ってチャンネルを変えてしまうのを防ぐことができます。また、BSデジタル番組を録画しながら地上放送やCATV放送の裏番組を視聴できます。

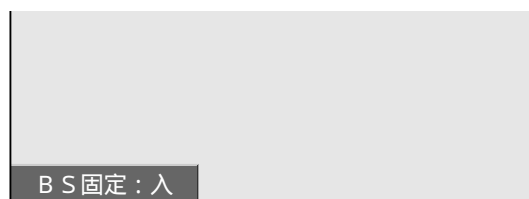
■BS固定は、リモコンでの直接操作またはBSメニュー画面操作のいずれでも設定することができます。どちらで設定しても動作は同じです。

扉を開けたところ

1 **① 固定したいBSデジタル放送のチャンネルを選局する**

② BS固定 を押す

- **画面左下にBS固定表示が出ます。**

2 **もう一度、BS固定 を押す**

- **BS固定表示が出ている間にボタンを押すと、BS固定を入／切できます。**

BS固定：入

BSメニュー画面から設定するとき

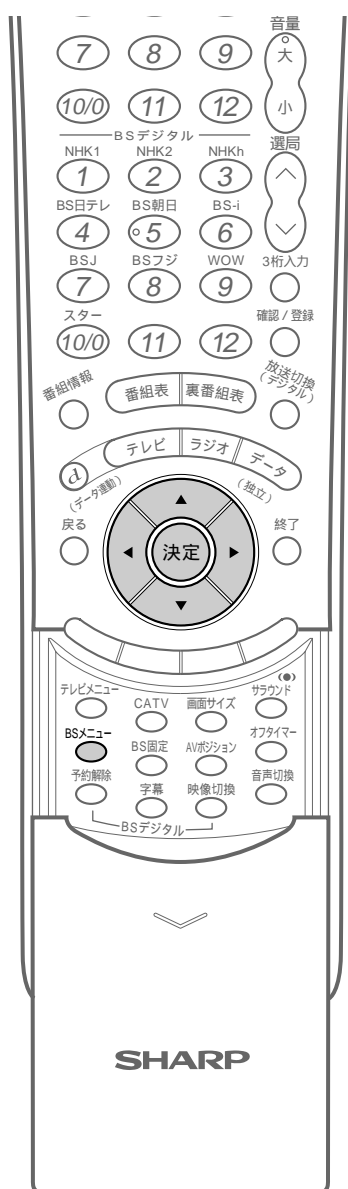
1. **BSメニューボタンを押し、BSメニュー画面を表示する**
2. **カーソルボタンで「番組視聴設定」の「BS固定設定」を選び、決定ボタンを押す**
3. **左右カーソルボタンで「する」または「しない」を選び、決定ボタンを押す**
4. **BSメニューボタンを押し、通常画面に戻す**

- BS固定時は、2画面表示・静止画表示できません。
- BS固定時は、BSデジタル放送関連の操作(BSデジタル放送の選局、メニュー・番組内容・番組表の表示等)ができません。
- BS固定時は、i.LINK操作パネルを表示できません。
- BS固定中に録画・視聴予約時間になると、BS固定が自動的に解除されます。
- 予約録画実行中やi.LINK入力時には、BS固定ができません。
- BSデジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「BS固定」または「ビデオ連動予約」で録画することをおすすめします。

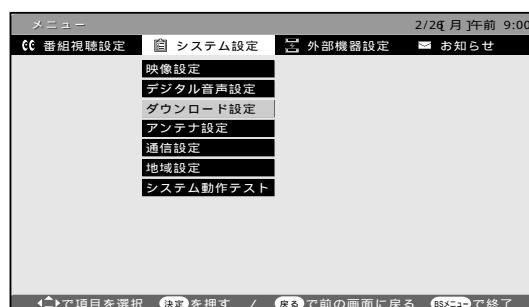
ダウンロードの設定

■ダウンロードとは、衛星放送の電波を使って、BSデジタル放送受信機のソフトウェアを新しいソフトウェアに書き換えることです。これにより、受信機の機能を向上させたり、新たなサービスに対応することが可能となります。

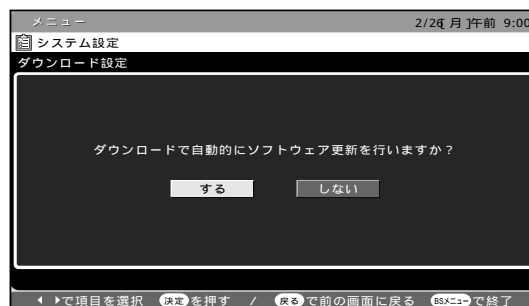
■本機では、ダウンロードを自動的に行うか否かを設定することができます。

扉を開けたところ

1 BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

2 ① ◀▶で「システム設定」を選ぶ

② ▲▼で「ダウンロード設定」を選び、決定を押す

3 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……… 自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行います。(工場出荷時の設定)

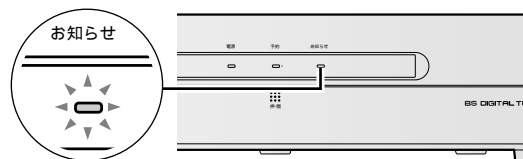
「しない」…… ソフトウェアの自動ダウンロードを行いません。

4 BSメニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ

● ダウンロードは、本機が電源スタンバイ状態(電源ランプ赤色点灯)のときに実行されます。

BSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

自動ダウンロードを「しない」に設定した場合、手動でダウンロードを行うことができます。

▼お知らせランプ（チューナー部前面）

扉を開けたところ

手動でダウンロードを行うとき

- **本機がダウンロードのお知らせを受信すると、チューナー部のお知らせランプが点灯します。（左図参照）**

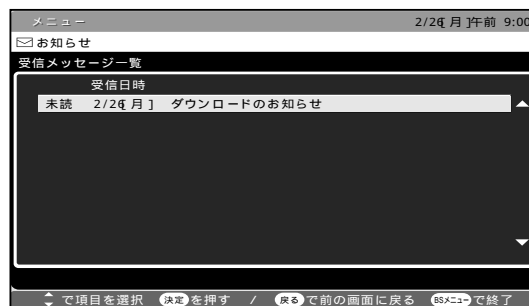
1

① BSメニュー を押し、BSメニュー画面を表示する

② ◀▶ で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲▼ で「受信メッセージ一覧」を選び、決定 を押す

2

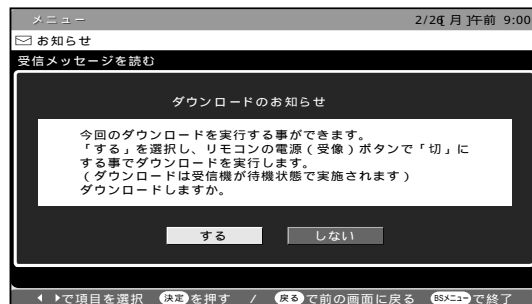
「ダウンロードのお知らせ」を選び、決定 を押す

3

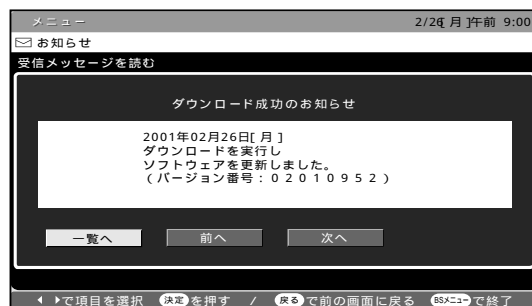
画面の表示内容を確認してから、▶ で「実行」を選び、決定 を押す

扉を開けたところ

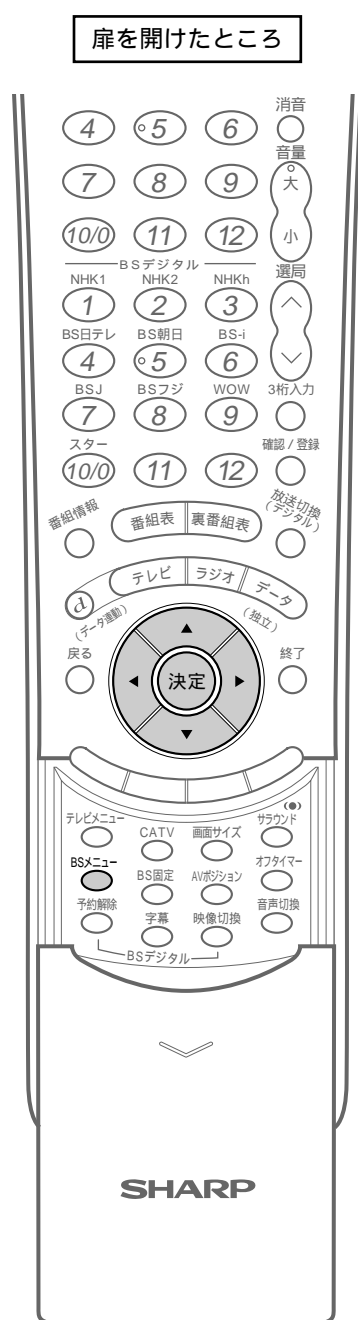
● ソフトウェアの受信（ダウンロード）には、数分程度の時間がかかります。その間は、電源の入／切やＢＳデジタルリセットボタンの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードに失敗する場合があります。
● ソフトウェアの受信中や書換え中に電源を「入」にすると、ソフトウェアの受信画面、書換え画面が表示されますが、約１０分ほどでBSデジタル放送画面に戻ります。
● ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ることがあります。その場合は、設定しなおしてください。
● ダウンロードによって、予約の情報がなくなる場合があります。そのときは、再度、予約設定を行ってください。
● ソフトウェアを受信するために、電源が自動的に「入」になる場合がありますが、ソフトウェアの受信、書換えが終わると、自動的にスタンバイ状態に戻ります。

4 画面の表示内容を確認してから、◀ で「する」を選び、決定を押す

おしらせ

● ダウンロードは、本機が電源スタンバイ状態（電源ランプ赤色点灯）のときに実行されます。リモコンの電源ボタン等により、スタンバイ状態にしてください。

● **ダウンロードが成功すると、「お知らせ」の「受信メッセージ一覧」の中に、ダウンロードが成功した旨のメッセージが書き込まれます。**
● **お知らせを見る場合は、手順1～2の操作を行ってください。**

BSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

BSアンテナの設定

■BSアンテナをはじめて設置したときや、引っ越しなどでアンテナを移動したときは、アンテナの設定が必要となります。その場合、アンテナ設定画面を表示しながら設定を行うことができます。

扉を開けたところ

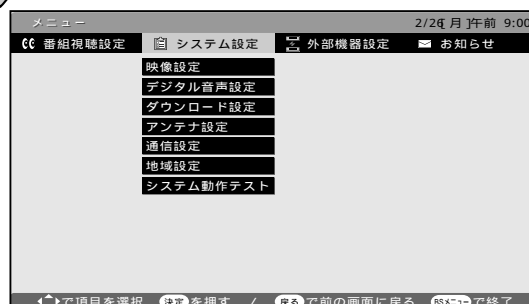
BSアンテナ設定画面を表示する

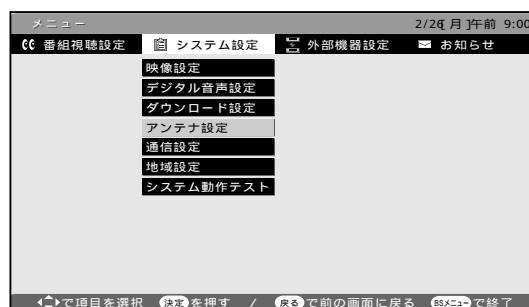
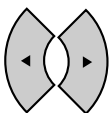
1

① BSデジタル放送のチャンネルを選局する（103ページ参照）

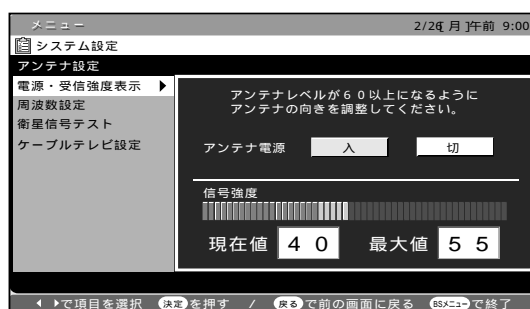
② BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

2

◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

3

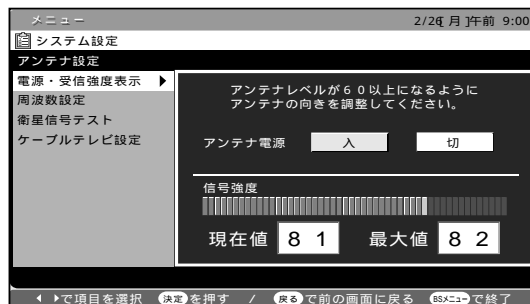
▲ ▼ で「アンテナ設定」を選び、決定を押す

BSアンテナに電源を供給する

1 「電源・受信強度表示」で(決定)を押す

2 ◀▶でアンテナ電源「入」または「切」を選び、(決定)を押す

「入」……個人でアンテナを設置・接続している場合
「切」……電源を供給しないときの設定（共聴アンテナに接続している場合など）（工場出荷時の設定）

受信強度を確認・調整する

3 アンテナレベルが最大になるようアンテナの向きを調整する

- アンテナレベル（信号強度）が60以上になるようにアンテナの向きを調整してください。
- アンテナの調整が済んでいる場合は必要ありません。

4 (決定)を押す

BSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

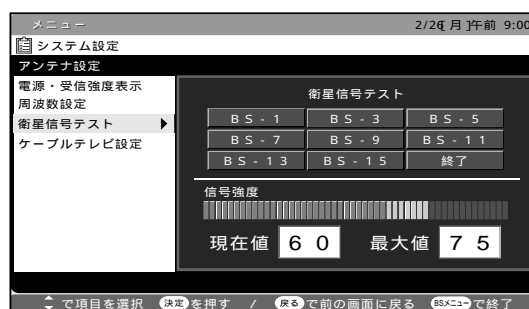
扉を開けたところ

衛星信号テスト

1

① **アンテナ設定画面を表示する（１６０ページ参照）**

② **で「衛星信号テスト」を選び、決定を押す**

2

① **決定を押し、チャンネル欄を選ぶ**

② **テストしたいチャンネルを** **で選び、決定を押す**

- **アンテナレベル(信号強度)の最大値が60以上あることを確認してください。**

その他のアンテナ設定

■ケーブルテレビ設定

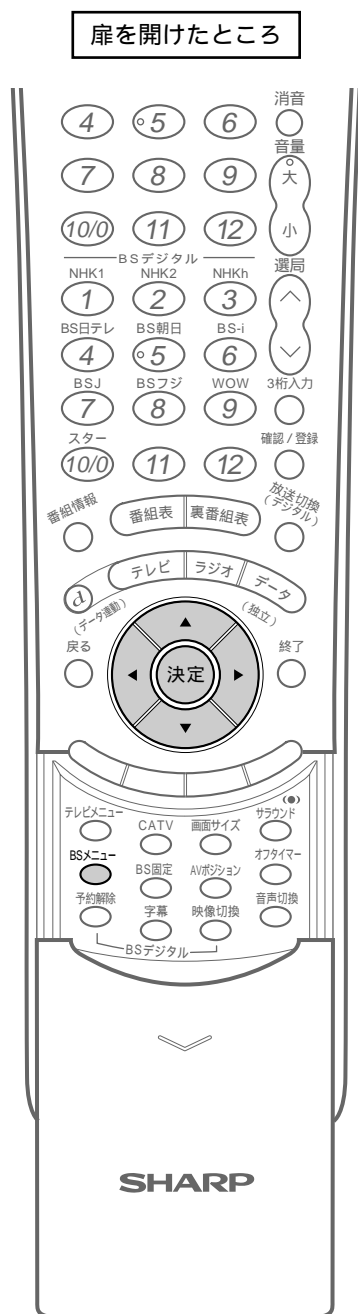
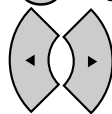
ケーブルテレビで受信している場合は、ケーブルテレビ設定を「する」に設定します。ただし、本設定で受信できるケーブルテレビの方式は「パススルー方式」のみです。

※詳しくは、契約しているケーブルテレビ事業者にお尋ねください。

■周波数設定

新しい衛星が追加されたり、現在の衛星が故障した場合、新しい周波数を入力することで、受信に必要な情報を取得できます。

電話回線の設定

■引っ越しなどで電話回線の種類を変えたときは、電話回線設定をしなおす必要があります。

扉を開けたところ

1

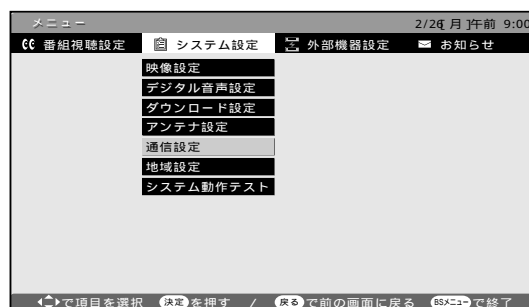
① BSメニュー を押し、BSメニュー画面を表示する

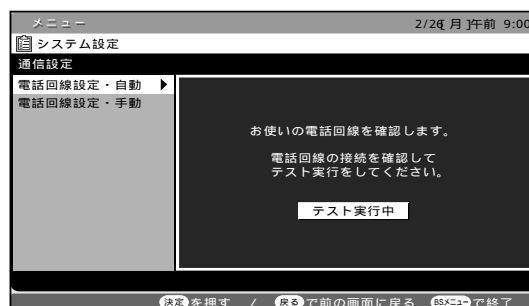
② ◀▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲▼ で「通信設定」を選び、決定 を押す

2

電話回線が接続されていることを確認する

3

①「電話回線設定・自動」で 決定 を押す

②「テスト実行」で 決定 を押す

- **「テスト実行中」が表示されます。**

- **「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。**
- **2回以上連続して電話回線の設定確認ができなかった場合は、自動的に外線発進番号の設定画面に切り換わります。** ☞164ページ

おしらせ

- 電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。

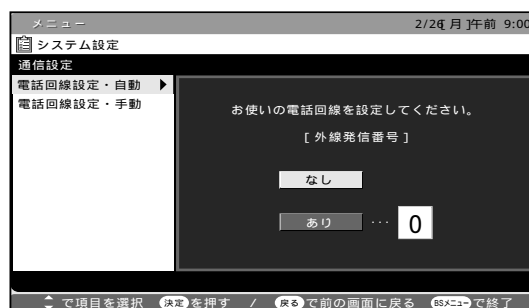
BSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

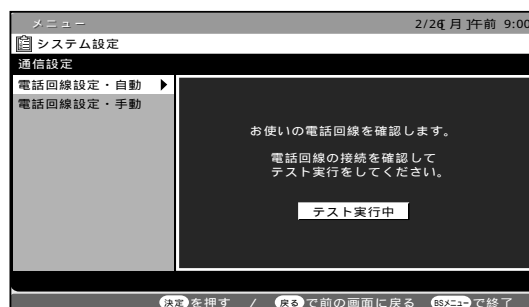
電話回線の自動判定が2回以上連続してできなかった場合は、下の画面が表示されますので、再設定してください。

扉を開けたところ

外線発信番号の設定

1 で外線発信番号「なし」または「あり」を選び、決定を押す

「なし」……外線交換機を使用しない場合（通常の一般家庭）
「あり」……電話交換機などをご使用の場合

- **「あり」を選んだ場合は、外線発信番号(0〜9)を右のボックスにBSチャンネルボタンで入力してから決定ボタンを押します。**

2 「テスト実行」で決定を押す

- **「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。**
- **電話回線の設定確認ができなかった場合は、手順1に戻ります。**

どうしても自動で電話回線の設定ができない場合は、165ページ「手動による電話回線設定」の手順にしたがってください。

ご注意

- 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

どうしても自動で電話回線設定ができない場合は、つぎの手順により、手動で設定することができます。

扉を開けたところ

手動による電話回線設定

1

① 163ページ手順1を行う

② ▼ で「電話回線設定・手動」を選び、決定を押す

2

① 「現在の設定」を確認する

② 「次へ」で 決定を押す

3

ご契約の電話回線種別を ▲ ▼ で選び、決定を押す

- **契約している電話回線種別（ダイヤル方式）が分からない場合は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。**

次ページへ

BSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

扉を開けたところ

4

▲▼で外線発信番号「なし」または「あり」を選ぶ

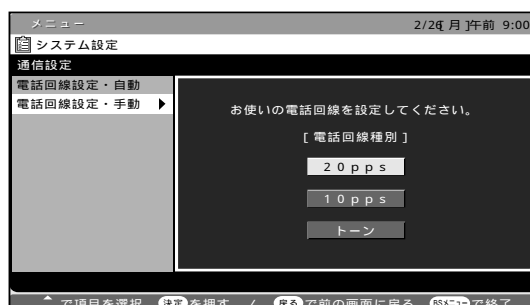
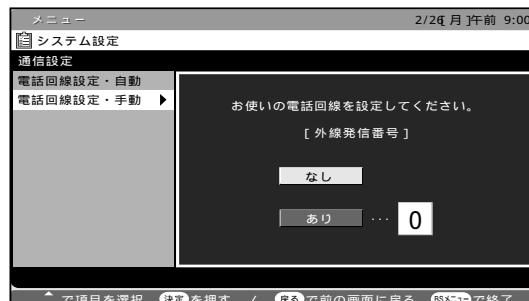
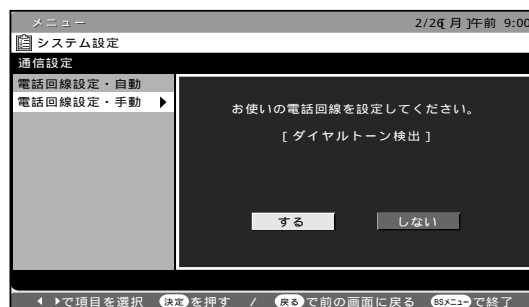
- 「あり」を選んだ場合は、BSチャンネルボタンで外線発信番号を入力してください。

5

決定を押す

6

ダイヤルトーン検出「する」または「しない」を◀▶で選び、決定を押す

7

BSメニューを押し、通常画面に戻す

- 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

地域と郵便番号の設定

■緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送は、地域によって放送される内容が異なることがあります。お客さまがお住まいの地域に向けた情報を受信するために、必ず地域設定を行ってください。

扉を開けたところ

地域設定

1

① を押し、BSメニュー画面を表示する

② ◀▶で「システム設定」を選ぶ

③ ▲▼で「地域設定」を選び、決定を押す

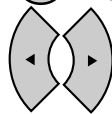
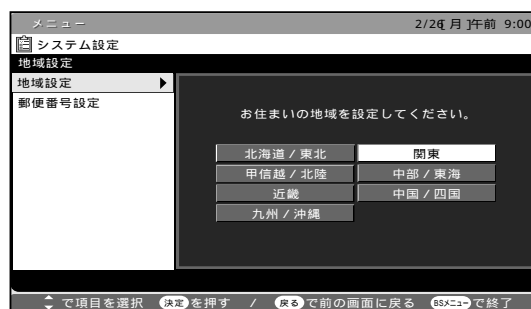
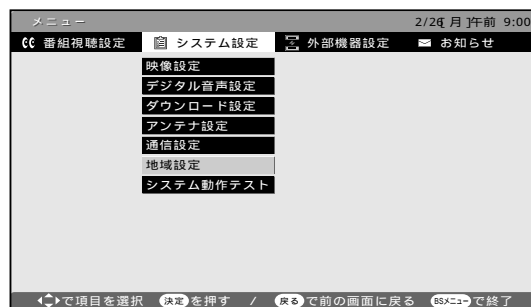
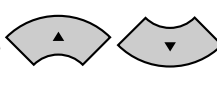
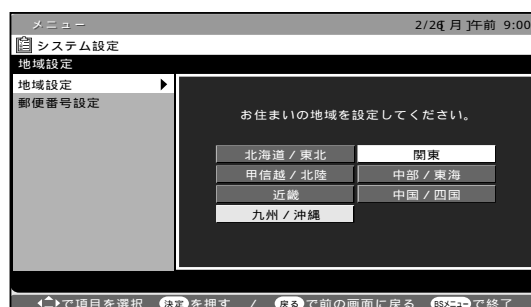
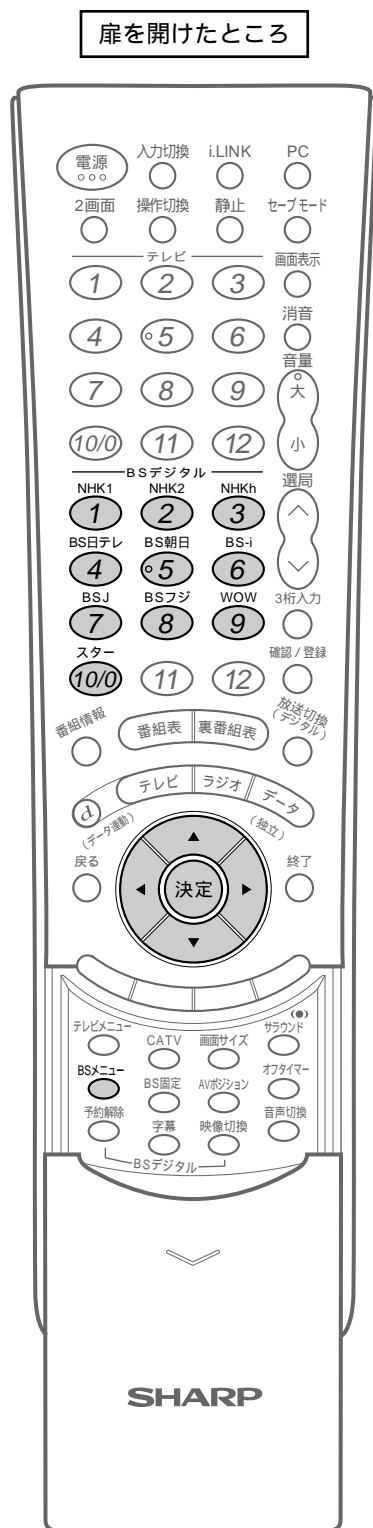
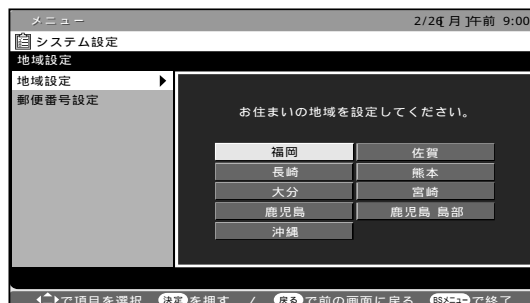
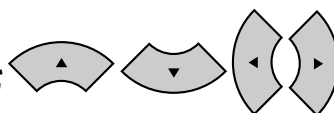
2

① 決定を押す

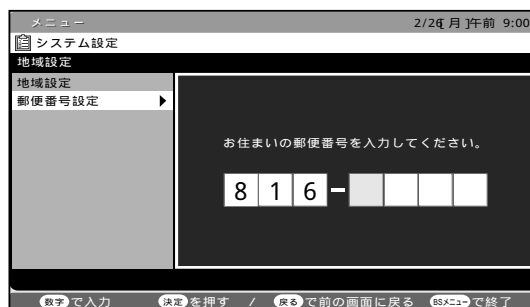
② お住まいの地域をで選び、決定を押す

次ページへ

BSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

扉を開けたところ

3 お住まいの都道府県を ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、決定を押す

郵便番号設定

4 ① ▼ で「郵便番号設定」を選び、決定を押す

② BSチャンネルボタンで郵便番号を入力し、決定を押す

- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、BSチャンネルボタンで入力しなおします。

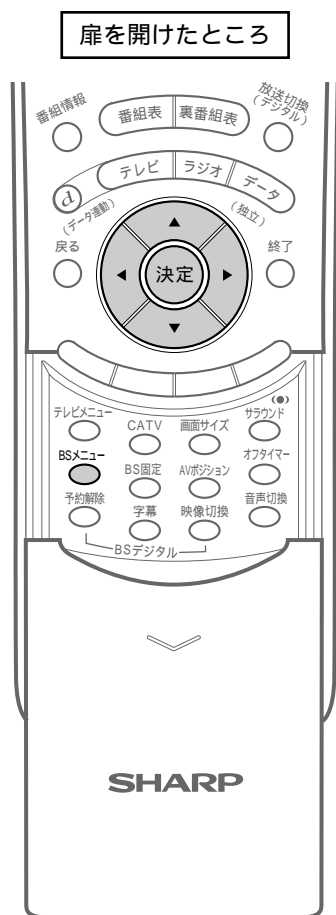
5 BSメニューを押し、通常画面に戻す

お知らせを見る

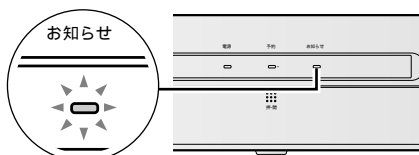
受信契約した放送局から視聴者に向けてメッセージが発信されます。
また、有料放送に関するレポートやICカード番号なども確認できます。

受信メッセージを見る

■受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。
常時更新されていますので、定期的にメッセージをお読みください。

扉を開けたところ

おしらせ

お知らせランプについて

- 放送局から送られてきたメッセージを受信すると、チューナー部前面のお知らせランプが点灯します。

<例>ダウンロード成功のお知らせを見る

1

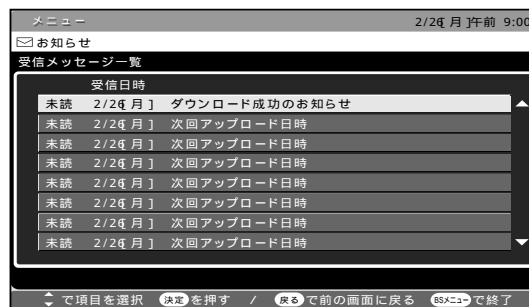
① BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

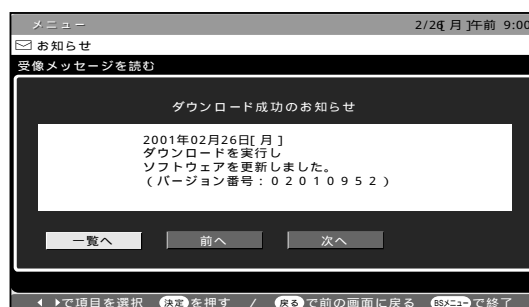
② ◀ ▶で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲ ▼で「受信メッセージ一覧」を選び、決定を押す

2

見たいメッセージを▲ ▼で選び、決定を押す

3

① メッセージの内容を確認する

② 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを◀ ▶で選び、決定を押す

お知らせを見る(つづき)

受信機レポートを見る

■ICカードが壊れたときや、課金情報のアップロード(視聴履歴の送信)に失敗したときなど、受信機に関係したレポートを表示します。

扉を開けたところ

おしらせ

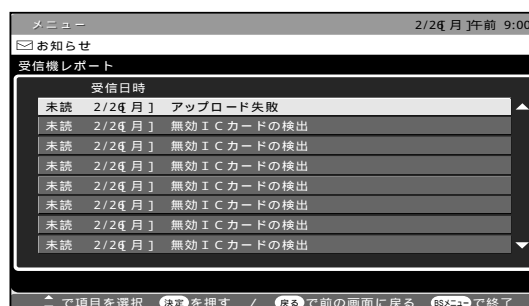
- アップロードに失敗したときは、「再発信」を選んで決定ボタンを押すと、アップロードしなおすことができます。

<例> アップロード失敗のレポートを見る

1 ① BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

② ◀▶で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲▼で「受信機レポート」を選び、決定を押す

2 見たいレポートを▲▼で選び、決定を押す

3 ① レポートの内容を確認する

② 「一覧へ」「前へ」「次へ」「再発信」のいずれかを◀▶で選び、決定を押す

ICカード番号を見る

■受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客さまの契約確認のためICカード番号を表示するものです。

扉を開けたところ

1

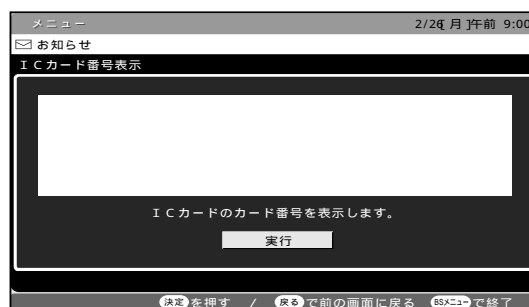
① BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

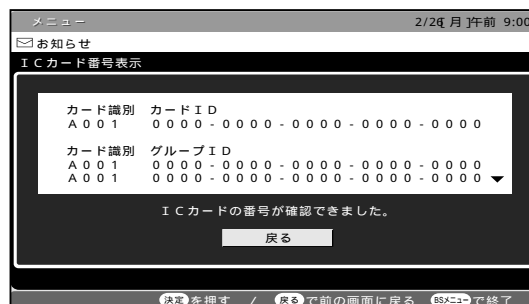
② ◀ ▶ で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「ICカード番号表示」を選び、決定を押す

2

「実行」で決定を押し、ICカード番号表示を実行する

3

① カード番号を確認する

②「戻る」で決定を押す

カード識別… メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。

カードID…… カード固有の番号です。

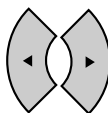
グループID… 複数セットで同一契約が可能になります。このときに同一のグループIDが異なるICカードに書き込まれます。

お知らせを見る(つづき)

ＰＰＶ購入履歴を見る

■購入した最新２４個のＰＰＶ番組の購入日時、チャンネル、番組名、購入金額を画面に表示して確認することができます。

扉を開けたところ

1 を押し、ＢＳメニュー画面を表示する

2 で「お知らせ」を選ぶ

3 で「ＰＰＶ購入履歴」を選び、決定を押す

- **ＰＰＶ購入履歴画面が表示されます。**

4 ① 画面を確認する

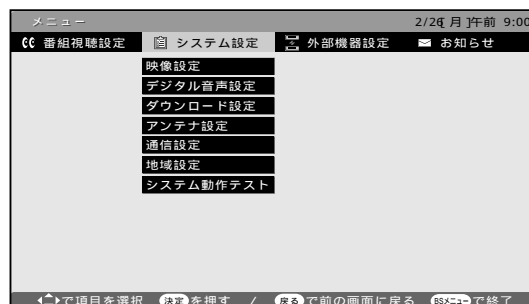
② 「戻る」で決定を押す

システム動作テストを行う

本機は、BSアンテナや電話回線が正しく接続されているか、また、ICカードが正しく装着されているか、などをテストできます。

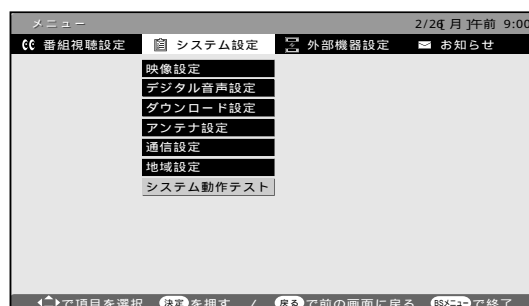
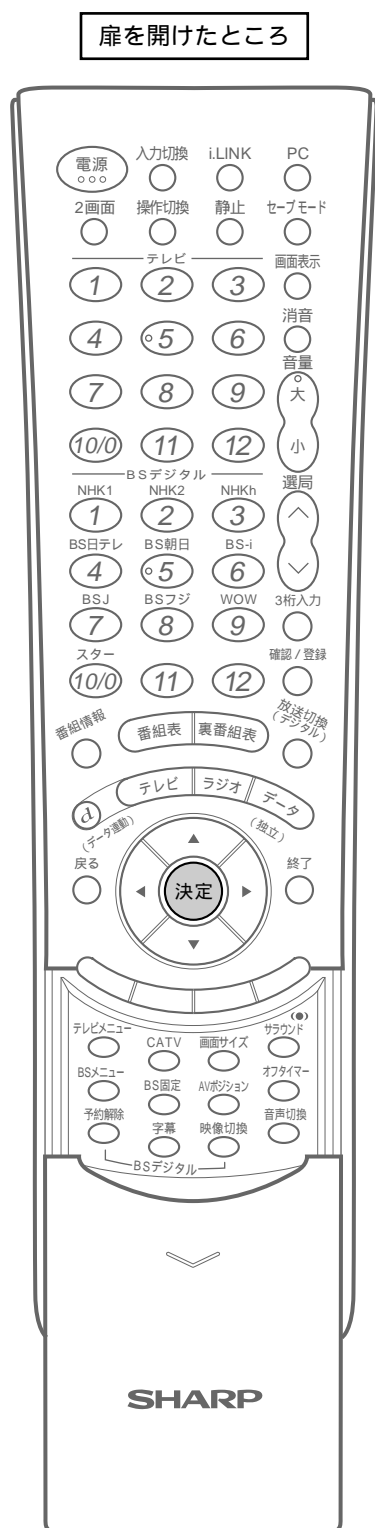
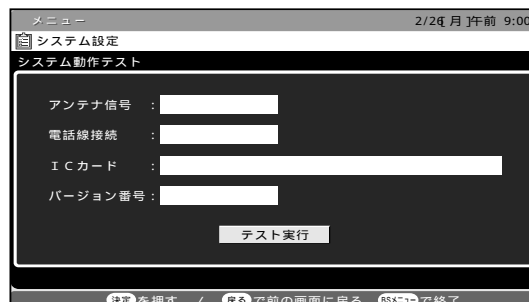
扉を開けたところ

1 BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

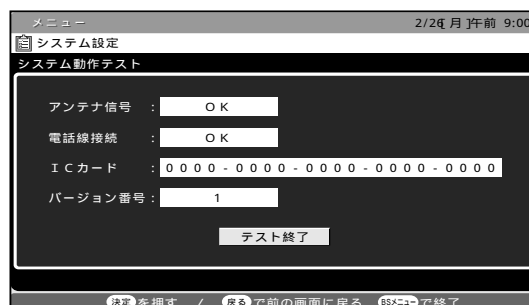
2 ◀▶で「システム設定」を選ぶ

3 ▲▼で「システム動作テスト」を選び、決定を押す

次ページへ

システム動作テストを行う（つづき）

扉を開けたところ

4 「テスト実行」で(決定)を押し、テストを開始する

- **表示が「テスト実行中」に変わります。**
  テストが終了すると「テスト終了」になります。

5 ① 結果を確認する

② 「テスト終了」で(決定)を押す

システム動作テストに失敗したときは

アンテナ信号

ＢＳアンテナの接続と設定を確認してください。

⇨ **３０・１６０**ページ

電話線接続

電話回線の接続と設定を確認してください。

⇨ **５２・１６３**ページ

ICカード

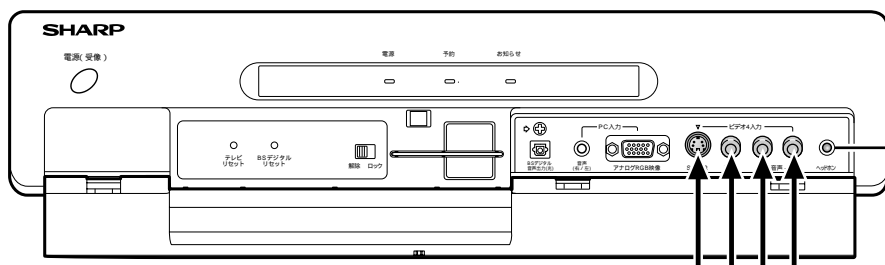
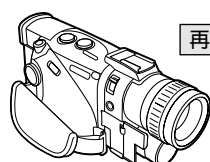
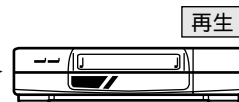
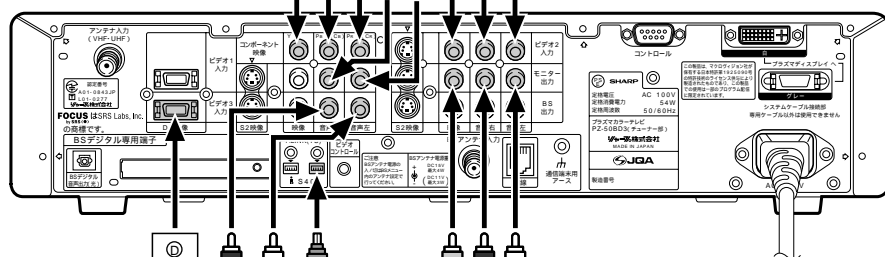
ICカードが正しく挿入されているか確認してください。

⇨ **５５**ページ

他の機器をつないで使う

ビデオ機器をつなぐ

■本機はビデオ入力端子4系統とモニター出力端子1系統、BSデジタル出力端子1系統を搭載しています。
■映像・音声プラグと端子は、黄(映像)、白(音声左)、赤(音声右)の色分けがしてあります。ケーブルと接続機器側のそれぞれの色が合うように接続してください。
■接続する機器に応じて、それぞれの端子に合う接続ケーブルをご用意ください。

接続のしかた

おしらせ
●ビデオ入力1端子、ビデオ入力3端子に接続したときは、入力選択の設定をしてください。（**182**ページ参照）

接続上のご注意

■ **接続ケーブルのプラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続は雑音の原因になります。**

■ **接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため電源を切ってください。**

■ **接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っぱらずにプラグを持って抜きとってください。**

■ **複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源を切っておいてください。**

■ **接続した機器と本機の画像や音にノイズや雑音が出るときは、お互いを十分に離してください。**

おしらせ

S2映像入力端子について

- S2映像入力端子は、より高画質な映像で再生するために映像信号を色信号と輝度信号に分離して入力する端子です。
- ビデオ1～4入力にあるS2映像端子は、映像用の端子です。音声はそれぞれの音声端子(左・右)に接続します。
- 本機は、フルモード制御信号の入った映像や、レターボックス制御信号の入った映像がビデオ1～4入力のS2映像端子から入力されると、自動的に最適な画面サイズで映し出すように設定することができます。(**79**ページ)

ビデオ1～4入力のS2映像入力優先機能について

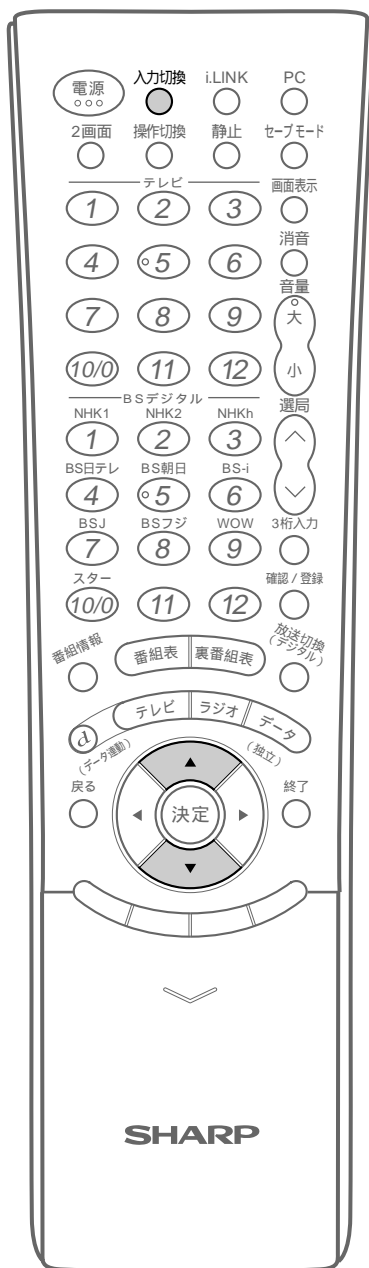
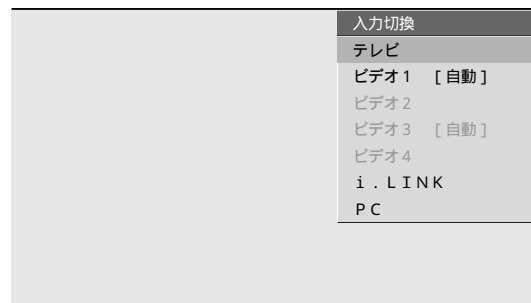
- 本機のビデオ1～4入力の映像端子とS2映像端子は、S2映像入力優先の共通接続です。
- 両端子とも接続しているとき、「ビデオ1～4」の画面はS2映像端子からの入力映像になります。
- 映像入力端子に接続しているビデオ機器の映像を見るときは、S2映像入力端子のプラグを抜いてください。

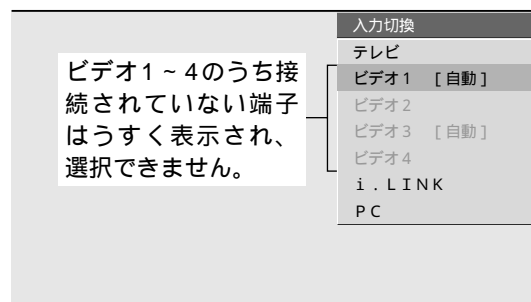
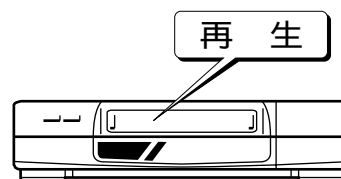
モニター出力端子について

- つぎの信号はモニター出力できません。(ただし、音声は出力できます。)
  ① BSデジタル映像信号
  ② コンポーネント映像信号(D端子を含む)
  ③ PC(RGB)映像信号
  ④ 映像入力時のS映像出力(Y/C分離出力機能はありません。)

- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

ビデオ機器をつなぐ(つづき)

ビデオデッキなどの再生映像を見る

1 入力切換 ○ を押し、入力切換メニューを表示する

● 入力切換メニュー表示中につぎの操作を行います。

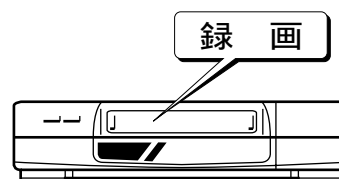
2 入力切換 ○ または ▲ ▼ を押し、入力を切り換える

3 ビデオ機器を再生状態にする

テレビ番組を録画する

<例> 6チャンネルの番組を録画する

1 録画機器側の録画準備をする

① チューナー部後面のモニター出力端子に録画機器(ビデオデッキなど)を接続し、電源を入れる。
② 録画機器の入力切換えを「外部入力」に切り換える。
③ 録画可能なビデオテープを入れる。

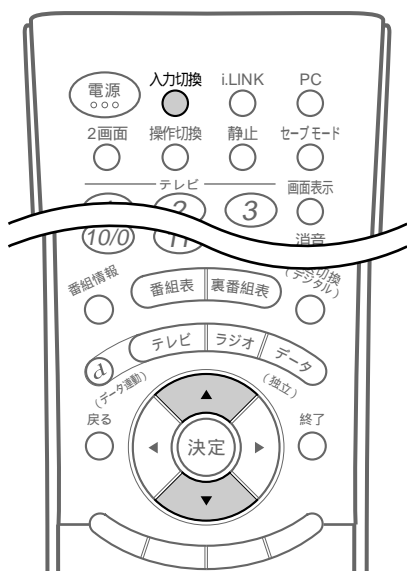
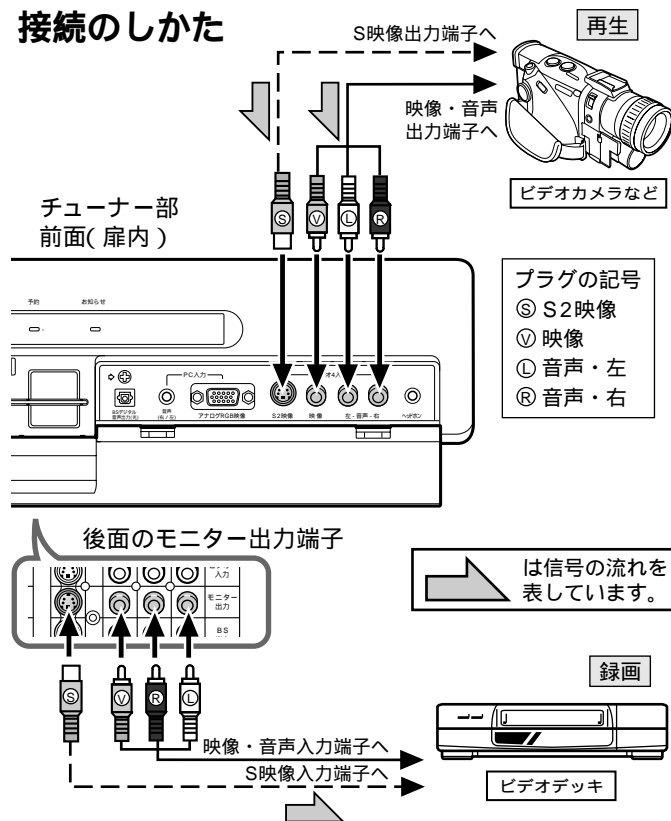
2 録画する番組をテレビチャンネルボタンまたは 選局 で選ぶ

3 録画機器（ビデオデッキなど）を録画状態にする

おしらせ

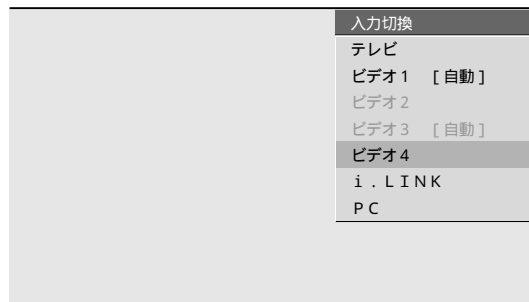
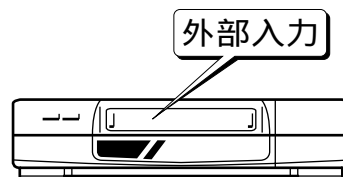
- 録画中にテレビチャンネルを変えると、モニター出力端子から出力される映像も変わります。
- D4映像端子、コンポーネント映像端子から入力された信号およびBSデジタル放送の信号は、モニター出力端子から出力されません。

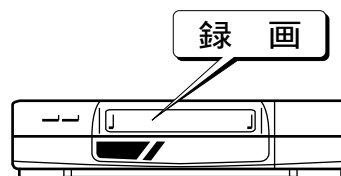
ビデオ機器をつなぐ(つづき)

ビデオカメラなどの映像を録画・編集する

接続のしかた

- 接続する機器の操作については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- D4映像端子、コンポーネント映像端子から入力された信号およびBSデジタル放送の信号は、モニター出力端子から出力されません。
- あなたが録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

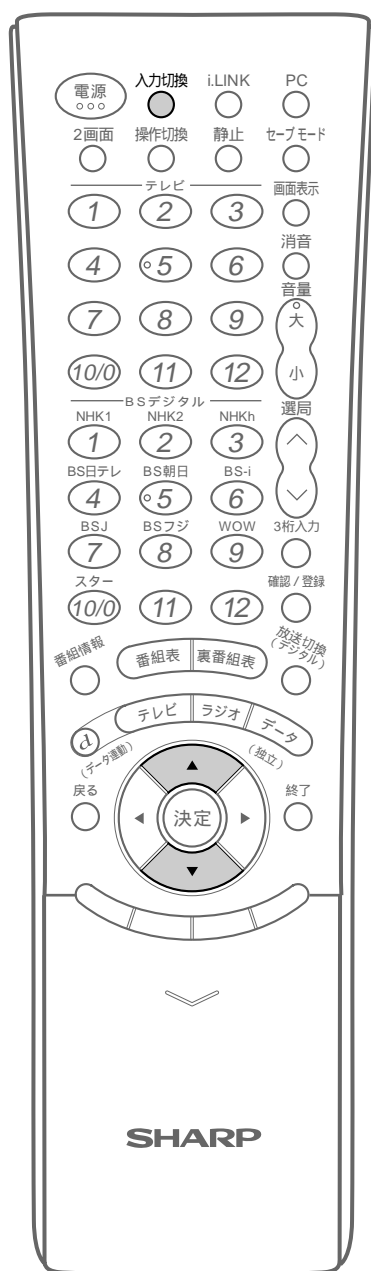
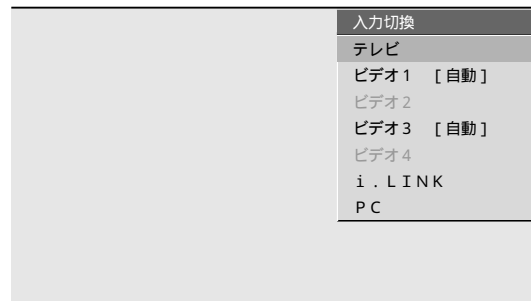
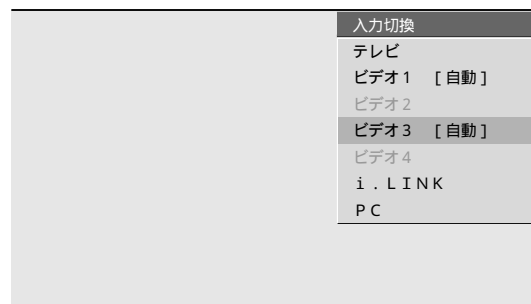
<例>チューナー部のビデオ入力端子に接続したビデオカメラなどの映像をビデオに録画する

1 入力切換 ◯ で「ビデオ4」を選ぶ

2 モニター出力端子に接続しているビデオデッキの入力切換を「外部入力」にする

3 チューナー部のビデオ4入力端子に接続したビデオカメラなどの機器を再生状態にする

4 チューナー部のモニター出力端子に接続しているビデオデッキを録画状態にする

DVDプレーヤーをつなぐ

高精細映像を楽しむ

■チューナー部後面のビデオ1入力またはビデオ3入力のD4映像端子や、ビデオ1入力のコンポーネント映像端子にDVDプレーヤーなどの機器を接続して、より高画質の映像を楽しむことができます。

1 入力切換 を押し、入力切換メニューを表示する

2 入力切換 または ▲ ▼ を押し、DVDプレーヤーを接続している入力に切り換える

おしらせ

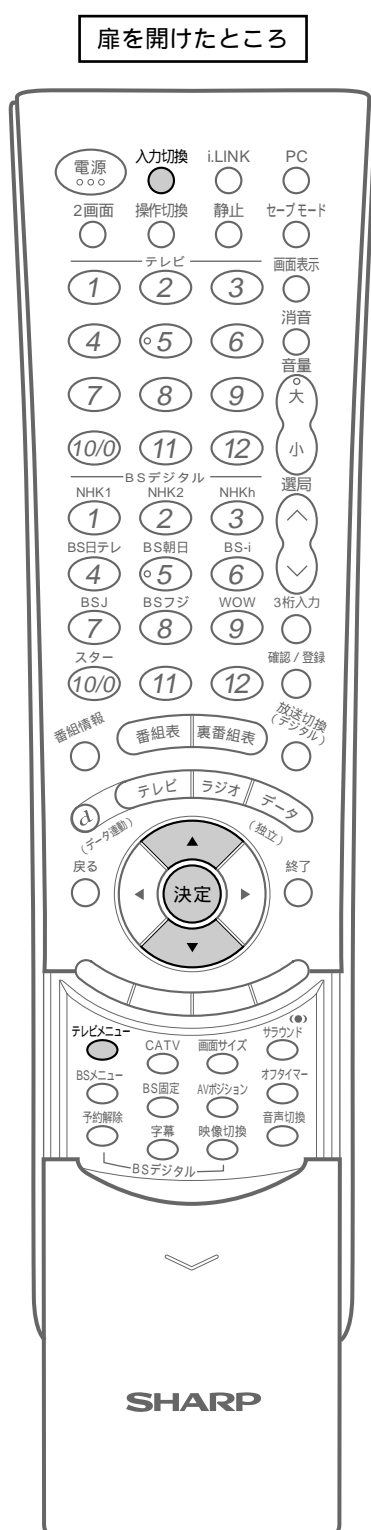
- DVDプレーヤーを接続している入力(ビデオ1入力またはビデオ3入力)の入力選択の設定を済ませておいてください。(**182**ページ参照)

3 DVDプレーヤーを再生状態にする

- 詳しくは、DVDプレーヤーの取扱説明書を併せてお読みください。
- D4映像端子、コンポーネント映像端子からの入力映像は、モニター出力端子から出力されません。
- DVDプレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。ビデオデッキを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が乱れることがあります。

入力選択の設定

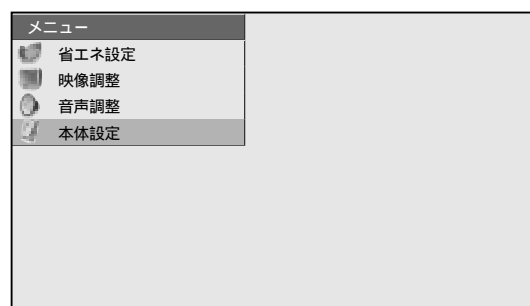
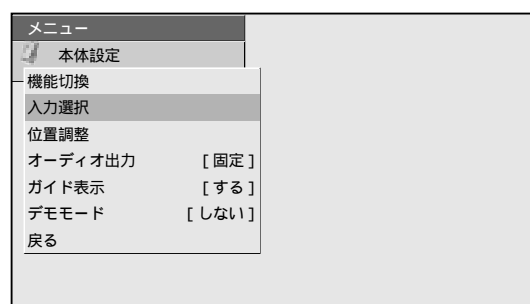
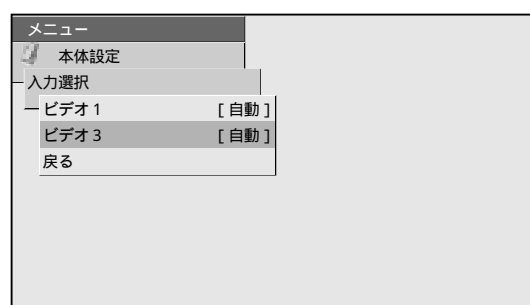
■チューナー部後面のビデオ1入力、ビデオ3入力に機器を接続したときは、本機に入力される映像信号の入力選択の設定を行ってください。（工場出荷時は、「自動」に設定されています。）

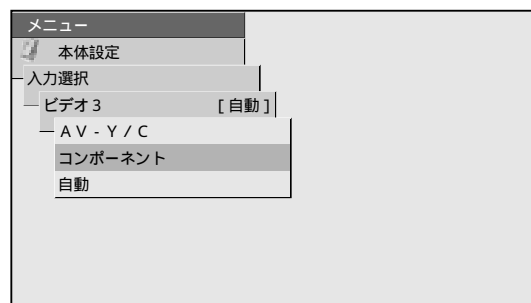
■入力選択設定の操作を行う前に、機器の接続を済ませておいてください。

扉を開けたところ

<例>ビデオ3入力のコンポーネント映像端子からの入力を選択するとき

1 入力切換 でビデオ1またはビデオ3にする

2 ① テレビメニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ▲▼で「本体設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「入力選択」を選び、決定を押す

4 ▲▼で「ビデオ3」を選び、決定を押す

扉を開けたところ

5 ▲ ▼ で「コンポーネント」を選び、決定 を押す

6 テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

入力信号選択の優先順位について

「AV-Y/C」
S映像入力→映像入力の順に選択されます。
「コンポーネント」
D4映像入力→コンポーネント映像入力の順に選択されます。
「自動」
D4映像入力→コンポーネント映像入力→S映像入力→映像入力の順に選択されます。

- テレビ入力のとき、「入力選択」はメニューに表示されません。

コンピューターをつなぐ

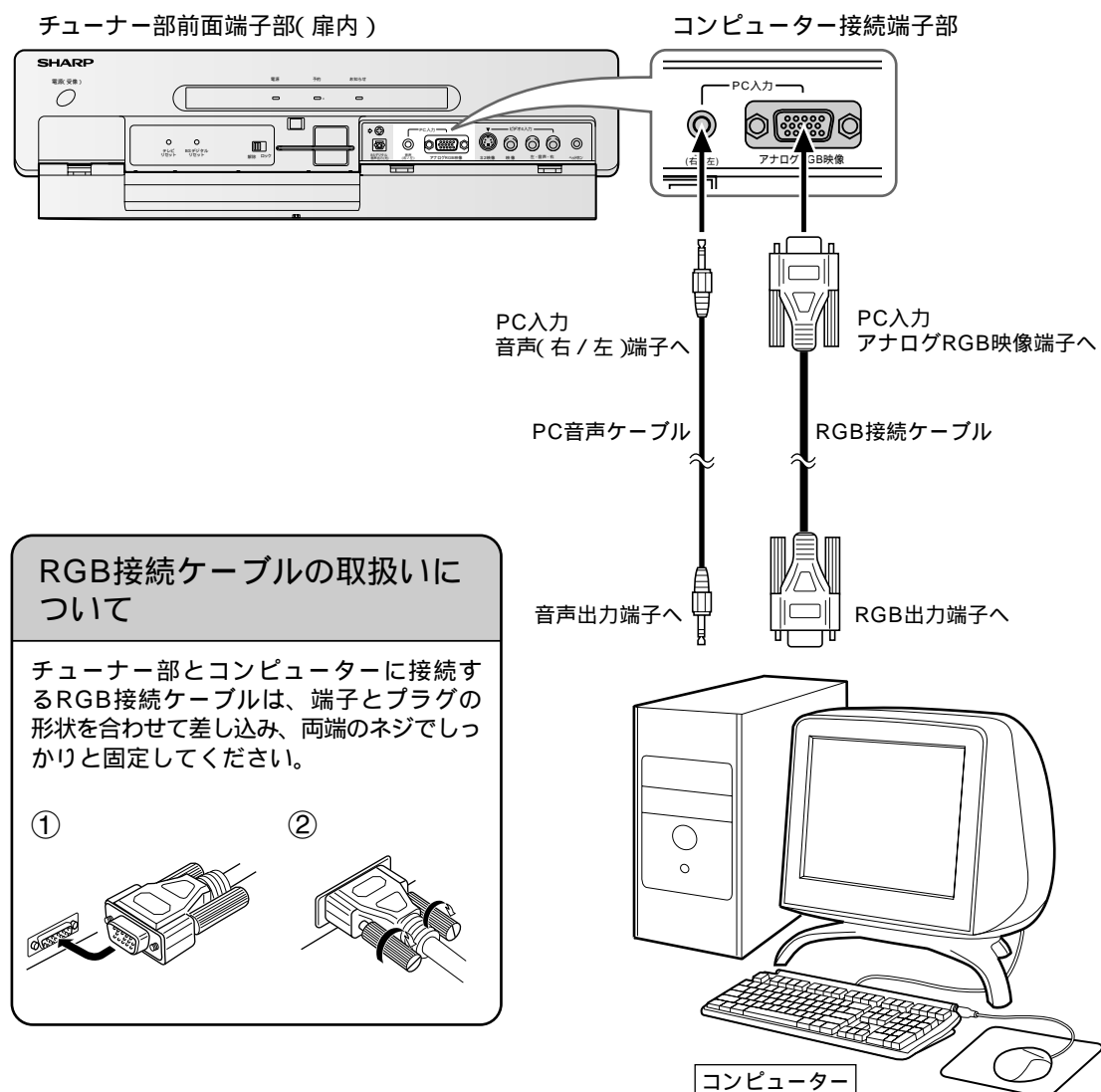
コンピューター入力対応表

画素数	垂直周波数	備　考	画素数	垂直周波数	備　考
640×400	85Hz		800×600	72Hz	
720×400	70Hz			75Hz	
	85Hz			85Hz	
640×480	60Hz		832×624	74.5Hz	Macintosh16"
	65Hz	Macintosh13"(67Hz)	1024×768	60Hz	
	72Hz			70Hz	
	75Hz			75Hz	Macintosh19"
	85Hz			85Hz	
800×600	56Hz		1280×768	60Hz	
	60Hz		1280×1024	60Hz	

※コンピューター接続時の表示設定は、自動同期調整で最良に近い状態に設定されます。（自動同期調整……**76**ページ参照）

接続のしかた

RGB接続ケーブルの取扱いについて

チューナー部とコンピューターに接続するRGB接続ケーブルは、端子とプラグの形状を合わせて差し込み、両端のネジでしっかりと固定してください。

D-VHSビデオデッキをつなぐ（i.LINK）

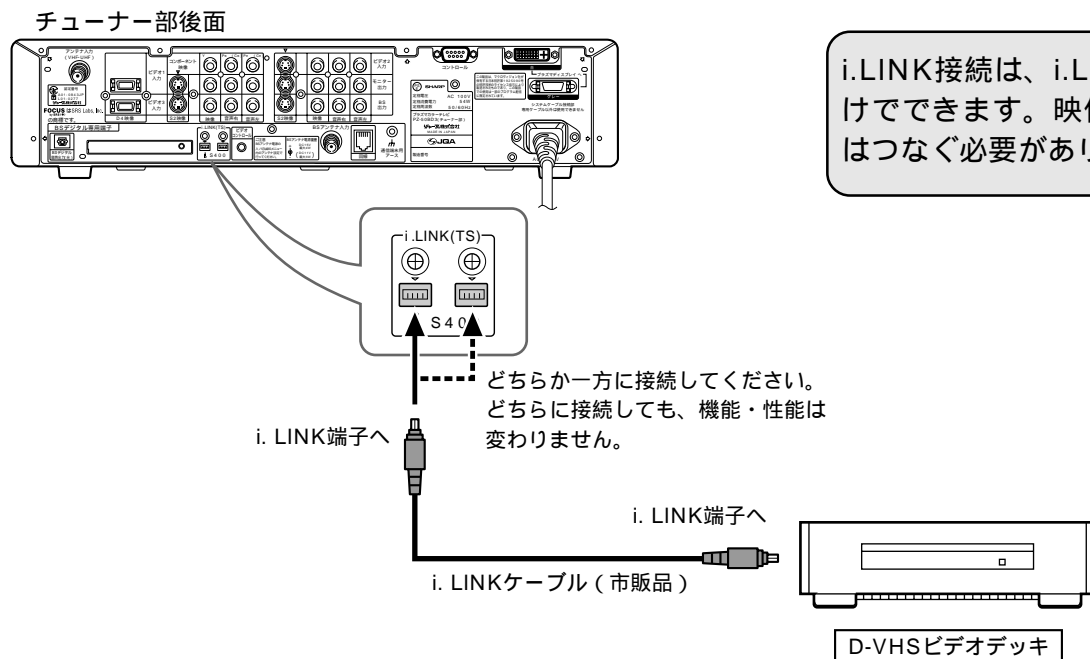
i.LINK（アイリンク）について

■i.LINKとは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースで、i.LINKケーブル1本で接続することができます。
i.LINKは、IEEE1394の呼称で、IEEE（米国電子電気技術者協会）によって標準化された国際標準規格です。現在、100Mbps/200Mbps/400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100/S200/S400と表示されます。本機では最大400Mbpsの転送速度が可能です。

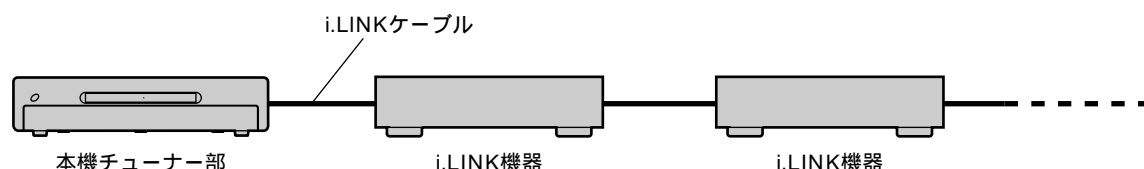
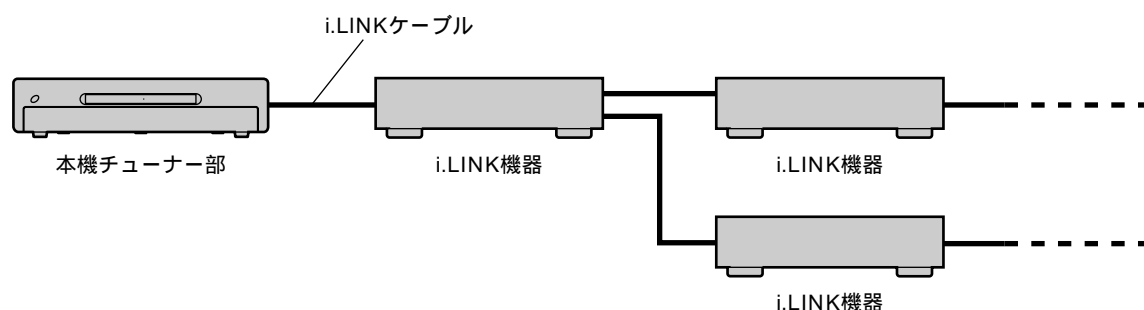
本機に接続できるi.LINK機器について

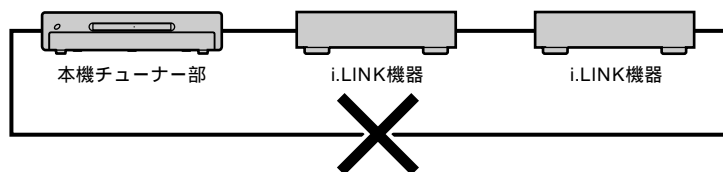
■本機が対応しているi.LINK機器はD-VHSビデオデッキのみです。DVDレコーダーやデジタルビデオカメラ等のDV機器、パソコン、パソコン周辺機器などは、仕様が異なりますので接続できません。

i.LINK接続のしかた

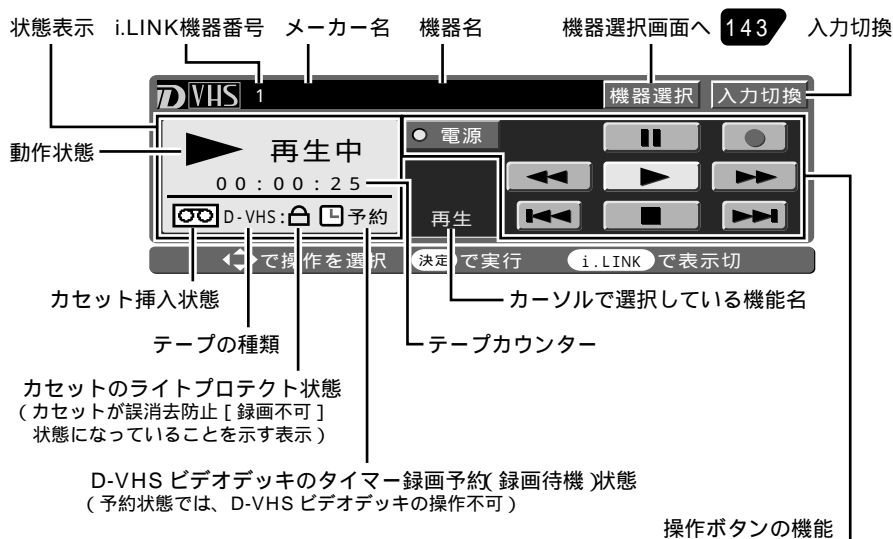
＜例＞接続するi.LINK機器（D-VHSビデオデッキ）が1台の場合

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)が2台以上のとき

■i.LINKケーブルを使い、デイジー・チェーン(数珠つなぎ)で接続します。この接続では、i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)を16台までつなげます。

■i.LINK端子が3つ以上ある機器の場合は、分岐をしてつなぐこともできます。分岐をして接続する場合は、i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)を最大62台までつなげます。

接続に関するご注意

- 接続の際は、「S400」タイプのi.LINKケーブルをご使用ください。
- 一部のi.LINK機器では、その機器の電源が切られているとデータを中継できない場合があります。
  BSメニューの「電源待機設定」を「する」に設定してください。(**142**ページ参照)
- 下図のようなループ(輪)接続をしないでください。

- i.LINK機能使用中は、使用していないi.LINK機器であっても、ケーブルを抜いたり、電源を切ったりしないでください。映像・音声が乱れることがあります。
- DVDレコーダーやデジタルビデオカメラ等のDV機器、パソコン、パソコン周辺機器など、本機が対応していない機器を同時に接続していると、誤動作することがあります。

i.LINK機器の操作のしかた

■i.LINKに対応したD-VHSビデオデッキの操作ができます。
画面にi.LINK操作パネルを表示させ、パネル上のボタンで操作します。
■操作を始める前に、141～143ページの「録画モードの設定」「i.LINK電源待機の設定」「i.LINK機器の選択」を済ませておいてください。
■本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

※入力切換ボタンについて
- i.LINK操作パネルの入力切換ボタンは、BSデジタル放送とi.LINK機器入力との切換えに使用します。

ボタン	機能	ボタン	機能
電源	電源の入／切	▶▶	早送り
❚❚	一時停止	❙◀◀	1つ前に戻って頭出し
●	録画開始	■	停止
◀◀	巻戻し	▶▶❙	1つ先に進んで頭出し
▶	再生		

D-VHSビデオデッキをつなぐ（i.LINK）（つづき）

- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキを再生状態にすると、D-VHSビデオデッキが再生している映像・音声に自動的に切り換わります。D-VHSビデオデッキを停止すると、BSデジタル放送に切り換わります。
- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキが再生状態のとき、i.LINK操作パネルの入力切換ボタンにカーソルを合わせ、リモコンの決定ボタンを押すと、BSデジタル放送の映像・音声に切り換わります。
- D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINK操作パネル上の操作ボタンで操作できなかったり、D-VHSビデオデッキが再生している映像・音声を視聴することができない場合があります。
- 本機は、VHSテープやS-VHSテープ、またはアナログで記録されているD-VHSテープの再生映像・音声をi.LINKで視聴することができません。この場合は、D-VHSビデオデッキのアナログ出力を本機のアナログ外部入力に接続し、本機を外部入力に切り換えてから視聴してください。
- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキのタイマー録画予約中は、i.LINK操作パネルでの操作ができません。
- 本機のi.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているBSデジタル放送の映像・音声がD-VHSビデオデッキに記録されます。
- 本機で受信しているBSデジタル放送の映像・音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープやS-VHSテープでは記録することができません。
- BS固定中、予約録画実行中は、i.LINK操作パネルを表示できません。
- i.LINK操作パネルと、番組表やメニューなどを同時に（重ねて）表示することはできません。
- IEEE1394は、米国電子電気技術者協会（IEEE）によって標準化された国際標準規格です。
- i.LINK（アイリンク）とi.LINKロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA（The Digital Transmission Licensing Administrator）というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。
- 番組の内容によっては、D-VHSビデオデッキで録画・録音ができない場合があります。
- 本機に接続したi.LINK機器（D-VHSビデオデッキ）で録画した内容を再生したとき、ビデオサーチ（早送り／巻戻し）をすると画面がモザイクになる場合があります。

その他

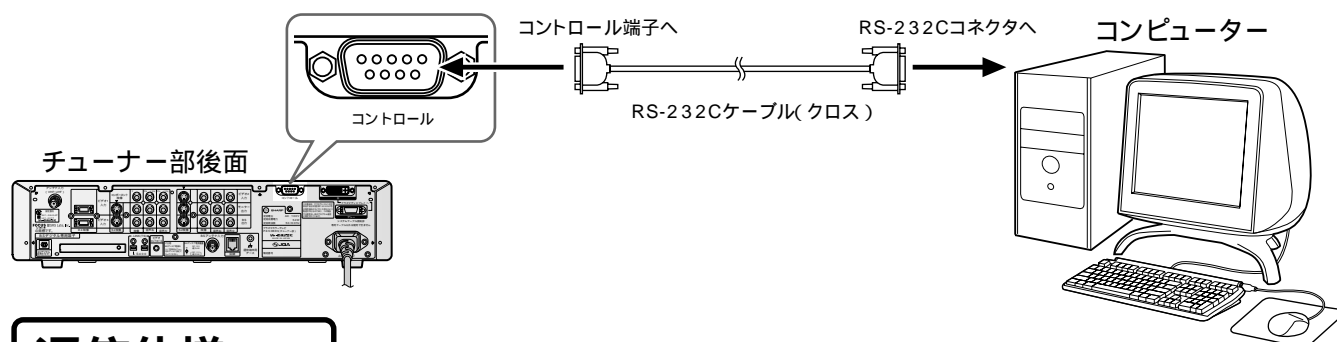
コンピューターで本機を制御する

コンピューターによる本機の制御について

この操作システムはコンピューターを使い慣れたかたのご利用をお願いいたします。

■プログラムを組むとRS-232Cコネクタを使って、コンピューターで本機を制御することができます。入力信号(コンピューター／ビデオ)の切換えや音量調整のほか、他の各種調整や設定も制御できます。

■接続には、市販のRS-232Cケーブル(クロス)をご用意ください。

接続のしかた

通信仕様

■コンピューター側のRS-232C通信仕様を、本機の通信仕様に合わせてください。

■本機の仕様は、以下のとおりです。

ボーレート	9600bps
データ長	8ビット
パリティ	なし

ストップビット	1ビット
フロー制御	なし

通信手順

■コンピューターからRS-232Cコネクタを通じて、制御コマンドを送信します。本機は、送られたコマンドに応じて動作し、レスポンスメッセージをコンピューター側に送ります。

■複数のコマンドを同時に送信しないでください。正常時のレスポンス(OK)を受けとってから、つぎのコマンドを送信するようにしてください。

コマンド(コンピューター→本機)

レスポンス(本機→コンピューター)

正常時

異常発生時(通信エラーまたはコマンドに誤りがあったとき)

RS-232Cコマンド一覧

■ここに記載されている以外のコマンドについては動作保証範囲外です。

制御項目		“A”part	“B”part	選択項目	制御内容
電源		POWR	0		スタンバイへ移行
画面表示		DISP	−		
入力切換	トグル	ITGD	−	（トグル）	トグルで入力切換（入力切換ボタンと同じ）
	テレビ	ITVD	0		テレビに入力切換（チャンネルはそのまま［ラストメモリー］）
	ビデオ1〜4	IAVD	1-4	（入力端子番号）	ビデオ1〜ビデオ4に入力切換
	i.LINK	LINK	0		i.LINKに入力切換
	PC	IPCD	−		PCに入力切換
	放送切換（デジタル）	IDEG	−	（トグル）	BSデジタル放送と将来の新しい放送との切換
チャンネル切換	UV	CCUV	1〜20	（TVのチャンネル番号）	UV表示でなかったら入力切換含む
	CATV	CCCT	13〜63	（CATVのチャンネル番号）	CATV表示でなかったら入力切換含む
	3桁入力	CCBS	0〜999	（デジタル放送のチャンネル番号）	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	選局＋	CHUP	−	テレビのチャンネル番号＋1	テレビ表示でなかったらテレビに入力切換（U/V→CATV→BSD→U/Vの順でトグル）
	選局−	CHDW	−	テレビのチャンネル番号−1	テレビ表示でなかったらテレビに入力切換（U/V→BSD→CATV→U/Vの順でトグル）
入力選択	ビデオ1	INP1	0	自動	入力切換も含む
			1	AV-Y/C	
			2	コンポーネント	
	ビデオ3	INP3	0	自動	
			1	AV-Y/C	
			2	コンポーネント	
AVポジション		AVMD	0	（トグル）	現在選択できるもののなかでトグル動作
			1	標準	
			2	ダイナミック	
			3	映画	
			4	ゲーム	
			5	AVメモリー	
音量		VOLM	0〜60	（音量）	
位置調整	水平位置	HPOS	±15	AVモード	
			±90	PCモード	
	垂直位置	VPOS	±30	AVモード	
			±60	PCモード	
	クロック周波数	CLCK	±90	PCモードのみ	
	クロック位相	PHSE	±20	PCモードのみ	
画面サイズ切換		WIDE	0	（トグル）	現在選択できるもののなかでトグル動作
			1	ノーマル	
			2	ワイド	
			3	フル AV	
			4	シネマ	
			5	フル1	
			6	フル2	
			7	ノーマル	
			8	フル	
			9	Dot by Dot PC	
			10	Dot by Dot（W）	
消音		MUTE	−	（トグル）	消音オン、オフのトグル
SRS		ASRS	0	（トグル）	トグル動作
			1	オフ	
			2	SRS	
			3	FOCUS	
			4	FOCUS＋SRS	
音声切換		ACHA	−	（トグル）	
2画面		TWIN	0	1画面	
			1	2画面	
オフタイマー		OFTM	0	解除	
			1	オフタイマー30分	
			2	オフタイマー60分	
			3	オフタイマー90分	
			4	オフタイマー120分	

※“B”part欄の「−」はスペースを意味します。

コンピューターで本機を制御する(つづき)

通信内容

■ 通信設定

9600、8、N、1、N

■コマンド形式

アスキー8文字＋CR

“ A ”part……コマンド。テキスト4文字
“ B ”part……引数。0〜9、ー、空白、？

■ 引数

“ B ”partには左詰めで入力し、残りはスペースで埋めます。（必ず4文字になるようにしてください。）
設定可能範囲外の場合、「ERR」が返ります。（「返り値」参照）
表中で引数が「ー」になっているものは、数値であれば何を書いてもかまいません。

0			

0	0	0	9

ー	3	0	

1	0	0	

0	0	5	5

いくつかのコマンドは、引数に「？」を与えることにより、現在の設定値を返します。

?			

?	?	?	?

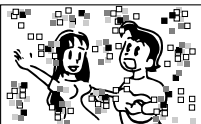
■ 返り値

コマンドの実行が終了したら、下記戻り値を返します。

O	K	(CR)

コマンドが実行できなかったり、コマンド表になかったりした場合は、下記戻り値を返します。

E	R	R	(CR)

故障かな？と思ったら

つぎのような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。なお、アフターサービスについては**203**ページをご覧ください。

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
全般	映像も音声も出ない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ・電源が「切」の状態になっていませんか。 ・テレビ（地上放送、CATV）やBSデジタル放送を見たいのに、ビデオ入力画面に切り換えられていませんか。	26 64・65 178
	リモコンが動作しない	・電池の極性（⊕、⊖）が逆になっていませんか。 ・リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ・リモコンはディスプレイ部に向けてお使いください。	20
	音が左右逆になる 片方しか音が出ない	・スピーカーの接続ケーブルが左右逆に接続されたり、片方がはずれたりしていませんか。 ・音声ケーブルが左右逆に接続されていませんか。	27 176
	映像は出るが 音声が出ない	・音量調整が最小になっていませんか。 ・「消音」状態になっていませんか。 ・ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。 ・オーディオ出力が「可変」に設定されていませんか。「固定」にしてください。 ・S映像・D映像・コンポーネント映像端子は映像用です。これらを使用するときは、音声端子も接続してください。	65 65 176 91 176
	色がうすい 色あいが悪い	・色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。	84
	特定のテレビチャンネルだけ映らない	・テレビチャンネルの微調整がズレていませんか。	39
アンテナ	映像が出ず 雑音のみ出る	・アンテナ線がはずれたり、ショートしたりしていませんか。 ・アンテナ線は正しく接続されていますか。	29
	画像にはん点が出る	・自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていませんか。アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に立ててください。	−
	映像が二重になる （ゴースト）	・近くに山や大きな建物・樹木がある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。 アンテナの向きや高さを変えてみてください。	−
	色じま模様が出る	・近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか。アンテナの向きや高さを調整すれば、妨害をある程度少なくすることができます。	−
	雪が降っているような画面になる	・アンテナ線は正しく接続されていますか。 ・屋外アンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。 ・アンテナの向きが変わったり、アンテナがこわれたりしていませんか。	29 − −

故障かな？と思ったら（つづき）

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
BSデジタル放送関係	映像も音声も出ない	・BSアンテナ電源が「切」になっていませんか。 ・映像、音声のない放送ではありませんか。 ・ビデオ入力画面に切り換えられていませんか。	161 ― 178
	画面に四角のノイズ（モザイク）が出る	・アンテナの向きがズレていませんか。 ・アンテナレベル（信号強度）を確認してください。 ・アンテナの前方に障害物はありませんか。 ・アンテナはBSデジタル放送対応のものを使用していますか。 ・アンテナケーブルは衛星放送用を使用していますか。	― 161 ― ― ―
	有料放送の視聴ができない	・ICカード（B-CASカード）は正しく挿入されていますか。 ・有料放送を視聴するための契約はしていますか。 ・電話回線の接続や設定は正しくされていますか。	55 56 52・57
	画面にノイズが出る	・VHF/UHFのアンテナケーブルがBSアンテナケーブルと接近していませんか。	―
	特定のチャンネルだけ映らない	・契約していない有料放送ではありませんか。 ・アンテナレベル（信号強度）を確認してください。	56 162
	ビデオコントローラーでの録画予約ができない	・ビデオコントローラーは正しく接続されていますか。 ・ビデオ連動録画設定は正しく設定されていますか。 ・データ番組ではありませんか。	137 138 ―
	番組の予約をしても受信できない場合があります。	・契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組等を予約したとき。	117

■ 本機を電源スタンバイ状態にし、ディスプレイ部の電源ランプが赤色点滅しているときは、動作状態にできません。ディスプレイ部の電源ランプが赤色点滅から赤色点灯に変わった時点で、動作状態にすることができます。

■ ディスプレイ部の主電源ボタンを押し、動作状態から電源「切」にした場合、ディスプレイ部の電源ランプ（緑色点灯）が消えるまでに若干の時間がかかります。

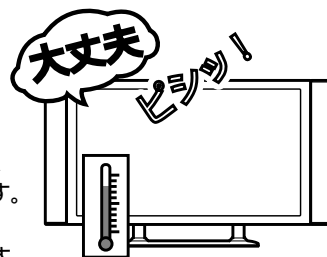
■ 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。こんなときはディスプレイの主電源スイッチで電源を「切」にし、ディスプレイ部、チューナー部両方の電源プラグをコンセントから抜いて1分間ほど放置した後、再度差し込み、動作を確認してください。

このようなときも故障ではありません

ときどき“ピシッ”と音がする

- 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。

BS アンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な映像障害

- 衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。
- 春分や秋分の前後20日程度は人工衛星が地球の陰（食）になるため、深夜一時的に電波が止まります。

■ つぎのエラーコードが画面に表示されている場合は、それぞれの対処法を実施してください。それでもエラーコードの表示が消えないときは、お買い求めになった販売店にご相談ください。

エラーコード	意　味	対　処　法	ページ
E01	システムケーブルが正しく接続されていません。	・システムケーブルを正しく接続しなおしてください。	26
E04	本機内部の温度が異常に高くなっています。	・本機を、熱を受けない場所、内部に熱がこもらない風通しのよい場所に移動してください。	―
E06	内部信号または回路の動作が異常です。	・ディスプレイ部の主電源スイッチで電源を一度切り、再び電源を「入」にしてください。	64

ＢＳデジタル放送の注意文

■受信に関する注意文

ＢＳデジタル放送では、１つの電波で複数のチャンネルが送信できます。この中には現在放送されているチャンネルのほかに、これから放送が予定されているようなチャンネルの情報も含まれています。
どんなチャンネルがあるかを示す情報を送信することで、多チャンネルになっても、ユーザーは希望するチャンネルを選択することができます。
このチャンネル情報と実際の放送状況により、本機では以下のような注意文が表示されます。

注意文	内　容
放送が受信できません。	選択したチャンネルの電波が送信されていないときや、電波は送信されているが、大雨などで受信できないときに表示されます。
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。	選択したチャンネルを含む電波は送信されているが、番組が放送されていないときに表示されます。
×××チャンネルが見つかりません。番組表などでチャンネルを確認してください。	選択したチャンネルが放送されていないときに表示されます。

■ICカードによる注意文

有料放送を受信するには、ICカード（B-CASカード）が必要となります。
ICカードと信号のやりとりをすることで、有料放送の契約状況が分かります。このICカードとの信号のやりとりの結果により、本機では以下のような注意文が表示されます。

注意文	内　容
ICカードを正しく装着してください。	有料放送を受信するとき、ICカードが正しく装着されていないときに表示されます。 ICカードをスロットに挿入し、スライドスイッチをロック位置にしてください。
このICカードは使用できません。	ICカードが壊れている可能性があるときに表示されます。 B-CASカスタマーセンターまで連絡してください。
このチャンネルは契約されていません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	有料放送事業者に契約を申し込んでいない場合、あるいは申し込み後、契約情報が設定されるまでの期間表示されます。
このチャンネルはご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	契約したチャンネルの放送で、ＰＰＶなど別契約が必要なときに表示されます。
契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	契約したチャンネルの契約期間が過ぎているときに表示されます。
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	契約上の制限によって、視聴できないときに表示されます。
受付時間を過ぎていますので購入できません。	PPV番組の購入可能な時間を過ぎているときに表示されます。
電話回線を接続のうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	PPV番組の購入金額を有料放送事業者に電話回線で連絡できないため、PPV番組が購入できなくなったときに表示されます。
ICカードの交換が必要です。カスタマーセンターへご連絡ください。	ICカードの記憶装置に異常が発生したときに表示されます。 B-CASカスタマーセンターまで連絡してください。
このICカードは使用できません。カスタマーセンターへご連絡ください。	ICカードの内部情報がおかしくなったときに表示されます。 B-CASカスタマーセンターまで連絡してください。

BSデジタル放送の注意文(つづき)

■i.LINKに関する注意文

注意文	内　容
現在選択している機器では正常に録画／再生できない可能性があります。	本機が対応していない機器、あるいはDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載していない機器を選択したときに表示されます。
i.LINK機器の接続が不正か、接続異常が発生しています。取扱説明書をお読みのうえ、接続しなおしてください。	i.LINKケーブルによる接続が異常なときに表示されます。**186**ページの「接続に関するご注意」をお読みのうえ、接続しなおしてください。
現在選択している機器は"録画／再生"できない状態です。他の機器から使用中でないか確認してください。	選択している機器が、すでに他の機器から使用されているときに表示されます。本機から使用するためには、他の機器を操作する必要があります。

■その他の注意文

注意文	内　容
システムエラーです。 電源を入れなおしてください。	内部のファンが停止するなど、マイコンの動作がおかしくなったときに表示されます。

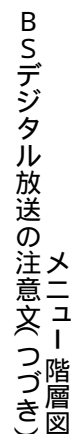
本機は、MPEG2 AACに関する下記番号の特許を使用しています。

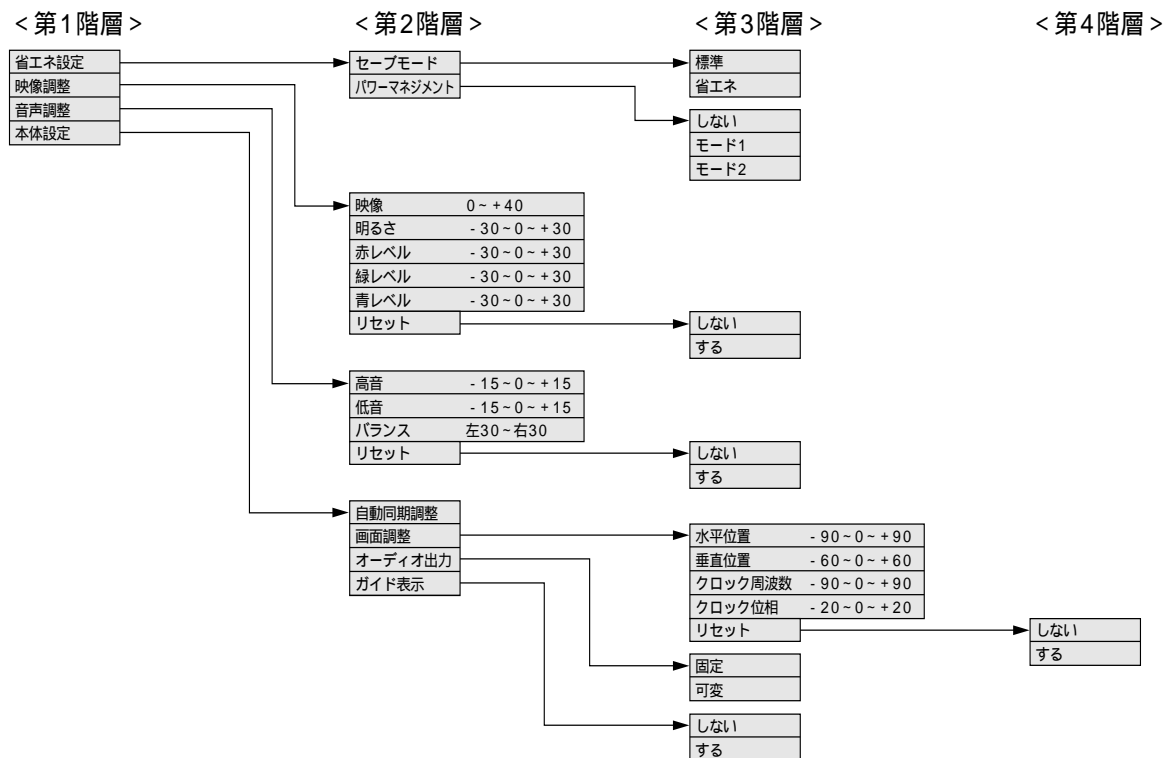
特許番号

5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433	5,222,189
5,357,594	5,752,225	5,394,473	5,583,962	5,274,740
5,633,981	5,297,236	4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874
98/03036	5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584
5,781,888	08/039,478	08/211,547	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654
5,548,574	5,717,821			

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

メニュー階層図

テレビ／ビデオメニュー階層図

メニュー階層図(つづき)

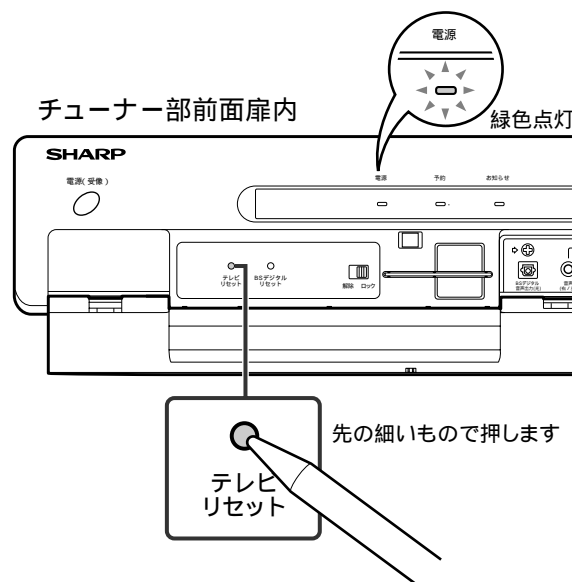
ＰＣメニュー階層図

リセットボタンについて

テレビリセットボタン

■メニューや2画面モードなどを操作していて、もとに戻せなくなったりした場合には、本機が動作している状態（電源ランプが緑色点灯中）で、チューナー部前面扉内のテレビリセットボタンを押してください。

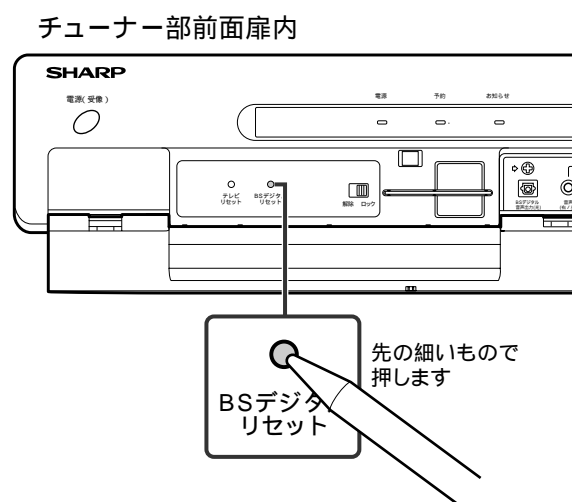
本機が電源スタンバイ状態のとき（電源ランプが赤色点灯中）など、動作状態にないときには、テレビリセットボタンは機能しません。

テレビリセットボタンを押すと、つぎの状態に設定されます。

- **AVポジションが「標準」になります。**
- **テレビの1チャンネルが表示されます。**
- **1画面になります。**
- **音声出力が初期化されます。**
- **サラウンド機能が「オフ」になります。**
- **画面位置調整が初期化されます。**
- **チャンネル設定は初期化されません。**

BSデジタルリセットボタン

■本機を使用中に、強い外来ノイズ（過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けた場合や誤った操作をした場合など、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。

このようなときは、チューナー部前面扉内のBSデジタルリセットボタンを押してから操作をやりなおしてください。

- リセット直後はデータ取込みのため、画面表示には時間がかかります。

用語解説

■ 16：9

BSデジタルハイビジョン放送の画面横縦比です。従来の4：3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

■ 525i

走査線525本、インターレース方式。地上放送（VHF/UHF）やBSアナログ放送と同等の画質です。

■ 525p

走査線525本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンに近い画質です。

■ 750p

走査線750本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ 1125i

走査線1125本、インターレース方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ B-CASカード（ビーキャスカード）

各ユーザー独自の番号などが記載されている、BSデジタル放送視聴用ICカードのことです。ユーザー登録し、B-CASカードを受信機に挿入すると、双方向サービスの利用が可能となり、放送局からのメッセージを受信できるようになります。また、有料放送の視聴を希望される場合やNHKとの受信確認、そして、今後予定されている各種双方向サービスを希望される場合などにも登録済みカードが必要になります。

■ BS（Broadcast Satellite）

放送衛星のことです。BS-4先発機から従来のBSアナログ放送が、BS-4後発機からBSデジタル放送が送られています。

■ BSデジタル放送

2000年12月から本格サービスが開始された新しい衛星放送で、従来のBS（アナログ）放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、高品位のデジタル音声放送（BSラジオ）、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

■ CATV（ケーブルテレビ）

ケーブル（有線）テレビ放送のこと。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。

■ D端子

BSデジタル放送の高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号（Y）と色差信号（CB/PB、CR/PR）を3本のケーブルで接続（コンポーネント接続）していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1～D5の規格があり（本機はD4に対応）、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

■ EPG（Electronic Program Guide）

BSデジタル放送で送られてくる、画面で見られる電子番組表のことです。

■ **HDTV（High Definition Television）**
1125i や 750p などのデジタルハイビジョンの高画質、高精細度テレビ放送のことです。

■ **i.LINK（アイリンク）**
i.LINK端子を持つ機器間でデジタル映像やデジタル音声などマルチメディア系のデータの双方向通信を行ったり、接続した機器を操作したりできるシリアル転送方式のインターフェースです。接続はi.LINKケーブル1本で行うことができます。i.LINKはIEEE1394の呼称で、IEEE（米国電子電気技術者協会）によって標準化された国際規格です。現在、100Mbps、200Mbps、400Mbps の転送速度があり、それぞれS100、S200、S400 と表示されます。

■ **MPEG（Moving Picture Experts Group）**
デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい 40 分の 1 に圧縮することができます。

■ **MPEG2 AAC（MPEG2 Advanced Audio Coding）**
MPEG2 音声圧縮技術の符号化方式の 1 つです。高音質、マルチチャンネル設定が可能な方式です。

■ **NTSC（National Television System Committee）**
日本でも採用している現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本、アメリカのほか、韓国、カナダ、メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒30フレーム（フィールド周波数60Hz）、走査線数 525 本のインターレース方式です。

■ **PPV（Pay Per View）**
「ペイパービュー」と読みます。番組単位で購入契約が必要な有料番組のことです。

■ **SDTV（Standard Definition Television）**
従来の走査線 525 本の標準精細度テレビ放送のことです。

■ **S1/S2 映像**
セパレート（S）映像信号に、画面比率4：3で上下に黒帯のあるワイド映像（レターボックス）や、もと16：9の映像を横方向に圧縮して4：3にした映像（スクイーズ）を自動判別する信号を加えた映像信号のことです。映画サイズの番組やビデオソフトを見るとき、自動的に最適な画面サイズになります。

■ **インターレース（飛び越し走査）**
NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、525本の走査線のうち、まず奇数番めの走査線（262.5本）を 1/60秒で描きます（この1画面を1フィールドといいます）。つぎに偶数番めの走査線（262.5本）を 1/60 秒で描きます。これで、合わせて走査線 525 本の 1 枚の完全な画像（フレーム）をつくっていく方式です。

■ **お知らせ**
BS デジタル放送局から視聴者へメッセージを送るサービスです。

用語解説（つづき）

■ **コンポーネント接続**

映像信号を輝度信号（Y）と色差信号（CB/PB、CR/PR）の３つのコンポーネント（構成部分）に分離して伝送する接続方法です。コンポーネント映像端子は３つの端子に分かれているので、接続には３つのプラグに分かれた専用コード（コンポーネントケーブル）を用います。通常の映像端子による接続に比べ、色のキレが良く、チラツキのない画質が得られます。

■ **コンポジット接続**

通常の映像端子（ビデオ端子）を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は１つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像・音声端子の接続では、黄・白・赤の３色に分かれたAVケーブルを使うのが一般的です。

■ **サイマル放送（サイマルキャスト）**

BSデジタル放送、BS（アナログ）放送の両方で同じ番組を放送することです。これまでのBS（アナログ）放送の視聴者を保護するため、BSデジタルチャンネルでも同じ番組を放送しているチャンネルもあります。

■ **ハイビジョン放送**

BSデジタルハイビジョンの高画質放送のことです。従来の地上波テレビ放送が525本の走査線で表示していたのに対し、BSデジタルハイビジョン放送は1,125本の走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像です。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

■ **プログレッシブ（順次走査）**

飛び越し走査（「インターレース」の項を参照）をしないで、１フィールドめですべての走査線を順番どおりに描く方法です。525pの場合、１フィールドで525本の走査線を描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。

■ **ワイドクリアビジョン放送**

地上放送の画面のワイド化と高画質化、および画面サイズの自動切換えを目的とした放送です。本機では画面サイズの自動切換え信号のみ使用しています。

本取扱説明書に記載されている企業名や製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

● 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

● **保証期間**
お買い上げの日から1年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
※本機を分解しますと、保証が無効になります。

ご不明な点や修理に関するご相談は

● 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（**204**ページ）にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

● 当社はプラズマカラーテレビの補修用性能部品を、製造打切後、8年保有しています。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

● 「故障かな？と思ったら」（**193**ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　　名：プラズマカラーテレビ
- 形　　　名：PZ-50BD3／PZ-43BD3
- お買い上げ日（年月日）
- 故障の状況（できるだけ具体的に）
- ご　住　所（付近の目印も合わせてお知らせください）
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ お客様へ…
お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です。

お買い上げ日	販売店名
年　月　日	電話（　　）　　―

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

●長年ご使用のプラズマカラーテレビの点検をぜひ！

（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。
転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。
● 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は ………… **修理相談センター** へ
● 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は ………… **お客様相談センター** へ

修理相談センター

● **修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）**
■受付時間　＊月曜〜土曜：午前9時〜午後6時　＊日曜・祝日：午前10時〜午後5時　（年末年始を除く）

0570 - 02 - 4649
当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。
（注）携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		＜東日本地区＞	＜西日本地区＞
○ 携帯電話／PHSでのご利用は ……………	一般電話	043 - 299 - 3863	06 - 6792 - 5511
○ FAXを送信される場合は ……………………	FAX	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、
下記地区別窓口にても承っております。
■受付時間　＊月曜〜土曜：午前9時〜午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄・奄美地区〕は……＊月曜〜金曜：午前9時〜午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒330-0038	さいたま市宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京サービスセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	054-285-9340	〒422-8006	静岡市曲金6-8-44
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚町4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪サービスセンター	06-6794-3983	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

■受付時間　＊月曜〜土曜：午前9時〜午後6時　＊日曜・祝日：午前10時〜午後5時　（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL **043 - 297 - 4649**	FAX **043 - 299 - 8280**	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL **06 - 6621 - 4649**	FAX **06 - 6792 - 5993**	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。（01.11）

仕　様

品名			プラズマカラーテレビ	
型名			PZ-50BD3	PZ-43BD3
ディスプレイ部	パネル	画面サイズ	50V型(横1098mm×縦621mm)	43V型(横952mm×縦536mm)
ディスプレイ部	パネル	画素数	2,949,120ドット (横1280×縦768×3)	2,359,296ドット (横1024×縦768×3)
ディスプレイ部	パネル	画面輝度(セット輝度)	350cd/m²	390cd/m²
ディスプレイ部	スピーカー		2ウェイ4スピーカー	
ディスプレイ部	音声出力		24.0W (12.0W+12.0W)	
ディスプレイ部	接続端子		システムケーブル(白)接続端子、システムケーブル(グレー)接続端子 スピーカーケーブル接続端子、AC入力端子	
ディスプレイ部	使用電源		AC100V・50／60Hz	
ディスプレイ部	消費電力		341W	290W
ディスプレイ部	待機電力		0.7W	0.7W
ディスプレイ部	寸法	ディスプレイ部のみ	幅1219mm×奥行101mm×高さ715mm	幅1071mm×奥行101mm×高さ631mm
ディスプレイ部	寸法	スピーカー装着時	幅1436mm×奥行101mm×高さ715mm	幅1288mm×奥行101mm×高さ631mm
ディスプレイ部	寸法	スピーカー、テーブルスタンド装着時	幅1436mm×奥行428mm×高さ826mm	幅1288mm×奥行428mm×高さ742mm
ディスプレイ部	本体質量	ディスプレイ部のみ	39.2kg	32.0kg
ディスプレイ部	本体質量	スピーカー装着時	44.0kg	36.5kg
ディスプレイ部	本体質量	スピーカー、テーブルスタンド装着時	52.0kg	44.5kg
チューナー部	受信チャンネル		テレビVHF1～12ch、UHF13～62ch、CATV13～63ch BSデジタル000～999ch	
チューナー部	接続端子		システムケーブル(白)接続端子、システムケーブル(グレー)接続端子、 ビデオ入力4系統4端子、S2映像入力4系統4端子、 D4映像入力2系統2端子、コンポーネント映像入力端子1系統1端子、 アナログRGB映像端子(ミニD-sub 15pin)1系統、 PC音声入力端子(3.5φステレオ)1系統、 モニター出力1系統1端子(S2映像付き)、 アンテナ入力端子、ヘッドホン出力端子、AC入力端子	
チューナー部	BSデジタル専用端子		i.LINK2端子、BS出力1系統1端子(S2映像付き)、 デジタル音声出力(光)2系統2端子(前面1、後面1)、 電話回線端子、 ビデオコントローラー端子、BSアンテナ入力端子	
チューナー部	使用電源		AC100V・50／60Hz	
チューナー部	消費電力		54W	
チューナー部	待機電力		0.4W	
チューナー部	寸法		幅430mm×奥行342mm×高さ98mm	
チューナー部	本体質量		6.5kg	
年間消費電力量			659kWh／年	500kWh／年

■年間消費電力量とは：省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間(約4.5時間／日)を基準に算出した1年間に使用する電力量です。

■製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。

付属品	チューナー部	ディスプレイ部	スピーカー部
	リモコン×1、単4形乾電池×2、 システムケーブル×1、電源コード(3ピン)×1、 AC変換プラグ×1、アンテナケーブル×1、 ビデオコントローラー×1、電話線×1、 モジュラー分配器×1、BSデジタル用品一式、 取扱説明書	電源コード(3ピン)×1 AC変換プラグ×1 ワイピングクロス×1 システムケーブル用クランプ×1 スピーカーケーブル用クランプ×5 転倒防止用品一式 保証書	取付け金具×4 取付けネジ類×8 取付け工具(六角レンチ)×1 スペーサー×2 スピーカーケーブル×2 取付け説明書

索引

●英数字

●あ行

●か行

●さ行

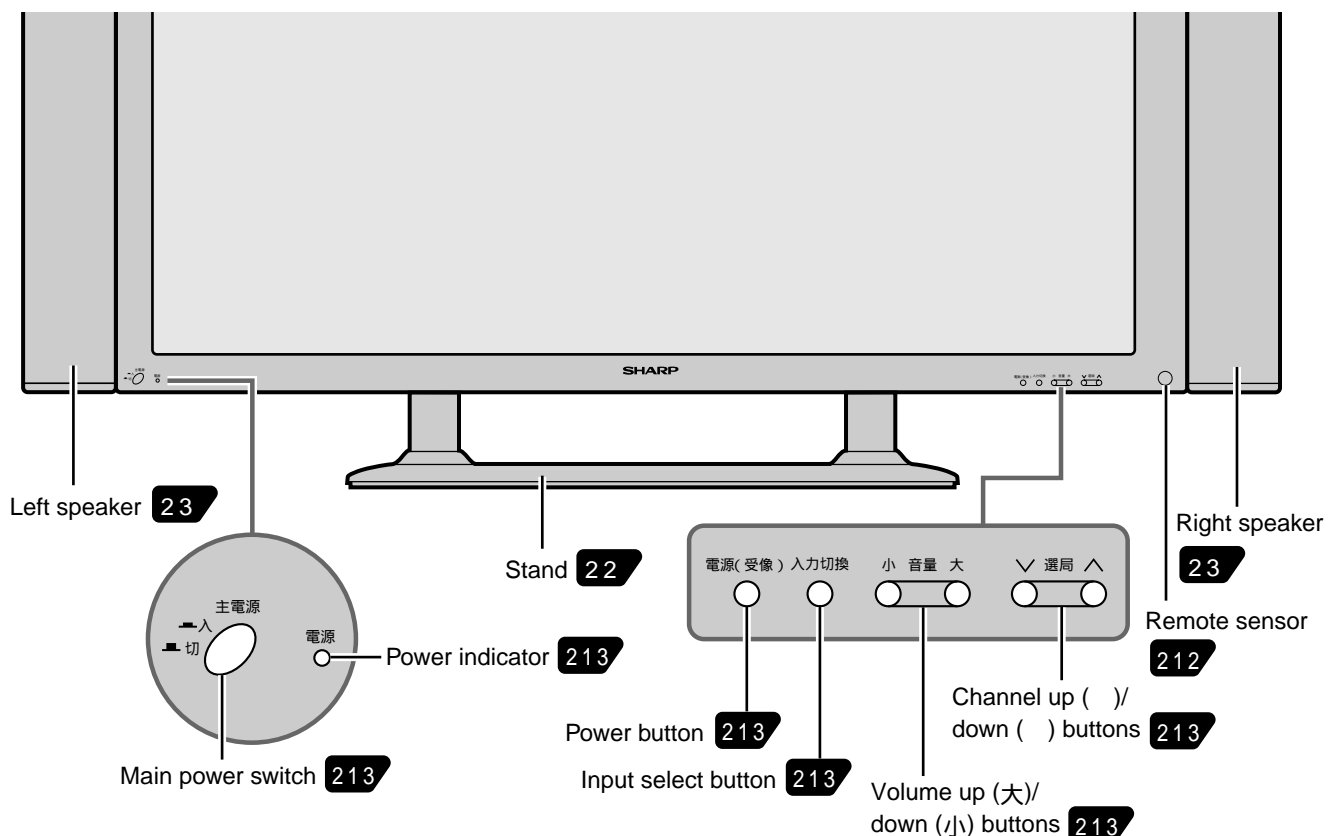
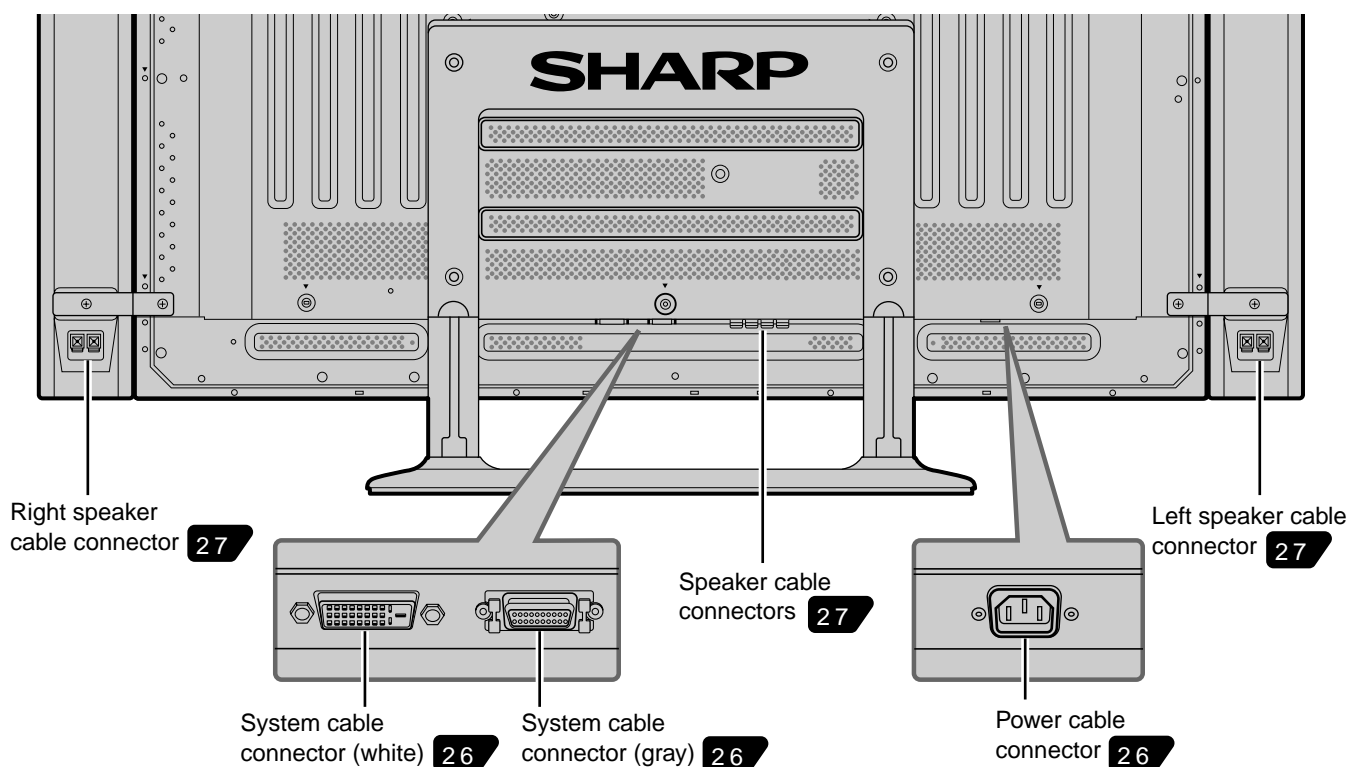
Quick Start Guide

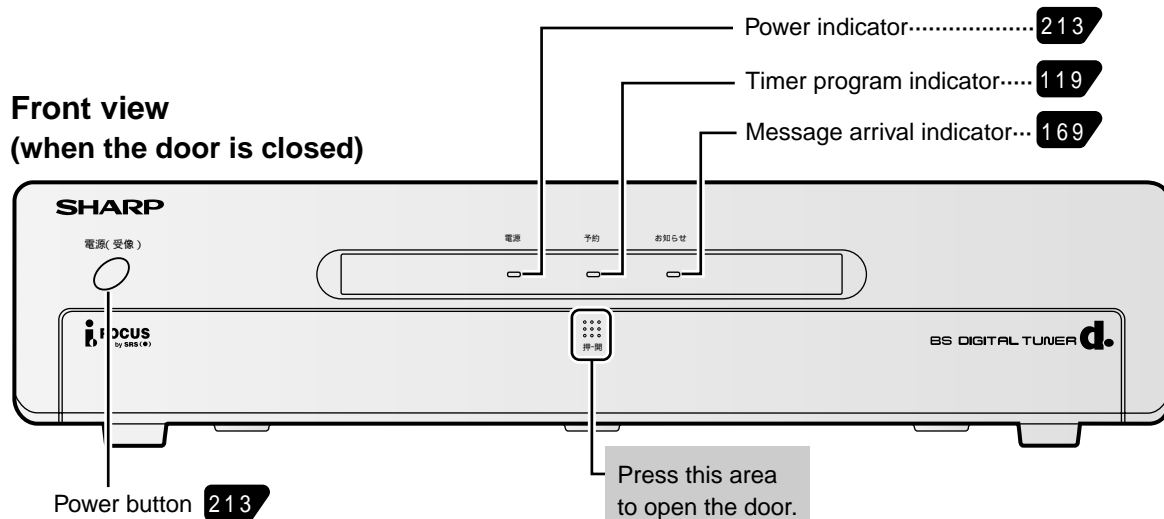
Part Names

■ The number shown in ▰ is the page number where the part's function and/or use is explained in English or Japanese.

Display Unit

Note: The functions and operations of PZ-50BD3 and PZ-43BD3 are exactly the same although the two models differ in size and external appearance.

Front view

Rear view

Receiver Unit

Front view
(when the door is closed)

Front view
(when the door is opened)

TV module reset button·············199

Digital BS module reset button·····199

Digital BS audio
output jack (optical)·············147

AV in 4 176
S2 video terminal
Video and audio terminals

Headphones jack 176

Lock (ロック)/release (解除) switch 55

B-CAS card slot 55

PC input 184
Audio (left/right) jack
Analog RGB video socket

Quick Start Guide

Part Names

Rear view

AV in 1 176
- D4 video terminal
- Component video terminal
- S2 video terminal
- Video and audio terminals

AV in 2 176
- S2 video terminal
- Video and audio terminals

PC control connector 190

System cable connector (white) 26

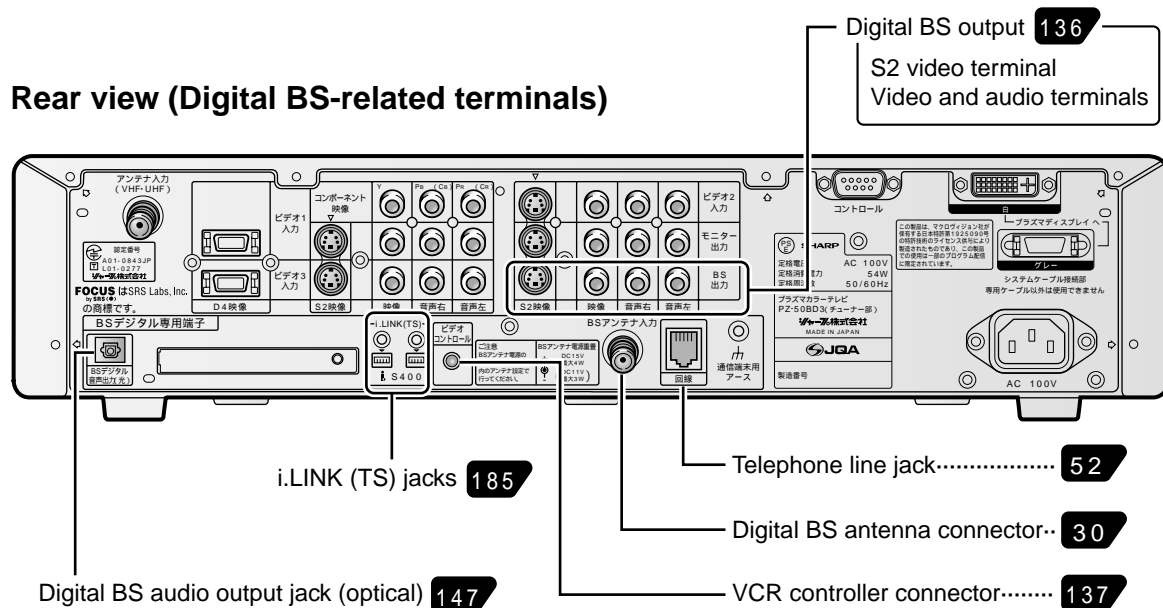
VHF/UHF antenna connector 29

AV in 3 176
- D4 video terminal
- S2 video terminal
- Video and audio terminals

System cable connector (gray) 26

Power cable connector 26

Monitor output 176
- S2 video terminal
- Video and audio terminals

Rear view (Digital BS-related terminals)

Remote Control

Power························ 213•214

Press to engage the plasma display TV in the active mode or the standby mode.

Split screen························ 71

Press to switch between the split screen mode and the normal screen mode.

Operatable screen················ 72

Press to switch the operatable screen (screen with the "♪" mark in the channel number display) when the TV is in the split screen mode.

TV channel select··········· 35•214

- Press to select a regular TV (VHF, UHF) or CATV channel.
- Use to input the area number for channel setting.

Digital BS channel select····················· 215•58•103

- Press to select a digital BS channel.
- Use to input a number for various settings.

EPG································· 109

Press to display or turn off the Electronic Program Guide (EPG: 番組表) when receiving digital BS broadcast.

Program information 216•104•114

Press to display the information (e.g. title, genre, on-air time, cast, writer, etc.) on the currently selected program.

Other on-air programs··········· 115

Press to display the EPG for the other currently broadcast programs (裏番組表).

d (linked data)············· 216•104

Press to call data broadcast linked with the currently received digital BS TV or radio program.

TV···························· 215•103

Press to select digital BS TV broadcast.

Return·························· 66•102

Press to go back to the previous screen. Press this button instead of the Enter/Confirm (決定) button when you have selected the wrong item or input the wrong number, etc.

Cursor (Up, Down, Left, Right) ·························· 215•66•102

Use to select a menu item, column, etc.

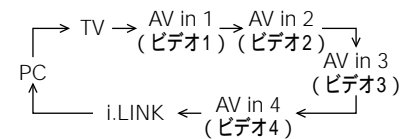
Enter/Confirm·········· 215•66•102

Press to confirm a selected setting or menu item.

Color (Blue, Red, Green, Yellow) ···························· 215•109

Use to operate the digital BS EPG or data program screens.

Input select··························· 178

Each time you press the button, the input mode changes as follows:

TV → AV in 1 (ビデオ1) → AV in 2 (ビデオ2) → AV in 3 (ビデオ3) → AV in 4 (ビデオ4) → i.LINK → PC → TV

* The AV in 1, 2, 3, or 4 mode is selectable only when the corresponding input terminal is receiving an AV signal.

i.LINK································· 187

Press to display or turn off the D-VHS VCR (i.LINK) control panel.

PC····································· 76

Press to select the PC mode.
(The PC mode screen is displayed.)

Freeze································ 73

Press to freeze the picture. A frozen image and a moving picture are displayed simultaneously on split screens.

Power save mode··················· 93

Press to switch between the normal mode and the power-saving mode.

Display······························· 214

Press to display or turn off the channel call, etc.

Mute·································· 214

Press to temporarily turn off the sound. Press again to return the sound volume to the previous level.

Volume up (大)/down (小)········· 214

Press to adjust the sound volume.

Channel up (∧)/down (∨) 214•215

Press to select next higher or lower channel.

* CATV channels are factory set to be skipped.

Channel number input······ 215•103

When selecting a digital BS channel by entering the 3-digit channel number, press this button first, then enter the number with the digital BS channel select buttons (1-10/0).

Preset channel table/Set··· 108•135

Press to display the preset digital BS channel table/new channel set screen.

Digital broadcast switch··········· 116

Press to switch between digital BS broadcast and future digital satellite broadcast.

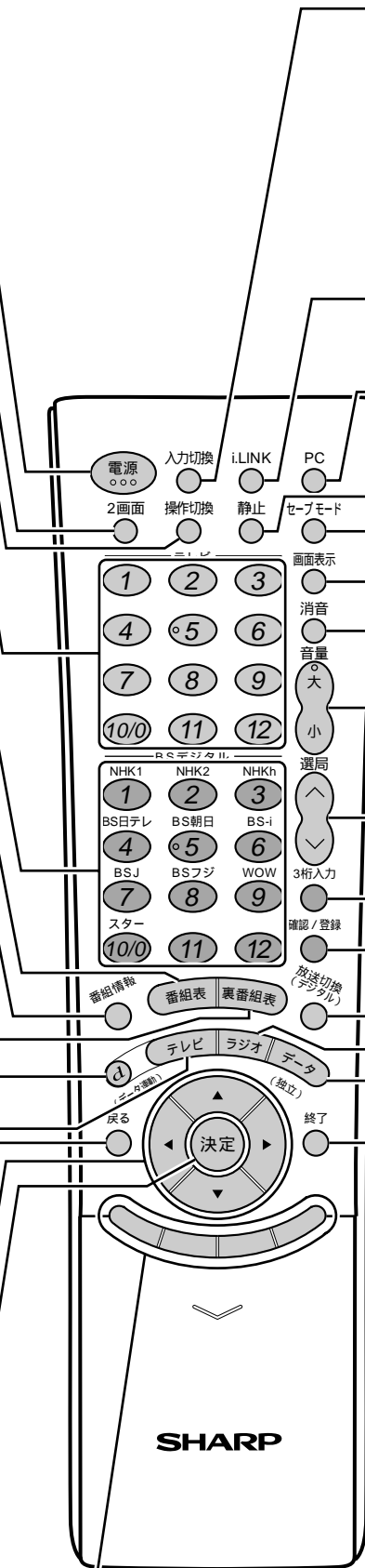
Radio···························· 215•106

Press to select digital BS radio broadcast.

Data····························· 215•107

Press to select digital BS independent data broadcast.

End······························ 66•109

Press to end the split screen mode or picture freeze mode, turn off the EPG display, or finish menu operation, etc.

Part Names

Inside the cover

TV/video menu ········ 66
Press to display or turn off the TV/video menu screen.

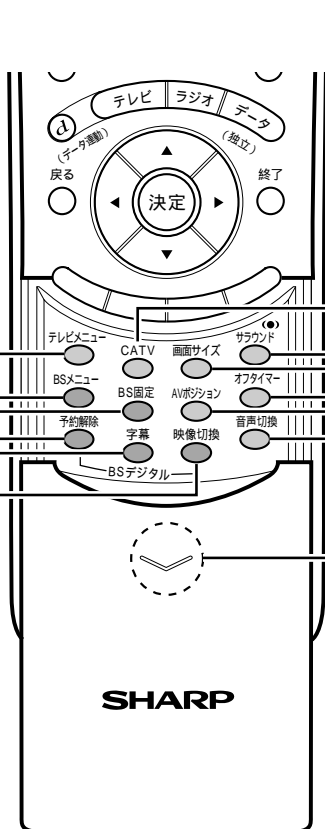
Digital BS-related buttons

Digital BS menu ········ 102
Press to display or turn off the digital BS menu screen.

Digital BS channel fix ······ 156
Press to fix channel selection to the currently received digital BS channel so that no other digital BS channel can be selected. Use this feature when you want to watch a regular TV (VHF, UHF) or CATV channel while recording a digital BS program.

Timer recording cancel ···· 128
Press to cancel an on-going timer recording.

Subtitles ········ 216•133
Press to display or turn off subtitles when watching a digital BS program with subtitles.

Picture select ········ 216•105
Press to select the desired picture when receiving a digital BS multi-picture program.

CATV ········ 214
When selecting a CATV channel by entering the channel number, press this button first, then enter the 2-digit number with the TV channel select buttons (1-10/0).

Surround (●) ········ 90
Press to switch the surround mode.

Screen mode ········ 69
Press to select the desired screen mode from 4 choices: normal, wide, cinema, or full (when the TV/video input mode is selected.)

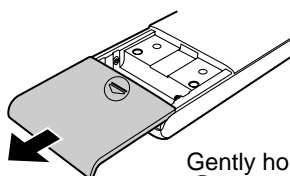
Sleep timer ········ 92
Press to select the remaining time period before which the plasma display TV automatically turns off and enters the standby mode.

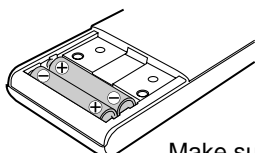
Picture/sound setting ·· 83
Press to select the picture/sound setting (standard, dynamic, cinema, game, or AV memory) that best matches the currently received program.

Sound select ······ 88•105
Press to select the desired sound (e.g. Japanese or English in bilingual broadcast, the main sound or a sub sound in digital BS multi-sound broadcast, etc.).

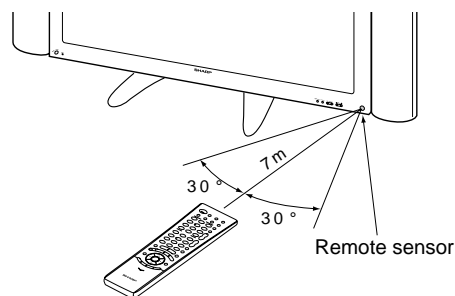
Opening the cover
- Gently holding down this area with your thumb, slide the cover toward yourself.

Inserting the batteries in the remote control

1 Open the battery compartment cover.

Gently holding down the ⊜-marked area, slide the cover in the direction of the arrow.

2 Insert the supplied two AAA batteries, and close the cover.

Make sure that the terminals match the ⊕ and ⊖ indicators in the battery compartment.

Remote control operating range

When operating the remote control, direct its head toward the remote sensor located at the bottom right corner of the display unit, as shown below. The maximum operating range is approximately 7 meters in distance, and 30 degrees in angle against the straight line normal to the remote sensor, as shown below.

Note:
- The display unit may not be able to receive the remote control's infrared rays if there is an obstacle between the remote control and the remote sensor.
- As the batteries are depleted, the operating distance will become shorter. Replace them with new ones.
- The display panel emits faint infrared rays. If there is an infrared-operated device such as a VCR near the plasma display, that device may not be able to properly receive its remote control's infrared rays. In such a case, move the device farther away from the plasma display.
- Depending on the location of installation and other conditions, the plasma display TV may not be able to properly receive its remote control's infrared rays due to the infrared radiation from the display panel. (The intensity of infrared radiation from the panel changes as it displays changing pictures.)

Quick Start Guide

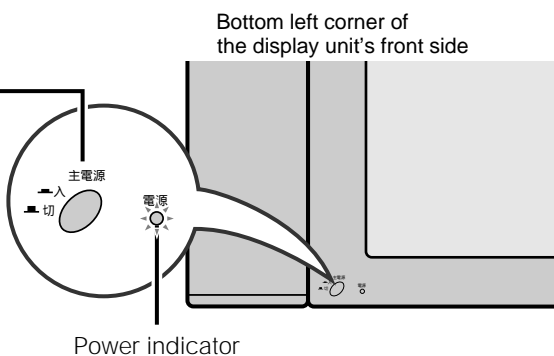
Basic Operations

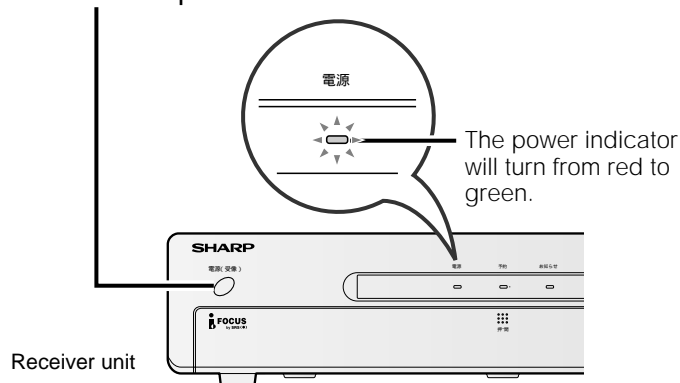
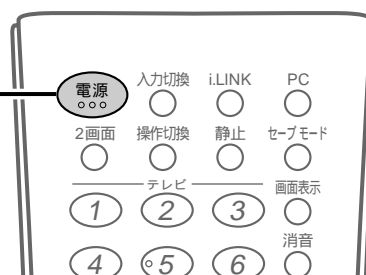
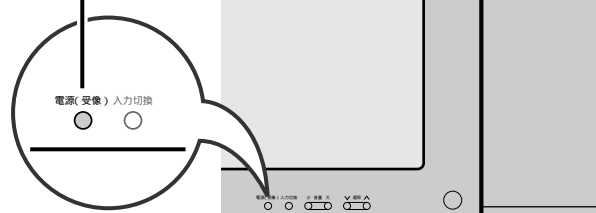
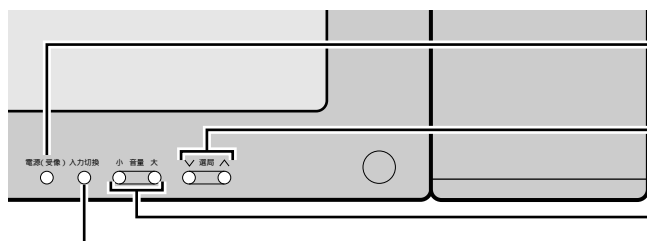
Shown on this and the next pages are the basic operations for watching regular TV (VHF, UHF) and CATV channels.

Turning the power on

❶ Press the main power switch to turn on the power.

- The plasma display TV enters the standby mode (with the power indicator lit red) or the active mode (with the power indicator lit green).

Standby mode ☞ Go to step ❷.
Active mode ☞ Go to step ❸.

❷ Engage the TV in the active mode by performing ①, ②, or ③ shown below.

① Press the power button on the remote control.
② Press the power button on the display unit.
③ Press the power button on the receiver unit.

Control buttons on the display unit

❷ Press to engage the plasma display TV in the active mode or the standby mode.
❸ Press to select the desired channel.
❹ Press to adjust the sound volume.
Press to switch the input mode.

Power supply and power cable connection

- The receiver unit communicates with digital BS broadcasting stations even when it is in the standby mode.
- Normally keep the power cables plugged into wall outlets even when the plasma display TV is not in use.
- Do not disconnect the power cable from the wall outlet immediately after it has been plugged in. In rare cases, the receiver unit's memory will be initialized causing timer programs, the PPV program purchase history, etc., to be erased. If this happens, perform all necessary settings again.

Basic Operations

Selecting a channel, adjusting the sound volume, etc.

Press to engage the plasma display TV in the active mode or the standby mode.

Active mode: The power indicator lights green.
Standby mode: The power indicator lights red.

Press to switch the input mode.

TV → AV in 1 → AV in 2 → AV in 3
(ビデオ1) (ビデオ2) (ビデオ3)
PC ← i.LINK ← AV in 4 (ビデオ4)

* The AV in 1, 2, 3, or 4 mode is selectable only when the corresponding input terminal is receiving an AV signal.

❸ Select the desired channel.

TV (VHF, UHF, CATV) channel select buttons

Digital BS channel select buttons

See pages 215, 216, and 98 through 174 for digital BS broadcast-related operations.

Press to display or turn off on-screen indicators such as the currently received channel number.

Examples:

Terrestrial broadcast…… 1 ステレオ

Digital BS broadcast…… BS103

AV in……………………… ビデオ1

PC……………………………… PC 1024×768 60Hz

Press to temporarily turn off the sound.

- Press again to return the sound volume to the previous level.

Press to end the current operation.

- Use to end the split screen mode or the picture freeze mode, turn off the EPG display, or finish menu operation.

❹ Adjust the sound volume.

- When the button is pressed, a bar with a number (60 max.) appears at the bottom of the screen showing the current level of sound volume.

Use for selecting a CATV channel.

- First, press the CATV button inside the sliding cover, then input the desired channel number using the TV channel select buttons (1-10/0).

Press to select the next higher (∧) or lower (∨) channel.

Note

Preset channels

- The receiver unit is factory preset to receive VHF channels 1 to 12 and digital BS channels 1 to 10/0. See pages 31 through 50 if you wish to receive UHF broadcast or change the VHF channel setting.

CATV broadcast reception

- CATV channels can be received only in areas where CATV broadcasting services are available.
- To receive CATV broadcast, you need to subscribe to your local CATV station and register your TV with the station. To watch (and record) charged, scrambled programs, you need to connect a home terminal adapter to the receiver unit. For further details, consult with your local CATV service provider.
- The plasma display TV allows you to select CATV channels C13 through C63.

When the broadcasting service for the selected channel is over for the day

- Approximately 15 minutes after the end of the service day, the power automatically turns off and the plasma display TV enters the standby mode with the power indicator lit red. (No-signal-turn-off feature: see page 93. This function may not work properly if the TV receives a weak signal from any other channel or some other wave.)
- The no-signal-turn-off feature works the same way when the TV is in the AV input mode.

Quick Start Guide

Enjoying Digital BS Broadcast

Selecting a Digital BS Program

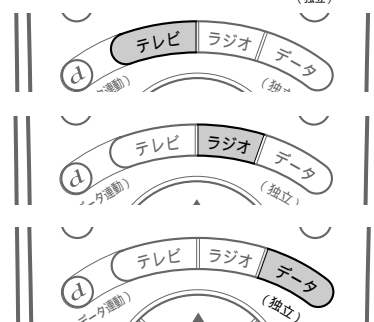
Select the type of broadcast

(Note: Radio and data broadcast can be selected only when receiving digital BS broadcast.)

The digital BS broadcast offers not only TV programs but also radio and data programs. What you do first is to select the type of broadcast—TV, radio, or data, by pressing テレビ (TV), ラジオ (radio), or データ (独立) (data).

1) To select TV broadcast········Press テレビ (TV).
➡ A TV channel is selected.

2) To select radio broadcast·····Press ラジオ (radio).
➡ A radio channel is selected.

3) To select data broadcast······Press データ (独立) (data).
➡ A data channel is selected.

Operating a data program screen

Data programs usually display control button and item graphics on the screen. Use ▲ ▼

◀ ▶ cursor buttons and 決定 (enter/confirm) as well as color buttons (Blue Red Green Yellow) to select an item, confirm your choice, or switch screens back and forth, etc.

Select the desired channel

① **Using the digital BS channel select buttons**

The digital BS channel select buttons are factory preset to receive the channels listed in the table shown below.

After you have received the desired type of broadcast in step 1 above, all you do now is press one of the digital BS channel select buttons NHK1 1 - 12 to directly select the channel of your choice.

② **Selecting a channel by entering the 3-digit channel number**

Press 3桁入力 (channel number input). “BS---” is displayed in the top right corner of the screen. Enter the channel number using the digital BS channel select buttons (1-10/0).

Ex. Press NHK1 1 → BS日テレ 4 → NHK1 1 to select BS Nippon.

As you press the third button, NHK1 1, the TV will receive a BS Nippon program.

③ **Using 選局 (channel up/down)**

After you have received the desired type of broadcast in step 1 above, press the ∧ or ∨ side of

選局 (channel up/down) to select the next higher or lower channel.

Digital BS channel select button	TV		Radio		Data	
	Channel name	Channel number	Channel name	Channel number	Channel name	Channel number
NHK1 1	NHK BS1	101	BSC300	300	Megaport	900
NHK2 2	NHK BS2	102	Music Bird	316	Weathernews	910
NHKh 3	NHK Hi-Vision	103	JFN 1	320	Digicas 933	933
BS日テレ 4	BS Nippon	141	St. GIGA	333	NDB 940	940
BS朝日 5	BS Asahi	151	BS Nippon Radio 1	444	BS955-5	955
BS-i 6	BS-i	161	BSA Radio 455	455	Tivi ! 963	963
BSJ 7	BS Japan	171	BS-i Radio	461	ch999	999
BSフジ 8	BS Fuji	181	BSJ 471	471	—	—
WOW 9	WOWOW	191	LFX488	488	—	—
スター 10/0	Star Channel	200	BSQR489	489	—	—
11	—	—	WOWOW WAVE 1	491	—	—
12	—	—	—	—	—	—

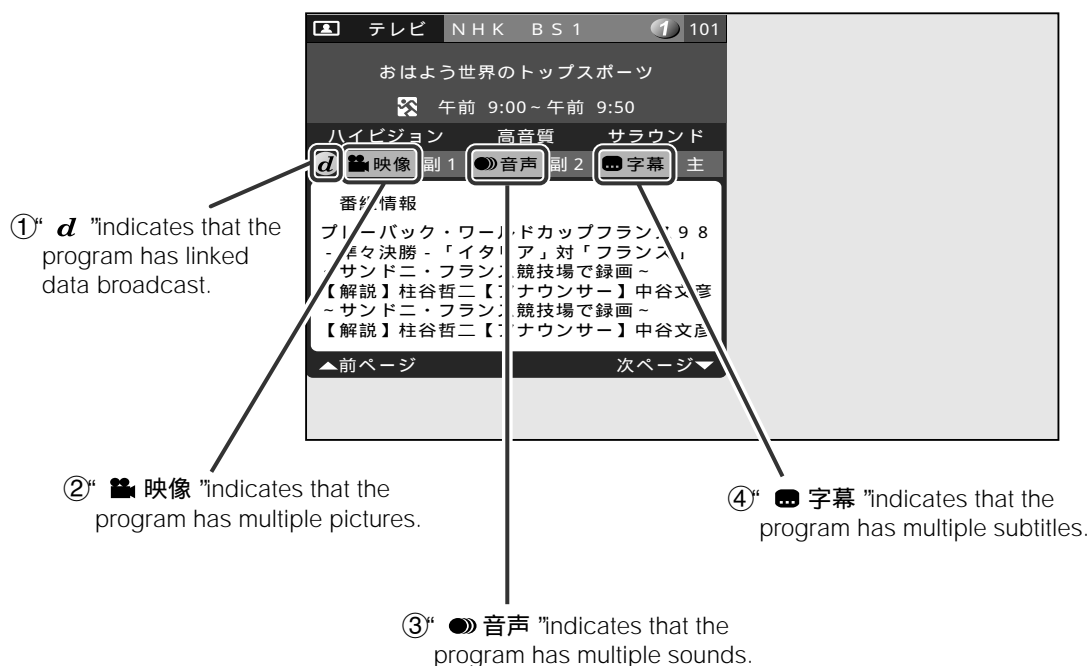
(As of November, 2001)

Quick Start Guide in English

Enjoying Digital BS Broadcast

Enjoying other services

Digital BS broadcasting stations offer various services which take advantage of digital technologies that allow far more data volume to be transmitted within a single channel than the traditional ground-based or analog satellite TV broadcast. These services include programs with multiple pictures and sounds, program-linked data broadcast in which program-related information is provided with still images and texts.

Press 番組情報 (program information) to display the currently selected program information.

■ Selecting the desired service

①When“ *d* ”is displayed ·············Press d (データ連動) (linked data).

➡Program-related information will be displayed.

②When“ 映像 ”is displayed ······Press 映像切換 (picture select) inside the sliding cover.

- Press the button until the desired picture is displayed.

③When“ 音声 ”is displayed ······Press 音声切換 (sound select) inside the sliding cover.

- Press the button until the desired sound is selected.

④When“ 字幕 ”is displayed ······Press 字幕 (subtitles) inside the sliding cover to display subtitles.

- Press the button again to turn off the subtitles, or select other subtitles.

お問い合わせは、お客様ご相談窓口へ

■ **この製品についてのご意見・ご質問**
「お客様相談センター」にお申し付けください。

東日本相談室

☎ (043)297-4649
FAX(043)299-8280
〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2

西日本相談室

☎ (06)6621-4649
FAX(06)6792-5993
〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72

受付時間 ： 月曜日〜土曜日　午前9時〜午後6時
日曜日・祝日　午前10時〜午後5時
（年末年始は除きます。）

■ **製品の故障や部品のご購入などの相談**
「修理相談センター」にお申し付けください。
（くわしくは、204ページをご覧ください。）

修理サービスを依頼される前に、**193〜194**ページの「故障かな？と思ったら」をもう一度お読みください。

シャープ株式会社

本　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
電話（06）6621-1221（大代表）
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地
電話（0287）43-1131（大代表）

★この取扱説明書は再生紙を使用しています。

TINS-7551CEZZ
01K-K/K